取扱説明書 基本編

FOMA® D900i

’04.8

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA D900i」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書『基本編』および別冊の『アプリケーション編』をよくお読みいただき、FOMA D900iを正しく、効果的にお使いくださいますようお願いいたします。

FOMA D900iは、あなたの有能なパートナーです。
大切にお取扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMAは無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモ及び別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性等に関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、日本ボルチモアテクノロジーズ株式会社

FOMA端末、FOMAカードをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。
また、電池パックおよびアダプタ（充電器含む）をお使いになる前には、機器に添付の個別の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。なお、取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

●お問い合わせ先（ドコモグループ各社）

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

■ 一般電話等からの場合

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

この『FOMA D900i取扱説明書　基本編』の本文中においては、『FOMA D900i』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

●表紙の画面は、はめこみ合成です。

著作権について／商標について

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して録画や録音等されたもの並びにサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集等する行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変等すると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。録画または録音等されたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、録画または録音等が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

商標・登録商標について

本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

●本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.0 for FOMAを搭載しています。
NetFront v3.0は、株式会社ACCESSの製品です。Copyright 1996-2004 ACCESS CO., LTD.
NetFront及び NetFront® は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

●本製品には、日本語入力のための機能として、株式会社ジャストシステムのATOKを搭載しています。「ATOK」「推測変換」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。© 2003 株式会社ジャストシステム

●Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの登録商標です。

●Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

●Java及びJavaに関連するすべての商標は、米国及びその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

●本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™テクノロジーを搭載しています。
Copyright© 1995-2004 Macromedia, Inc. All rights reserved.
Macromedia, Flash, Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

●"Memory Stick"（"メモリースティック"）、"Memory Stick Duo"（"メモリースティック Duo"）、"Memory Stick PRO Duo"（"メモリースティック PRO デュオ"）および 、MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO はソニー株式会社の商標です。

●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●「FOMA／フォーマ」「ｉモード」「ｉアプリ／アイアプリ」「ｉアプリサーチ／アイアプリサーチ」「ｉメロディ／アイメロディ」「ｉアニメ／アイアニメ」「ｉアプリDX」「ｉモーション／アイモーション」「ｉモーションメール／アイモーションメール」「ｉエリア／アイエリア」「デコメール／デコレーションメール」「着モーション」「キャラ電」「クイックキャスト」「FirstPass／ファーストパス」「mopera／モペラ」「WORLD CALL」「マルチアクセス」「デュアルネットワーク」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。

●「Multitask／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。

●「チョコボ」は、株式会社スクウェア・エニックスの商標です。
© 2004 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.

●その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

●本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において、以下に記載する場合のみ使用することが認められています。
• MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
• 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
• MPEG LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

●本製品の動画機能は、MPEG-4 Systems特許の下でMPEG-4 Systems規格に準拠した符号化を行うことが許諾されています。ただし、以下の場合には、追加のライセンスとロイヤルティの支払いが必要です。
• 物理的媒体に保存または複製されてタイトルごとに支払いが必要なデータの符号化を行う場合
• エンドユーザに送信され、保存・使用され、タイトルごとに支払いが必要なデータの符号化を行う場合
追加のライセンスは米国法人MPEG LA, LLCから入手できます。詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

取扱説明書の構成について

FOMA D900iの取扱説明書は、『基本編』、『アプリケーション編』の2冊で構成されています。

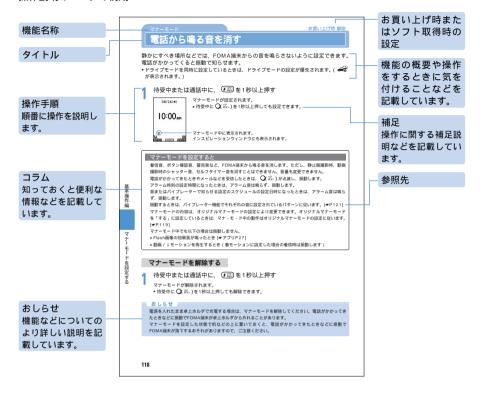
『基本編』（本書）

• 各部の名称や機能、電池パックの充電方法など、FOMA端末の基本的な事項について
• 電話やテレビ電話のかけかた・受けかた、文字入力などの基本的な操作方法について
• 電話機能に関する各種設定について
•「故障かな？」と思ったときの対処方法やアフターサービスについて

『アプリケーション編』

• ｉモードを利用してFOMA端末で情報を入手する方法や、ｉアプリの利用方法について
• メール機能の使用方法について
• 内蔵のカメラでの写真・動画の撮影方法や、FOMA端末に保存されている画像、動画／ｉモーション、メロディなどの操作方法について
• 赤外線通信や“メモリースティック Duo”の操作方法について
• FOMA端末を使用したデータ通信の方法について

本書の見かたについて

操作説明のページの構成

※本書では、参照先を以下のように表記しています。
[☛P20] …………『基本編』（本書）のP20に詳しい説明があります。
[☛アプリP20] …『アプリケーション編』のP20に詳しい説明があります。

メニューの表記

この取扱説明書ではメニューやサブメニューの選択方法を以下のように表記しています。

表　記	意　味
メニュー「でんわ」▶「着信履歴」を選択する	メインメニューから「でんわ」を選択したあと、でんわのメニューから「着信履歴」を選択する
サブメニュー「1.登録」を選択する	サブメニューから「1.登録」を選択する

目次

Contents

はじめに

ご使用になる前に

基本操作編

電話のかけかた／受けかた

電話に出られないときの応対方法を設定する

テレビ電話のかけかた／受けかた

電話帳を利用する

マナーモードを設定する

応用操作編

電話機能を利用する

音の設定を変更する

ディスプレイやボタンの設定を変更する

携帯電話の操作を制限する

タイマー機能とスケジュール機能を利用する

その他の機能を利用する

マルチアクセス・マルチタスク

ネットワークサービス編

ドコモのネットワークサービス

文字入力のしかた

文字入力のしかた

付録

FOMA D900iの特徴

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

最大384kbpsのパケット通信、快適なデータ通信

FOMA端末にパソコンなどの外部機器を接続して、受信最大384kbpsの快適なパケット通信が可能です。もちろん64Kデータ通信にも対応しています。

マルチアクセス・マルチタスク

音声通話とパケット通信を同時に利用できるマルチアクセスによって、ｉモード中の通話や、通話中のメールの送受信ができます。複数のアプリケーションを同時に使用できるマルチタスク機能も搭載しています。[☛P194、197]

テレビ電話

自分と相手の映像を同時に表示しながら通話できます。[☛P72]

カメラ搭載

メガピクセルカメラを搭載。折りたたんだままで「相手撮り」、開いて「自分撮り」ができます。多彩な撮影モードで静止画、動画を撮影できます。撮影した静止画はメール送信や待受画面設定に利用できます。[☛アプリP198]
カメラ有効画素数：約100万画素
最大記録画素数：約192万画素

バーコードリーダー

内蔵カメラを利用してQRコード、JANコードを読み取り、その結果を利用して、電話帳登録や画像・メロディの保存、文字のコピーなどさまざまな操作ができます。[☛アプリP217]

赤外線通信

電話帳や送受信メール、画像などをやり取りできます。[☛アプリP270] 赤外線リモコン機能にも対応しています。[☛アプリP279]

快適ｉモード

受信最大384kbpsの高速パケット通信対応により、サイト（番組）接続サービスやインターネット接続、ｉアプリがさらに快適に利用できます。[☛アプリP16]
※ｉモードは、お申込みが必要な有料サービスです。

FOMAカードに対応

FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が書き込まれたカードです。電話帳のデータやショートメッセージ（SMS）などが保存できます。FOMA端末に取り付けて使います。[☛P34]

キャラ電に対応

テレビ電話で通話するとき、自分の映像の代わりにキャラクタの画像を相手に送信、表示させることができます。ボタン操作で動きや表情をつけることもできます。[☛P78]

超なめらかモード、大画面モードで動画を撮影・再生

- 超なめらかモードで、動きのなめらかな動画を撮影・再生できます。[☛アプリP207、246]
- 大画面モードで、高解像度の動画（320×240ドット）を撮影・再生できます。[☛アプリP207、246]

“メモリースティック Duo”、“メモリースティック PRO デュオ”

送受信メール、電話帳、画像、メロディなどを“メモリースティック Duo”または“メモリースティック PRO デュオ”にコピーして保存できます。また、FOMAのデータを簡単にバックアップできます。[☛アプリP280]

インスピレーションウィンドウ

折りたたんだまま時刻などを確認できます。電話やメールの着信も確認できます。
[☛P30]

美しい音質でメロディ再生

●サイトからメロディを取り込み、着信音に設定できます。（ｉメロディ対応）
[☛アプリP44]
●PCM音源48和音、声や効果音などの着信音（ADPCM音源）にも対応しています。

電話番号とメールアドレスを最大700件登録

1件の電話帳に電話番号を最大3番号、メールアドレスを最大3アドレス登録できます（ただし、登録状況により登録可能件数は変動します）。内蔵カメラで撮影した静止画も登録できます。[☛P92]

着モーションに対応

着信音としてiモーションを選択し、動画とメロディで着信をお知らせするようにできます。FOMA端末で撮影した動画を着モーションとして設定することもできます。

充実したメールサービスに対応

お申込みなしでご利用いただけるショートメッセージサービス（SMS）と、インターネット経由でe-mailとしてもご利用いただけるｉモードメールに対応しています。
[☛アプリP110]

デコメールに対応

文字を装飾したり、画像を挿入したりしたｉモードメールを送受信できます。
[☛アプリP123]

ｉアプリに対応

ソフトをサイトから取り込むことにより、FOMA端末を便利に活用いただけます。ｉアプリ待受画面、ｉアプリDXにも対応しています。[☛アプリP57]

スムーズな文字入力

●ATOK搭載により､効率的に変換できます。また、推測変換機能により、簡単に入力できます。[☛P230]
●絵文字、顔文字を簡単に入力できます。
[☛P241]

自分だけのオリジナルな設定

●文字のサイズを変更できます。[☛P252]
●電話をかけるときなどに、キャラクタを表示できます。[☛P153]

ｉモーション、ｉモーションメールに対応

●ｉモードのｉモーション対応サイトから画像や音声のデータをFOMA端末に取り込み、保存、再生ができます。
[☛アプリP97]
●内蔵カメラで撮影した動画や、ｉモーション対応サイトから取り込んだｉモーションをｉモードメールに添付して送ることができます。[☛アプリP131]

充実したサイト表示機能

Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。Flash画像は待受画面に設定できます。

テレビとの連携

●テレビ番組やビデオ映像などのデータを添付のパソコン用画像変換ソフトで変換し、FOMA端末で再生できます。
[☛アプリP338]
●テレビ（NTSC）出力インタフェースを内蔵、内蔵カメラで撮影した静止画、動画をテレビの画面に表示できます。
[☛アプリP228、247]

安全上のご注意（必ずお守りください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

●次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

●次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		

指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

●「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）の取扱いについて（共通）

危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）などは、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

●指定品以外のものを使用した場合は、電池パックやその他機器を漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

ACアダプタ	D02	DCアダプタ	D01	電池パック	D02
卓上ホルダ	D02	リアカバー	D02	平型AV出力ケーブル	P01

その他互換性のある商品については当社窓口までお問い合わせください。

警告

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

●プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

●電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

●発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

発煙、異臭などの異常が発生したり、破損したりした場合は、直ちに次の作業を行ってください。

1.電源プラグをコンセントやソケットから抜く。

2.FOMA端末の電源を切る。

3.電池パックをFOMA端末から取り外す。

●そのまま使用（充電）すると、発火などの事故の原因となります。電池パックを取り外したあと、当社窓口までご連絡ください。

注意

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

●誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

⚠注意

禁止

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
●けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
●落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
●故障の原因となります。

FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
●電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
●電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
●FOMA端末を医用電気機器などの近くで携行および使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレーター（振動）や着信音量の設定に注意してください。
●心臓に影響を与える可能性があります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
●火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

⚠警告

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。

●安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用ください。
また、走行中の使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

●目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

指示

ハンズフリーをONに設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。

●難聴になる可能性があります。

禁止

自動車などの運転者に向けてコンパクトライトを点灯しないでください。

●目がくらんで運転ができなくなり、事故の原因となります。

注意

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

●落雷、感電の原因となります。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

●本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

●下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	材　質
・イージーセレクタープラス　・メールボタン　・TASKボタン ・サイドボタンA　・サイドボタンB　・サイドボタンC	クロムメッキ
・インスピレーションウィンドウの外周	アルミニウム

水ぬれ禁止

FOMA端末を濡らさないでください。

●水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

●火災、感電、故障などの原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

●安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

⚠注意

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

●キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

コンパクトライトを目に近づけて点灯しないでください。また、コンパクトライト点灯時は、照明部分を直接見ないようにしてください。

●視力低下など、目に影響を与えることがあります。

禁止

コンパクトライトをカメラ撮影以外の用途に使用しないでください。

●約3分間操作しないとコンパクトライトは消灯します。急に暗くなり、事故の原因となります。

禁止

FOMA端末を開くとき、アンテナ部に指やストラップなどをはさまないでください。

●けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
リチウムイオン	リチウムイオン電池

⚠危険

指示

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

●失明の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠危険

禁止

電池パックをFOMA端末に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水ぬれ禁止

電池パックを濡らさないでください。

●電池パックに水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、直接はんだ付けしないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

●皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、FOMA端末から取り外し、使用しないでください。

●そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

●漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

禁止

直射日光の強いところや炎天下の車などの高温の場所で使用、放置しないでください。

●漏液、発熱や性能、寿命を低下させる原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

●発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

⚠警告

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

●火災、故障、感電、傷害の原因となります。

ぬれ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

●感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

●感電の原因となります。

水ぬれ禁止

アダプタ（充電器含む）を濡らさないでください。

●水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●感電、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

●感電、発熱、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。

●感電、発煙、火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

●感電、ショート、火災の原因となります。

分解禁止

分解、改造はしないでください。

●感電、火災、故障の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。

●誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。また、海外での使用は故障等の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
（国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

●誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

●火災の原因となります。

⚠警告

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
●火災の原因となります。

禁止

充電中は、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
●FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。
●破損し、感電や事故の原因となります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。
●タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやソケットから抜いて、行ってください。
●感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）をコンセントやソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らないでください。
●コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
●感電、火災の原因となります。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
●電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

FOMAカードの取扱いについて

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。
●溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

⚠注意

指示

FOMAカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

●誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際に、手や指を傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

禁止

FOMAカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。

●溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。

●溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

ICを傷つけないでください。

●故障の原因となります。

禁止

ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

●データの消失､故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

●故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを曲げたり、重いものを乗せたりしないでください。

●故障の原因となります。

水ぬれ禁止

FOMAカードを濡らさないでください。

●水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

分解禁止

FOMAカードを分解、改造しないでください。

●データの消失や故障の原因となります。

禁止

FOMAカードの保管の際には、直接日光が当たる場所や高温多湿な場所に置かないでください。

●故障の原因となります。

禁止

FOMAカードはほこりの多い場所には保管しないでください。

●故障の原因となります。

指示

FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。

●指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については当社窓口までお問い合わせください。

医用電気機器近くでの取扱いについて

本記載の内容は『医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針』（電波環境協議会〔旧不要電波問題対策協議会〕）に準ずる。

⚠警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

●電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

●手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
●病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
●ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
●自動的に電源が入る機能が搭載されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

●電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

●電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

●水をかけないでください。
FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかるようなことはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れなどによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

●お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
・お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

●電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

●極端な高温、低温は避けてください。
FOMA端末は周囲温度が5℃～35℃、湿度が45%～85%の範囲でご使用ください。

●一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

●お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
故障の原因となります。

●ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折りたたまないでください。
故障、破損の原因となります。

●ストラップに手を通してお持ちください。
落下し、故障の原因となることがあります。

●通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、“メモリースティック Duo”挿入口のカバーをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

●カメラを直射日光に向けて放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こすことがあります。

●“メモリースティック Duo”を取り付けていない状態で使用するときは、“メモリースティック Duo”挿入口周辺のダイヤルボタンを強く押さないでください。
“メモリースティック Duo”の取付け／取外しがしにくくなることがあります。また、故障の原因となることがあります。

●使用中、充電中、FOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。

電池パックについてのお願い

●**電池パックは消耗品です。**
使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

●**充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

●**初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。**

●**電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

●**不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、当社窓口へお持ちいただくか、電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

●**電池パックは、長期間使用しない場合でも6か月に一度は充電してください。**
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

FOMAカードについてのお願い

●**IC部分の取外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。**

●**使用中にFOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

●**他のICカードリーダライタなどに、FOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

●**IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

●**お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。**

●**お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管するようお願いします。万一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**

●**環境保全のため、不要になったFOMAカードは当社窓口にお持ちください。**

●**極端な高温・低温は避けてください。**

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

●**充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。また、次のような場所では、充電しないでください。**
・湿気、ほこり、振動の多い場所　・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

●**充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

●**DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
車のバッテリーを消耗させる原因となります。

●**抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

“メモリースティック Duo”についてのお願い

●**以下の画面では、“メモリースティック Duo”を抜いたり、電源を切ったり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
データが壊れる恐れがあります。
・データコピー中　・データ上書き中　・データ処理中　・データ削除中
・バックアップ中　・メモリースティックチェック中　・フォーマット中

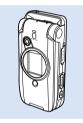
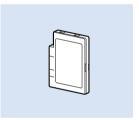
【撮影・画像送信について】
メール添付を利用して撮影・画像送信を行う際は、著作権等の知的財産権、肖像権、プライバシー権等の他人の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、これらの他人の権利を侵害する行為、メール添付を利用した迷惑行為や公序良俗に反する画像の撮影・画像送信行為等は法令等により罰せられる場合や損害賠償請求を受ける場合がございます。

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

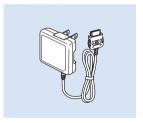
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

お買い上げ品の確認について

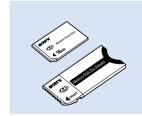
FOMA端末をお買い上げいただいたときの標準的なセットは、以下のとおりです。以下のものがそろっていることをお確かめのうえ、動作することを確認してください。

FOMA D900i

電池パック

ACアダプタ

卓上ホルダ

取扱説明書「基本編」（本書）
取扱説明書「アプリケーション編」
FOMA D900i用 CD-ROM

“メモリースティック Duo”、
メモリースティック Duoアダプタ

試供品

オプション品

- キャリングケース D02
- DCアダプタ D01
- ステレオイヤホンセット P001
- 車内ホルダ D01
- 電池パック D02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02
- イヤホンターミナル P001
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- データ通信アダプタ D01
- スイッチ付イヤホンマイク P001／P002
- 平型AV出力ケーブル P01

※スイッチ付イヤホンマイク、ステレオイヤホンセット、イヤホンターミナルは、イヤホンジャック変換アダプタを接続しないとご利用になれません。

はじめに

各部の名称と機能

赤外線ポート

赤外線通信を行うときに相手側の赤外線ポートと向かい合わせます。[☛アプリP270]

受話口

相手の声がここから聞こえます。

メインディスプレイ

電話番号やFOMA端末の状態を表すアイコンなどが表示されます。[☛P28]

カメラ

テレビ電話や、静止画、動画の撮影のときなどに使います。

◯ ◎ ◯（イージーセレクタープラス）

- 場面ごとにいろいろなはたらきをするボタンです。[☛P27]
- 右ボタン（◯）を1秒以上押すとオールロックを設定します。[☛P167]
- 着信時に左ボタン（◯）を押すとクイック伝言メモを起動します。[☛P69]
- 左ボタン（◯）を1秒以上押すと外部ボタン操作を無効にします。[☛P172]

TASKボタン

- 通話中や操作中に他の機能を実行します。
- マルチアクセス、マルチタスク中に画面を切り替えます。

電源／終了ボタン

- 電源を入れるときや切るときに1秒以上押します。[☛P42]
- 電話を切るときに押します。[☛P48]

クリア／ｉアプリ待受画面ボタン

- 入力した電話番号や文字を消去します。
- ｉアプリ待受画面からｉアプリの実行画面を表示します。[☛アプリP76]

0 〜 9 * # ダイヤルボタン

- 電話番号や文字を入力します。[☛P48、231]
- * を1秒以上押すとマナーモードを設定します。[☛P118]
- # を1秒以上押すとドライブモードを設定します。[☛P62]

送話口

自分の声をここから伝えます。
通話時に手でおおわないようにご注意ください。

開始ボタン

電話をかけるときに押します。[☛P48]

メールボタン

- メールメニューを表示します。[☛アプリP117]
- 1秒以上押すとｉモードメール作成画面を表示します。[☛アプリP118]

サイズ：幅 49 × 高さ106 × 厚さ 27（mm）（折りたたみ時）　質量：約124（g）（電池パック装着時）

アンテナ部（アンテナ内蔵）

よりよい条件で電話を利用するためには、アンテナ部を手でおおわないようにしてお使いください。

スピーカ

着信音などが鳴ります。

インスピレーションウィンドウ（サブディスプレイ）

時刻やFOMA端末の状態を表すアイコンなどが表示されます。カメラで撮影した静止画やｉモードで取り込んだ画像なども表示できます。[☛P30、149]
着信時などには照明が点灯します。

リアボタン

インスピレーションウィンドウの表示の切替えなどに使用します。[☛P26]
着信時やメール受信時に点滅します。充電中は赤色に点灯します。

充電端子

卓上ホルダを使用して充電するときの端子です。

“メモリースティックDuo”挿入口

外部接続端子

ACアダプタまたは別売のDCアダプタなどを、外部接続端子キャップを開いて接続します。

外部接続端子キャップ

コンパクトライト

カメラ撮影時に点灯できます。

リアカバー・電池パック

FOMA端末の背面に電池パックを取り付け、リアカバーを閉じます。

カメラ

テレビ電話や、静止画、動画の撮影のときなどに使います。

ストラップ取付け穴

接写切替スイッチ

通常撮影と接写を切り替えます。
[☛アプリP198]

サイドボタンA　**サイドボタンB**

サイドボタンA、Bを押して、画面単位で表示を切り替えます。また、静止画・動画撮影時などに使います。[☛P26]

サイドボタンC

シャッターボタンや動画の録画ボタンなどに使います。[☛P26]

イヤホンマイク端子／AV端子

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や平型AV出力ケーブルなどを接続します。イヤホンジャック変換アダプタを接続すれば、従来のスイッチ付イヤホンマイクなども利用できます。[☛P189]
平型AV出力ケーブルをつなげると、カメラで撮影した動画や静止画をテレビに映すことができます。AVケーブルは、指定の平型AV出力ケーブルP01（別売）以外は使用しないでください。

イヤホンマイクの接続方法

おしらせ

● 文字入力中の各種ボタンの機能については [☛P231]

リアボタン、サイドボタンでできる主な操作

○：実行可 ×：実行不可

機　能		操　作	開	閉	FOMA端末の状態
カメラ／バーコードリーダー	静止画撮影の開始	◀ZOOM▶を1秒以上押します。	○	○	待受中
	シャッターを切る	◉(サイドC)を押します。	○	○	静止画撮影中
	動画撮影の開始	◀ZOOM▶を1秒以上押します。	○	○	待受中
	録画開始・終了	◉(サイドC)を押します。	○	○	動画撮影中
	ズーム	倍率を上げるには◀ZOOM▶を押し、下げるには◀ZOOM▶を押します。(注1)	○	○	静止画・動画撮影中
	設定状況の表示	○(リアボタン)を押します。	×	○	静止画・動画撮影中
	静止画・動画撮影の終了	○(リアボタン)を1秒以上押します。	○	○	静止画・動画撮影中
	バーコードリーダーの開始	◉(サイドC)を1秒以上押します。(注2)	○	○	待受中
	コード読取り開始／中止	◉(サイドC)を押します。	○	○	バーコードリーダー起動中
	コードの切替え	○(リアボタン)を押します。	○	○	バーコードリーダー起動中
	バーコードリーダーの終了	○(リアボタン)を1秒以上押します。	○	○	バーコードリーダー起動中
音	着信音量の調節	音量を上げるときは◀ZOOM▶、下げるときは◀ZOOM▶を押します。	○	○	着信中
	受話音量の調節	音量を上げるときは◀ZOOM▶、下げるときは◀ZOOM▶を押します。	○	○	通話中
	アラーム音・メール着信音などの停止	○(リアボタン)、◀ZOOM▶、◉(サイドC)のいずれかを押します。	○	○	アラーム音、メール着信音など鳴動中
音声メモ	クイック伝言メモ	○(リアボタン)を1秒以上押します。	○	○	着信中
	待受中音声メモ録音の開始	○(リアボタン)を押します。	○	×	待受中
	発信中録音の開始	○(リアボタン)を押します。	○	○	発信中、呼出中
	通話中音声メモ録音の開始	○(リアボタン)を押します。	○	○	通話中
	音声メモ録音の停止	○(リアボタン)を押します。	○	○	録音中
テレビ電話	LCD切替	○(リアボタン)を押します。	○	×	テレビ電話通話中
	動画メモの撮影開始・停止	◉(サイドC)を押します。	○	×	動画メモ起動中(注3)
	静止画メモの撮影	◉(サイドC)を押します。	○	×	静止画メモ起動中(注3)
その他	文字のコピー・貼付け	◀ZOOM▶を押すとコピー、◀ZOOM▶を押すと貼付けを行います。	○	×	文字入力画面表示中
	音声メモプレーヤーの起動	◉(サイドC)を押します。	○	×	待受中
	表示範囲の変更	◀ZOOM▶を押すと画面単位で上に移動し、◀ZOOM▶を押すと画面単位で下に移動します。1秒以上押すとオートスクロールします。	○	×	メモリダイヤル検索結果画面など(注4)
	応答保留の開始・解除	◉(サイドC)を1秒以上押します。	○	○	着信中、応答保留中
	マナーモードの設定・解除	○(リアボタン)を1秒以上押します。	○	○	待受中
	iモード問合せ	◉(サイドC)を1秒以上押します。(注2)	○	○	待受中
	インスピレーションウィンドウの操作	○(リアボタン)を押すと、バックライト消灯時と非表示モード時は点灯します。バックライト点灯時は表示切替します。	×	○	待受中
	メモリースティックメニューの表示	◀ZOOM▶を押します。	○	×	待受中

※開：FOMA端末を開いているとき、閉：FOMA端末を折りたたんでいるとき

（注1）ズームの可／不可や倍率は、静止画や動画や、撮影サイズなどによって異なります。

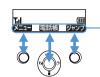
（注2）サイドボタン機能切替の設定により実行される機能が異なります。[☛P185]

（注3）LCD切替でインスピレーションに切り替えている場合は操作できません。

（注4）背面画面設定で画像を選んでいるときは、FOMA端末を折りたたんでいても操作できます。

イージーセレクタープラスの使いかた

イージーセレクタープラスの左（◯）、中央（◉）、右（◯）を押すことで、それぞれに対応したガイド行の操作を実行できます。

例 待受画面表示中のとき

左（◯）を押すと、メインメニューが表示されます。
中央（◉）を押すと、電話帳の検索画面が表示されます。
右（◯）を押すと、ジャンプメニューが表示されます。

◎ は、上下左右に押せます。

上下左右のいずれの方向にも操作できる場合

- ガイド行に表示される ▲▼◀▶ は、そのとき有効な ◎ の操作方向を示しています。例えば、項目を選択する画面では、◎ を押して選択中の項目を切り替えられます。また、サイト表示中やメール表示中などは、◎ で表示範囲を上下に移動し、◎ で前後のページやメールに切り替えられます。◎ を押し続けると、項目や表示範囲が連続して切り替わります（オートスクロール）。
  - 複数の入力欄がある画面では、◎ で入力欄を選びます。（選ばれている入力欄は太枠になります。）
  - 音量やコントラストを調節するときは、◎ で設定を選びます。
  - 日付や時刻などを入力するときは、◎ で数値を増減できます。
  - 文字入力中は、◎ でカーソルを移動します。
  - メインメニューからメニュー項目を選ぶときは、◎ でメニュー項目を選びます。メニュー項目を決定するときは ◉（選択）を押します。［☛P31］
- ◎ を押すとカメラメニューが表示されます。1秒以上押すと静止画撮影を開始できます。
- ◎ を押すとｉモードメニュー、1秒以上押すとｉMenuが表示されます。
- ◎ を押すと着信履歴一覧が表示されます。
- ◎ を押すとリダイヤル一覧が表示されます。

取扱説明書での表記のしかた

- 各ボタンに割り当てられている操作を以下のように表記します。
  （例）◯（メニュー）を押す… ◯ に メニュー が割り当てられているとき
- イージーセレクタープラス（◎）の操作を以下のように表記します。
  - ◉ …中央のボタンを押す
  - ◎ ／ ◎ …上を押す／下を押す
  - ◎ …上か下を押す
  - ◎ ／ ◎ …左を押す／右を押す
  - ◎ …左か右を押す
  - ◎ …上下左右のいずれかを押す
- リアボタン、サイドボタンの操作を以下のように表記します。
  - ◯（リアボタン）…リアボタンを押す
  - ⊙（サイドC）…サイドボタンCを押す
  - ◀ZOOM▶ …サイドボタンAを押す
  - ◀ZOOM▶ …サイドボタンBを押す
  - ◀ZOOM▶ …サイドボタンAまたはBを押す

おしらせ

- **サイト表示中は、サイトの作りかたによって、ガイド行の表示が異なることがあります。**

ディスプレイの見かた

不在着信アイコン [☛P64]

2 伝言メモなし(注)
2 伝言メモあり(注)
2 テレビ伝言メモあり(注)

留守番電話アイコン [☛P203]

2 留守番電話サービスの、新しい伝言メッセージあり(注)

(注)数字は件数

各種モードのアイコン

着信音量レベル0 [☛P136]
ドライブモードとマナーモードを同時に設定中
ドライブモード中 [☛P62]
マナーモード中 [☛P118]
バイブレーター設定中 [☛P121]

ドライブモード、マナーモードとバイブレーターを組み合わせて設定した場合は、機能の優先度と同様に、アイコンも 、 または が優先して表示されます。

メモ録音アイコン [☛P65]

伝言メモ設定中(録音なし)
5 伝言メモ、音声メモあり
(数字は合計録音件数)(注1)
F 録音件数または時間がいっぱい(注1)
(注1)伝言メモ設定時は水色、未設定時はグレーのアイコンになります。

テレビ電話伝言メモアイコン [☛P65]

伝言メモ設定中やテレビ電話伝言メモまたは動画メモあり(注2)
F 録画件数またはメモリがいっぱい(注2)
(注2)伝言メモ設定時は黒色、未設定時はグレーのアイコンになります。

08/26[木]
10:00am
メニュー 電話帳 ジャンプ

※取扱説明書の待受画面の背景は、架空のものです。待受画面の背景はお好みの画像に変更できます。[☛P144]

ガイド行

イージーセレクタープラス(◯ ◉ ◯)で実行できる操作が表示されます。[☛P27]

受信レベル表示、圏外表示、通信中表示など

電波の強さ(受信レベル)
:強 :中 :弱
圏外 サービスエリア外か、電波が弱くて通話(通信)できないとき
音声通話中 テレビ電話通話中
32K 64K テレビ電話の通信速度(32K/64K)
self セルフモード中 [☛P171]

その他の通信状態 [☛アプリP10]

iモード中
パケット通信中
64Kデータ通信中
iモードと音声通話のマルチアクセス中
パケット通信と音声通話のマルチアクセス中
赤外線通信中
“メモリースティック Duo”とのデータコピー中など
データリンクソフトでデータ転送中

メールアイコン

メールの受信状況 [☛アプリP11]

新着メール・メッセージR/Fアイコン

新着メール、メッセージR/Fあり [☛アプリP10]

メッセージR/Fアイコン

メッセージR/Fの受信状況 [☛アプリP11]

PIMロックアイコン、FOMAカードSMSフルアイコン

PIMロック中 [☛P168]

FOMAカードにショートメッセージ（SMS）フル [☛アプリP10]

アラームアイコン、スケジュールアイコン

アラーム設定中 [☛P176]

スヌーズ待機中

当日のスケジュールあり [☛P177]

電池残量アイコン

電池残量が十分あり

少なくなっている

ほとんど残ってない
充電してください。[☛P39]

正常に充電できないときは充電中に次のアイコンが表示されることがあります。[☛P40]

充電停止中（適正な周囲温度（5～35℃）にないため）

充電異常

ｉアプリ待受画面アイコン

ｉアプリ待受画面の表示中 [☛アプリP10]

タスクアイコン [☛P197]

1機能実行中　複数機能実行中

ｉアプリアイコン [☛アプリP10]

ｉアプリ実行中

赤外線リモコン通信中

SSLアイコン

SSLページ表示中 [☛アプリP10]

外部機器接続中アイコン

外部機器の接続状況[☛アプリP10]

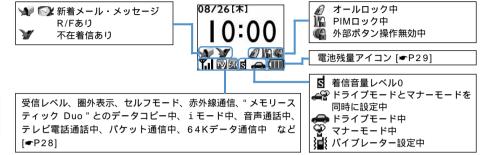
他機能動作中受信アイコン

他の機能の動作中にメール、メッセージR/Fの受信あり [☛アプリP10]

おしらせ

- D900iのメインディスプレイとインスピレーションウィンドウは、非常に高度な技術を駆使して作られており、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合がありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- メインディスプレイの特性により、表示される画像によっては横線や影などが見えることがあります。
- 本書の説明用画面は、実際の画面と色や明るさなどが異なる場合があります。また、表示を見やすくするため背景色を省いている画面があります。ご了承ください。
- 待受画面に動画／ｉモーションなどを設定したときは、アイコンによっては再生が終了するまで表示されないものもあります。

インスピレーションウィンドウの見かた

FOMA端末を折りたたんでいるとき、インスピレーションウィンドウには時計やFOMA端末の状態が表示されます。時計やアイコンが表示中にリアボタンを押すと、時計やアイコンの表示／非表示を切り替えられます。

※時計やアイコンを非表示にしたときは、通話中もアイコンなどは表示されません。

省電力設定を「非表示モード」に設定しているとき

待受中にFOMA端末を折りたたんだ状態で何も操作せずに約1分が経過すると、インスピレーションウィンドウの表示が消えます。［☛P150］

いろいろな表示について

以下のような場合は、インスピレーションウィンドウにFOMA端末の状態が表示されます。

区　分	状　態
音声通話	・発信中　・呼出中　・通話中　・着信中　・応答保留中 ・通話中保留中　・伝言メモ応答中　・伝言メモ録音中　　など
テレビ電話	・発信中　・呼出中　・接続中　・通話中　・着信中　・応答保留中 ・通話中保留中　・伝言メモ準備中　・伝言メモ応答中 ・伝言メモ録画中　・切断中　　など
メール メッセージR/F	・受信中　・メール送信中　・送信失敗時　　など
パケット通信 64Kデータ通信	・通信中　・着信中　・接続中　・切断中
その他	・コントラスト調節中　・アラーム時刻になったとき ・待受中音声メモ録音中　・電池切れ　・メモリ不足　・高温中 ・ソフトウェア更新中

（例）メール受信中

（例）コントラスト調節中

おしらせ

- **液晶の特性上、インスピレーションウィンドウに表示している画像の表示を変えた直後に、それまでの画像が残って見える場合がありますが、時間がたつと消えます。故障ではありません。**
- **インスピレーションウィンドウの時計や背景の画像を変更できます。［☛P149］**
- **インスピレーションウィンドウが見えにくいときはコントラストを調節できます。［☛P156］**
- **インスピレーションウィンドウの照明のしかたを変更できます。［☛P157］**

メニューについて

FOMA端末ではさまざまな機能をメニューから選択して実行できます。

メニューから機能を選択する

例 メニューから「音量調節」を選択するとき

1 ◎（メニュー）を押す

メインメニューが表示されます。
- メインメニューは約3分間操作しないと自動的に消え、待受画面に戻ります。
- 選ばれているアイコンはアニメーション表示されます。その後アイコンメニュー説明が表示されます。アイコンメニュー説明は表示されないようにも設定できます。[☛P32]

「でんわ」が選ばれています。

2 ◎でメニュー項目を選び、◉（選択）を押す

ここでは◎で「設定」を選び◉（選択）を押すと、設定のメニューが表示されます。

3 ◎でメニュー項目を選び◉（選択）を押す

音・バイブレーターのメニューが表示されます。

4 ◎でメニュー項目を選び◉（選択）を押す

音の項目の選択画面が表示されます。

5 ◎で設定項目を選び◉（選択）を押す

音量調節の画面が表示されます。
- 設定項目の番号をダイヤルボタンで押しても選択できます。

アイコンメニュー説明の表示／非表示を設定する

- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「アイコンメニュー説明ON／OFF」を選択する**

2 **「1.ON」または「2.OFF」を選び ◉（選択）を押す**

表示／非表示が設定されます。

メニュー選択後に操作を中止するには

●1つ前の画面に戻すときは、◯（戻る）または クリア を押します。

（例）

- ◯（戻る）はガイド行に 戻る が表示されている画面でだけ使用できます。

●待受画面に戻すときは、◯（戻る）を1秒以上押します。

（例）

●各種設定画面や受信メールボックスなどで PWR を押すと1つ前のメニュー画面に戻ります。メニュー画面で PWR を押すと待受画面に戻ります。（PWR を1秒以上押すと電源が切れますのでご注意ください。）

●文字を編集したときや設定を変更したときに、登録前や設定前に PWR を押すと「終了しますか？」という問合せ画面が表示されます。作業内容を保存せずにメニュー画面や待受画面に戻す場合は、「はい」を選び ◉（選択）を押します。

●登録前や設定前に ◯（戻る）を1秒以上押したときは問合せ画面は表示されずに操作が中止されます。（設定内容は保存されません。）

画面単位で表示を切り替えるには

メニューや電話帳の登録画面、アイコン一覧などで、項目が1画面に表示しきれないときは、◀ZOOM▶ を押すと画面単位で表示範囲を切り替えられます。（画面単位のスクロール）

（例）

画面単位で下に移動

画面単位で上に移動

●◀ZOOM▶ を押し続けると、表示範囲が連続して切り替わります。

おしらせ

●**ジャンプメニューによく使うメニュー項目を登録すると、操作を手早く呼び出して実行できます。**[☛P182]

サブメニューから機能を選択する

ガイド行に サブメニュー が表示される画面では、サブメニューから項目を選択して操作を実行できます。

例 着信履歴の一覧を三行表示から一行表示に切り替えるとき [☛P58]

1 着信履歴一覧で、◯（サブメニュー）を押す

サブメニューが表示されます。

選ばれている項目
実行できない項目（選択できません）
実行できる項目

2 ◎で「3.一行表示」を選び ◉（選択）を押す

一行表示に切り替わります。

- 項目の番号のダイヤルボタン（ここでは 3）を押しても、選択できます。
- 項目を選択せずにサブメニューを消すには、◯（閉じる）を押します。

おしらせ

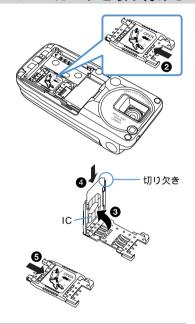
- **操作画面により実行できるサブメニューの内容が変わります。**

FOMAカードを使う

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されるカードです。
FOMA対応の端末に挿入して使用します。
- FOMAカードの詳しい取扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取付けかた／取外しかた

FOMA端末はFOMAカードを取り付けた状態で使用します。カードが取り付けられていないときは、まず、FOMAカードを取り付けてください。

FOMAカードを取り付ける

❶ **リアカバーを外し、電池パックを取り外す** [☛P38]

❷ **FOMAカードケースのふたを矢印の方向にスライドさせる**
ふたのロックが解除されます。

❸ **ふたを開く**

❹ **FOMAカードを図の向きで、ふたの内側の溝に沿って差し込む**

❺ **FOMAカードケースのふたを閉じ、❷と逆方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせてロックする**
（注）FOMAカードケースのふたがうまく閉じない場合は、FOMAカードの差込み位置を少し戻してください。

❻ **電池パックとリアカバーを取り付ける** [☛P38]

FOMAカードを取り外す

❶ **FOMAカードケースのふたを開く**
- 「FOMAカードを取り付ける」の❶～❸と同じです。

❷ **FOMAカードを引き抜く**

おしらせ
- ● FOMAカードの取付けや取外しは、電源を切ってから行ってください。
- ● FOMAカードを無理に取り付けようとすると、FOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- ● 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。

ふたが外れた場合

FOMAカードケースのふたが外れた場合は、手順に従って、正しくふたを取り付けてください。

❶FOMAカードケースのふたを、元の溝に垂直に差し込む

（注）FOMAカードと一緒にFOMAカードケースのふたが外れた場合は、一度FOMAカードを取り外してから❶の操作を行ってください。

FOMAカードの暗証番号

FOMAカードには、「PIN1コード」と「PIN2コード」という2つの暗証番号があります。

暗証番号	説　明
PIN1コード	第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐために、FOMAカードを端末に差し込むごとに、またはFOMA端末の電源を入れるごとに入力する4～8桁の暗証番号です。PIN1コードを入力することにより、電話の発信、着信や、各種通信機能の操作が可能になります。[☛P162]
PIN2コード	ユーザ証明書発行申請時および利用時に使う4～8桁の暗証番号です。[☛アプリP54、26]

- **お買い上げ時は、PIN1コードによるチェックは行わないように設定されており、PIN1コードを入力せずにFOMA端末を使用できます。チェックを行うように設定すると［☛P162］、電源を入れたときにPIN1コードの入力が必要になります。**

PINコードを変更するには

お買い上げ時はPIN1コード、PIN2コードとも「0000」に設定されています。独自の値に変更できます。[☛P163] なお、PIN1コード、PIN2コードの入力を3回誤ると自動的にロックされますので、設定した番号はメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
現在ご利用中のFOMAカードを、新しく購入されたFOMA端末に差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PINロック解除コードについて

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための番号です。お買い上げ時にお客様にお知らせします。PINロック解除コードを入力することにより、ロック状態を解除することができます。
PINロック解除コードの入力を10回誤ると自動的にロックされますので、PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。なお、PINロック解除コードを忘れた場合や、PINロックを解除できなくなった場合は、当社窓口にお問い合わせください。

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、データやファイルを保護するセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能があります。

- FOMA端末にFOMAカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定されます。
  - ・サイトやインターネットホームページから画像、メロディ、ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを取り込んだとき
  - ・ファイルが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを受信したとき
  - ・ｉモーションメールを受信したとき、ｉモーションメールから動画／ｉモーションを取得・保存したとき
  - ・ｉアプリから画像、メロディ、動画／ｉモーションを取り込んだとき
  - ・テレビ電話の静止画メモ、動画メモを保存したとき
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、表示／再生／編集／設定／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信／“メモリースティック Duo”へのコピーなどを実行することができます。
- データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、表示／再生／編集／設定／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信／“メモリースティック Duo”へのコピーなどを実行できなくなります。

※以降では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

お客様のFOMAカードが挿入されていないとき

お客様のFOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードを挿入したりすると、FOMAカード動作制限機能が設定された画像、メロディ、ｉモーション、キャラ電、ｉアプリは次のようになります。

- メニュー「マルチメディア」からファイルを表示、再生する場合、一覧画面に が表示され、表示／再生などの操作ができなくなります。画像や動画／ｉモーションのピクチャー一覧表示や詳細表示には、右の画像が表示されます。

- 受信メール、送信メール、メッセージR/F、画面メモの画像は表示されず、画像の位置に や が表示されます。また、メロディは再生できません。ｉモーションメールからの動画／ｉモーションの取得・再生もできません。
- お客様がダウンロードしたｉアプリは実行できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、画面や着信音などに設定できません。お客様のFOMAカード挿入時にデータやファイルを画面や着信音などに設定していた場合は、その設定は無効になり、お買い上げ時の設定で動作します。

  （例）FOMAカード動作制限機能が設定された「メロディA」を着信音に設定したとき
  FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたりしていると、お買い上げ時の設定に戻ります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、再び「メロディA」の着信音に戻ります。ただし、FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたりしているときに着信音の設定を変更した場合は、「メロディA」には戻りません。

  なお、お買い上げ時の設定以外に有効な設定があるときは、その設定で動作します。たとえば、ｉアプリ待受画面に設定したｉアプリがFOMAカード動作制限により利用不可となった場合は、待受画面設定の待受画像設定で設定した待受画面が表示されます。

おしらせ

- "メモリースティック Duo" からコピーしたり、赤外線通信機能やデータ転送を使って受信したデータやファイル、内蔵カメラで撮影した静止画／動画には、FOMAカード動作制限機能は設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたファイルやデータを移動したり削除することは可能です。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリやキャラ電は、サイトからダウンロードし直すと、FOMAカード動作制限機能の対象になります。

FOMAカードのバージョンについて

D900iで「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色）」と次のような機能の違いがありますのでご注意ください。

機　能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色）	参照先
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P100
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	アプリP54
WORLD WING	利用不可	利用可	ー

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応の海外用携帯電話（GSM方式）に差し替えることにより、海外でのご利用時も、日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。WORLD WINGのご利用にはお申込みが必要です。詳しくは、下記にお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

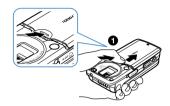
携帯・PHS OK **0120-800-000**

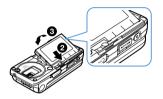
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

電池パックの取付けかた／取外しかた

- 電池パックの取付け／取外しは、必ず電源を切り、折りたたんだ状態で行ってください。
- カメラに触れないように注意してください。

電池パックを取り付ける

❶ **リアカバーを外す**

リアカバーの先端凹部に指をかけ、押さえながら矢印の方向にスライドさせて外します。

❷ **電池パックの端子を図のような角度で差し込む**

電池パックの端子を無理に差し込むと、本体のコネクタや電池パックの端子部を破損する恐れがあります。ご注意ください。

❸ **電池パックをはめ込む**

❹ **リアカバーをFOMA端末本体から約5mmずらして置く**

❺ **リアカバーをスライドさせる**

正しい手順で取り付けないと、リアカバーを破損させることがあります。

電池パックを取り外す

❶ **リアカバーを外す**

❷ **電池パックを取り外す**

電池パックの突起部分を持って取り外します。

FOMA端末のメインディスプレイとインスピレーションウィンドウはアクティブ液晶を使用しています。アクティブ液晶の特性上、電池パックの取付け／取外しの際、残像や横縞が数秒間表示されることがありますが、故障ではありません。

電池パックのリサイクルについて

この製品に使用されているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

● リサイクルの際、以下のことにご注意ください。

- 端子にテープなどを貼り、絶縁してください。
- 分解、改造をしないでください。

充電する

電池残量が少なくなった場合は、充電してください。

- **電池残量は、電池残量アイコンで確認します。**

08/26[木]
10:00am
メニュー 電話帳 ジャンプ

現在の電池残量

：電池残量は十分あります。
：少なくなっています。
：ほとんど残っていません。充電してください。

充電時間・電池使用時間の目安

充電時間	連続通話時間	連続待受時間
約120分	音声電話時　約170分 テレビ電話時　約90分	静止時　約550時間 移動時　約420時間

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とはFOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を折り畳み、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用などによっても、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

電池パックについて

- 電池パックD02をご使用ください。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回の使用時間が短くなっていきます。1回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命と考えてください。電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

充電の開始／終了とその他の留意事項

FOMA端末の電源は、切ってからでも入れたままでも充電できます。ただし、電源を入れたままで充電した場合は、充電時間が長くなります。

- 充電を開始すると、リアボタンが赤く点灯します。
  電源を入れたままで充電を開始すると、充電確認音が鳴り、電池残量アイコンが点滅します。

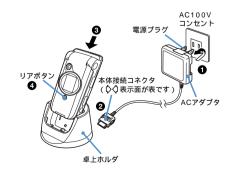
アイコン	リアボタン	意　味
（充電中：点滅 充電完了：点灯）	充電中：点灯（赤） 充電完了：消灯	正常に充電しています。
	消灯	温度待機中です。電池パックを保護するため、充電を停止しています。適正な周囲温度（5〜35℃）の場所で充電してください。
	点滅（赤）	充電異常です。電池パックを取り付け直すか、ACアダプタなどのコネクタがしっかり接続されているかどうかの確認などを行ってください。

  ・充電を開始してもリアボタンが赤く点灯しなかった場合や、赤で点滅している場合は、正常に充電できていません。再度充電を行っても正常に充電できない場合は、当社窓口にご連絡ください。[☛P270]
  ・充電確認音は鳴らないように設定することもできます。[☛P143]
- 充電が完了すると、リアボタンが消灯します。
  電源を入れたままで充電したときは、充電確認音が鳴り、電池残量アイコンが点灯状態になります。（電池残量アイコンが点滅中は充電が完了していません。）
  ・充電確認音は鳴らないように設定することもできます。[☛P143]
- 電源を入れたまま長時間（1日以上）充電しないでください。充電が完了してもFOMA端末の電源が入っていると、電池残量が減少します。このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再度充電を行いますが、再充電の途中でFOMA端末を取り外した場合は、次のような状態になることがあります。
  ・電池残量が少ない　・電池警告音が鳴る　・短時間しか使えない
- 電池残量が十分にある場合は、ACアダプタやDCアダプタに接続しても充電しないことがあります。
- ACアダプタまたはDCアダプタを接続して、充電しながら長時間使用すると、温度待機中になる場合があります。

コンセントから充電する

折りたたんだ状態でも、開いた状態でも充電できます。

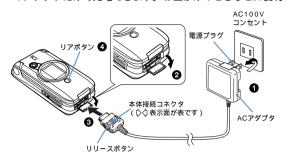
- 電池パック単体では充電できません。
- カメラに触れないように注意してください。

■卓上ホルダに差し込んで充電する場合

❶ACアダプタの電源プラグを起こし、AC 100Vコンセントに差し込む
❷卓上ホルダに本体接続コネクタを差し込む
❸FOMA端末を卓上ホルダに差し込む
❹充電の開始を確認する

充電が完了したらFOMA端末を卓上ホルダから取り出します。

- **外部接続端子キャップをきちんと閉じていないと充電できないことがあります。ご注意ください。**

■ ACアダプタだけで充電する場合

ACアダプタだけで充電できます。お出かけのときなどに便利です。

❶ ACアダプタの電源プラグを起こし、AC 100Vコンセントに差し込む

❷ FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く

❸ 本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む

❹ 充電の開始を確認する

充電が完了したら、本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、ACアダプタをコンセントから引き抜きます。次に端子キャップを閉じます。

おしらせ

● 詳しくは、ACアダプタと卓上ホルダの取扱説明書をご覧ください。

自動車の中で充電する

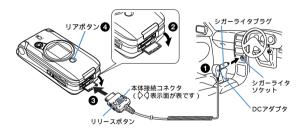
専用のDCアダプタ（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。マイナスアース車（12V車・24V車）で使用できます。

❶ DCアダプタのシガーライタプラグを自動車のシガーライタソケットに差し込む

❷ FOMA端末の電源を切り、外部接続端子の端子キャップを開く

❸ DCアダプタの本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む

❹ 充電の開始を確認する

充電が完了したら、DCアダプタの本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、シガーライタプラグをシガーライタソケットから引き抜きます。次に端子キャップを閉じます。

おしらせ

● 詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。
● 自動車のエンジンを切った状態で充電すると、車のバッテリーを消耗させることがあります。必ずエンジンをかけた状態で充電してください。
● 充電しない場合は、DCアダプタはシガーライタソケットから取り外してください。
● DCアダプタのヒューズ（DCアダプタ：125V/2A）は消耗品です。交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 FOMA端末を開き、PWRを1秒以上押す

アニメーション（ウェイクアップ表示）が表示されたあと、待受画面が表示されます。
- 押している時間が短いと電源が入りません。
- 設定により、PIN1コード入力画面が表示されることがあります。[☛P164]
- ウェイクアップ表示や待受画面は変更できます。[☛P152、144] 下の画面の背景は架空のものです。（お買い上げ時の設定とは異なります。）

- ドコモ以外の通信事業者と契約している場合は、サービスプロバイダ選択画面が表示されます。利用する通信事業者を選び ◉（選択）を押してください。
- 電源を入れた直後は、FOMAカードの情報を読込み中のため、一部の機能が使用できません。実行しようとするとFOMAカード読込み中のため使用できない旨が表示されます。しばらく待って操作し直してください。

電源を切る

1 PWRを1秒以上押す

アニメーションが表示されたあと画面の表示がすべて消えます。
- 押している時間が短いと電源が切れません。

高温警告画面が表示されたら

周囲温度が高い所で通話するなどして、FOMA端末の温度が高くなると高温警告画面が表示される場合があります。温度が下がるまでしばらくお待ちください。
- 通話中のときは、約20秒で通話が切れます。
- 待受中のときは、電話をかけることやメニューの選択などのFOMA端末の操作はできません。また、電話がかかってきても着信画面は表示されず、電話には出られません。
- FOMA端末の温度が下がると、通常どおり使用できます。

電池残量の確認のしかた

現在の電池残量を確認します。

1 FOMA端末の電源を入れる

電池残量アイコンが表示されます。

：電池残量は十分あります。

：少なくなっています。

：ほとんど残っていません。充電してください。

• 電源を入れる／切る [☛P42]

電池残量アイコン

インスピレーションウィンドウにも表示されます。

電池残量を音と表示で確認する

電池の残量を音と表示で確認できます。

- **電源を入れた直後などで、電池残量アイコンが表示されていないときは、電池残量は確認できません。**
- **電池残量の表示は目安です。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話時間・状況確認」▶「電池残量」を選択する

電池残量が表示されます。

十分残っている
（音：ピピッピピッピピッ）

少なくなっている
（音：ピピッピピッ）

ほとんど残っていない
（音：ピピッ）

充電してください。

おしらせ

- **電池切れになると、メインディスプレイやインスピレーションウィンドウに「充電して下さい」と表示され、アラーム音が鳴り、約1分後に電源が切れます。（PWR を押すとアラーム音は止まります。）通話中の場合はアラーム音が鳴り、約20秒後に通話が切れます。**
- **以下の場合は、電池残量確認音は鳴りません。**
  - **マナーモード中**
  - **ドライブモード中**
  - **ボタン確認音を「OFF」に設定しているとき**

自分の電話番号を確認する

自分のFOMAカードの電話番号を表示します。

1 待受中に、メニュー「でんわ」▶「自局番号」を選択する

- お買い上げ時は、メールアドレスは表示されません。
- 名前やメールアドレスなどを登録しておくと表示できます。[☛P181]
- 待受中に、◎(メニュー)を押してから 0 を押しても表示できます。

2 内容を確認し、◉(OK)を押す

お買い上げ時 0000/00/00［日］ーー：ーー

日付・時刻を合わせる

日付と時刻を設定します。設定しないと、以下の機能は利用できません。

- **待受画面（季節・カレンダー）****[☛P144]**
- **自動電源ON** **[☛P173]**
- **自動電源OFF** **[☛P174]**
- **アラーム時刻** **[☛P174]**
- **スケジュール** **[☛P177]**
- **ソフトウェア更新** **[☛P272]**
- **ｉアプリDXの実行** **[☛アプリP63]**
- **ｉアプリの自動起動設定** **[☛アプリP71]**
- **“メモリースティックDuo”の利用** **[☛アプリP280]**

また、日付・時刻を設定しないとリダイヤル、着信履歴、伝言メモ、カメラで撮影した静止画のタイトルや撮影時間などに、日時が表示されません。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「時計・時刻」▶「日付時刻設定」を選択する

2 日付・時刻を設定する

2004年1月1日〜2023年12月31日まで設定できます。日付を設定すると曜日は自動的に待受画面に表示されます。

時刻は24時間制で入力します（00：00〜23：59）。

①日付欄を選び ◉（選択）を押す

② 0 〜 9 で現在の年（西暦4桁）、月（2桁）、日（2桁）を入力し ◉（確定）を押す

③時刻欄を選び ◉（選択）を押す

④ 0 〜 9 で現在の時（2桁）、分（2桁）を入力し ◉（確定）を押す

- 月、日、時刻が1桁（1〜9）のときは前に0を付けます（01〜09）。
- ◎ で数字を増減できます。
- 間違えたときは ◎、〇（▷▷）、#、＊ のいずれかで反転表示を移動して設定し直します。

3 〇（設定）を押す

日付・時刻が設定され、入力した時・分の00秒から動き始めます。

おしらせ

- **設定した日付・時刻は電池パック交換時も保持されます。**
  ただし、長時間（約1ヵ月以上）電池パックを外していたり、電池残量が空の状態になっていたりすると、日付・時刻が表示されなくなります。その場合は、充電してからもう一度設定してください。
- **ソフトウェア更新を予約設定しているときは、日付・時刻の変更はできません。**

基本操作編

電話をかける

1 電話番号を入力する

- 電話番号について

一般電話にかけるとき	同一市内への通話でも必ず市外局番から入力してください。
携帯電話にかけるとき	090-XXXX-XXXX または 080-XXXX-XXXX
PHSにかけるとき	070-XXXX-XXXX

- 電話番号は80桁まで有効です。それ以上入力すると先頭桁から破棄されます。
- 電話番号を間違えたときは
  1桁ずつ修正するときは クリア を短く押します。
  全桁修正するときは、◯（戻る）を押すか、クリア を1秒以上押します。（待受画面に戻ります。）

2 ☎ を押す

表示されている電話番号に電話がかかります。受話口から「プッップッップッ…」という発信音のあと、呼出音が聞こえます。
- 電話帳に登録されている相手の場合は、名前が表示されます。

一度消えてから再表示され、点滅します。

■途中で電話をかけるのをやめる場合
PWR を押します。

■「ツーツー」という音（話中音）が聞こえる場合
相手が話し中です。PWR を押していったん電話を切り、しばらくたってからかけ直してください。一度かけた電話番号（リダイヤル）は簡単にかけ直せます。[☛P50]

■接続できないことを伝えるガイダンスが流れた場合
相手のFOMA端末、携帯電話またはPHSの電源が入っていないか、相手が電波の届かない場所にいます。

■発信者番号を通知してからかけ直してほしい旨のガイダンスが流れた場合
相手の方が番号通知をお願いする旨のサービスを設定しています。[☛P219]
発信者番号通知を設定するか、相手の電話番号の前に「186（✳31#）」を付けてからかけ直してください。[☛P217、52]

3 お話しが終わったら PWR を押す

通話時間が約5秒間表示され、待受画面に戻ります。
- 早く待受画面に戻すときは ◉（OK）を押します。

いろいろな電話のかけかた

■ **プレフィックス設定で登録されている番号を付けて電話をかけるには**

プレフィックス設定で電話番号の先頭に付ける番号（国際電話をかけるときの「009130010」など）を登録しているときは［☛P129］、簡単に電話をかけられます。

① 電話番号を入力する

② サブメニュー「8.プレフィックス選択」を選択する

③ 番号を選び ◎（選択）を押す

④ [発信] を押す

■ **サブアドレスを指定して電話をかけるには**

サブアドレス設定を「ON」に設定しているときは［☛P129］、サブアドレスを指定して電話をかけられます。

① 電話番号を入力する

② [*] を押す

③ サブアドレスを入力する

④ [発信] を押す

おしらせ

● よりよい条件で通話するためには、アンテナ部を手でおおわないようにしてお使いください。

● 操作1と2を逆にしても電話をかけられます。[発信] を押したあとで操作を中止するときは [PWR] を押します。

● 移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。デジタルの特性上、急に通話が途切れることがあります。また、電波が弱い状態の場合は、「圏外」表示が消えていても電話をかけられないことがあります。できるだけ電波状態がよい場所（室内なら窓の近くなど、受信レベルが Yıl の状態）で使用してください。

● FOMA端末を折りたたむことで通話を終了したり、保留にしたりできます。［☛P133］

● 音声通話中はテレビ電話をかけることはできません。

● 音声通話中にテレビ電話の着信があったときは［☛P76］

通話中に保留にする

• クローズ動作設定をあらかじめ「保留」にしておくと、通話中にFOMA端末を折りたたむことで、保留にできます。［☛P133］

• 保留中でも通話料がかかります。

• 電話を受ける前に保留にできます（応答保留）。［☛P62］

• 通話中保留中の音声着信またはテレビ電話着信は、着信履歴に不在着信として記憶されます。

1 通話中に、サブメニュー「1.通話相手保留」を選択する

• 相手に保留メッセージまたは保留メロディが流れます。変更するには［☛P132］

2 電話に出られる状態になったら、[発信] を押す

• エニーキーアンサー設定を「する」に設定している場合、[発信] 以外に、[メール]、[クリア]、[0]～[9]、[*]、[#] のいずれかを押しても電話に出られます。［☛P131］

前にかけた相手にかけ直す

FOMA端末は、以前にかけた電話番号をリダイヤル（発信履歴）として30件まで記憶しています。この番号を呼び出して、電話をかけたり、電話帳に登録したりできます。

• 履歴表示設定のリダイヤル表示を「OFF」に設定しているときは、リダイヤルは表示されません。

1 待受中または通話中に、◎ を押す

リダイヤル一覧が表示されます。

- 待受中にメニュー「でんわ」▶「リダイヤル」を選択しても表示できます。
- 電話帳に登録されている相手の場合は、名前が表示されます。

2 相手の電話番号を選び を押す

選択した電話番号に電話がかかります。

受話口からは「プッププッ…」という発信音のあと、呼出音が聞こえます。

- ◎ を押すと新しい順に、◎ を押すと古い順に表示されます。
- テレビ電話をかけるときは ◉（TV）を押します。

3 お話しが終わったら PWR を押す

通話時間が約5秒間表示され、待受画面に戻ります。

リダイヤル一覧の見かた

リダイヤル一覧は、三行表示と一行表示の2つの形式で表示できます。三行表示のときは、発信日時や電話番号などが表示されます。一行表示のときは電話番号または名前だけが表示されます。

三行表示

番号／全数

- 名前
- 発信日時
- 相手の電話番号

：発番号通知　：音声電話

：発番号非通知　TV：テレビ電話

一行表示

名前、相手の電話番号のどちらか

●三行表示から一行表示に切り替えるには、サブメニュー「2.一行表示」を選択します。三行表示に戻すには、サブメニュー「2.三行表示」を選択します。

●以下の場合は、電話帳に登録されていても名前は表示されません。

- シークレットメモリ登録されているとき
- PIMロック中
- 「186（＊31＃）」「184（＃31＃）」を含めて、電話帳に登録されている電話番号と完全に一致しないとき

●31件以上の電話番号に電話をかけた場合は、古いものから削除されます。

●同じ番号に何度もかけた場合、発信日時は最新の日時だけが記憶されます。

●日付・時刻を設定していないときは、発信日時は「00/00/00 00:00」と表示されます。

リダイヤルから電話帳に登録するには

① **リダイヤル一覧から電話番号を選び、サブメニュー「1.登録」を選択する**
登録先の電話帳を選択する画面が表示されます。

② **「1.本体電話帳」または「2.FOMAカード電話帳」を選び ◎（選択）を押す**
- 以降の操作：「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」操作2以降 [☛P94] または「FOMAカード電話帳に登録する」操作2以降 [☛P99]

おしらせ

- **最新のリダイヤルには、 を押してから ◎ を押しても電話をかけられます。**
- **電話がつながらなかった場合でも、リダイヤルに電話番号が残ります。**
- **PIMロック中に電話をかけたときやシークレットメモリ登録されている相手に電話をかけた場合も、リダイヤルに電話番号が残ります（名前は表示されません）。他人に知られたくないリダイヤルは削除してください。**
- **リダイヤル一覧からメールを作成できます。[☛アプリP133]**

[リダイヤル削除]

リダイヤルを削除する

1 リダイヤル一覧から電話番号を選び、サブメニュー「4.一件削除」を選択する

- クリア を1秒以上押しても削除できます。
- サブメニュー「5.全件削除」を選択するとリダイヤルをすべて削除できます。

2 「はい」を選び ◎（選択）を押す

リダイヤルが削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

- **ダイヤル発信制限またはPIMロックを設定すると、設定前のリダイヤルはすべて削除されます [☛P169、168]**

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

発信者番号通知［☛P217］の設定にかかわらず、1回の通話ごとに自分の電話番号を相手に知らせるか知らせないかを切り替えることができます。

• 国際電話では「186（＊31#）」（通知する）、「184（#31#）」（通知しない）は付けられません。

1 電話番号を入力する

電話番号が表示されます。

• リダイヤル・着信履歴に記録されている電話番号や、電話帳に登録されている電話番号に、通知／非通知を設定するときは、それぞれの画面で電話番号を選び、サブメニュー「付加情報発信」を選択します。
・サブメニューの番号は画面によって異なります。
・サイト、画面メモ、メール、メッセージR/FからのPhone toや、メールからの発信、ｉアプリからのPhone toでも同様に操作できます。「発信しますか？」の画面が表示されたら操作2に進みます。

2 サブメニュー「5. 発番号非通知」（通知しない）、「6. 発番号通知」（通知する）、「7. 通知非通知無」を選択する

設定が表示されます。

3 [発信]を押す

選択した条件で電話がかかります。

• テレビ電話をかけるときは[●]（TV）を押します。

「186（＊31#）」「184（#31#）」を付けてからダイヤルするには

① **以下のように入力する**

• 発信者番号を通知するとき
「[1][8][6]、電話番号」または「[＊][3][1][#]、電話番号」の順に押す

• 発信者番号を通知しないとき
「[1][8][4]、電話番号」または「[#][3][1][#]、電話番号」の順に押す

② **[発信]を押す**

• 操作①と②を逆にしても電話をかけられます。

おしらせ

● 発信者番号は、相手が携帯電話など、発信者番号表示が可能な場合にだけ通知されます。

● リダイヤルには、「186（＊31#）」「184（#31#）」を含めて電話帳に登録されている電話番号と完全に一致した場合に、電話帳に登録されている名前が表示されます。

● 電話帳に登録されている相手が「184（#31#）」を付けて電話をかけてきた場合、非通知理由が表示されます。［☛P128］

● 「186（＊31#）」「184（#31#）」を付けて登録した電話番号を電話帳から検索した場合も、通知／非通知を切り替えられます。

ポーズ機能

プッシュ信号を手早く送り出す

チケットの予約や自宅の留守番電話の再生、ドコモのポケットベル※へのメッセージの送信など、ガイダンスに従って行うダイヤル操作をあらかじめ電話帳に登録しておくと、ガイダンスを聞きながらプッシュ信号を送り出せます。

- **ポーズは、電話帳に電話番号を登録するときだけ入力できます。電話帳に登録せずに、ポーズ入りの番号に電話をかけることはできません。**

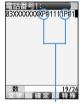
例 自宅の留守番電話の録音メッセージを再生するダイヤル操作を登録しておき、留守番電話の録音メッセージを再生するとき

自宅の電話番号	留守番電話の暗証番号	再生操作番号
03XXXXXXXX	#1111	#1

ダイヤル操作を電話帳に登録する

1 電話帳の登録画面で電話番号1欄～電話番号3欄のいずれかを選び ◉（選択）を押す

- 電話帳の登録方法 [☛P94、99]

2 「03XXXXXXXX ✉ # 1111 ✉ # 1」と入力する

ポーズは「P」と表示されます。

- ポーズ（停止）を入力するところで ✉ を押します。
- ポーズを含めて最大で26桁入力できます。
- ポーズは連続して入力できます。
- ポーズ1つにつき1回停止します。
- 末尾に入力したポーズは無効です。

3 ◉（確定）を押す

4 ◯（登録）を押す

おしらせ

- **受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。**

※ 2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

ダイヤル操作を実行する

1 電話帳またはリダイヤルからダイヤル操作を選ぶ

- 電話帳の検索方法 [☛P106]
- リダイヤルの表示方法 [☛P50]

2 を押し、受話口を耳に当てる

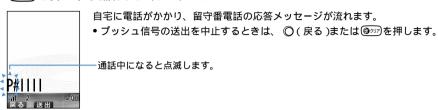
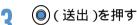
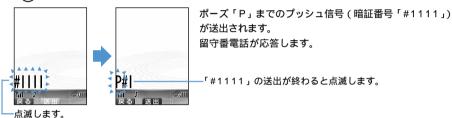
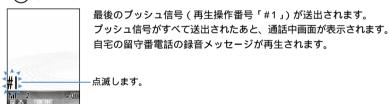
自宅に電話がかかり、留守番電話の応答メッセージが流れます。

- プッシュ信号の送出を中止するときは、◎（戻る）またはを押します。

3

（送出）を押す

ポーズ「P」までのプッシュ信号（暗証番号「#1111」）が送出されます。
留守番電話が応答します。

4 （送出）を押す

最後のプッシュ信号（再生操作番号「#1」）が送出されます。
プッシュ信号がすべて送出されたあと、通話中画面が表示されます。
自宅の留守番電話の録音メッセージが再生されます。

WORLD CALL

国際電話を利用する

「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

- 「WORLD CALL」は、FOMAサービスご契約のお客様はお申し込み不要でご利用いただけます。
- 通話先は世界約220の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月の携帯電話の料金と合わせてご請求いたします。
- 申込み手数料・月額使用料は無料です。
- WORLD CALLを利用された場合、直前の通話時間の概算がFOMA端末の画面で確認できます。[☛P135]

1 **0 0 9 1 3 0、0 1 0、国番号、市外局番、相手先電話番号、（発信キー）の順に押す**

- 上記の電話番号を電話帳に登録できます。
- 市外局番が「0」で始まる場合は「0」を除いてダイヤルしてください。（ただし、イタリアの一般電話等におかけになる場合は「0」が必要です。）

●海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様※1に対し、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。※2

※1 2004年3月現在、ハチソン3GHK（香港）及びハチソン3GUK（イギリス）と通信可能。

※2 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

※1※2 詳しくはドコモのホームページを参照ください。

簡単な操作で国際電話をかける

① 国番号、市外局番、相手先電話番号を入力する

② サブメニュー「8.プレフィックス選択」を選び（決定キー）（選択）を押す

③「1. 009130010」を選び（決定キー）（選択）を押す

- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、あらかじめプレフィックス設定で番号を設定しておくと、選択できます。

④ （発信キー）を押す

国際電話ダイヤル手順の変更

携帯電話等の移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話等から国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

電話を受ける

電話がかかってくると、着信音が鳴り、リアボタンが点滅します。

- **電話に出られなかったときは [☛P64]**

1 電話がかかってきたら、FOMA端末を開く

- 相手の発信者番号が通知された場合は、相手の電話番号が表示されます。通知されない場合は、その理由が表示されます。[☛P128]
- 電話帳に登録されている相手の場合は、名前が表示されます。
- マナーモード中は振動で知らせます。[☛P118]

2 [☎]を押して、電話に出る

- エニーキーアンサー設定を「する」に設定している場合、[☎]以外に、[✉]、[クリア]、[0]～[9]、[*]、[#]のいずれかを押しても電話に出られます（エニーキーアンサー機能）。[☛P131]

3 お話しが終わったら[PWR]を押す

通話時間が約5秒間表示され、待受画面に戻ります。

電話がかかってきたときのディスプレイの表示

●待受中に電話の着信があると、メインディスプレイとインスピレーションウィンドウ（折りたたみ時）に以下の優先順位で画像が表示されます。ただし、音声通話中またはテレビ電話通話中に第三者からの音声着信やテレビ電話の着信があったときは、着モーションを設定していても着モーションは表示されません。

優先順位	設　定	メインディスプレイ	インスピレーションウィンドウ
1	着モーション設定中	着モーション	FOMA内蔵の着信画像
2	フォトコール設定中	電話帳に登録してある画像	電話帳に登録してある画像
3	パートナー設定中	パートナー画像	FOMA内蔵の着信画像
4	上記の設定なし	FOMA内蔵の着信画像	FOMA内蔵の着信画像

●インスピレーションウィンドウ（折りたたみ時）に相手の電話番号と、電話帳に登録されている名前が表示されます。

- 発信者番号が通知されない場合は、その理由が表示されます。[☛P128]
- 電話番号や名前などが表示されないように設定できます。[☛P151]

●電話帳に設定した画像が表示されないように設定できます。[☛P148]

●PIMロック中またはかけてきた電話の相手がシークレット登録されている場合は、電話帳に登録されている名前や画像は表示されません。

電話に出られないときの応対について

着信中にサブメニューから以下の応対方法を選択できます。この場合でも着信履歴に記録されます。[☛P58]

サブメニュー	応対方法	参照先
1.応答保留	応答保留にします。	P62
2.留守番電話 (注1)	留守番電話サービスに接続します。	P203
3.転送でんわ (注2)	転送先に転送します。	P208
4.着信拒否	着信を拒否します。	—

（注1）留守番電話サービスのご契約が必要です。　（注2）転送でんわサービスのご契約が必要です。

通話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたときは

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンサービスのいずれかをご契約いただき、サービスを開始に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。ご契約の内容により以下の操作が可能です。

ご契約の内容	FOMA端末の動作	参照先
留守番電話サービス	留守番電話サービスセンターへ転送します。	P203
転送でんわサービス	転送登録先へ転送します。	P208
キャッチホンサービス	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に出られます。	P213

電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたときは

通話終了後、続けて電話帳へ登録するかどうかの問合せ画面が表示されます。
問合せ画面は約15秒間操作しないと自動的に消え、待受画面に戻ります。

約5秒経過または ◎（OK）

- 着信前に登録や設定をしていた場合は、登録後や設定後、待受画面に戻ったときに問合せ画面が表示されます。

● 電話番号を電話帳へ登録しないときは「いいえ」を選び ◎（選択）を押します。登録するときは以下の操作を行ってください。

①「はい」を選び ◎（選択）を押す

登録先の電話帳を選択する画面が表示されます。

②「1.本体電話帳」または「2.FOMAカード電話帳」を選び ◎（選択）を押す

- 以降の操作：「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」操作2以降 [☛P94] または「FOMAカード電話帳に登録する」操作2以降 [☛P99]

● パートナーアシスト設定で「電話帳」をOFFに設定しているときは問合せ画面は表示されません。[☛P160]

● 以下の場合は問合せ画面は表示されません。

- 相手に電話をかけたとき
- 相手の発信者番号が通知されなかったとき
- PIMロック中

おしらせ

- **よりよい条件で通話するためには、アンテナ部を手でおおわないようにしてお使いください。**
- **マナーモードやドライブモードを設定すると、着信音が鳴らなくなります。[☛P118、62]**
- **ビル電話やPBXなど、ダイヤル市外電話ができない電話機から、FOMA端末に電話はかけられません。**
- **移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。デジタルの特性上、急に通話が途切れることがあります。また、電波が弱い場合は、「圏外」表示が消えていても電話を受けられないことがあります。できるだけ電波状態がよい場所（室内なら窓の近くなど、受信レベル表示が Yıll の状態）で使用してください。**

着信履歴を利用する

FOMA端末は、かかってきた電話の日付・時刻、電話番号を着信履歴として30件まで記憶しています。着信履歴を呼び出して、電話をかけたり、電話帳に登録したりできます。

• 履歴表示設定の着信履歴表示を「OFF」に設定しているときは、着信履歴は表示されません。

例 電話をかけてきた相手に電話をかけるとき

1 待受中または通話中に、◎ を押す

着信履歴一覧が表示されます。
- 待受中にメニュー「でんわ」▶「着信履歴」を選択しても表示できます。
- 電話をかけてきた相手の発信者番号が通知されたときは、電話番号が表示されます。通知されなかったときは、その理由が表示されます。[☛P128]
- 相手の電話番号が電話帳に登録されている電話番号と一致する場合は、名前が表示されます。

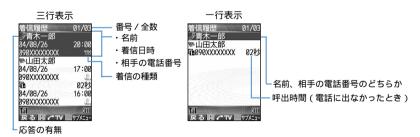
2 相手の電話番号を選び ☎ を押す

選択した電話番号に電話がかかります。
受話口からは「プップップッ…」という発信音のあと、呼出音が聞こえます。
- ◎ を押すと新しい順に、◎ を押すと古い順に表示されます。
- テレビ電話をかけるときは ◉（TV）を押します。

3 お話しが終わったら ☎ を押す

通話時間が約5秒間表示され、待受画面に戻ります。

着信履歴一覧の見かた

着信履歴一覧は、三行表示と一行表示の2つの形式で表示できます。三行表示のときは、着信日時や電話番号などが表示されます。一行表示のときは電話番号または名前だけが表示されます。

● 三行表示から一行表示に切り替えるには、サブメニュー「3.一行表示」を選択します。三行表示に戻すには、サブメニュー「3.三行表示」を選択します。

● 着信の種類はアイコンで確認できます。
　：音声着信　TV：テレビ電話着信　：64Kデータ通信
● 応答の有無はアイコンで確認できます。

通常着信	：電話に出たとき　：電話に出なかったとき ：伝言メモまたはテレビ電話伝言メモで応答したとき
無音着信	：電話に出なかったとき

- クイック伝言メモで応答したときは、通常着信、無音着信にかかわらず が表示されます。
- 無音着信時間設定を0秒以外に設定している場合に、電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきて、無音着信時間内に電話が切れたときは、着信履歴に無音着信として記憶されます。[☛P124]

● 以下の場合は、電話帳に登録されていても名前は表示されません。
- 相手の発信者番号が通知されなかったとき
- シークレットメモリ登録されているとき
- PIMロック中

● 呼出時間は、かかってきた電話に出なかったときに、電話が着信してから切れるまでの秒数が表示されます（最大表示秒数：99秒）。
● 31件以上の着信がある場合は、古いものから削除されます。
● 日付・時刻を設定していないときは、着信日時は「00/00/00 00:00」と表示されます。

着信履歴から電話帳に登録するには

発信者番号が通知されなかった着信履歴からは登録できません。

① 着信履歴一覧から電話番号を選び、サブメニュー「1.登録」を選択する

登録先の電話帳を選択する画面が表示されます。

②「1.本体電話帳」または「2.FOMAカード電話帳」を選び ◎（選択）を押す

- 以降の操作：「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」操作2以降 [☛P94] または「FOMAカード電話帳に登録する」操作2以降 [☛P99]

伝言メモの内容を再生するには

伝言メモまたはクイック伝言メモがある着信履歴には が表示されます。

① 着信履歴一覧から着信履歴を選び、サブメニュー「2.伝言メモ再生」を選択する

伝言メモが再生されます。

- 再生を止めるには◎（停止）を押します。

● 伝言メモを削除するには [☛P70]
● テレビ電話伝言メモを再生するには [☛P71]

おしらせ

● 最新の着信履歴には、 を押してから ◎ を押しても電話をかけられます。
● ダイヤル発信制限中は、着信履歴から電話はかけられません。
● ダイヤルインをご利用の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号と異なる番号が表示される場合があります。
● 着信履歴一覧からメールを作成できます。[☛アプリP133]

着信履歴を削除する

1 着信履歴一覧から電話番号を選び、サブメニュー「5.一件削除」を選択する

- （クリア）を1秒以上押しても削除できます。
- サブメニュー「6.全件削除」を選択すると着信履歴をすべて削除できます。

2 「はい」を選び ◎（選択）を押す

着信履歴が削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

- ダイヤル発信制限またはPIMロックを設定すると、設定前の着信履歴はすべて削除されます。[☛P169、168]

受話音量　　お買い上げ時 レベル4

通話中に相手の声の音量を調節する

受話口から聞こえる相手の声の大きさをレベル1～6の6段階に調節できます。
ここでは、通話中に調節する方法を説明します。
- 待受中に調節するには [☛P136]

1 通話中に、◎ を押す

2 ◎ で受話音量を選び、◎（設定）を押す

受話音量が設定されます。次回以降も設定した音量で通話できます。

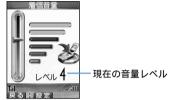
おしらせ

- 操作1、2で ◎ の代わりに ◀ZOOM▶ でも音量を調節できます。

着信中に着信音の音量を調節する

着信音量をレベル0～6の7段階に調節できます。
ここでは、電話がかかってきたときに調節する方法を説明します。

- **待受中に調節するには [☛P136]**
- **待受中はだんだん大きくしたり（Step Up）、小さくしたり（Step Down）する設定もできます。着信中はStep UpまたはStep Downには設定できません。**

1 着信中に、 を押す

2 で着信音量を選ぶ

調節した音量レベルで着信音が鳴ります。約2秒間操作しないと、着信音量が自動的に設定され、着信画面に戻ります。

- レベル0にすると着信音が鳴らなくなります。
- （設定）を押すと設定内容が保存され、次回以降も設定した音量レベルで着信音が鳴ります。
- を押すと、着信音量が設定され、電話に出られます。通話終了後、設定内容は、保存されます。

おしらせ

- **操作1、2で の代わりに ZOOM でも音量を調節できます。**
- **着信音量をレベル0にすると、電話がかかってきても着信音は鳴りません。メインディスプレイとインスピレーションウィンドウには S が表示されます。**

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

着信中の音声電話またはテレビ電話を保留にすることができます（応答保留）。
• 応答保留中でも、相手には通話料金がかかります。

例 音声着信の場合

1 着信中に、サブメニュー「1.応答保留」を選択する

「ピッピッピッ」という音が鳴り、応答保留になります。
- 音声着信のときは、相手には電話に出られない旨のガイダンスが流れます。
- テレビ電話のときは「TV電話応答保留」と表示されたあと「応答保留中」と表示されます。相手には「応答保留中」の文字を重ねた画像を送信します。
- 相手には保留メッセージが流れます。変更するには [☛P132]
- PWR を押すか (サイドC) を1秒以上押しても応答保留できます。
- 応答保留中に PWR を押すか、相手が切ると通話は切れます。

2 電話に出られる状態になったら、 を押す

- エニーキーアンサー設定を「する」に設定している場合、 以外に、 、クリア 、0 ～ 9 、＊ 、# のいずれかを押しても電話に出られます。[☛P131]
- テレビ電話の場合は ◉（TV）を押すと自画像送信でテレビ電話に出られます。 を押すか (サイドC) を1秒以上を押すと代替画像設定で設定した代替画像でテレビ電話に出られます。

おしらせ

- **留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用の場合は、音声電話着信中にサブメニュー「2.留守番電話」または「3.転送でんわ」を選択すると、留守番電話への切替えや電話の転送が行えます。テレビ電話着信中はサブメニュー「3.転送でんわ」を選択すると、電話の転送が行えます。**
- **クローズ動作を「切断」に設定していても、FOMA端末を折りたたんだときは、応答保留中の通話が終了しません。**
- **マナーモード中は、応答保留にしたときに「ピッピッピッ」という音は鳴りません。**
- **応答保留中の音声着信またはテレビ電話着信は、着信履歴に不在着信として記憶されます。**

ドライブモード　　お買い上げ時 解除

運転中に電話を受けないようにする

ドライブモードは、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードを設定すると、運転中のため電話に出られない旨のガイダンスが相手に流れ、電話が切れます。ドライブモードは、圏外でも設定、解除できます。

1 待受中に、# を1秒以上押す

ドライブモードが設定されます。
- マナーモードを同時に設定しているときは、ドライブモードの設定が優先されます（ が表示されます）。

ドライブモード中に表示されます。
インスピレーションウィンドウにも表示されます。

ドライブモードを設定すると

- 電話がかかってきても着信音は鳴らず、振動もしません。着信履歴に記録されます（不在着信アイコンは表示されます）。リアボタンは点滅しません。
- 電話をかけてきた相手には、運転中のため電話に出られないことを伝えるガイダンスが流れ、電話が切れます。ただし、電源が入っていないときや圏外時には、圏外時のガイダンスが流れます（ドライブモードのガイダンスは流れません）。
- メールなどを受信したときはメール着信音は鳴らず、振動もしません。FOMA端末を折りたたんでいるときは、インスピレーションウィンドウには、メッセージ受信中画面、メッセージ受信画面が表示されます。リアボタンは点滅しません。
- 着信音やボタン確認音、アラーム音などFOMA端末から鳴る音を消します。ただし、静止画撮影時、動画撮影時のシャッター音、セルフタイマー音を消すことはできません。音量も変更できません。
- 電話はかけられます。

ドライブモード中の動作について

ドコモのネットワークサービスの利用状況により、ドライブモード中の電話の応対方法は以下のようになります。

設定しているサービス	着信時の動作
留守番電話サービス（ご契約が必要です。）	電話がかかってきても着信音は鳴りません。着信履歴に記録されます。（不在着信アイコンが表示されます。） • 音声電話の場合は、相手にはドライブモードのガイダンスが流れ、留守番電話サービスに接続されます。※ • テレビ電話の場合は、相手にはドライブモード中であることを示すメッセージが画面に表示されます。（留守番電話センターには接続されません。）
転送でんわサービス（ご契約が必要です。）	電話がかかってきても着信音は鳴りません。着信履歴に記録されます。（不在着信アイコンが表示されます。） • 音声電話の場合は、相手にはドライブモードのガイダンスが流れ、かかってきた電話を転送します。※ • テレビ電話の場合は、転送先が音声電話のときは、相手には接続できなかったことを示すメッセージが画面に表示されます。転送先が3G-324M [☛P72] に準拠したテレビ電話のときは、かかってきた電話を転送します。
キャッチホンサービス（ご契約が必要です。）	電話がかかってきても着信音は鳴りません。着信履歴に記録されます。（不在着信アイコンが表示されます。） • 音声電話の場合は、相手にはドライブモードのガイダンスが流れます。 • テレビ電話の場合は、相手にはドライブモード中であることを示すメッセージが画面に表示されます。
迷惑電話ストップサービス（ご契約が必要です。）	電話がかかってきても着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。 • 音声電話の場合は、相手には着信拒否ガイダンスが流れます。 • テレビ電話の場合は、相手には接続できないことを示すメッセージが画面に表示されます。
番号通知お願いサービス	「非通知設定」の電話がかかってくると、着信音は鳴りません。 • 音声電話の場合は、着信履歴にも記録されません。相手に番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。 • テレビ電話の場合は、着信履歴に記録されます。（不在着信アイコンが表示されます。）相手にはドライブモード中であることを示すメッセージが画面に表示されます。

※サービスの呼出時間が0秒のときや、電源が入っていないとき、圏外時は、ドライブモードのガイダンスは流れません。

ドライブモードを解除する

1 待受中に、# を1秒以上押す

ドライブモードが解除されます。

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったときや、伝言メモで応答したときは、待受画面に不在着信アイコンが表示されます（クイック伝言メモを除く）。
不在着信アイコンが表示されているときは、着信履歴を表示して、電話をかけてきた相手を確認できます。

• 履歴表示設定の着信履歴表示を「OFF」に設定しているときは、着信履歴は表示されません。

08/26[木]
10:00am
メニュー 電話帳 ジャンプ

2 ：かかってきた電話に出られなかったとき（注）
伝2 ：伝言メモで応答したとき（注）
TV伝2 ：テレビ電話伝言メモで応答したとき（注）
（注）数字は件数

- 表示されるアイコンはいずれか1つです。伝言なし、伝言あり、テレビ電話伝言メモありの複数の着信があったときは、新しいほうの不在着信アイコンが表示されます。
- 件数には、着信履歴に記憶されている不在着信の件数が表示されます（最大30件）。すでに確認した不在着信の件数は含まれません。着信履歴が30件のときに電話がかかってきて、不在着信の履歴が削除されると、不在着信アイコンの件数も減ります。
- アイコンは以下のいずれかを行うまで表示されます。
  - ・着信履歴を表示する
  - ・音声メモプレーヤーを起動する（伝言メモありアイコンの場合）
  - ・テレビ電話伝言メモまたは動画メモを表示する（テレビ電話伝言メモありアイコンの場合）
  - ・伝言メモ・音声メモを全件削除する（伝言メモありアイコンの場合）
  - ・テレビ電話伝言メモを全件削除する（テレビ電話伝言メモありアイコンの場合）
- インスピレーションウィンドウには が表示されます。（伝言なし、伝言ありの区別はありません。件数は表示されません。）

1 不在着信があるときは、◎を押す

着信履歴が表示されます。

- 着信履歴から、電話をかけたり、伝言メモを再生できます。[☛P58、59]

電話に出られないときに用件を録音する

音声電話またはテレビ電話に出られないときに応答メッセージを流して相手の用件を録音または録画できます（伝言メモ機能）。

- **伝言メモ機能には、「伝言メモ」、「テレビ電話伝言メモ」、「クイック伝言メモ」があります。**
- **PIMロック中や通話中に着信したときは伝言メモの録音・録画・再生はできません。**

機　能	説　明
伝言メモ	伝言メモを設定しておくと、音声電話の着信時に応答メッセージを流したあと相手の用件を録音します。[☛P66]
テレビ電話伝言メモ	伝言メモを設定しておくと、テレビ電話の着信時に応答メッセージを流したあと相手から送られた映像と音声を保存します。[☛P66]
クイック伝言メモ	伝言メモを設定していなくても、着信中にワンタッチで応答メッセージを流し、相手の用件を録音または録画します。[☛P69]

- 伝言メモとクイック伝言メモ（音声電話のみ）、待受中音声メモ［☛P183］、通話中音声メモ［☛P184］の合計が最大約2分または最大10件まで録音できます。
- テレビ電話伝言メモの最大録画秒数は約1分です。
- 音声電話がかかってきた場合、すでに10件録音されているとき、または残りの録音可能時間が10秒未満のときは録音できません。かけてきた相手に応答メッセージも流れません。不要な伝言メモ・音声メモを削除してください。[☛P70] クイック伝言メモは、削除しなくても録音できます（古い伝言メモ・音声メモから上書きされます）。
- テレビ電話がかかってきた場合、最大保存件数を超えたときやメモリがいっぱいのときは伝言メモで録画できません。クイック伝言メモも録画できません。不要なテレビ電話伝言メモ・動画メモを削除してください。テレビ電話伝言メモ・動画メモがない場合は、他のデータを削除してマルチメディア用のメモリを空けてください。[☛アプリP258]
- テレビ電話伝言メモの最大保存件数 [☛アプリP13]

伝言メモと留守番電話サービス

伝言メモと留守番電話サービスには次の違いがあります。

項　目	伝言メモ	留守番電話サービス
録音件数・時間	最大10件、最大約2分（注1）	最大20件、各3分まで
伝言の保存期間	制限なし（注2）	最大72時間
伝言の保存場所	FOMA端末	留守番電話サービスセンター
伝言の再生可能な場所	圏内／圏外いずれも再生可能	圏内だけで再生可能
録音可能な場所・状況	電話を受ける側が圏内にいて、かつ電源が入っているときに録音可能	電話を受ける側が圏内／圏外いずれの場所にいても、また電源を切っていても録音可能

（注1）伝言メモと音声メモの合計録音件数と合計録音時間　（注2）電池パックを外した状態では約1ヶ月

おしらせ

● 電池パックを外した状態や、電池残量が空の状態でも約１ヶ月は録音内容を記憶していますが、それ以上経過すると録音内容が消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取扱いによって録音内容が消失する場合がありますので、内容を控えておくことをおすすめします。万一録音した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お買い上げ時 しない

伝言メモを設定する

音声電話またはテレビ電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を変更できます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「伝言メモ」▶「伝言メモ」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

伝言メモが設定されます。電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を変更できます。

- 解除するときは「2.しない」を選びます。
- 伝言メモ・音声メモが10件登録されているか、残りの録音可能時間が10秒未満の場合や録画件数またはメモリがいっぱいのときは、問合せ画面が表示されます。設定するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。

3 0 ～ 9 で設定時間を入力し ◉（設定）を押す

伝言メモ移行時間が設定されます。

- 0～120秒の間で設定できます。
- ◎ で数字を増減できます。
- 押し間違えたときは クリア を押して数字を消し、入力し直します。

留守番電話サービスや転送でんわサービスをご契約の場合は

● 音声電話がかかってきた場合は、留守番電話サービス［☛P203］や転送でんわサービス［☛P208］を伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモ移行時間を短く設定してください。ただし、すでにメモ録音が10件録音されているとき、または残りの録音可能時間が10秒未満のときは、時間の設定にかかわらず、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスに切り替わります。

お買い上げ時またはご契約時の設定時間	
伝言メモ移行時間	約8秒
留守番電話サービス呼出時間	約10秒
転送でんわサービス呼出時間	約7秒

● テレビ電話がかかってきた場合は、留守番電話サービスセンターに接続されません。転送でんわサービスと伝言メモを同時に設定しているときは、呼出時間が短い方が優先されます。待受画面に、F が表示されているとき［☛P67］は、時間の設定にかかわらず、転送でんわサービスに切り替わります。

おしらせ

● **オート着信機能設定を「する」に設定し、イヤホンを接続したとき、伝言メモとオート着信機能設定のうち、着信してから動作するまでの時間が短い方が優先されます（時間の長さが同じ場合は、オート着信機能設定が優先されます）。**

● **応答メッセージは変更できません。**

伝言メモを設定したときは

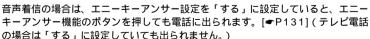
伝言メモの設定状況や、伝言メモ・音声メモの録音状況によって以下のアイコンが表示されます。

：伝言メモ設定中（伝言メモ・音声メモが録音されていないとき）
：伝言メモ・音声メモがあるとき（数字は、伝言メモ・音声メモの合計録音件数）(注1)
：すでに10件録音されているとき、または残りの録音可能時間が10秒未満のとき(注1)
：伝言メモ設定中や、テレビ電話伝言メモまたは動画メモがあるとき(注2)
：「マルチメディア」→「ｉモーション」→「4.TV電話画像」に動画が500件保存されているとき、またはメモリがいっぱいのとき(注2)
（注1）伝言メモ設定時は水色、未設定時はグレーのアイコンになります。
（注2）伝言メモ設定時は黒色、未設定時はグレーのアイコンになります。

電話がかかってくると

例 音声着信の場合

着信音が鳴ったあと、応答メッセージが相手に流れます。テレビ電話の場合は画像も送信されます。
- 応答メッセージが流れるまでの時間は変更できます。[☛P66]
- テレビ電話伝言メモの場合は、「TV電話伝言メモ準備中」と表示されたあとに、応答メッセージが再生されます。

応答メッセージが終わると、「ピー」と音が鳴り、相手の用件が録音されます。録音が終了すると、「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。
- テレビ電話のときは「TV電話伝言メモ録画中」と表示されます。相手には「伝言メモ」の文字を重ねた画像を送信します。
- 音声着信の場合、録音中は相手の声を受話口から聞くことができます。
- 応答メッセージ再生中や録音または録画中に ☎ を押すと電話に出られます。
テレビ電話の場合は ◎（TV）を押すと自画像送信でテレビ電話に出られます。☎ を押すと代替画像送信でテレビ電話に出られます。◎（TV）、☎ を押すまでに録画されていた映像は保存されます。
音声着信の場合は、エニーキーアンサー設定を「する」に設定していると、エニーキーアンサー機能のボタンを押しても電話に出られます。[☛P131]（テレビ電話の場合は「する」に設定していても出られません。）
- 音声着信の場合は、録音中に最大録音時間（合計約2分）を超えると自動的に終了します。テレビ電話の場合は、1回の録画で約1分を超える、またはメモリがいっぱいになると自動的に終了します。

不在着信アイコンが表示されます。[☛P64]

アイコンに、伝言メモの件数が表示されます。

着信音を鳴らさずに伝言メモを録音するには

● 伝言メモを「する」に設定し、以下のいずれかの設定を行ってください。
- 着信音量を「レベル0」に設定する
- 音の設定で着信音とTV電話着信音を「サイレント」に設定する
- 伝言メモ移行時間を0秒に設定する

● オリジナルマナーモードの伝言メモを「する」、着信音量を「レベル0」に設定し、マナーモードを設定すると、伝言メモを設定しなくても録音できます。

おしらせ

● 通話中に着信したときは利用できません。
● 電波の状態により録音内容が途切れる場合があります。
● 音声着信の場合、相手が用件を録音しているとき、相手の声が大きいと受話口から聞こえることがありますが、受話音量は調節できません。
● 伝言メモが録音できない状態で [icon] が表示されているとき、かかってきた電話にクイック伝言メモで応対すると、すでに録音されていた伝言メモが上書きされます。ただし、テレビ電話伝言メモが録音できない状態で [icon] が表示されているとき、かかってきた電話にはクイック伝言メモでは応対できません。
● ドライブモードを同時に設定している場合は、伝言メモは動作しません。
● クローズ動作を「切断」に設定していても、FOMA端末を折りたたんだときは、応答中の伝言メモは終了しません。
● 伝言メモ応答中の音声着信またはテレビ電話着信は、着信履歴に不在着信として記憶されます。

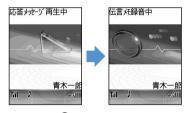
クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音する

着信中の音声電話またはテレビ電話にすぐに出られないとき、伝言メモを設定していなくてもワンタッチで応答メッセージを流し、相手の用件を録音できます。

- **テレビ電話の場合は相手の用件が録画できます。**
- **PIMロック中や通話中に着信したときは利用できません。**
- **音声電話の場合、1回の録音で約2分を超えると、電話は自動的に切れます。テレビ電話の場合は1回の録画で約1分を超えると、電話は自動的に切れます。**

例 音声着信の場合

1 着信中に、◎（伝言）を押す

電話をかけてきた相手に応答メッセージが流れたあと、「ピー」と音が鳴り、相手の用件が録音されます。録音が終了すると通話時間が表示され、待受画面に戻ります。

- 着信中に ◯（ﾘｱﾎﾞﾀﾝ）を1秒以上押しても録音できます。
- 録音中は相手の声を受話口から聞くことができます。
- 応答メッセージ再生中や録音中に ☎ を押すと電話に出られます。エニーキーアンサー設定を「する」に設定している場合、エニーキーアンサー機能のボタンを押しても電話に出られます。[☛P131]（テレビ電話の場合は「する」に設定していても出られません。）
- クイック伝言メモで応答した場合は、不在着信アイコンは表示されません。

■テレビ電話の場合

①**着信中に、◎（伝言）を押すか ◯（ﾘｱﾎﾞﾀﾝ）を1秒以上押す**

相手からの送信映像と音声が録画されます。

- 相手には「伝言メモ」の文字を重ねた画像を送信します。
- 録画中は「TV電話伝言メモ録画中」と表示されます。
- 伝言メモ録画中に ◉（TV）を押すと自画像送信でテレビ電話に出られます。☎ を押すと代替画像でテレビ電話に出られます。

おしらせ

- **音声電話の場合すでにメモ録音が10件録音されているとき、または残りの録音可能時間が10秒未満のときは、古いメモ録音から上書きされます。テレビ電話の場合、最大保存件数を超えたときやメモリがいっぱいのときは録画できません。**
- **電波の状態により録音内容が途切れる場合があります。**
- **音声着信の場合、相手が用件を録音しているとき、相手の声が大きいと受話口から聞こえることがありますが、受話音量は調節できません。**
- **クイック伝言メモは、着信のつど、◎（伝言）を押すことで用件を録音または録画できます。自動的に用件を録音するには伝言メモを設定してください。[☛P66]**
- **クローズ動作を「切断」に設定していても、FOMA端末を折りたたんだときは、応答中のクイック伝言メモは終了しません。**

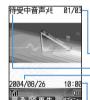
伝言メモ・音声メモを再生／削除する

［音声メモプレーヤー］

伝言メモ・音声メモを再生する

録音した伝言メモ・音声メモ（通話中音声メモ・待受中音声メモ）を再生します。

- **履歴表示設定の着信履歴表示を「OFF」に設定しているときは、音声メモプレーヤーに伝言メモの画面は表示されますが再生はできません。**
- **PIMロック中は利用できません。**

1 待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「音声メモプレーヤー」を選択する

最新の伝言メモ・音声メモの画面が表示されます。

- FOMA端末を開いているときに (サイドC) を押しても表示できます。

番号／全数

メモの種別

・伝言メモ　・通話中音声メモ　・待受中音声メモ

録音日付

メモ録音開始時刻

2 伝言メモ・音声メモを選び ◎（再生）を押す

再生されます。

- ◎ または ◎ を押すと新しい順に、◎ または ◎ を押すと古い順に表示されます。
- 再生を止めるには ◎（停止）を押します。

おしらせ

- **着信履歴からも伝言メモを再生できます。****［☞P59］**

伝言メモ・音声メモを削除する

1 待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「音声メモプレーヤー」を選択する

2 伝言メモ・音声メモを選び、サブメニュー「1.一件削除」を選択する

- (クリア) を1秒以上押しても削除できます。
- サブメニュー「2.全件削除」を選択すると、伝言メモ・音声メモをすべて削除できます。

3 「はい」を選び ◎（選択）を押す

伝言メモ・音声メモが削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

テレビ電話伝言メモを再生する

- PIMロック中は利用できません。

1 待受中に、メニュー「マルチメディア」▶「ｉモーション」を選択する

2 「4.TV電話画像」を選び ◉（選択）を押す

「4.TV電話画像」には、テレビ電話通話中の動画メモも保存されます。

3 フォルダを選び ◉（選択）を押す

ピクチャー一覧またはタイトル一覧が表示されます。[☛アプリP248]

- 選択したフォルダがシークレット設定されているときは、端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。

4 テレビ電話伝言メモを選び ◉（詳細）を押す

再生画面が表示されます。

- ◎ または ◎ を押すと次の動画、◎ または ◎ を押すと１つ前の動画を表示できます。

5 ◉（再生）を押す

動画が再生されます。

- 再生を止めるには ◎（■）を押します。（再生中にFOMA端末を折りたたんでも再生は止まりません。）
- ◎ で音量を調節できます。
- マナーモード中、ドライブモード中は問合せ画面が表示されます。音付きで再生するときは「はい」、音なしで再生するときは「いいえ」を選び ◉（選択）を押します。

おしらせ

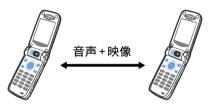
- テレビ電話伝言メモは再生、利用、保護、削除などが行えます。[☛アプリP246]

基本操作編

電話に出られないときの応対方法を設定する

テレビ電話について

FOMA端末のカメラを利用して、お互いの映像を見ながら通話できます。テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末同士でご利用いただけます。

- **ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。**
  ※3GPP（3rd Generation Partnership Project）
  第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。
  ※3G-324M
  第三世代携帯テレビ電話の国際規格。
- **テレビ電話の通信速度**
  64K：通信速度　64kbpsで通信します。
  32K：通信速度　32kbpsで通信します。

おしらせ

- **ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用することができます。****[☛P54]**

テレビ電話通話中の画面の見かた

親画面
子画面
通話時間

画像表示設定 [☛P90] によって表示は変わります。

■ **アイコンの意味**

送信画像種別	：自画像　：静止画　：キャラ電
アクションモード	：全体モード　：パーツモード
ダイヤル送出／アクション入力	：ダイヤル送出 ：アクション入力
静止画メモ・動画メモ	：静止画メモ撮影可能状態 ：動画メモ撮影可能状態
ハンズフリー	：ハンズフリーで通話中
テレビ電話	：テレビ電話通話中 ：64Kで通信中　：32Kで通信中

テレビ電話をかける

1 電話番号を入力する

- 音声電話での入力方法と同じです。[☛P48]
- 自画像の代わりに相手に送る画像を静止画またはキャラ電から選択できます。設定内容は保存されません。サブメニュー「3.代替画像選択」を選択すると、「1.イメージ」、「2.キャラ電」の選択画面が表示されます。（PIMロック中、「3.代替画像選択」は選択できません。）

■静止画を送信するとき

①「1.イメージ」を選び、◉（選択）を押す

- 以降の操作：「送信中の画像を静止画に切り替える」操作2以降 [☛P79]

■キャラ電を送信するとき

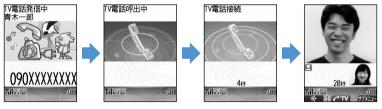
①「2.キャラ電」を選び、◉（選択）を押す

- 以降の操作：「キャラ電を切り替える」操作2 [☛P83]

- その他、サブメニューからテレビ電話に関する以下の操作が行えます。◯（サブメニュー）を押して機能を選び ◉（選択）を押します。

サブメニュー	説　明
2.自画像送信ON／2.自画像送信OFF	自画像を送信する／しないを選びます。
4.通信速度32K／4.通信速度64K	呼毎の通信速度を選びます。

2 ◉（TV）を押す

表示されている電話番号にテレビ電話がかかります。

- 「TV電話接続」と表示された時点から課金が始まります。
- テレビ電話通話中に、サブメニューから画面の表示方法などを切り替えることができます。[☛P78]

3 ◯（🔈）を押す

ハンズフリーがONに設定され、スピーカーから相手の声が聞こえます。

- ハンズフリーをOFFに戻すには、もう一度 ◯（🔈）を押します。（通話を終了するとハンズフリーはOFFに戻ります。）
- スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続すると、ハンズフリーの設定にかかわらず、スイッチ付イヤホンマイクから相手の声が聞こえます。
- ハンズフリーがOFFのときは、受話口から相手の声が聞こえます。
- 受話音量を調節するには ◎で音量を選び ◉（設定）を押します。操作方法は [☛P60]

4 お話しが終わったら （PWR）を押す

通話時間が約5秒間表示され、待受画面に戻ります。

- 早く待受画面に戻すときは ◉（OK）を押します。

テレビ電話が接続できなかったときの再発信順序

呼毎の通信速度設定(注)	音声自動再発信設定 [☛P89]	発信	再発信	
			1回め	2回め
64K	ON	64K	32K	音声
64K	OFF	64K	32K	なし

呼毎の通信速度設定(注)	音声自動再発信設定 [☛P89]	発信	再発信	
			1回め	2回め
32K	ON	32K	音声	なし
32K	OFF	32K	なし	なし

(注)サブメニューから設定できます。操作方法：「テレビ電話をかける」操作1 [☛P73]

● テレビ電話以外の電話機にテレビ電話をかけた場合や、相手が圏外や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話以外の電話機にかけた場合、音声自動再発信設定 [☛P89] を「ON」にしていると、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声通話で電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M [☛P72] に対応していないISDNのテレビ電話等にかけた場合（2004年5月現在)、間違い電話をかけた場合などは、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
● 32Kによるテレビ電話通信機能は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHSなどの機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kの通信環境であった場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。
※ 32Kで接続された場合も、64Kで接続したときのデジタル通信料と同じです。
● テレビ電話にいったん接続された場合、音声自動再発信は行われません。
● 音声で再発信したときにかかる通話料金はデジタル通信料ではなく、音声通話料になります。

おしらせ

● よりよい条件で通話するためには、アンテナ部を手でおおわないようにしてお使いください。
● ハンズフリーをONに設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に傷害を与えたりする可能性があります。
● テレビ電話で110番、119番、118番に電話をかけてもつながりません。音声自動再発信設定 [☛P89] を「ON」にしていると、音声電話で電話をかけ直されてつながります。
● テレビ電話通話中は、音声電話やテレビ電話をかけることや、ｉモードの利用、メールの送受信やショートメッセージ（SMS）の送信、メッセージR/Fの受信はできません。また、パケット通信、64Kデータ通信は行えません。（ただし、ショートメッセージ（SMS）の受信はできます。）
● テレビ電話による通話時間は、音声通話時間ではなくデジタル通信時間として加算表示されます。[☛P135]
● テレビ電話の利用時に、代替画像を使い音声だけで通話しても、音声通話料金ではなく、デジタル通信料がかかりますのでご注意ください。
● 移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。デジタルの特性上、急に通話が途切れることがあります。また、電波が弱い状態の場合は、「圏外」表示が消えていても電話をかけられないことがあります。できるだけ電波状態がよい場所（室内なら窓の近くなど、受信レベルが Yıl の状態）で使用してください。
● 通話中に電池切れになると、アラーム音が鳴り、約20秒後に電話が切れます。
● テレビ電話通話中に、電池が少なくなり「充電して下さい」と表示されているときも、相手には通話時の自画像または代替画像で通話が継続されます。
● テレビ電話がかからなかったときは、理由を示すメッセージが画面に表示されます。ただし、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。

画面の表示	理　由
番号をご確認の上おかけ直し下さい	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中です。
電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるかまたは電源を切っています。
ドライブモード中です	相手がドライブモード中です。
接続できませんでした	上記以外の理由のときに表示されます。

● テレビ電話の通信で音声や映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。もう一度テレビ電話をおかけ直しください。
● FOMA端末を折りたたむことで通話を終了したり、保留にすることができます。[☛P133]

テレビ電話を受ける

1 電話がかかってきたら、FOMA端末を開く

- テレビ電話がかかってきたときは、「TV電話着信中」と表示されます。
- 相手の発信者番号が通知された場合は、相手の電話番号が表示されます。通知されない場合は、その理由が表示されます。[☛P128]
- 電話帳に登録されている相手の場合は、名前が表示されます。
- マナーモード中は振動で知らせます。[☛P118]

2 ◉（TV）を押して、テレビ電話に出る

- 代替画像でテレビ電話を受けるときは☎を押します。
- エニーキーアンサー設定を「する」に設定していても、エニーキーアンサー機能のボタンではテレビ電話に出られません。◉（TV）を押すと自画像、☎を押すと代替画像で電話に出られます。（それ以外のボタンではテレビ電話に出られません。）
- テレビ電話通話中に、サブメニューから画面の表示方法などを切り替えることができます。[☛P78]

3 ◯（スピーカー）を押す

ハンズフリーがONに設定され、スピーカーから相手の声が聞こえます。

- ハンズフリーをOFFに戻すには、もう一度 ◯（スピーカー）を押します。（通話を終了するとハンズフリーはOFFに戻ります。）
- スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続すると、ハンズフリーの設定にかかわらず、スイッチ付イヤホンマイクから相手の声が聞こえます。
- ハンズフリーがOFFのときは、受話口から相手の声が聞こえます。
- 受話音量を調節するには◎で音量を選び◉（設定）を押します。操作方法は[☛P60]

4 お話しが終わったら☎PWRを押す

通話時間が約5秒間表示され、待受画面に戻ります。

- 早く待受画面に戻すときは◉（OK）を押します。
- 電話帳に登録されていない相手からテレビ電話がかかってきたときは[☛P57]

テレビ電話に出られないときの応対について

テレビ電話着信中にサブメニューから以下の応対方法を選択できます。

サブメニュー	応対方法	参照先
1.応答保留	応答保留にします。	P62
3.転送でんわ (注)	転送先に転送します。	P208
4.着信拒否	着信を拒否します。	—

（注）転送でんわサービスのご契約が必要です。

● かかってきたテレビ電話は着信履歴に記録されます。[☛P58]

テレビ電話がかかってきたときのディスプレイ表示

● 待受中にテレビ電話の着信があると、メインディスプレイとインスピレーションウィンドウ（折りたたみ時）に以下の優先順位で画像が表示されます。ただし、音声通話中またはテレビ電話通話中に第三者からの音声着信やテレビ電話の着信があったときは、着モーションを設定していても着モーションは表示されません。

優先順位	設　定	メインディスプレイ	インスピレーションウィンドウ
1	着モーション設定中	着モーション	FOMA内蔵の着信画像
2	フォトコール設定中	電話帳に登録してある画像	電話帳に登録してある画像
3	パートナー設定中	パートナー画像	FOMA内蔵の着信画像
4	上記の設定なし	FOMA内蔵の着信画像	FOMA内蔵の着信画像

● インスピレーションウィンドウ（折りたたみ時）に相手の電話番号と、電話帳に登録されている名前やテレビ電話のアイコンが表示されます。[☛P30]
- 発信者番号が通知されない場合は、その理由が表示されます。[☛P128]
- 電話番号や名前などが表示されないように設定できます。[☛P151]

● 電話帳に設定した画像が表示されないように設定できます。[☛P148]
● PIMロック中またはかけてきた電話の相手がシークレット登録されている場合は、電話帳に登録されている名前や画像は表示されません。

テレビ電話通話中に音声着信やテレビ電話の着信があったとき

● 現在のテレビ電話を終了して音声電話に出るときは、[通話]を押します。テレビ電話に出るときは、◉(TV)か[通話]、[PWR]を押します。◉(TV)を押すと自画像、[通話]を押すと代替画像で電話に出られます。（問合せ画面が表示されるので「する」を選び◉（選択）を押します。）[PWR]を押すと、現在の通話が終了し、着信画面が表示されます。
- 問合せ画面表示中もテレビ電話通話中の相手には映像と音声が送信されています。したがってテレビ電話通話中の相手に対し、電話を切る旨を伝えてから音声電話に出ることができます。

● サブメニューから以下の応対方法も選択できます。

サブメニュー	応対方法	参照先
2.留守番電話（注1）	留守番電話サービスに接続します（音声電話のみ）。	P203
3.転送でんわ（注2）	転送先に転送します。	P208
4.着信拒否	着信を拒否します。通話中画面に戻ります。	―
5.通話相手切断	テレビ電話を切り、音声着信またはテレビ電話着信を受けます。	―

（注1）留守番電話サービスのご契約が必要です。　（注2）転送でんわサービスのご契約が必要です。

音声通話中にテレビ電話の着信があったとき

● 現在の通話を終了してテレビ電話に出るときは、◉(TV）か[通話]、[PWR]を押します。◉（TV）を押すと自画像、[通話]を押すと代替画像で電話に出られます。（問合せ画面が表示されるので「する」を選び◉（選択）を押します。）[PWR]を押すと、現在の通話が終了し、着信画面が表示されます。
- 問合せ画面表示中に音声通話中の相手には音声が送信されています。したがって音声通話中の相手に対し、電話を切る旨を伝えてからテレビ電話に出ることができます。

● サブメニューから以下の応対方法も選択できます。

サブメニュー	応対方法	参照先
3.転送でんわ（注）	転送先に転送します。	P208
4.着信拒否	着信を拒否します。通話中画面に戻ります。	―
5.通話相手切断	通話を終了して、テレビ電話着信を受けます。	―

（注）転送でんわサービスのご契約が必要です。

おしらせ

- よりよい条件で通話するためには、アンテナ部を手でおおわないようにしてお使いください。
- ハンズフリーをONに設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に傷害を与えたりする可能性があります。
- 留守番電話サービスを開始していても、テレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続されません。テレビ電話着信となります。
- 転送でんわサービスを開始していても、転送先を3G-324M [☛P72] に準拠したテレビ電話に対応した機器に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- 迷惑電話ストップサービスで登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、着信拒否ガイダンスが流れずに切断されます。[☛P216]
- 番号通知お願いサービスは、テレビ電話には対応していません。[☛P219]
- テレビ電話通話中に、別の音声電話やテレビ電話がかかってきたときは、サブメニュー「5.通話相手切断」を選択します。[☛P76] 現在の通話を終了して電話に出られます。
- テレビ電話通話中は、音声電話やテレビ電話をかけることや、ｉモードの利用、メールの送受信やショートメッセージ（SMS）の送信、メッセージR/Fの受信はできません。（ただし、ショートメッセージ（SMS）の受信はできます。）メール、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管され、ｉモード問合せ（[☛アプリP140]）で受信できます。
- ｉモード中にテレビ電話がかかってきた場合、テレビ電話は受けられません。（テレビ電話がかかってきても着信画面は表示されず、つながりません。着信履歴には記録されます。）
- 通話中に電池切れになると、アラーム音が鳴り、約20秒後に電話が切れます。
- テレビ電話通話中は、電池が少なくなり「充電して下さい」と表示されているときも、相手には通話時の自画像または代替画像で通話が継続されます。
- FOMA端末を折りたたむことで通話を終了したり、保留にすることができます。[☛P133]
- スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときに、かかってきたテレビ電話にイヤホンマイクのスイッチを押して応答すると [☛P190]、相手には代替画像を送信します。また、オート着信機能設定を「する」に設定しているときに [☛P191]、テレビ電話がかかってくると、呼出時間経過後に自動的に代替画像で応答できます。代替画像と自画像を切り替えるには [☛P85]
- マナーモードやドライブモードを設定すると、着信音が鳴らなくなります。[☛P118、62]
- 移動しながら通話すると電波の強さが安定しません。デジタルの特性上、急に通話の途切れることがあります。また、電波が弱い場合は、「圏外」表示が消えていても電話を受けられないことがあります。できるだけ電波状態がよい場所（室内なら窓の近くなど、受信レベル表示が Yıl の状態）で使用してください。

テレビ電話通話中に行える便利な機能

[送信画像切替]

送信画像を切り替える

テレビ電話通話中に送信画像を切り替えることができます。

• 代替画像設定が必要です。**[☛P87]**

1 自画像送信中に ◉（TV）を押す

自画像の代わりに代替画像を送信します。

- 代替画像設定で設定した代替画像が送信されます。
- 代替画像がキャラ電の場合は、画像の切替えに時間がかかる場合があります。
- 代替画像送信中に ◉（TV）を押すと、自画像送信に切り替わります。

キャラ電について

テレビ電話通話中に、自画像の代わりに相手に送信できるキャラクタです。自分の声に反応して動きます。また、ボタン操作でいろいろな動作（アクション）が可能です。

- キャラ電切替、アクション切替 [☛P83、84]
- ボタン操作、アクション一覧 [☛P84、85]
- キャラ電のダウンロード [☛アプリP88]
- キャラ電プレーヤー [☛アプリP88]
- キャラ電の撮影 [☛アプリP93]
- キャラ電の管理 [☛アプリP95]

テレビ電話通話中にサブメニューから行える操作

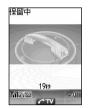
以下の操作が行えます。

サブメニュー	説　明	参照先
01.通話中保留	通話中に保留にします。	P79
02.代替静止画切替 (注)	送信中の画像を静止画に切り替えます。	P79
03.キャラ電切替 (注)	キャラ電を切り替えます。	P83
04.静止画メモ (注)	受信中の画像を静止画で保存します。	P80
05.動画メモ (注)	受信中の画像を動画で保存します。	P80
06.自画像調節	送信中の画像を調節します。	P81
07.TV電話調節	画像表示の切替えや画像品質の調節をします。	P82
08.画面標準／画面拡大	相手の画像を標準表示（拡大表示）にします。	P83
09.LCD切替	テレビ電話画面をインスピレーションウィンドウに表示します。	P83
10.アクション切替	キャラ電のアクションモードを切り替えます。	P84
11.アクション一覧	キャラ電のアクション一覧を表示し、アクションを選びます。	P85
12.ダイヤル送出／アクション入力	テレビ電話通話中（キャラ電使用時）にダイヤルボタンを押したとき、ダイヤル送出とするか、アクション入力とするかを選びます。	P84
13.モード切替	送信する画像を切り替えます。	P85
14.自局番号 (注)	自分の電話番号を表示します。	―

（注）PIMロック中は選択できません。

通話中に保留にする

- クローズ動作設定をあらかじめ「保留」にしておくと、通話中にFOMA端末を折りたたむことで、保留にできます。[☛P133]
- 保留中でも通話料がかかります。
- 電話を受ける前に保留にできます（応答保留）。[☛P62]
- 通話中保留中の音声着信またはテレビ電話着信は、着信履歴に不在着信として記憶されます。

1 テレビ電話通話中に、サブメニュー「01.通話中保留」を選択する

- 相手には保留メッセージまたは保留メロディが流れ、「保留中」の文字を重ねた画像を送信します。保留メッセージまたは保留メロディを変更するには[☛P132]
- 通話中保留中に（PWR）を押すか、相手が切ると通話は切れます。

2 電話に出られる状態になったら、◉（TV）を押す

保留が解除され、通話状態に戻ります。

- （☎）を押すと代替画像が送信されます。
- 代替画像がキャラ電の場合は、画像の切替えに時間がかかる場合があります。
- エニーキーアンサー設定を「する」に設定していても、エニーキーアンサー機能のボタンでは電話に出られません。

[代替静止画切替]

送信中の画像を静止画に切り替える

- テレビ電話通話中だけ有効です。設定内容は保存されません。

1 テレビ電話通話中に、サブメニュー「02.代替静止画切替」を選択する

2 画像の種類を選び◉（選択）を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- シークレット設定されているフォルダは表示されません。
- 「4.内蔵画像」を選んだときはピクチャ一覧またはタイトル一覧が表示されます。[☛アプリP226] 操作4に進みます。

3 フォルダを選び◉（選択）を押す

ピクチャ一覧またはタイトル一覧が表示されます。[☛アプリP226]

4 画像を選び ◉（詳細）を押す

- 以下の画像は設定できません。
  - ・Flash画像
  - ・動画／ｉモーション
  - ・アニメーション
  - ・サイズが176×144ドットより大きい静止画
  - ・シークレット登録されているフォルダ内の画像
  - ・待受画面専用の画像など、使用画面が決められている画像
  - ・「ネットワーク画像」中の、メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されている画像

5 ◉（選択）を押す

[静止画メモ]

受信中の画像を静止画で保存する

- **FOMA端末を開いているときに利用できます（LCD切替を行ったときは利用できません）。**
- **最大保存件数を超えたときやメモリがいっぱいのときは利用できません。**
- **静止画メモは以下のように保存されます。最大保存件数や表示方法 [☛アプリP13、224]**

保存場所	「マルチメディア」→「イメージ」→「TV電話画像」→「TV電話フォルダ」
ファイル名	PTV＿XXXX（XXXX：4桁の数字）
画像サイズ	176×144ドット

1 テレビ電話通話中に、サブメニュー「04.静止画メモ」を選択する

2 ◉（撮影）または⦿（サイドC）を押す

受信中の画像が静止画像として保存されます。

- 静止画メモ中は、相手に「録画中」と送信します。
- 撮影後に、残り枚数が0になると、以降静止画メモは実行できません。

3 ◎（戻る）を押す

静止画メモが終了します。

[動画メモ]

受信中の画像を動画で保存する

- **1回当たりの最大撮影時間：約1分**
- **FOMA端末を開いているときに利用できます（LCD切替を行ったときは利用できません）。**
- **最大保存件数を超えたときやメモリがいっぱいのときは利用できません。**
- **動画メモは以下のように保存されます。最大保存件数や再生方法 [☛アプリP13、246]**

保存場所	「マルチメディア」→「ｉモーション」→「TV電話画像」→「TV電話フォルダ」
ファイル名	MTV＿XXXX（XXXX：4桁の数字）
画像サイズ	176×144ドット

1 テレビ電話通話中に、サブメニュー「05.動画メモ」を選択する

2 ◉（撮影）または ⊙（サイドC）を押す

受信中の画像が動画で録画されます。

- 動画メモ中は、相手に「録画中」と送信します。
- 録画中に通話が途中で切れた場合や、相手が通話を終了した場合、残り秒数が0秒になった場合はそれまで録画していた映像と音声が保存されます。

3 ◉（停止）または ⊙（サイドC）を押す

録画が終了し動画が保存されます。

おしらせ

- **クローズ動作の設定にかかわらず、録画中にFOMA端末を折りたたむと録画は終了します。また、録画中（録画開始後約3秒以内）にFOMA端末を折りたたむと動画が保存されないことがありますのでご注意ください。**
- **録画中にボタン操作を行うと、ボタンを押す音も録音される場合があります。**

[自画像調節]

送信中の画像を調節する

自画像の明るさやコントラストなどを調節できます。

- **テレビ電話通話中だけで有効です。設定内容は保存されません。**
- **自画像調節は代替画像には影響しません。**

1 テレビ電話通話中に、サブメニュー「06.自画像調節」を選択する

2 ◎で設定項目を選ぶ

- ◎を押すごとに設定項目が切り替わります。
- 画面はお買い上げ時の設定です。

3 でレベルや設定を選ぶ

- ズームは1倍、2倍、3倍が可能です。
- 設定内容については [☛アプリP212]

4 （OK）を押す

[TV電話調節]

画像表示の切替えや画像品質の調節をする

相手と自画像の表示方法や、相手に送る自画像の画像品質についての選択を行います。

- **画像表示設定の設定内容はTV電話設定の画像表示設定として保存されます。画像品質の設定内容は保存されません。**

1 テレビ電話通話中に、サブメニュー「07.TV電話調節」を選択する

画像表示設定の画面が表示されます。現在の設定が表示されます。

2 で画像表示設定を切り替える

- を押すごとに設定が切り替わります。
- 画像品質の設定をしないときは（OK）を押します。画像表示設定が設定されます。

3 を押す

画像品質設定の画面が表示されます。現在の設定が表示されます。

- を押すごとに画像表示設定と画像品質設定が切り替わります。

4 で画像品質の設定を行う

- を押すごとに設定が切り替わります。

5 （OK）を押す

TV電話調節が設定されます。

[画面拡大]　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　お買い上げ時 画面拡大

相手の画像を拡大表示する

相手の画像を縦横比が一定のまま拡大表示できます。

- **設定の内容は、TV電話設定のTV電話画面切替として保存されます。**

例 相手の画像を拡大表示するとき

1 テレビ電話通話中に、サブメニュー「08.画面拡大」を選択する

- 画像拡大のときに、画像標準にするには「08.画面標準」を選びます。

[LCD切替]

テレビ電話画面をインスピレーションウィンドウに表示する

LCD切替を行うと、周りの風景の画像をインスピレーションウィンドウで確認しながら相手に送ることができます。

- **FOMA端末を開いているときに有効です。**
- **テレビ電話通話中だけ有効です。設定内容は保存されません。**
- **LCD切替を行ったときは、テレビ電話通話中に行える機能は実行できません。**

1 テレビ電話通話中に、サブメニュー「09.LCD切替」を選択する

- ◯(ﾘｱﾎﾞﾀﾝ) を押しても切り替えられます。
- TV電話調節 [☛P82] または画像表示設定 [☛P90] の表示形式で表示されます。
（親画面：相手、子画面：自分）の場合は（上：相手、下：自分）、（親画面：自分、子画面：相手）の場合は（上：自分、下：相手）になります。

上：相手、下：自分　　上：自分、下：相手　　自分のみ　　相手のみ

[キャラ電切替]

キャラ電を切り替える

- **テレビ電話通話中だけで有効です。設定内容は保存されません。**

1 テレビ電話通話中に、サブメニュー「03.キャラ電切替」を選択する

2 キャラ電を選び ◉（選択）を押す

通話中画面に戻ります。

- キャラ電の切替えには時間がかかる場合があります。

[ダイヤル送出／アクション入力]　　お買い上げ時 アクション入力

テレビ電話通話中にダイヤル送出とアクション入力を切り替える

テレビ電話通話中（キャラ電使用時）にダイヤルボタンを押したとき、ダイヤル送出とするか、アクション入力とするかを選びます。
- **代替画像設定がキャラ電の場合に切り替えられます。**

1 テレビ電話通話中に、サブメニュー「12.ダイヤル送出」または「12.アクション入力」を選択する

- ダイヤル送出：テレビ電話通話中にプッシュ信号を送ります。
- アクション入力：キャラ電によるテレビ電話通話中にキャラクタを操作します。

[アクション切替]　　お買い上げ時 全体モード

キャラ電のアクションモードを切り替える

- **代替画像設定がキャラ電の場合に切り替えられます。**
- **各キャラ電の全体アクション、パーツアクションの詳細について** **[☛アプリP91]**

1 テレビ電話通話中に、◎を押してアクションモード（全体モード／パーツモード）を切り替える

- サブメニュー「10.アクション切替」を選択しても切り替えられます。
- 全体モード：「喜ぶ」「泣く」など、キャラクタ全体で表すアクションです。
- パーツモード：キャラクタを部分ごとに細かく動かすためのアクションです。
- アクションモードが全体モードのときは、パーツモードに、アクションモードがパーツモードのときは、全体モードに切り替わります。

ダイヤルボタンを押してキャラ電を操作する

自画像をキャラ電に設定しているとき、キャラ電を操作できます。
- **ダイヤル送出／アクション入力が「アクション入力」のときに有効です。**
- **LCD切替中は操作できません。**

1 ダイヤルボタンを押す

キャラ電が動作します。
- アクション切替の設定（全体モード／パーツモード）によってキャラ電の動作が異なります。
- ダイヤル送出モードに設定されているときに、ダイヤルボタンを押すとプッシュ信号が送出されます。

おしらせ

● アクション一覧から選んで操作することもできます。

[アクション一覧]

キャラ電のアクション一覧を表示する

送信しているキャラ電を操作できます。

- **代替画像設定がキャラ電の場合に実行できます。**
- **キャラ電によっては表示できないことがあります。**
- **テレビ電話通話中だけで有効です。設定内容は保存されません。**
- **お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクションについて [☛アプリP91]**

1 テレビ電話通話中に、◎ を押す

全体モード

全体アクション
1 喜ぶ
2 怒る
3 悲しむ
4 ありがとう
5 ラブラブ
6 ごめんなさい
7 ノーリアクション
8 バイバイ
9 びっくり
戻る 選択 詳細

パーツモード

アクションを実行するためのボタンを示します。ボタンはキャラ電表示中に有効です。この画面でボタンを押しても動作しません。

現在のアクションモードのアクション一覧が表示されます。

- サブメニュー「11.アクション一覧」を選択しても表示できます。
- アクション切替の設定が全体モードかパーツモードかで、表示されるアクション一覧画面は異なります。
- ◯（詳細）を押すとアクションのタイトル全体を確認できます。◉（OK）を押すとアクション一覧になります。

2 アクションを選び ◉（選択）を押す

選んだアクションでキャラ電が動作します。相手にも送信されます。

- 画像表示設定で「相手画像」を選択しているときは、キャラ電の動作は表示できません。

[モード切替]

送信する画像を切り替える

1 テレビ電話通話中に、サブメニュー「13.モード切替」を選択する

2 「1.自画像送信」「2.静止画像送信」「3.キャラ電送信」のいずれかを選び ◉（選択）を押す

- 現在のモードは選べません。

テレビ電話の設定を変更する

テレビ電話について以下の設定が行えます。

設　定	説　明	参照先
発信時自画像送信	自画像を送るかどうかを設定します。	－
代替画像設定 (注)	相手に送る画像を設定します。	P87
音声自動再発信設定	テレビ電話がつながらないときに音声で電話をかけ直すかどうかを設定します。	P89
応答保留画面選択 (注)	応答保留時に送る画像を変更します。	P89
通話保留画面選択 (注)	通話中の保留時に送る画像を変更します。	P90
伝言メモ画面選択 (注)	伝言メモ応答時に送る画像を変更します。	P90
画像表示設定	自分と相手の画像をどう表示するかの設定をします。	P90
TV電話画面切替	テレビ電話通話中の画像の大きさを変更します。	P91
画像品質設定	テレビ電話通話中の画像を、画質、動きのどちらを優先するかを設定します。	P91

（注）PIMロック中は利用できません。

[発信時自画像送信]　　お買い上げ時 ON

自画像を送るかどうか設定する

テレビ電話をかけた際に、自分の映像を相手に送信するかどうかを設定します。
• この設定は発信時に有効です。

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「TV電話」▶「発信時自画像送信」を選択する**

2 **「1.ON」を選び ◎（選択）を押す**

発信時自画像送信が設定されます。
• 発信時自画像送信を解除するときは「2.OFF」を選びます。

おしらせ

● 電話番号を入力中または入力後に、サブメニューから自画像送信のON/OFFが選べます。[☛P73]

● 発信時自画像送信を「OFF」にしているときは、代替画像設定で設定されている画像が相手に送信されます。

[代替画像設定]

相手に送る画像を設定する

テレビ電話通話中の自画像送信をOFFにしている場合、自画像の代わりに相手に送る画像を選びます。

キャラ電を送信する

1 待受中に、メニュー「設定」▶「TV電話」▶「代替画像設定」を選択する

- 画面はお買い上げ時の設定です。

2 キャラ電優先の ○ を選び ◉（選択）を押す

○ が ◉ になります。

3 キャラ電選択欄を選び ◉（選択）を押す

4 キャラ電を選び ◎（詳細）を押す

©BVIG

- サブメニューから「1.アクション切替」「2.アクション一覧」「3.拡大表示ON／拡大表示OFF」「4.情報表示」を選択できます。[☛アプリP89、91]
- ◎ を押すごとにアクションモードが切り替わります。
- ◎ を押すとアクション一覧が表示されます。

5 ◉（選択）を押す

6 ◎（登録）を押す

代替画像としてキャラ電が設定されます。

画像を送信する

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「TV電話」▶「代替画像設定」を選択する**

2 **画像優先の ○ を選び ◉（選択）を押す**

○ が ◉ になります。

3 **画像選択欄を選び ◉（選択）を押す**

4 **画像の種類を選び ◉（選択）を押す**

静止画が表示されます。

5 **画像を選び ◉（選択）を押す**

- 以下の画像は設定できません。
  - ・Flash画像　・動画／ｉモーション　・アニメーション
  - ・サイズが176×144ドットより大きい静止画
  - ・シークレット登録されているフォルダ内の画像
  - ・待受画面専用の画像など、使用画面が決められている画像
  - ・「ネットワーク画像」中の、メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されている画像

■フォルダ一覧から画像を選ぶには

①サブメニュー「1.一覧表示」を選択する

フォルダ一覧が表示されます。

- シークレット設定されているフォルダは表示されません。

②フォルダを選び ◉（選択）を押す

ピクチャ一覧またはタイトル一覧が表示されます。[☛アプリP226]

③画像を選び ◉（詳細）を押す

④ ◉（選択）を押す

6 **◯（登録）を押す**

代替画像が設定されます。

[音声自動再発信設定]　　お買い上げ時 OFF

テレビ電話がつながらないときに音声で電話をかける

テレビ電話以外の電話機にテレビ電話をかけたときやテレビ電話がつながらないときに、自動的に音声発信で電話をかけ直せます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「TV電話」▶「音声自動再発信設定」を選択する

2 「1.ON」を選び ◉（選択）を押す

音声自動再発信が設定されます。
- 音声自動再発信を解除するときは「2.OFF」を選びます。

おしらせ

- テレビ電話に対応していない電話機にテレビ電話をかけた場合や、相手が圏外や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合、音声自動再発信設定を「ON」にしていると、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声通話で電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M [☛P72] に対応していないISDNのテレビ電話等にかけた場合（2004年5月現在）、間違い電話をかけた場合などは、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
- 次のようなときは、音声自動再発信は行われません。
  - 相手がドライブモード設定中
  - 相手が話し中
  - 使われていない電話番号にかけたとき
  - 相手が電波の届かない所にいるかまたは電源を切っているとき
  - テレビ電話に接続されたとき
- 音声自動発信設定を「ON」に設定すると、音声で再発信したときにかかる通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。

[応答保留画面選択]　　お買い上げ時 内蔵画像

応答保留時に相手に送る画像を変更する

応答保留時には、設定した画像と「応答保留中」の文字が相手に送信されます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「TV電話」▶「応答保留画面選択」を選択する

2 画像の種類を選び ◉（選択）を押す

静止画が表示されます。
- 以降の操作：「相手に送る画像を設定する」の「画像を送信する」操作5 [☛P88]

[通話保留画面選択] お買い上げ時 内蔵画像

通話中の保留時に送る画像を変更する

通話中保留時には、設定した画像と「保留中」の文字が相手に送信されます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「TV電話」▶「通話保留画面選択」を選択する

2 画像の種類を選び ◉（選択）を押す

静止画が表示されます。

- 以降の操作：「相手に送る画像を設定する」の「画像を送信する」操作5 [☛P88]

[伝言メモ画面選択] お買い上げ時 内蔵画像

伝言メモ応答時に相手に送る画像を変更する

伝言メモやクイック伝言メモで応答したときには、設定した画像と「伝言メモ」の文字が相手に送信されます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「TV電話」▶「伝言メモ画面選択」を選択する

2 画像の種類を選び ◉（選択）を押す

静止画が表示されます。

- 以降の操作：「相手に送る画像を設定する」の「画像を送信する」操作5 [☛P88]

[画像表示設定] お買い上げ時 両方

自分と相手の表示方法を設定する

テレビ電話通話中の相手と自分の画像の表示方法を選びます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「TV電話」▶「画像表示設定」を選択する

2 「1.相手画像」「2.自画像」「3.両方」のいずれかを選び ◉（選択）を押す

画像表示設定が設定されます。

- 「3.両方」を選んだ場合には、◎で相手と自分の画像を入れ替えることができます。

相手画像

自画像

両方（親画面：相手、子画面：自分）

[TV電話画面切替] お買い上げ時 拡大

テレビ電話通話中の画像の大きさを変更する

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「TV電話」▶「TV電話画面切替」を選択する**

2 **「1.標準」または「2.拡大」を選び ◉（選択）を押す**

TV電話画面切替が設定されます。

[画像品質設定] お買い上げ時 標準

画質を設定する

相手に送信する映像の品質を設定することができます。

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「TV電話」▶「画像品質設定」を選択する**

- 送信する画像に動きがある場合は「動き優先」に、動きが少ない場合は「画質優先」に設定すると、テレビ電話をより快適に利用できます。

2 **画像品質を選び ◉（選択）を押す**

優先される画像品質が設定されます。

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA D900iでは、FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の違い

○：登録可　×：登録不可

項目		FOMA端末（本体）電話帳	FOMAカード電話帳
電話帳登録件数		電話帳全体で最大700件	電話帳全体で最大50件
登録内容	名前・フリガナ	姓と名に分けて設定	姓と名に分けずに設定
	電話番号・アイコン	1人につき電話番号を3番号まで設定可能（ただし、電話帳全体で電話番号を最大700番号まで可能） それぞれについてアイコンを設定可能	1人につき電話番号を1番号だけ設定可能アイコンは設定不可
	メールアドレス	1人につきメールアドレスを3アドレスまで設定可能（ただし、電話帳全体でメールアドレスを最大700アドレスまで可能）	1人につきメールアドレスを1アドレスだけ設定可能
	グループ	グループ00～09の間で選択可能	グループ00～10の間で選択可能
	メモリ番号	○	×
	画像	○（注）	×
	シークレットコード・設定先	○	×
	シークレットメモリ登録	○	×
	パーソナルメモ	○	×
電話帳検索	フリガナ検索	○	○
	行検索	○	○
	メモリ番号検索	○	×
	電話番号検索	○	○
	グループ検索	○	×
	FOMAカードグループ検索	×	○
	シークレット検索	○	×
その他	ワンタッチダイヤル・ツータッチダイヤル	○	×

（注）画像は1件ずつ、700人分に設定できます。ただし、画像の数は、FOMA端末に保存できる画像の数に依存します。FOMA端末に保存できる画像の最大数は、画像サイズや圧縮モード、FOMA端末に保存されているメロディやソフトの保存件数によって700件未満になることもあります。

名前の表示について

FOMA端末（本体）電話帳やFOMAカード電話帳に登録すると、以下のようになります。

- 電話番号やメールアドレスが一致した場合に、以下の画面に名前が表示されます。
  - ・発信中の画面(注1)　・着信画面(注1) (注2)　・リダイヤル
  - ・着信履歴(注2)　・受信メール　・送信メール

  （注1）インスピレーションウィンドウにも表示されます。
  （注2）相手が発信者番号を通知してきた場合に表示されます。
- 電話番号に「186（＊31#）」「184（#31#）」を付けて登録した場合でも、相手の発信者番号が通知されて電話がかかってきたときは、名前などが表示されます。ただし、リダイヤルには、「186（＊31#）」「184（#31#）」も含めて電話帳に登録されている番号と完全に一致した場合に名前などが表示されます。
- メールアドレスに@以降を省略して登録した場合は、メールを受信しても受信メール一覧などに名前が表示されません。電話帳に登録されているメールアドレスと完全に一致した場合に名前が表示されます。
- 以下の場合は、電話番号やメールアドレスが一致しても名前などは表示されません。
  - ・PIMロック中　・相手がシークレットメモリ登録されている場合
- FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号・メールアドレスを登録している場合に、電話やメールの着信があったときは、FOMA端末（本体）電話帳に登録されている名前が表示されます。ただし、FOMA端末（本体）電話帳に登録した相手がシークレット登録されている場合は、FOMAカード電話帳に登録されている名前が表示されます。

おしらせ

● 登録内容は、電池パックを外した状態や、電池残量が空の状態でも約1ヶ月は記憶されていますが、それ以上経過すると登録内容が消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取扱いによって登録内容が消失する場合がありますので、登録内容の控えをとっておくことをおすすめします。万一登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。“メモリースティック Duo”や専用のデータリンクソフトを利用することにより、登録内容を保存できます。[☛アプリP284、339]

● 当社窓口にて機種変更時などに新機種にコピーできるのは、名前、フリガナ、電話番号1、メールアドレス1、グループ名、シークレットメモリ登録の内容、およびブックマークです。なお、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

● 電話帳を“メモリースティック Duo”にコピーして保存できます。保存できる項目は、名前、電話番号1～3、メールアドレス1～3、メモリ番号です。[☛アプリP285]
画像は電話帳とは別にFOMA端末に保存されているため、電話帳を“メモリースティック Duo”にコピーしても、画像はコピーされません。

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

- 最大登録件数 [☛P92]
- PIMロック中、ダイヤル発信制限中は登録できません。設定を解除してから登録してください。
- 名前やパーソナルメモに絵文字を登録すると、FOMAカード電話帳へのコピーやメモリ転送などを行ったときに正しく表示されません。

1 待受中または通話中に、◎（電話帳）を1秒以上押す

- 待受中に、メニュー「でんわ」▶「電話帳登録」を選択しても操作できます。

2 「1.本体電話帳」を選び◎（選択）を押す

登録画面が表示されます。

- 姓または名の入力が必要です。
- 設定順序は任意です。

姓：／姓フリガナ：／名：／名フリガナ：
名前を姓と名に分けて入力します。
フリガナは名前を入力すると自動的に入力されます。

電話番号1：／ダイヤル種別1：／電話番号2：／ダイヤル種別2：／電話番号3：／ダイヤル種別3：
電話番号とアイコンを設定します。

メールアドレス1：／メールアドレス2：／メールアドレス3：
メールアドレスを設定します。

グループ名：グループ00
電話帳を10グループに分類できます。

メモリ番号：000
最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられます。

画像：
画像を設定しておくと着信画面などに表示できます。

シークレットコード：
入力しておくとメールアドレスに自動的にシークレットコードが付加されます。

設定先：なし
シークレットコードを付加するメールアドレスを設定します。

シークレットメモリ登録：する／しない
登録内容を他人に知られたくないときに「する」に設定します。

パーソナルメモ：
住所などを入力します。

戻る　選択　登録

3 名前を入力する

名前は、姓と名に分けて入力します。姓または名の入力が必要です。
- 姓と名、合わせて全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

①姓欄を選び ◎（選択）を押す
②姓を入力する
③名欄を選び ◎（選択）を押す
④名を入力する

4 フリガナを確認する

名前に対応するフリガナが自動的に入力されています。
名前入力時、目的の漢字を入力するために別の読みで変換したときや、名前を入力し直したときは、正しいフリガナが入力されていません。この場合は、修正してください。
- 半角のカタカナ、英字、数字、記号、スペースを、姓と名、合わせて半角32文字まで入力できます。

①姓フリガナ欄を選び ◎（選択）を押す
② クリア を押して不要な文字を消し、正しいフリガナを入力する
③名フリガナ欄を選び ◎（選択）を押す
④操作②を繰り返す

5 電話番号を入力する

①電話番号1欄〜電話番号3欄のいずれかを選び ◎（選択）を押す
②電話番号を入力する
- 市外局番から入力します（ポーズを含めて26桁まで入力できます）。「-」は入力できません。
- 「#」で始まる情報ダイヤルは、登録して発信できます。

■ポーズ「P」を入力するには

チケットの予約などガイダンスに従って行うダイヤル操作を電話帳に登録するときに、ポーズ「P」を使います。（ポーズ機能を利用するには [☛P53]）

①ポーズ（停止）を入力するところで ✉ を押す
- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。
- ポーズは連続して入力できます。
- ポーズ1つにつき1回停止します。
- 末尾に入力したポーズは無効です。

■サブアドレスを入力するには

- サブアドレス設定を「ON」に設定する必要があります。[☛P129]

①電話番号を入力したあと ＊ を押す
②サブアドレスを入力する

基本操作編 電話帳を利用する

6 アイコンを選択する

入力した電話番号に対応して、(一般電話)・(携帯電話)・(PHS)を示すアイコンのいずれかが自動的に選択されています。アイコン選択後に電話番号を入力すると、アイコンが自動的に変更されることがあります。

①入力した電話番号に対応するダイヤル種別欄を選び ◎（選択）を押す

②アイコンを選び ◎（選択）を押す

- 例えば、次のように使い分けると便利です。

7 メールアドレスを入力する

①メールアドレス1欄～メールアドレス3欄のいずれかを選び ◎（選択）を押す

②メールアドレスを入力する

- 半角の英字、数字、記号（「@」や「.」）を50文字まで入力できます。
- iモード端末に送るときは、相手のメールアドレスの@以降を省略できます。ただし、@以降を省略すると、受信メール一覧などに名前は表示されません。

8 グループを選択する

グループを設定しないと自動的にグループ00に設定されます。

- グループ01～09のグループ名は変更できます。（グループ00は変更できません。）[☛P101]

①グループ名欄を選び ◎（選択）を押す

②グループを選び ◎（選択）を押す

9 メモリ番号を変更する

最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられています。

①メモリ番号欄を選び ◎（選択）を押す

② 0 ～ 9 で新しいメモリ番号（000～699）を入力し ◎（確定）を押す

- ◎ で数字を増減できます。
- 押し間違えたときは クリア を押して数字を消し、入力し直します。
- ＊ を押すと、その桁の最も小さい空きメモリ番号に登録できます。

（例）0 5 ＊ ．．050から059のうち最小の空きメモリ番号
1 ＊ ＊ ．．100から199のうち最小の空きメモリ番号
＊ 0 7 ．．007、107、…607番のうち最小の空きメモリ番号
＊ ＊ ＊ ．．全メモリ番号のうち最小の空きメモリ番号

- 次のメモリ番号には特別な意味があります。

機　能	メモリ番号	意　味
ワンタッチダイヤル	000～009	電話番号1に登録した番号に簡単に電話をかけられます。[☛P115]
ツータッチダイヤル	000～099	
簡単メール	000～099	簡単にメールを作成できます。[☛アプリP133]
スイッチ付イヤホンマイクでの発信	699	スイッチ付イヤホンマイクなどを接続し、電話をかけられます。[☛P189]

※ 2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

10 画像を設定する

- 以下の画像は設定できません。
  - ・Flash画像　・アニメーション　・動画／ｉモーション　・キャラ電
  - ・サイズが176×144ドットより大きい静止画
  - ・シークレット設定されているフォルダ内の画像
  - ・待受画面専用の画像など、使用画面が決められている画像
- FOMA端末に保存されている画像を削除すると、電話帳に設定されている画像も解除されます。

①画像欄を選び ◉（選択）を押す

②「1.カメラ画像」「2.ネットワーク画像」「3.データ交換画像」「4.TV電話画像」のいずれかを選び ◉（選択）を押す

③フォルダを選び ◉（選択）を押す

登録できる画像のピクチャ一覧またはタイトル一覧が表示されます。[☛アプリP226]

④画像を選び ◉（詳細）を押す

⑤ ◉（選択）を押す

■解除するとき

①画像欄を選び ◉（選択）を押す

②「5.解除」を選び ◉（選択）を押す

11 シークレットコードを登録・設定する

相手のメールアドレスが電話番号の場合にだけ設定できます。

- 相手がメールアドレスにシークレットコードを利用していないときは、シークレットコードは設定しないでください。
- メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、シークレットコードの登録を行うとその相手にメール送信や返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

■シークレットコードを入力するには

①シークレットコード欄を選び ◉（選択）を押す

- すでに登録されているシークレットコードを修正するときは端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。

② 0 ～ 9 でシークレットコード（4桁）を入力し ◉（確定）を押す

- 入力した数字は確定すると「＊」になります。

■シークレットコードを付加するには

①設定先欄を選び ◉（選択）を押す

②メールアドレスを選び ◉（選択）を押す

- シークレットコードを付加しないときは「なし」を選びます。
- 相手がメールアドレスのリセットやアドレス変更を行って、シークレットコードを削除したときは、必ず「なし」に設定してください。
- メールアドレスが複数登録されている場合でも、シークレットコードは1件しか付加できません。
- シークレットコードを付加する設定にしていても、メール作成時に宛先欄には表示されません。

12 シークレットメモリ登録「する」または「しない」の◯を選び ◉（選択）を押す

選択した項目が ◉ になります。
- 新規登録時は「しない」が選択されています。
- シークレットメモリ登録した相手を検索するには、シークレット検索を行います。（通常の電話帳検索操作では検索できません。）[☛P114]

13 パーソナルメモを入力する

①パーソナルメモ欄を選び ◉（選択）を押す
②パーソナルメモを入力する
- 全角25文字（半角50文字）まで入力できます。

14 ◯（登録）を押す

電話帳が登録されます。
- 複数の電話番号やメールアドレスを入力した場合、未入力の入力欄があるときは、登録後、入力欄の番号が自動的に繰り上がります。
  例えば、電話番号1欄と電話番号3欄に電話番号が入力されている場合、登録後、自動的に電話番号3欄が電話番号2欄になります。

■登録済みのメモリ番号を指定した場合
上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。
①上書きするには「はい」を選び ◉（選択）を押す
- 上書きしないときは「いいえ」を選び、別のメモリ番号で登録し直してください。
- 以下の電話帳は上書きできません。
  ・シークレットメモリ登録している電話帳
  ・電話帳指定着信許可／拒否に登録している電話帳（許可／拒否を「する」に設定している場合）

いろいろな登録方法

● 電話帳登録は以下の画面からも行えます。
- リダイヤル一覧 [☛P50]　・着信履歴一覧 [☛P58]　・電話帳検索結果画面 [☛P106]
- 電話帳に未登録の相手からかかってきた電話の終了後に表示される問合せ画面（パートナーアシスト設定で「電話帳」をONに設定しているとき）[☛P160]
- 電話番号やメールアドレスがあるサイト、送受信メール、メッセージ表示中 [☛アプリP47、143]
- ｉアプリの実行画面 [☛アプリP65]
- 動画／ｉモーション再生後のテロップ [☛アプリP99、247]
- バーコードリーダーの読取結果 [☛アプリP220]
- 受信メール一覧画面または受信メール表示画面 [☛アプリP143]

● 待受中または通話中に電話番号を入力し、サブメニュー「1.登録」を選択しても電話帳登録を行えます。

FOMAカード電話帳に登録する

- **最大登録件数 [☛P92]**
- **PIMロック中、ダイヤル発信制限中は登録できません。設定を解除してから登録してください。**
- **FOMAカード電話帳には絵文字は登録できません。**

1 待受中に、◉（電話帳）を1秒以上押す

- 待受中に、メニュー「でんわ」▶「電話帳登録」を選択しても操作できます。

2 「2.FOMAカード電話帳」を選び◉（選択）を押す

登録画面が表示されます。

- 名前の入力が必要です。
- 設定順序は任意です。

3 名前を入力する

姓と名を分けずに入力します。

①名前欄を選び◉（選択）を押す

②名前を入力する

- 入力する文字によって、登録できる文字数が異なります。ただし、半角カナは入力できません。

入力する文字	登録可能文字数
全角のみ、全角と半角が混在、半角と「｀」が混在、半角スペースと半角英数字が混在	全角半角にかかわらず10文字まで
半角のみ	半角21文字まで

4 フリガナを確認する

名前に対応するフリガナが自動的に入力されています。

①修正するときは、フリガナ欄を選び◉（選択）を押す

②フリガナを入力する

- 全角カタカナ、半角の英数字・記号・スペースを入力できます。入力する文字によって登録できる文字数が異なります。

入力する文字	登録可能文字数
全角のみ、全角と半角が混在、半角と「｀」が混在、半角スペースと半角英数字が混在	全角半角にかかわらず12文字まで
半角のみ	半角25文字まで

5 電話番号を入力する

電話番号は1件だけ設定できます。アイコンは設定できません。

①電話番号を選び ◉（選択）を押す

②電話番号を入力する

- 操作方法：「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」操作5の② [☛P95]

6 メールアドレスを入力する

メールアドレスは1件だけ設定できます。

①メールアドレス欄を選び ◉（選択）を押す

②メールアドレスを入力する

- 記号の「｀」は入力できますが、登録できません。
- 操作方法：「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」操作7の② [☛P96]

7 グループを選択する

グループを設定しないと自動的にグループ00に設定されます。

- グループ01～10のグループ名は変更できます。（グループ00は変更できません。）[☛P105]

①グループ名欄を選び ◉（選択）を押す

②グループを選び ◉（選択）を押す

8 ◯（登録）を押す

FOMAカード電話帳が登録されます。

おしらせ

● いろいろな登録方法 [☛P98]

グループ名を変更する

電話帳のグループ名を変更できます。

- **FOMA端末（本体）電話帳のグループは、グループごとに着信音や色の設定もできます。また、グループ別設定の組合せをあらかじめ決まっているパターンから選べます。**
- **FOMAカード電話帳のグループはグループ名だけが変更できます。****[☛P105]**

FOMA端末（本体）電話帳のグループ名などを変更する

FOMA端末（本体）電話帳のグループごとに以下の項目を設定できます。

設定できる項目	お買い上げ時	説　明
グループ名	グループ01～09	グループ名を設定できます。（グループ00は変更できません。）
着モーション／着信音	音の設定に連動（注1）	グループに登録されている相手から電話やテレビ電話がかかってきたとき、動画で通知するか着信音で通知するかを設定します。また、表示する動画や鳴る音を設定します。
着モーション	－	
着信音	パターン1	
TV電話着モーション／TV電話着信音	音の設定に連動（注1）	
TV電話着モーション	－	
TV電話着信音	パターン2	
メール着信音	音の設定に連動（注1）	グループに登録されている相手からメールを受信したときの音や鳴動時間を設定します。
メール鳴動時間	10秒（注2）	
色	色指定なし	着信画面の背景色などを10種類から設定できます。（注3）

（注1）音の設定の「着モーション／着信音」「TV電話着モーション／TV電話着信音」「メール着信音」の設定に従います。

（注2）「メール着信音」を「音の設定に連動」に設定したときは、音の設定の「メール鳴動時間」に設定した時間と同じ時間鳴動します。

（注3）以下がグループの色になります。
- 着信画面の背景
- リダイヤルや着信履歴、送信メール・受信メール一覧の文字または反転色
- グループ検索画面や電話帳検索結果画面の文字または反転色

1　待受中に、メニュー「でんわ」▶「グループ別設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「プライバシー」▶「グループ別設定」を選択しても操作できます。

2　端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

3　「1.本体電話帳」を選び ◉（選択）を押す

グループ一覧が表示されます。

4 グループを選び ◎（選択）を押す

5 グループ名を入力する

①グループ名欄を選び ◎（選択）を押す
② クリア を押して不要な文字を消し、グループ名を入力する
- 全角10文字（半角21文字）まで入力できます。
- 文字が何も入力されていない場合は登録できません。

6 電話がかかってきたときの動作を設定する

①着モーション／着信音欄を選び ◎（選択）を押す
②「着モーション」「着信音」「音の設定に連動」のいずれかを選び ◎（選択）を押す
- 以降の操作：「音声電話やテレビ電話の着モーション／着信音を変える」操作3 [☛P140]

7 テレビ電話がかかってきたときの動作を設定する

- 操作6と同様に設定します。

8 メール着信音を設定する

- 操作方法：「音声電話やテレビ電話の着モーション／着信音を変える」操作3（■着信音を設定する場合）[☛P141]

9 メール鳴動時間を設定する

- 操作方法：「メールやメッセージR/Fの着信音、鳴動時間を変える」操作3 [☛P142]

10 グループの色を設定する

①色欄を選び ◎（選択）を押す
②色を選び ◎（選択）を押す

11 ◯（登録）を押す

グループ別設定が設定されます。

パターンから選んで設定する

グループ別設定の組合せをあらかじめ決まっている以下の9パターンから選べます。パターンを選択したあとで、各項目の設定を変更できます。

パターン	グループ名	着信音・TV電話着信音	メール着信音	メール鳴動時間	色
1	ステディA	ジムノペディ第1番	カノン	10秒	レッド
2	ステディB	さくら	島唄	10秒	レッド
3	家族・親戚A	おもちゃの兵隊のマーチ(「キューピー3分クッキング」のテーマ)	森のくまさん	10秒	オレンジ
4	家族・親戚B	電話・メロディB	メール・メロディB	10秒	オレンジ
5	友達A	凱旋行進曲	主よ人の望みの喜びよ	10秒	グリーン
6	友達B	電話・黒電話	メール・英語ボイス	10秒	グリーン
7	友達C	発車メロディ　車掌DJ mix	メール・SuperBell "Z	10秒	ピンク
8	仕事・バイトA	電話・女性ボイス	メール・女性ボイス	10秒	ブルー
9	仕事・バイトB	電話・メロディA	メール・メロディA	10秒	ブルー

JASRAC 録音許諾番号：T-0300330
許諾番号：0001354JRCL

1 FOMA端末（本体）電話帳のグループ一覧を表示する

• 表示方法：「FOMA端末（本体）電話帳のグループ名などを変更する」操作1～3 [☛P101]

2 グループを選び、サブメニュー「1.パターン選択」を選択する

パターン一覧が表示されます。

3 パターンを選び ◉（選択）を押す

パターンの設定内容が入力されます。

■設定内容を変更するには

• 操作方法：「FOMA端末（本体）電話帳のグループ名などを変更する」操作4～10 [☛P102]

4 ◯（登録）を押す

グループ別設定が設定されます。

グループ別設定をグループごとに初期状態に戻す

1 **FOMA端末（本体）電話帳のグループ一覧を表示する**

• 表示方法：「FOMA端末（本体）電話帳のグループ名などを変更する」操作1～3 [☛P101]

2 **グループを選び、サブメニュー「2.グループ内リセット」を選択する**

選択したグループの設定が初期状態に戻ります。

グループ別設定が無効になる場合

● 発信者番号が通知されなかった場合は、グループ別設定の着信音や色にはなりません。
● PIMロック中、および相手をシークレットメモリ登録している場合は以下のようになります。
- 着信音（着モーション）、TV電話着信音（TV電話着モーション）、メール着信音、メール鳴動時間は、音・バイブレータ設定の「音の設定」が優先されます。
- 以下はグループの色になりません。
  ・着信画面の背景　・リダイヤル　・着信履歴
- 以下はグループの色になります。
  ・送信メール　・受信メール一覧　・グループ検索画面や電話帳検索結果画面

● 以下の場合、グループ別設定のメール着信音およびメール鳴動時間の設定は無効となり、音・バイブレータ設定の「音の設定」が優先されます。
- メールセキュリティ設定中
- シークレット設定したフォルダに受信メールが振り分けられたとき

● 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールのメール着信音が鳴ります。

おしらせ

● 着信音・TV電話着信音・メール着信音に設定したメロディや着モーションやTV電話着モーションに設定した動画／ｉモーションが削除された場合は、「音の設定に連動」に変更されます。
● 色によっては文字が見えにくくなる場合があります。
● メロディを着信音・アラーム音に設定して鳴らすときや、曲名の選択中に鳴らすときに、メロディ全体を再生（フルコーラス再生）するか、メロディの一部分を再生（ポイント再生）するかを設定できます。[☛アプリP261]

FOMAカード電話帳のグループ名を変更する

- **お買い上げ時のグループ名は、「グループ01」～「グループ10」です。**

1 待受中に、メニュー「でんわ」▶「グループ別設定」を選択する

- 待受中にメニュー「設定」▶「プライバシー」▶「グループ別設定」を選択しても操作できます。

2 端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

3 「2.FOMAカード電話帳」を選び ◉（選択）を押す

グループ一覧が表示されます。

4 グループを選び ◉（選択）を押す

5 グループ名を入力する

① ◉（選択）を押す
② クリア を押して不要な文字を消し、グループ名を入力する

- 入力する文字によって、登録できる文字数が異なります。

入力する文字	登録可能文字数
全角のみ、全角と半角が混在、半角と「｀」が混在、半角カナまたは半角スペースと半角英数字が混在	全角半角にかかわらず10文字まで
半角の英数字のみ	半角21文字まで

- 文字が何も入力されていない場合はお買い上げ時のグループ名に戻ります。

6 ◯（登録）を押す

グループ名が変更されます。

電話帳を利用して電話をかける

電話帳は、以下の方法で検索できます。

- ・フリガナ検索
- ・行検索 [☛P108]
- ・メモリ番号検索 [☛P108]
- ・電話番号検索 [☛P109]
- ・グループ検索 [☛P109]
- ・FOMAカードグループ検索 [☛P110]
- ・シークレット検索 [☛P114]

- **フリガナ検索、行検索、電話番号検索では、FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の両方を検索できます。**
- **PIMロック中は検索できません。**
- **シークレットメモリ登録されている相手は、シークレット検索で検索してください。他の検索方法で検索しても、シークレットメモリ登録されている相手は表示されません。**

電話帳の便利な機能

- ● 電話帳の登録内容を表示して確認できます。[☛P111]
- ● 電話帳の検索結果からメールを作成できます。検索結果から相手を選び ✉ を押すか、サブメニュー「03.メール作成」を選択します。[☛アプリP133]
- ● 電話帳の検索結果から新規に登録できます。

① サブメニュー「01.新規登録」を選択する

登録先の電話帳を選択する画面が表示されます。

②「1.本体電話帳」または「2.FOMAカード電話帳」を選び ◉（選択）を押す

- 以降の操作：「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」操作2以降 [☛P94] または「FOMAカード電話帳に登録する」操作2以降 [☛P99]

フリガナで検索する

フリガナを入力して、その文字から始まる名前を検索します。

1 待受中に、◉（電話帳）を押し、◯（モード）を繰り返し押してフリガナ検索画面を表示する

- 待受中に、メニュー「でんわ」▶「電話帳検索」を選択しても検索画面を表示できます。
- ◯（モード）を押すごとに検索方法が順に切り替わります。

- ◯（モード）で検索方法を切り替えたときは、今回使用した検索方法の画面が、次回からは最初に表示されます。
- FOMAカード未装着時やFOMAカードにアクセスできないときは、FOMAカードグループ検索画面は表示されません。
- 各検索画面は、約3分間操作しないと待受画面に戻ります。

2 フリガナを入力する

- フリガナを入力しなくても検索できます。
- 半角のカタカナ、英字、数字を入力できます。入力モードは ✉ で切り替えます（かな方式の場合）。
- カーソルを移動するときは ◎ を押します。
- 文字を間違えて入力したときは クリア を押して文字を消し、入力し直します。
- # を押しても文字は大文字／小文字に切り替えられません。

3 ◉（検索）を押す

フリガナ順に一覧表示されます。入力した文字に一致するフリガナの電話帳が選ばれます。

- ◉（検索）の代わりに ◎ でも検索できます。
- 入力した文字に一致するフリガナの電話帳がないときは、次の電話帳が選ばれます。
- FOMAカード電話帳に登録されている電話帳には が表示されます。

4 電話番号を選び ☎ を押す

- ◎ を押したままにすると、連続して切り替わります。最後まで表示されると先頭に戻ります。
- 電話番号を選びサブメニュー「05.付加情報発信」を選択すると、電話番号を通知するかしないかなどを選択して電話をかけられます。[☛P52]
- テレビ電話をかけるときは ◉（TV）を押します。
- 電話帳の登録内容を確認できます。[☛P111]

検索結果の表示順について

- FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳に同じフリガナや電話番号が登録されている場合は、FOMA端末（本体）電話帳、FOMAカード電話帳の順に表示されます。
- 検索条件を満たす電話帳が複数ある場合やフリガナを入力せずに検索した場合は、以下の順に表示されます。

1. 半角スペース（フリガナの先頭が空白）
2. カナ（50音順）
3. 「-」「,」「.」「?」「!」「゛」「$」「゜」
4. 英字（アルファベット順：小文字→大文字）
5. 数字（0～9）
6. 3.の記号以外の半角記号（「@」「/」など）
7. フリガナ未入力（すべて空白）

行で検索する

ア行、カ行…ワ行（その他）を選択して、フリガナがその行から始まる名前を検索します。

1 待受中に、◉（電話帳）を押し、○（モード）を繰り返し押して行検索画面を表示する

- 待受中に、メニュー「でんわ」▶「電話帳検索」を選択しても検索画面を表示できます。

2 行を選び ◉（検索）を押す

フリガナ順に一覧表示されます。選択した行で始まるフリガナの電話帳が選ばれます。
- 選択した行で始まるフリガナの電話帳がないときは、次の行の電話帳が選ばれます。
- 検索結果の表示順 [☛P107]

3 電話番号を選び ☎ を押す

- 操作方法：「フリガナで検索する」操作4 [☛P107]

メモリ番号で検索する

メモリ番号（000～699）を入力して、FOMA端末（本体）の電話帳を検索します。
• FOMAカード電話帳に登録されている電話帳は表示されません。

1 待受中に、◉（電話帳）を押し、○（モード）を繰り返し押してメモリ番号検索画面を表示する

- 待受中に、メニュー「でんわ」▶「電話帳検索」を選択しても検索画面を表示できます。

2 0 ～ 9 でメモリ番号を入力し ◉（検索）を押す

メモリ番号順に一覧表示されます。入力したメモリ番号の電話帳が選ばれます。
- 先頭の「0」や「00」は省略できます。
- ◎ で数字を増減できます。
- 押し間違えたときは クリア を押して数字を消し、入力し直します。
- メモリ番号を入力しなくても検索できます。◉（検索）を押すと、最も小さいメモリ番号から順に一覧表示されます。
- 入力したメモリ番号の電話帳が登録されていないときは、次の番号の電話帳が選ばれます。

3 電話番号を選び [発信] を押す

- 操作方法：「フリガナで検索する」操作4 [☛P107]

電話番号で検索する

電話番号の一部を入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

1 待受中に、◉（電話帳）を押し、○（モード）を繰り返し押して電話番号検索画面を表示する

- 待受中に、メニュー「でんわ」▶「電話帳検索」を選択しても検索画面を表示できます。

2 [0]～[9] で電話番号の一部を入力し、◉（検索）を押す

入力した数字を含む電話番号の電話帳だけが一覧表示されます。

- 押し間違えたときは [クリア] を押して数字を消し、入力し直します。
- ◉（検索）の代わりに ◎ でも検索できます。
- 検索結果の表示順 [☛P107]

3 電話番号を選び [発信] を押す

- 操作方法：「フリガナで検索する」操作4 [☛P107]

FOMA端末（本体）電話帳のグループで検索する

- **グループを指定せずに登録した電話帳は、グループ00に登録されています。**

1 待受中に、◉（電話帳）を押し、○（モード）を繰り返し押してグループ検索画面を表示する

- 待受中に、メニュー「でんわ」▶「電話帳検索」を選択しても検索画面を表示できます。

2 グループを選び ◎（検索）を押す

選択したグループに登録されている電話帳が一覧表示されます。

- 検索結果の表示順 [☛P107]

3 電話番号を選び ☎ を押す

- 操作方法：「フリガナで検索する」操作4 [☛P107]

FOMAカード電話帳のグループで検索する

- **グループを指定せずに登録した電話帳は、グループ00に登録されています。**

1 待受中に、◎（電話帳）を押し、○（モード）を繰り返し押してFOMAカードグループ検索画面を表示する

- 待受中に、メニュー「でんわ」▶「電話帳検索」を押しても検索画面を表示できます。

2 グループを選び ◎（検索）を押す

選択したグループに登録されている電話帳が一覧表示されます。

3 電話番号を選び ☎ を押す

- 操作方法：「フリガナで検索する」操作4［☛P107］

電話帳の登録内容を確認する

1 **電話帳の検索結果から相手を選び、サブメニュー「04.詳細表示」を選択する**

FOMA端末（本体）
電話帳の場合

詳細画面が表示されます。

設定されている画像

2 **内容を確認し、◉（OK）を押す**

電話帳の登録状況を確認する

電話帳の空き件数、電話番号の全登録件数、メールアドレスの全登録件数、シークレットメモリの登録件数を確認できます。

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「通話時間・状況確認」▶「登録状況確認」を選択する**

2 **「1.シークレットデータなし」を選び ◉（選択）を押す**

■ **シークレットメモリの登録件数を表示するには**
①「2.シークレットデータあり」を選び ◉（選択）を押す
② 端末暗証番号を入力し、◉（選択）を押す

3 **◎ で項目を表示する**

- [◀ZOOM▶] でも表示範囲を切り替えることができます。

4 **内容を確認し、◉（OK）を押す**

基本操作編
電話帳を利用する

電話帳を修正する

- PIMロック中、ダイヤル発信制限中は修正できません。設定を解除してから修正してください。
- 以下の電話帳は上書きできません。
  - ・シークレットメモリ登録している電話帳
  - ・電話帳指定着信許可／拒否に登録している電話帳（許可／拒否を「する」に設定している場合）

1 電話帳の検索結果から相手を選び、サブメニュー「02.編集」を選択する

2 登録内容を修正する

- 各項目の登録方法：「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」操作3〜13［☛P95］または「FOMAカード電話帳に登録する」操作3〜7［☛P99］
- 名前を修正したときはフリガナも修正します。
- FOMA端末（本体）電話帳の電話番号を修正したときは、電話番号に対応してダイヤル種別アイコンが変更されることがあります。
- FOMA端末（本体）電話帳で修正した内容を別の人として登録するときはメモリ番号を変更します。

■修正を中止するには

①（戻る）を押す

②「いいえ」を選び（選択）を押す

3 （登録）を押す

- メモリ番号を空きメモリ番号に変更した場合は、別の人として登録され、待受画面に戻ります。

4 「はい」を選び（選択）を押す

電話帳が上書きされます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- FOMA端末（本体）電話帳で電話番号やメールアドレスを複数登録している場合、電話番号1または2、メールアドレス1または2を削除すると、登録後、電話番号欄やメールアドレス欄の番号が繰り上がります。

おしらせ

- シークレットメモリ登録されている相手は、シークレット検索で検索してください。［☛P114］

電話帳を削除する

- PIMロック中、ダイヤル発信制限中は削除できません。設定を解除してから削除してください。
- 電話帳指定着信許可／拒否に登録されている電話帳は削除できません（許可／拒否を「する」に設定している場合）。

電話番号を削除する

1 電話帳の検索結果から電話番号を選び、サブメニュー「09.一件削除」を選択する

- クリアを1秒以上押しても削除できます。

2 「はい」を選び ◎（選択）を押す

電話帳が削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

複数の電話番号を選択して削除する

1 電話帳の検索結果画面で、サブメニュー「10.選択削除」を選択する

2 電話番号を選び ◎（選択）を押す

- 複数の電話番号を選択できます（30件まで）。
- 選択を解除するには、選択済みの電話番号を選び ◎（解除）を押します。

3 ◯（決定）を押す

4 「はい」を選び ◎（選択）を押す

電話番号が削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 削除中の画面で ◎（中止）を押すと削除を中止できます。ただし、すでに削除済みの内容は元には戻りません。

おしらせ

- 電話番号を複数登録している場合、電話番号1または2を削除すると、電話番号欄の番号が繰り上がります。
- 1件に登録されている電話番号をすべて削除するとメールアドレスなどの登録内容もすべて削除されます。
- シークレットメモリ登録されている相手は、シークレット検索で検索してください。
- 画像が設定されている電話帳を削除しても、FOMA端末に保存されている画像は削除されません。
- 電話帳から電話番号を削除すると、リダイヤルや着信履歴に名前が表示されなくなります。

知られたくない電話帳を守る

シークレットメモリ登録されている相手だけを検索します。

- **シークレットメモリ登録されていても、電話をかけるとリダイヤルに電話番号が残ります。他人に知られたくないときはリダイヤルを削除してください。**
- **PIMロック中は利用できません。**

1 待受中に、メニュー「でんわ」▶「シークレット検索」を選択する

2 端末暗証番号を入力し、◉（選択）を押す

3 ◯（モード）を繰り返し押して検索方法を選択し、電話帳を検索する

- 操作方法は以下をご覧ください。
  - 「フリガナで検索する」操作2以降 [☛P107]
  - 「行で検索する」操作2以降 [☛P108]
  - 「メモリ番号で検索する」操作2以降 [☛P108]
  - 「電話番号で検索する」操作2以降 [☛P109]
  - 「FOMA端末（本体）電話帳のグループで検索する」操作2以降 [☛P110]

ツータッチダイヤル

少ないボタン操作で電話をかける

よくかける電話番号をFOMA端末（本体）電話帳のメモリ番号000～009に登録しておくと、メモリ番号の下1桁のダイヤルボタンと [発信] を押すだけで簡単に電話をかけられます。

- **電話番号1に登録されている番号に電話がかかります。**
- **シークレットメモリ登録されている相手にはかけられません。**
- **PIMロック中、ダイヤル発信制限中は利用できません。**

例 メモリ番号008にかけるとき

1 待受中に、[8] を押す

- 100の位や10の位の [0] は押す必要はありません。

2 [発信] を押す

メモリ番号008の電話番号1に電話がかかります。

ワンタッチで電話をかけるには（ワンタッチダイヤル）

メモリ番号000～009に登録されている相手には、ボタン1つで電話をかけることもできます。

例 メモリ番号008にかけるとき

① **待受中に、[8] を1秒以上押す**

メモリ番号008の電話番号1に電話がかかります。

- [発信] を押す必要はありません。

おしらせ

● **メモリ番号000～099に登録されている相手には、メモリ番号の下2桁（[0][0]～[9][9]）を押し、[発信] を押して電話をかけられます。（電話番号1に登録されている番号にかかります。）**

電話帳をFOMAカードに保存する

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳との間で、電話帳をコピーできます。
- **FOMAカード電話帳は50件になるまで、FOMA端末（本体）電話帳は電話番号とメールアドレスがそれぞれ700件になるまでコピーできます。**
- **PIMロック中、ダイヤル発信制限中はコピーできません。設定を解除してからコピーしてください。**

コピーされる項目

● FOMA端末（本体）電話帳からFOMAカード電話帳にコピーするとき
- 名前：姓と名、合わせて10文字（全角のみまたは全角半角が混在のとき）までコピーされます。半角英数のみの場合は21文字までコピーされます。(注1)
- フリガナ：姓と名、合わせて全角12文字（半角25文字）までコピーされます。(注1)
- 電話番号1
- メールアドレス1 (注2)
- グループ：同じグループ名のグループにコピーされます。同じグループ名がない場合は、「グループ00」にコピーされます。

（注1）最大文字数を超えた分は切り捨てられます。
FOMAカード電話帳では、半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。
（注2）FOMAカード電話帳には、「｀」はコピーされません。

● FOMAカード電話帳からFOMA端末（本体）電話帳にコピーするとき
- 名前：名前の姓にコピーされます。
- フリガナ：フリガナの姓にコピーされます。FOMA端末（本体）電話帳では、全角カタカナは半角カタカナに置き換えられます。
- 電話番号1：ダイヤル種別アイコンは、☎になります。
- メールアドレス1
- グループ：同じグループ名のグループにコピーされます。同じグループ名がない場合は、「グループ00」にコピーされます。

おしらせ

● シークレットメモリ登録されている電話帳をコピーするときは、シークレット検索を行ってください。 **[☛P114]**

1人分の電話帳をコピーする

例 FOMA端末（本体）電話帳をFOMAカード電話帳にコピーするとき

1 電話帳の検索結果画面からFOMA端末（本体）電話帳を選び、サブメニュー「06.一件コピー」を選択する

- FOMAカード電話帳をFOMA端末（本体）電話帳にコピーするときは、FOMAカード電話帳を選びます。

2 「はい」を選び ◉（選択）を押す

電話帳がコピーされます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

複数の電話帳をコピーする

全件コピーすることも複数の電話帳を選んでコピーすることもできます。

例 FOMAカード電話帳をFOMA端末（本体）電話帳に全件コピーするとき

1 電話帳の検索結果画面で、サブメニュー「08.全件コピー」を選択する

- 複数の電話帳を選んでコピーするときは、サブメニュー「07.選択コピー」を選択します。

2 「2.本体電話帳へコピー」を選び ◉（選択）を押す

- FOMAカード電話帳にコピーするときは「1.FOMAカードへコピー」を選びます。

■複数の電話帳を選んでコピーするには

①相手を選び ◉（選択）を押す

- 複数の相手を選択できます（30件まで）。
- 選択を解除するには、選択済みの相手を選び ◉（解除）を押します。

② ○（決定）を押す

操作3に進みます。

3 「はい」を選び ◉（選択）を押す

電話帳がコピーされます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- コピー中の画面で ◉（中止）を押すとコピーを中止できます。ただし、すでにコピー済みの内容は元には戻りません。

■電話帳の最大登録可能件数を超える場合

コピー可能件数分だけコピーするかどうかの問合せ画面が表示されます。

①コピーするときは「はい」を選び ◉（選択）を押す

- コピーしないときは「いいえ」を選びます。

電話から鳴る音を消す

お買い上げ時 解除

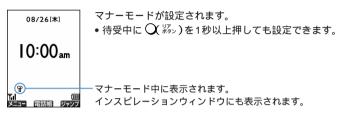
静かにすべき場所などでは、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定できます。電話がかかってくると振動で知らせます。

- **ドライブモードを同時に設定しているときは、ドライブモードの設定が優先されます。（ が表示されます。）**

1 待受中または通話中に、(＊) を1秒以上押す

マナーモードが設定されます。

- 待受中に ◯(リアボタン) を1秒以上押しても設定できます。

マナーモード中に表示されます。
インスピレーションウィンドウにも表示されます。

マナーモードを設定すると

- 着信音、ボタン確認音、警告音など、FOMA端末から鳴る音を消します。ただし、静止画撮影時、動画撮影時のシャッター音、セルフタイマー音を消すことはできません。音量も変更できません。
- 電話がかかってきたときやメールなどを受信したときは、◯(リアボタン) が点滅し、振動します。
- アラーム時刻の設定時間になったときは、アラーム音は鳴らず、振動します。
- 音またはバイブレーターで知らせる設定のスケジュールの設定日時になったときは、アラーム音は鳴らず、振動します。
- 振動するときは、バイブレーター機能でそれぞれの音に設定されているパターンに従います。[☛P121]
- マナーモードの内容は、オリジナルマナーモードの設定により変更できます。オリジナルマナーモードを「する」に設定しているときは、マナーモード中の動作はオリジナルマナーモードの設定に従います。[☛P119]
- マナーモード中でも以下の場合は振動しません。
  - Flash画像の効果音が鳴ったとき [☛アプリP27]
  - 動画／ｉモーションを再生するとき（着モーションに設定した場合の着信時は振動します）

マナーモードを解除する

1 待受中または通話中に、(＊) を1秒以上押す

マナーモードが解除されます。

- 待受中に ◯(リアボタン) を1秒以上押しても解除できます。

おしらせ

- **電源を入れたまま卓上ホルダで充電する場合は、マナーモードを解除してください。電話がかかってきたときなどに振動でFOMA端末が卓上ホルダから外れることがあります。**
- **マナーモードを設定した状態で机などの上に置いておくと、電話がかかってきたときなどに振動でFOMA端末が落下するおそれがありますので、ご注意ください。**

マナーモードを変更する

マナーモードの内容を変更できます。変更できる項目とマナーモード中の動作は、以下のようになります。

変更できる項目	お買い上げ時	マナーモード中の動作
伝言メモ	しない	「する」に設定すると、自動的に伝言メモも設定されます。
バイブレーター	ON	「OFF」に設定すると、電話がかかってきたときやメール、メッセージR/Fを受信したときに振動しません。
着信音量	レベル0	レベル0以外に設定すると、着信時にその音量で着信音が鳴ります。

• マナーモードを設定すると、変更した内容で動作します。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「音・バイブレーター」▶「オリジナルマナーモード」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

• 解除するときは 「2.しない」を選びます。

3 各項目を設定する

■伝言メモを設定するには

①伝言メモ欄を選び ◉（選択）を押す

②「する」または「しない」を選び ◉（選択）を押す

■バイブレーターを設定するには

①バイブレーター欄を選び ◉（選択）を押す

②「ON」または「OFF」を選び ◉（選択）を押す

■着信音量を設定するには

①着信音量欄を選び ◉（選択）を押す

②音量を選び ◉（選択）を押す

4 ◯（登録）を押す

オリジナルマナーモードが設定されます。

オリジナルマナーモードを「する」に設定すると

■ オリジナルマナーモードの「伝言メモ」について

●「しない」に設定したときは、伝言メモ機能の設定にかかわらず、マナーモード中、伝言メモは動作しません。
●「する」に設定したときは、マナーモード中、メインディスプレイに［アイコン］、［アイコン］が表示され、伝言メモが動作します。

■ オリジナルマナーモードの「バイブレーター」について

●「OFF」に設定したときは、バイブレーター機能の設定にかかわらず、マナーモード中は振動しません。ただし、以下の場合は振動します。
- アラーム時刻の設定時間になったとき（音だけで知らせる設定にしていても振動します）
- 音またはバイブレーターで知らせる設定のスケジュール設定日時になったとき（音だけで知らせる設定にしていても振動します）
- ｉアプリがバイブレーターを振動させたとき

●「ON」に設定したときは、バイブレーター機能の設定のON/OFFにかかわらず、バイブレーター機能でそれぞれの音に設定されているパターンに従います（パターンがOFFのときは振動しません）。

■ オリジナルマナーモードの「着信音量」について

● 音量調節機能の着信音量の設定にかかわらず、マナーモード中はオリジナルマナーモードの設定に従います。
● レベル0に設定していても、静止画撮影時、動画撮影時のシャッター音、セルフタイマー音は鳴ります。音量も変更できません。

着信やアラームを振動で知らせる

電話がかかってきたときやアラームの設定時刻になったときなどに、音とともに振動で知らせます。音の項目ごとに振動のパターンを設定できます。

音の項目	お買い上げ時	説　明
着信音	バイブレーターパターン1	電話がかかってきたとき
TV電話着信音	バイブレーターパターン2	テレビ電話がかかってきたとき
メール着信音	バイブレーターパターン3	メールを受信したとき
メッセージR着信音	バイブレーターパターン4	メッセージRを受信したとき
メッセージF着信音	バイブレーターパターン4	メッセージFを受信したとき
アラーム音	バイブレーターパターン5	アラーム時刻やスケジュールの設定時刻になったとき
非通知着信音	着信音に連動(注)	発信者番号を通知せずに電話がかかってきたとき
通知不可着信音	着信音に連動(注)	発信者番号を通知できない電話（海外からの着信、一般電話から各種転送サービスを経由した着信など）がかかってきたとき
公衆電話着信音	着信音に連動(注)	公衆電話から電話がかかってきたとき

（注）「着信音」に設定したパターンと同じパターンで振動します。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「音・バイブレーター」▶「バイブレーター」を選択する

2 「1.ON」を選び ◎（選択）を押す

- すべての場合で振動しないようにするときは「2.OFF」を選びます。バイブレーターが解除されます。

3 音の項目を選び ◎（選択）を押す

4 パターンを選び ◎（選択）を押す

- ◎ で切り替えるごとに、選んだパターンで振動します。振動を止めるにはダイヤルボタンを押します。
- 振動しないようにするときは「OFF」を選びます。
- 「アラーム音」はパターンだけを選べます。（「OFF」は選べません。）

5 ◎（登録）を押す

バイブレーターが設定され、FOMA端末が振動します。

バイブレーターを「ON」に設定すると

- メインディスプレイとインスピレーションウィンドウに が表示されます。
- 「ON」に設定しても、以下の場合は振動しません。
  - バイブレーターのパターンを「OFF」に設定しているとき
  - オリジナルマナーモードのバイブレーターを「OFF」にして、マナーモードを設定しているとき
  - ドライブモードを設定しているとき
  - Flash画像の効果音が鳴ったとき [☛アプリP27]
  - 動画／ｉモーションを再生するとき（着モーションに設定した場合の着信時は振動します）
- 以下の設定で、FOMA端末から音を鳴らさないようにできます。
  - マナーモードに設定する [☛P118]
  - 音の設定で「サイレント」に設定する [☛P138]
  - 着信音量をレベル0に設定する [☛P136]
  - アラーム時刻のアラーム・バイブを「バイブのみ」に設定する [☛P175]
  - スケジュールの音・バイブレーター設定を「バイブのみ」または「なし」に設定する [☛P178]

おしらせ

- **厚手の衣服のポケットなどに入れておくと、振動が伝わらないことがあります。**
- **電源を入れたまま卓上ホルダで充電する場合は、「OFF」に設定してください。電話がかかってきたときなどに振動でFOMA端末が卓上ホルダから外れることがあります。**
- **「ON」に設定した状態で机などの上に置いておくと、電話がかかってきたときなどに振動でFOMA端末が落下するおそれがありますので、ご注意ください。**
- **マナーモードを設定すると、バイブレーターで設定したパターンで振動します。**
- **「OFF」に設定していても、ｉアプリがバイブレーターを動作させたときは振動します。**

応用操作編

お買い上げ時 0秒

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたときに、着信してから着信音が鳴り始めるまでの秒数（呼出動作開始時間）を設定できます。秒数を短く設定して、ワン切りなどの迷惑電話対策に利用することもできます。

- 登録外電話番号拒否を設定しているときは、設定できません。[☛P127]

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「無音着信時間設定」を選択する**

2 **端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す**

3 **0〜9で呼出動作開始時間を入力し ◉（設定）を押す**

呼出動作開始時間が設定されます。

- 0〜99秒の間で設定できます。
- ◎で数字を増減できます。
- 押し間違えたときはクリアを押して数字を消し、入力し直します。
- 解除するときは、時間を以下のいずれかに設定し ◉（設定）を押します。
  ・_ _秒　　・_0秒　　・00秒

無音着信時間設定を行うと

- 電話帳未登録の相手からの電話には、呼出動作開始時間が経過するまで以下のように動作します。
  - 着信音は鳴らず、○（リアボタン）も点滅しません。
  - メインディスプレイには、着信画面が表示されます。
  - インスピレーションウィンドウのバックライトは点灯しません。また着信画面は表示されません。
  - 相手側では、着信と同時に呼出音が聞こえます。
  - 呼出動作開始時間内に電話が切れると、着信履歴には無音着信として記録されます。不在着信アイコンは表示されません。
- 発信者番号を通知せずに電話をかけてきた場合は、本機能は動作しません。非通知着信設定に従って着信するかしないかが決まります。
- 通話中にかけてきた電話には、本機能は動作しません。
- 電話帳指定着信許可／拒否と本設定を同時に設定しているときは、本設定にかかわらず、着信を許可しない相手からの電話は拒否されます。
- PIMロック中は、電話帳に登録されている相手からの電話でも本機能が動作します。

おしらせ

- **ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールのメール着信音が鳴るか鳴らないかは、本設定にかかわらず、メール着信音の設定に従います。**
- **呼出動作開始時間の設定が伝言メモ移行時間より長いと、無音のまま伝言メモに移行します。着信音を鳴らしてから伝言メモに移行させるには、伝言メモ移行時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。留守番電話サービス呼出時間、転送でんわサービス呼出時間、オート着信機能設定の呼出時間でも同様ですのでご注意ください。**

お買い上げ時 しない

指定した電話番号からの電話だけを受ける

電話帳に登録されている相手を指定し、その相手からの電話だけを受け、それ以外からの電話がつながらないようにできます。

- **最大登録件数：20件**
- **PIMロック中は本機能は動作しません。**
- **電話帳指定着信許可と電話帳指定着信拒否を同時に設定することはできません。**
- **登録されている相手は1件ずつ解除できません。登録されている相手をすべて解除してから登録し直してください。**
- **相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。番号通知お願いサービスと非通知着信設定も合わせて設定することをおすすめします。[☛P219、128]**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「電話帳指定着信許可」を選択する

2 端末暗証番号を入力し◉（選択）を押す

3 「1.する」を選び◉（選択）を押す

- 登録されている相手をすべて解除するときは「2.しない」を選びます。

4 電話帳を検索して登録する相手を選び◉（選択）を押す

- 電話帳の検索方法 [☛P106]
- ＦＯＭＡカード電話帳の検索はできません。
- シークレットメモリ登録した相手も選択できます。
- 電話番号が複数登録されている場合は、すべての電話番号が表示されます。表示されているすべての電話番号に対して電話帳指定着信許可が設定されます。

5 「1.登録する」を選び◉（選択）を押す

電話帳指定着信許可が設定されます。

- 検索し直すときは「2.登録しない」を選びます。

電話帳指定着信許可を設定すると

- 着信許可されていない相手からの電話には、着信音は鳴らず、着信履歴に記録されます（不在着信アイコンは表示されます）。相手側では話中音が鳴り、電話が切れます。
- 発信者番号を通知せずに電話をかけてきた場合は、本機能は動作しません。非通知着信設定に従って着信するかしないかが決まります。

おしらせ

- **登録されているメモリ番号は「設定状況確認」で確認できます。[☛P185]**
- **電話帳指定着信許可設定中は、許可登録されている電話帳の編集はできません。**
- **ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。**

指定した電話番号からの電話を受けない

電話帳に登録されている相手を指定し、その相手からの電話がつながらないようにします。

- 最大登録件数：20件
- PIMロック中は本機能は動作しません。
- 電話帳指定着信許可と電話帳指定着信拒否を同時に設定することはできません。
- 登録されている相手は1件ずつ解除できません。登録されている相手をすべて解除してから登録し直してください。
- 相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。番号通知お願いサービスと非通知着信設定も合わせて設定することをおすすめします。[☛P219、128]

1 待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「電話帳指定着信拒否」を選択する

2 端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

3 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

- 登録されている相手をすべて解除するときは「2.しない」を選びます。

4 電話帳を検索して登録する相手を選び ◉（選択）を押す

山田太郎
090XXXXXXXX
1. 登録する
2. 登録しない
戻る 選択

- 電話帳の検索方法 [☛P106]
- ＦＯＭＡカード電話帳の検索はできません。
- シークレットメモリ登録した相手も選択できます。
- 電話番号が複数登録されている場合は、すべての電話番号が表示されます。表示されているすべての電話番号に対して電話帳指定着信拒否が設定されます。

5 「1.登録する」を選び ◉（選択）を押す

電話帳指定着信拒否が設定されます。

- 検索し直すときは「2.登録しない」を選びます。

電話帳指定着信拒否を設定すると

- 着信拒否の対象となる電話は、着信音は鳴らず、着信履歴に記録されます（不在着信アイコンは表示されます）。相手側では話中音が鳴り、電話が切れます。
- 発信者番号を通知せずに電話をかけてきた場合は、本機能は動作しません。非通知着信設定に従って着信するかしないかが決まります。

おしらせ

- 登録されているメモリ番号は「設定状況確認」で確認できます。[☛P185]
- 電話帳指定着信拒否設定中は、拒否登録されている電話帳の編集はできません。
- ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。
以下の場合は設定できません。
- **PIMロック中**
- **無音着信時間設定を設定しているとき**
- **相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。番号通知お願いサービスと非通知着信設定も同時に設定することをおすすめします。****[☛P219、128]**

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「登録外電話番号拒否」を選択する**

2 **端末暗証番号を入力し◉（選択）を押す**

3 **「1.する」を選び◉（選択）を押す**

登録外電話番号拒否が設定されます。
- 解除するときは「2.しない」を選びます。

登録外電話番号拒否で着信を拒否すると

- 電話帳未登録の相手からの電話には、着信音は鳴らず、着信履歴に記録されます（不在着信アイコンは表示されます）。相手側では話中音が鳴り、電話が切れます。
- 発信者番号を通知せずに電話をかけてきた場合は、本機能は動作しません。非通知着信設定に従って着信するかしないかが決まります。

おしらせ

- **ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。**

発信者番号のわからない電話を受けない

発信者番号が通知されない理由によって、電話を受けるか受けないかを設定できます。

非通知理由	意　味
非通知設定	相手が発信者番号を通知しないでかけてきた場合
通知不可能	相手が発信者番号を通知できない場合（海外からの着信、一般電話から各種転送サービスを経由した着信など。ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。）
公衆電話	相手が公衆電話からかけてきた場合

1 待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「非通知着信設定」を選択する

2 端末暗証番号を入力し◉（選択）を押す

3 非通知の理由ごとに、電話を受けないように設定する

①選択欄を選び◉（選択）を押す

②「着信しない」を選び◉（選択）を押す

- 電話を受けるようにするときは「着信する」を選びます。

4 ◯（登録）を押す

非通知着信が設定されます。

非通知着信設定で着信を拒否すると

着信拒否の対象となる電話は、着信音は鳴らず、着信履歴には、非通知理由が記録されます（不在着信アイコンは表示されます）。相手側では話中音が鳴り、電話が切れます。

おしらせ

- ショートメッセージ（SMS）やｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。

プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加する番号を登録する

国際電話の番号など、電話番号の先頭に付ける番号（プレフィックス）を登録しておくと、簡単にプレフィックスを付けて電話をかけられます。

- **最大登録件数：3件**
- **お買い上げ時は「009130010（ドコモのWORLD CALLの番号）」が登録されています。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話・通信」▶「プレフィックス設定」を選択する

- すでにプレフィックスを登録している場合、その番号が表示されます。

2 番号を入力する

- お買い上げ時に登録されている番号に上書きすることもできます。

①プレフィックス1欄～プレフィックス3欄のいずれかを選び ◉（選択）を押す

②番号を入力する

- 最大10桁まで入力できます。

3 ◯（登録）を押す

プレフィックスが登録されます。

サブアドレス設定

お買い上げ時 ON

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスを指定して、特定の電話機やデータ端末を呼び出せます。また、「M-Stage Vライブ」でコンテンツを選択するときに利用します。
サブアドレス設定を「ON」に設定すると、電話番号のサブアドレスの区切り記号「＊」以降がサブアドレスとして認識されます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話・通信」▶「サブアドレス設定」を選択する

2 「1.ON」を選び ◉（選択）を押す

「＊」がサブアドレスの区切り記号として設定されます。

- 「＊」をサブアドレスの区切り記号として認識させないときは「2.OFF」を選びます。

おしらせ

- **「ON」に設定していても、以下の場合は「＊」はサブアドレスの区切り記号として認識されません。**
  - **電話番号の先頭の「＊」**
  - **「186（＊31#）」「184（#31#）」の直後の「＊」**

応用操作編

電話機能を利用する

ノイズキャンセラ

お買い上げ時 ON

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

通話中の周囲の騒音を抑えることによって、自分の声が相手に明瞭に聞きとれるようになります。

- **通常は、ノイズキャンセラを「ON」に設定した状態での使用をおすすめします。**
- **音声通話中、テレビ電話通話中ともに本機能は動作します。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話・通信」▶「ノイズキャンセラ」を選択する

2 「1.ON」を選び ◉（選択）を押す

ノイズキャンセラが「ON」に設定されます。

- 解除するときは「2.OFF」を選びます。

再接続アラーム

お買い上げ時 アラーム音なし

再接続するときのアラームを設定する

トンネル内やビルの陰などで一時的に途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続できます。再接続したときは、受話口から接続音が鳴ります。通話が途切れている間は、相手には何も聞こえません。

- **再接続可能な通話中断時間は10秒程度です（利用状態や電波の状態により異なります）。**
- **再接続されるまでの時間も通話料金がかかります。**
- **音声通話中、テレビ電話通話中ともに本機能は動作します。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話・通信」▶「再接続アラーム」を選択する

アラーム音の選択画面が表示されます。

2 「1.高いアラーム音」または「2.低いアラーム音」を選び ◉（選択）を押す

再接続が設定されます。

- 解除するときは「3.アラーム音なし」を選びます。

通話品質アラーム

お買い上げ時 高いアラーム音

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

通話状態が悪く、通話が途切れそうになったとき、受話口からアラーム音を鳴らせます。
- 音声通話中、テレビ電話通話中ともに本機能は動作します。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話・通信」▶「通話品質アラーム」を選択する

アラーム音の選択画面が表示されます。

2 「1.高いアラーム音」または「2.低いアラーム音」を選び ◉（選択）を押す

通話品質アラーム音が設定されます。
- 解除するときは「3.アラーム音なし」を選びます。

おしらせ

●急に通話状態が悪くなった場合、アラーム音が鳴らずに通話が途切れることがあります。

エニーキーアンサー設定

お買い上げ時 する

ダイヤルボタンなどを押して電話に出られるようにする

音声電話がかかってきたとき、[通話] 以外に以下のボタンを押しても電話に出られるようにできます。
- [0] ～ [9]、[*]、[#]、[クリア]、[メール]

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話・通信」▶「エニーキーアンサー設定」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

エニーキーアンサー設定が設定されます。
- 解除するときは「2.しない」を選びます。

おしらせ

●「する」に設定しても、テレビ電話がかかってきたときは、エニーキーアンサー機能のボタンを押しても電話に出られません。

保留音を設定する

応答保留中や通話中保留中に流すガイダンスやメロディを設定します。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「音・バイブレーター」▶「保留音設定」を選択する

- 画面表示はお買い上げ時の設定です。

2 保留音を設定する

■応答保留音を設定するには

①応答保留音欄を選び◎（選択）を押す

②「応答メッセージ1」または「応答メッセージ2」を選び◎（選択）を押す

- メッセージの内容は、以下のようになります。

応答メッセージ1	ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。
応答メッセージ2	ただいま電話に出ることができません。しばらくたってからおかけ直しください。

■通話中保留音を設定するには

①通話中保留音欄を選び◎（選択）を押す

②「保留メッセージ」または「保留メロディ」を選び◎（選択）を押す

- メッセージやメロディの曲名は、以下のようになります。

保留メッセージ	ただいま保留にしております。しばらくお待ちください。
保留メロディ	主よ人の望みの喜びよ

3 ◯（登録）を押す

保留音が設定されます。

クローズ動作設定

FOMA端末を折りたたんで通話を終了／保留する

通話中にFOMA端末を折りたたんだときの動作（終話または保留）を設定できます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話・通信」▶「クローズ動作設定」を選択する

2 「1.切断」または「2.保留」を選び ◉（選択）を押す

クローズ動作が設定されます。

- 解除するときは「3.設定なし」を選びます。

「切断」に設定すると

- 通話中に折りたたむと通話が終了します。通話中にサブメニューを表示しているときや通話中に受話音量を調節しているときも同様です。マルチタスク中でも音声通話を終了します。
- 通話中以外でも、以下の動作中に折りたたむと動作が終了します。

動　作		折りたたみ後の結果
発信中	・発信中（通話中の発信中※2含む）	中止
	・発信中録音中	通話終了
呼出中	・呼出中（保留中相手呼出中・通話中呼出中※2含む）	中止
通話中	・通話中録音中 ・テレビ電話通話中の静止画メモ中・動画メモ中※1	通話終了
	・通話中の着信中 ・通話中の保留中（マルチ接続中※2含む） ・音声通話中にテレビ電話がかかってきたときに音声通話を終了してテレビ電話に切替え中 ・テレビ電話通話中に音声電話がかかってきたときにテレビ電話を終了して音声電話に切替え中	現在の通話終了
マルチ接続中	・マルチ接続中にサブメニューを表示しているとき ・マルチ接続中に受話音量を調節しているとき	現在の通話終了

※1 撮影した静止画または動画は保存されます。ただし、以下の場合は保存されない場合があります。
　・静止画メモ開始直後に折りたたんだとき　・動画メモ開始後3秒以内に折りたたんだとき
※2 折りたたんだあと、保留中の電話があることを知らせる着信音が鳴ります。

- 以下の場合は無効になります。
  - ・着信中
  - ・応答メッセージ再生中
  - ・応答保留中
  - ・伝言メモ録音中
  - ・クイック伝言メモ録音中
  - ・ｉモード中
  - ・ショートメッセージ（SMS）送受信中
  - ・64Kデータ通信中
  - ・パケット通信中
  - ・スイッチ付イヤホンマイク接続中

「保留」に設定すると

- 通話中に折りたたむと通話を保留します。
- 通話中保留はFOMA端末を開いても、スイッチ付イヤホンマイクを接続しても解除されません。
  保留の解除方法は、以下のようになります。
  - 音声通話中の保留中は、[通話キー]を押します。エニーキーアンサー設定を「する」に設定していると、エニーキーアンサー機能のボタンを押しても解除できます。[☛P131]
  - テレビ電話通話中の保留中は、[◎]（TV）または[通話キー]を押します。[通話キー]を押すと代替画像が送信されます。
- テレビ電話通話中の各種操作中に折りたたんだときは、各種操作は中止され、通話を保留します。
- テレビ電話通話中の静止画メモ中、動画メモ中に折りたたんだときは、撮影した静止画または動画は保存されます。ただし、以下の場合は保存されない場合があります。
  - 静止画メモ開始直後に折りたたんだとき
  - 動画メモ開始後3秒以内に折りたたんだとき
- 以下の場合は無効になります。
  - 発信中（通話中の発信中含む）
  - 着信中
  - 応答保留中（テレビ電話応答保留含む）※1
  - 応答メッセージ再生中
  - 伝言メモ中（テレビ電話伝言メモ準備中含む）
  - 通話中メモ録音中
  - テレビ電話接続中※2
  - ショートメッセージ（SMS）送受信中
  - スイッチ付イヤホンマイク接続中
  - 64Kデータ通信中／パケット通信中

  ※1 折りたたんだときは、応答保留が継続します。
  ※2 テレビ電話接続中に折りたたんだ後、通話中に移行した場合は、代替画像が送信されます。

「設定なし」に設定すると

- 通話中に折りたたんだときは、相手には何も聞こえません。相手の声も聞こえません。
- テレビ電話通話中の各種操作中に折りたたんだときは、各種操作は中止され、通話は継続します。ただし、相手には何も聞こえません。相手の声も聞こえません。自画像送信時は、代替画像が送信されます。
- テレビ電話通話中の静止画メモ中、動画メモ中に折りたたんだときは、撮影した静止画または動画は保存されます。ただし、以下の場合は保存されない場合があります。
  - 静止画メモ開始直後に折りたたんだとき
  - 動画メモ開始後3秒以内に折りたたんだとき

おしらせ

- **スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合、本設定にかかわらず音声通話中の保留中に折りたたむと保留は継続します。テレビ電話通話中に折りたたんだときは、以下のようになります。折りたたんだあと、FOMA端末を開いても以下は継続されます。**
  - **自画像送信時は、代替画像が送信されます。**
  - **動画メモ中は、撮影が中止され、代替画像が送信されます。画像は保存されます（動画メモ開始後3秒以内に折りたたんだときは保存されない場合があります）。**
  - **テレビ電話通話中の保留は継続します。**
- **スイッチ付イヤホンマイクを接続中に通話中保留にする方法は、スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときと同様です。****[☛P49、79]**

通話時間／通信時間を確認／リセットする

通話時間や通信時間を確認できます。直前の通話時間や通信時間、今までの合計（積算）、前回リセット日時を確認できます。表示される時間は目安です。

- **電源を切ると、前回音声通話時間・前回デジタル通信時間の情報は消去されます。**
- **ｉモードの通信にかかった時間は表示できません。積算音声通話時間・積算デジタル通信時間にも加算されません。ｉモード利用料金などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。**

[通話時間表示]

通話時間を見る

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話時間・状況確認」▶「通話時間表示」を選択する

- テレビ電話の通信時間は、デジタル通信時間に含まれます。
- 「前回音声通話時間」は直前の通話時間です。
- 「前回デジタル通信時間」は直前のデジタル通信時間です。
- 「積算音声通話時間」、「積算デジタル通信時間」はお買い上げ時または前回リセットしたときから現在までの合計通話・通信時間です。
- 999時間59分59秒まで表示できます。それを超えると0秒に戻り、再カウントされます。

2 内容を確認し、◉（OK）を押す

[通話積算時間リセット]

積算情報をリセットする

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話時間・状況確認」▶「通話積算時間リセット」を選択する

2 端末暗証番号を入力し◉（選択）を押す

3 「はい」を選び◉（選択）を押す

積算音声通話時間と積算デジタル通信時間がリセットされます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

- **表示される時間はあくまで目安です。実際の通話時間・通信時間とは多少異なります。**
- **日付・時刻を設定していないときは、前回リセット日時の日付は「0000／00／00」、時刻は「00：00」と表示されます。**

着信音などの音量を変える

FOMA端末から鳴る音の音量を調節します。最大音量は、音の項目にかかわらず同じです。

音の項目	お買い上げ時（調節可能なレベル）	調節される音
着信音量	レベル4（レベル0〜6、Step Up、Step Down）	• 電話がかかってきたときの音 • メールやメッセージR/Fを受信したときの音
受話音量	レベル4（レベル1〜6）	受話口から聞こえる声や音の大きさ
アラーム音量	レベル4（レベル1〜6、Step Up、Step Down）	アラーム時刻やスケジュールの設定時刻になったときの音
ｉアプリ音量	レベル13（レベル0〜24）(注)	ｉアプリやｉアプリ待受画面が再生する音
メロディ再生音量	レベル13（レベル0〜24）(注)	• メロディプレーヤーでメロディを再生するときの音 • メールやメッセージR/Fに貼り付けられているメロディを再生するときの音 • サイトからメロディをダウンロードして再生するときの音 • サイト表示中にFlash画像の効果音を鳴らすときの音
動画再生音量	レベル4（レベル0〜レベル6）	• 待受やウェイクアップで動画／ｉモーションが再生されるときの音 • ビデオプレーヤーで動画／ｉモーションを再生するときの音 • サイトからｉモーションを取り込んで再生するときの音 • ｉモーションメールから動画／ｉモーションを再生するときの音

（注）スイッチ付イヤホンマイク接続時に25段階で調節できます。スイッチ付イヤホンマイク未接続時は4レベルごとに6段階で音量が変わるため、音量レベルを変更しても音量が変わらない場合があります。ただし、メロディプレーヤーでメロディを再生中に調節するときは、25段階で調節できます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「音・バイブレーター」▶「音量調節」を選択する

音の項目の選択画面が表示されます。

2 音の項目を選び ◎（選択）を押す

3 で音量を選び、(設定)を押す

音量が設定されます。
- レベル0にすると音が鳴らなくなります。
- 「着信音量」と「アラーム音量」は、レベル6でを押すとStep Up（ステップアップ）、Step Down（ステップダウン）の順に切り替わります。

音を鳴らさないようにするには

■FOMA端末から鳴る音を消すには

マナーモードやドライブモードを設定します。着信音量の設定にかかわらずFOMA端末から鳴る音を消します。ただし、静止画撮影時、動画撮影時のシャッター音、セルフタイマー音を消すことはできません。音量も変更できません。

- マナーモード中でも、オリジナルマナーモードの着信音量をレベル0以外に設定している場合、電話がかかってきたときはオリジナルマナーモードの着信音量で鳴ります。
- マナーモードとドライブモードを同時に設定しているときは、ドライブモードの設定が有効になります。

■音の項目ごとに鳴らさないようにするには

音の項目ごとに以下の設定をします。

音の項目	設定方法	参照先
着信音	着信音量をレベル0にする	P136
	各種着信音を「サイレント」にする	P138
アラーム音	アラーム時刻のアラーム・バイブを「バイブのみ」にする	P175
	スケジュールの音・バイブレーター設定を「バイブのみ」または「なし」にする	P178
ｉアプリ音	ｉアプリ音量をレベル0にする	P136
メロディ再生音	メロディ再生音量をレベル0にする	P136
動画再生音	動画再生音量をレベル0にする	P136
ボタン確認音	ボタン確認音を「OFF」にする	P143
充電確認音	充電確認音を「OFF」にする	P143

おしらせ

- 通話中に受話音量を調節するには [☛P60]
- 電話がかかってきたときに着信音量を調節するには [☛P61]
- 着信音量をレベル0にすると、メインディスプレイやインスピレーションウィンドウにが表示されます。
- 着信音量や受話音量を調節すると連動して調節される音があります。

調節する音の項目	連動して調節される音の項目	備　考
着信音量	音の設定時に鳴る音、応答保留音、充電確認音、自動電源ONの通知音、留守番電話サービスセンターにメッセージが届いていることを知らせる通知音 など	（注1）
受話音量	電池残量の確認音、ボタン確認音、操作を間違えたときの警告音、通話が切れそうなときに鳴るアラーム音（通話品質アラーム）など	（注2）

（注1）Step UpまたはStep Downに設定しているときは、レベル4で鳴ります。
（注2）受話口だけから鳴ります。ボタン確認音を「OFF」に設定、またはマナーモードやドライブモードを設定すると鳴らなくなります（通話品質アラーム音を除く）。

FOMA端末の着信音などを変更する

ＦＯＭＡ端末から鳴る音を、お買い上げ時に登録されているメロディやダウンロードしたメロディなどから選択できます。音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、着信音として音を含んだ動画／ｉモーションを設定できます。また、メールやメッセージR/Fを受信したときに鳴る着信音の鳴動時間を設定できます。

- PIMロック中は設定できません。

設定できる項目	お買い上げ時	説　明
着モーション／着信音	着信音	電話がかかってきたときに「着モーション」で通知するか「着信音」で通知するかを設定します。
着モーション	—	「着モーション／着信音」で「着モーション」を選択したときに、電話がかかってきたときに再生する動画／ｉモーションを設定します。
着信音	パターン１	「着モーション／着信音」で「着信音」を選択したときに、電話がかかってきたときに鳴る音を設定します。
TV電話着モーション／TV電話着信音	TV電話着信音	テレビ電話がかかってきたときに「TV電話着モーション」で通知するか「TV電話着信音」で通知するかを設定します。
TV電話着モーション	—	「TV電話着モーション／TV電話着信音」で「TV電話着モーション」を選択したときに、テレビ電話がかかってきたときに再生する動画／ｉモーションを設定します。
TV電話着信音	パターン2	「TV電話着モーション／TV電話着信音」で「TV電話着信音」を選択したときに、テレビ電話がかかってきたときに鳴る音を設定します。
メール着信音	パターン3	メールを受信したときに鳴る音を設定します。
メール鳴動時間	10秒	設定した秒数の間、メール着信音が鳴動します。
メッセージR着信音	パターン4	メッセージRを受信したときに鳴る音を設定します。
メッセージR鳴動時間	10秒	設定した秒数の間、メッセージR着信音が鳴動します。
メッセージF着信音	パターン4	メッセージFを受信したときに鳴る音を設定します。
メッセージF鳴動時間	10秒	設定した秒数の間、メッセージF着信音が鳴動します。
アラーム音	パターン5	アラーム時刻やスケジュールの設定時刻になったときに鳴る音を設定します。
非通知着信音	着モーション／着信音	発信者番号を通知せずに電話がかかってきたときに鳴る音を設定します。
通知不可着信音	着モーション／着信音	発信者番号を通知できない電話（海外からの着信、一般電話から各種転送サービスを経由した着信など）がかかってきたときに鳴る音を設定します。
公衆電話着信音	着モーション／着信音	公衆電話から電話がかかってきたときに鳴る音を設定します。

おしらせ

- 「着モーション」や「TV電話着モーション」に設定している動画／ｉモーションが削除されたときは「着信音」や「TV電話着信音」に設定されているメロディが鳴ります。「着モーション」や「TV電話着モーション」以外の項目に、お買い上げ時に登録されているメロディ以外を設定している場合、メロディが削除されたときはお買い上げ時の設定で鳴ります。
- メロディを着信音・アラーム音に設定して鳴らすときや、曲名の選択中に鳴らすときに、メロディ全体を再生（フルコーラス再生）するか、メロディの一部分を再生（ポイント再生）するかを設定できます。[☛アプリP261]

曲名一覧

曲　名	画面上での表示	作曲者など
パターン1〜5	ﾊﾟﾀｰﾝ1〜ﾊﾟﾀｰﾝ5	―――――
電話・メロディA	電話･ﾒﾛﾃﾞｨA	―――――
電話・メロディB	電話･ﾒﾛﾃﾞｨB	―――――
電話・黒電話	電話･黒電話	―――――
電話・SuperBell”Z	電話･SuperBell"Z	―――――
電話・女性ボイス	電話･女性ﾎﾞｲｽ	―――――
メール・メロディA	ﾒｰﾙ･ﾒﾛﾃﾞｨA	―――――
メール・メロディB	ﾒｰﾙ･ﾒﾛﾃﾞｨB	―――――
メール・SuperBell”Z	ﾒｰﾙ･SuperBell"Z	―――――
メール・女性ボイス	ﾒｰﾙ･女性ﾎﾞｲｽ	―――――
メール・英語ボイス	ﾒｰﾙ･英語ﾎﾞｲｽ	―――――
アラーム・アナログ時計	ｱﾗｰﾑ･ｱﾅﾛｸﾞ時計	―――――
アラーム・SuperBell”Z	ｱﾗｰﾑ･SuperBell"Z	―――――
アラーム・女性ボイス	ｱﾗｰﾑ･女性ﾎﾞｲｽ	―――――
発車メロディ 車掌DJ mix	発車ﾒﾛﾃﾞｨ 車掌‥	―――――
主よ人の望みの喜びよ	主よ人の望みの‥	BACH JOHANN SEBASTIAN
カノン	ｶﾉﾝ	PACHELBEL JOHANN
ジムノペディ第1番	ｼﾞﾑﾉﾍﾟﾃﾞｨ第1番	SATIE ERIK ALFRED LESLIE
凱旋行進曲	凱旋行進曲	VERDI GIUSEPPE
おもちゃの兵隊のマーチ（「キューピー3分クッキング」のテーマ）	おもちゃの兵隊‥	JESSEL LEON
森のくまさん	森のくまさん	アメリカ民謡
島唄	島唄	宮沢和史
さくら	さくら	森山直太朗
・ネットワークメロディ（注1） ・データ交換メロディ（注2）	メロディのタイトル	メロディが保存されていないときは、表示できません。また、タイトルなしのメロディや壊れたメロディの曲名は「無題」と表示されます。
サイレント	ｻｲﾚﾝﾄ	―――――
着モーション／着信音	着ﾓｰｼｮﾝ/着信音	「着モーション」または「着信音」に設定した音と同じ音が鳴ります。非通知着信音、通知不可着信音、公衆電話着信音で選択できます。

（注1）メールで受信したメロディや、サイトからダウンロードしたメロディです。
（注2）赤外線通信で取得したメロディや、“メモリースティック Duo”からコピーしたメロディです。
※作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。

音声電話やテレビ電話の着モーション／着信音を変える

例「着モーション」または「着信音」を設定するとき

1 待受中に、メニュー「設定」▶「音・バイブレーター」▶「音の設定」を選択する

2 着モーション／着信音を設定する

①着モーション／着信音欄を選び ◉（選択）を押す

- テレビ電話がかかってきたときの動作を選択するときは、TV電話着モーション／TV電話着信音欄を選び ◉（選択）を押します。

②「着モーション」または「着信音」を選び ◉（選択）を押す

- 「TV電話着モーション／TV電話着信音」を設定するときは、「TV電話着モーション」または「TV電話着信音」を選び ◉（選択）を押します。

3 着モーションまたは着信音を設定する

■着モーションを設定する場合

①着モーション欄またはTV電話着モーション欄を選び ◉（選択）を押す

②「1.カメラ動画」「2.ネットワーク動画」「3.TV電話動画」のいずれかを選び ◉（選択）を押す

動画／ｉモーションのファイル名と先頭画像が表示されます。

- 以下の動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。
  - ・サイズが128×96ドット、176×144ドット以外の動画／ｉモーション
  - ・映像だけの動画／ｉモーション、テロップがある動画／ｉモーション
  - ・再生制限のある動画／ｉモーション
  - ・配布元が着モーション設定不可に設定した動画／ｉモーション

③ ◈で動画／ｉモーションを選び ◉（選択）を押す

- 動画／ｉモーションを一覧から選ぶには、サブメニュー「2.一覧表示」を選択し、フォルダを選び ◉（選択）を押します。ピクチャ一覧またはタイトル一覧が表示されますので、動画／ｉモーションを選び ◉（詳細）を押します。ピクチャ一覧とタイトル一覧の切り替えや、TV電話動画以外の動画／ｉモーションの情報表示ができます。[☛アプリＰ249]
- 動画／ｉモーションを再生するには、サブメニュー「1.再生」を選択します。再生が完了すると、ファイル名と先頭画像が表示されます。
  - ・再生を中止するには、◯（■）を押します。
  - ・再生中に ◎ で音量を調節できます。
  - ・着信音が鳴らない設定にしているときは音は鳴りません。

■着信音を設定する場合

①設定する音の着信音欄を選び ◉（選択）を押す

- 曲名の前には、以下のアイコンが表示されます。

  ：パターン　：効果音　：メロディ、サイレント

  ：ネットワークメロディ、データ交換メロディ
- 長い曲名は途中までしか表示されません。

②曲名を選び ◉（選択）を押す

- 曲名を選ぶごとにメロディが2回再生されます。（着信音が鳴らない設定にしているときは鳴りません。）再生を止めるにはダイヤルボタンを押します。
- 音が鳴らないようにするときは、「サイレント」を選びます。

4 ◯（登録）を押す

音が設定されます。

着信音を設定すると

- 音声電話がかかってきたとき、着信音は以下の優先順位で鳴ります。
  1.非通知着信音、通知不可着信音、公衆電話着信音
  2.グループ別設定の着信音（発信者番号が通知されたとき）
  3.着信音（音の設定で設定されている「着モーション」または「着信音」）
  ただし、PIMロック中は、音の設定の「着信音」が鳴ります。（「着信音」に、お買い上げ時に登録されているメロディ以外を設定しているときは、パターン１で鳴ります。）
- テレビ電話がかかってきたとき、着信音は以下の優先順位で鳴ります。
  1.グループ別着信音（発信者番号が通知されたとき）
  2.TV電話着信音（音の設定で設定される「TV電話着モーション」または「TV電話着信音」）
  ただし、PIMロック中は、音の設定の「ＴＶ電話着信音」が鳴ります。（「ＴＶ電話着信音」に、お買い上げ時に登録されているメロディ以外を設定しているときは、パターン2で鳴ります。）
- グループ別設定されている相手からの電話でも、PIMロック中または相手がシークレットメモリ登録されている場合は、グループ別設定の着信音は鳴りません。

おしらせ

- **映像と音を含んだ動画／ｉモーションを着モーションやTV電話着モーションに設定していると、電話がかかってきたときに、電話帳に登録されている画像やパートナー設定した電話着信アニメではなく、動画／ｉモーションの映像が表示されます。**
- **音のみの動画／ｉモーションを着モーションやTV電話着モーションに設定していると、電話がかかってきたときに、パートナー設定の電話着信アニメが表示されます。**

メールやメッセージR/Fの着信音、鳴動時間を変える

例「メール着信音」を設定するとき

1 待受中に、メニュー「設定」▶「音・バイブレーター」▶「音の設定」を選択する

2 着信音を設定する

- 操作方法：「音声電話やテレビ電話の着モーション／着信音を変える」の操作3（■着信音を設定する場合）

3 鳴動時間を設定する

① **メール鳴動時間欄を選び ◉（選択）を押す**
- 「メッセージＲ鳴動時間」または「メッセージF鳴動時間」を設定するときは、メッセージＲ鳴動時間欄またはメッセージF鳴動時間欄を選び ◉（選択）を押します。

② **0 〜 9 で時間を入力し ◉（確定）を押す**
- 0〜30秒までの間で設定できます。
- ◎ で数字を増減できます。
- 押し間違えたときは クリア を押して数字を消し、入力し直します。

4 ◯（登録）を押す

音が設定されます。

メール着信音を設定すると

- ●メールを受信したとき、メール着信音は以下の優先順位で鳴ります。
  1.グループ別設定のメール着信音
  2.メール着信音（音の設定で設定されている「メール着信音」）
  ただし、PIMロック中はメール着信音は鳴りません。また、メッセージ受信画面は表示されません。
- ●グループ別設定されている相手からのメールでも、相手がシークレットメモリ登録されている場合は、グループ別設定のメール着信音は鳴りません。

おしらせ

- ●鳴動時間を0秒に設定すると、メールやメッセージR/Fを受信したとき、着信音やバイブレーターは鳴動しません。
- ●通話中や操作中にメールやメッセージR/Fを受信したときは、メール着信音やメッセージR/Fの着信音は鳴りません。また、メッセージ受信画面は表示されません。
- ●PIMロック中は、メッセージR/Fを受信してもメッセージR/Fの着信音は鳴りません。また、メッセージ受信画面は表示されません。
- ●メールとメッセージR/Fを同時に受信したときはメール着信音だけが鳴ります。複数のメールを同時に受信したときは最後のメールの着信音だけが鳴ります。

アラーム音などを変える

アラーム音、非通知着信音、通知不可着信音、公衆電話着信音を変更します。
- **非通知着信音、通知不可着信音、公衆電話着信音を設定するときは「着モーション／着信音」も選択できます。**

例「アラーム音」を設定するとき

1 待受中に、メニュー「設定」▶「音・バイブレーター」▶「音の設定」を選択する

2 アラーム音を設定する

- 操作方法：「音声電話やテレビ電話の着モーション／着信音を変える」の操作3（■着信音を設定する場合）[☛Ｐ141]
- アラーム音には着モーションは設定できません。

3 ◎（登録）を押す

音が設定されます。

おしらせ

- アラームやスケジュールを設定していても、PIMロック中はアラーム画面は表示されず、アラーム音や振動による通知は行われません。

ボタン確認音　　お買い上げ時 ON

ボタンを押したときに鳴る音を消す

1 待受中に、メニュー「設定」▶「音・バイブレーター」▶「ボタン確認音」を選択する

2 「2.OFF」を選び ◉（選択）を押す

ボタン確認音が「OFF」に設定されます。
- ボタン確認音を鳴らすときは「1.ON」を選びます。

おしらせ

- ボタン確認音を「OFF」に設定すると、次の音も鳴らなくなります。
  - 電池残量確認音
  - 操作を間違えたときの警告音
- ボタン確認音を「OFF」に設定していても、静止画撮影時、動画撮影時のシャッター音、セルフタイマー音は鳴ります。
- ボタン確認音は受話音量で鳴ります。

充電確認音　　お買い上げ時 ON

充電時の確認音を設定する

充電を始めるときと充電完了後に確認音を鳴らすことができます。
- **電源が入っていないときには、充電確認音は鳴りません。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「音・バイブレーター」▶「充電確認音」を選択する

2 「1.ON」を選び ◉（選択）を押す

充電確認音が「ON」に設定されます。
- 充電確認音を鳴らさないようにするときは「2.OFF」を選びます。

おしらせ

- 以下の場合は充電確認音は鳴りません。
  - マナーモード中
  - ドライブモード中
  - 通話中　など
- 充電確認音は着信音量で鳴ります。ただし、レベル0に設定しているときはレベル1、Step Up・Step Downに設定しているときはレベル4で鳴ります。

待受画面の表示を変える

待受画面の表示を変更できます。
- **お買い上げ時には以下の画像が登録されています。**

■「カメラ画像」などの画像を表示するとき [☛P145]

カメラで撮影した静止画や、サイトから取り込んだ画像などを表示できます。

■ デジタル時計を表示するとき [☛P147]

お買い上げ時

■ 季節ごとに表示が切り替わるようにするとき [☛P147]

春（3～5月）　夏（6～8月）　秋（9～11月）　冬（12～2月）

■ その他

- カレンダーを表示するとき [☛P148]

おしらせ

- 待受画面にアニメーションを設定したときは、FOMA端末を開くと再生されます。
- 待受画面に動画／ｉモーションを設定したときは、FOMA端末を開くと音付きで再生されます。音量は音量調節やビデオプレーヤーなどで設定した動画再生音量に従います。マナーモード中、ドライブモード中は、音は再生されません。
- 待受画面にFlash画像を設定したときは先頭の画像が表示され、FOMA端末を開いたときに再生されます。最後まで再生するか、操作せず約75秒経過すると再生が終了します。再生終了後はFOMA端末を折りたたみ、再度開くまで、再生終了時の画像が表示されたままとなります。
  - 再生中にボタンを押すなどして画面が切り替わったときは、待受画面に戻ったときに先頭から再生されます。
  - 効果音は鳴りません。また、Flash画像中の項目選択などの操作はできません。
- アニメーションの再生中に[PWR]または[クリア]を押すと再生が終了します。
- アニメーション、Flash画像の再生中は、時計は表示されません。
- 保存したFlash画像の見えかたは、サイトで表示したときと異なる場合があります。また、サイトで正しく再生されていたFlash画像でも再生できない場合があります。
- 待受画面設定からもｉアプリ待受画面を設定できます。[☛アプリP75]

ｉアプリ待受画面を設定しているときは

ｉアプリ待受画面を設定しているときに、待受画面の設定を変更すると「ｉアプリ待受画面を解除しますか？」と表示されます。ｉアプリ待受画面を解除するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。解除しないときは「いいえ」を選びます。「いいえ」を選択したときは、待受画面設定で設定した待受画面よりも、ｉアプリ待受画面が優先して表示されます。

カメラ画像などの画像を表示する

カメラで撮影した静止画や、ｉモードで取得したｉモーションなど、FOMA端末に保存されている画像を設定します。

- **PIMロック中は設定できません。**
- **以下の画像は設定できません。**
  - **・インスピレーションウインドウ専用の画像**
  - **・ビジュアルパートナー専用の画像**
  - **・シークレット設定されているフォルダ内の画像**
  - **・サイズが640×480ドットより大きい静止画**
  - **・サイズが320×240ドットより大きいアニメーションとFlash画像**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「待受画面設定」▶「1.待受画像設定」▶「1.イメージ」または「2.ｉモーション」を選択する

2 画像の種類を選び ◉（選択）を押す

静止画または動画／ｉモーションが表示されます。

- 操作1で「1.イメージ」を選んだときは静止画、「2.ｉモーション」を選んだときは動画／ｉモーションが表示されます。

3 ◎ で画像を選ぶ

■ フォルダ一覧から画像を選ぶには

①サブメニュー「5.一覧表示」を選択する

フォルダ一覧が表示されます。

- シークレット設定されているフォルダは表示されません。

②フォルダを選び ◉（選択）を押す

ピクチャ一覧またはタイトル一覧が表示されます。[☛アプリP226]

③画像を選び ◉（詳細）を押す

■動画／ｉモーションやアニメーション、Flash画像を再生するには

①サブメニュー「1.再生」を選択する

- 動画／ｉモーションの音量を調節するには で音量を選び （OK）を押します。
- 動画／ｉモーションの再生を止めるには （■）を押します。 または を押しても再生が終了します。（再生中にFOMA端末を折りたたんでも再生は止まりません。）
- アニメーションやFlash画像の再生を止めるには （停止）を押します。、、 、 ～ 、 、 を押しても再生が終了します。
- Flash画像は、操作せずに約75秒経過すると終了します。
- Flash画像の効果音は鳴りません。また、Flash画像中の項目選択などの操作はできません。
- 保存したFlash画像の見えかたは、サイトで表示したときと異なる場合があります。また、サイトで正しく再生されていたFlash画像でも再生できない場合があります。
- 動画／ｉモーションを再生する場合、マナーモード中またはドライブモード中は問合せ画面が表示されます。音付きで再生するときは「はい」、音なしで再生するときは「いいえ」を選び （選択）を押します。
- Flash画像再生中に音声着信があると、通話終了後に、画像が誤っていることを示すメッセージが表示されることがあります。この場合、再度Flash画像を再生すると、正しく再生される場合があります。

4 で時計を選ぶ

- を押すと、デジタル時計（大）→デジタル時計（小）→時計なしの順に切り替わります。

5 必要に応じて表示形式、位置などを変更する

■時計の表示形式（12時間制／24時間制）を変えるには

①サブメニュー「2.12/24h切替」を選択する

■画像の表示形式を変えるには

画像の表示形式を以下から選択できます。

中央表示	画像の横幅が表示領域より大きいときは、画像が縮小されて表示されます。また、画像の縦が表示領域より大きいときは、上下が切り捨てられて表示されます。
全画面表示	画面の表示領域より大きな画像の表示は「中央表示」の場合と同じです。画面の表示領域より小さい画像は、縦または横が画面の表示領域になるまで拡大されて表示されます。ただし、拡大倍率は最大2倍です（拡大されても画面サイズより小さく表示される場合もあります）。

①サブメニュー「3.全画面表示」を選択する

- 全画面表示から中央表示に切り替えるには、サブメニュー「3.中央表示」を選択します。

■時計と日付の表示位置を変えるには

①サブメニュー「4.時計位置調整」を選択する

② で表示位置を調整し （選択）を押す

- 時計が大サイズのときは、時計の位置だけを調整できます。日付の位置は調整できません。
- 時計が小サイズのときは、時計の位置に連動して日付の位置も調整されます。

6 （選択）を押す

待受画面が設定されます。

おしらせ

- 設定されている画像が削除されたり、シークレット設定された場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 連続撮影した静止画を設定しても、再生されません。
- ｉモーションによっては、待受画面に設定できない場合があります。
- 「ｉモーション」を設定した場合、待受画面からWeb To機能は利用できません。

デジタル時計を表示する

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「待受画面設定」▶「1.待受画像設定」▶「3.デジタル時計」を選択する**

2 **デザインと時計のサイズを選ぶ**

大サイズ

小サイズ

① でデザインを選ぶ
② で時計のサイズを選ぶ

3 **必要に応じてデジタル時計の表示形式、位置を変更する**

- 操作方法：「カメラ画像などの画像を表示する」操作5 [☛P146]
- 画像の表示形式は変更できません。

4 **（選択）を押す**

待受画面が設定されます。

季節ごとに自動で表示を切り替える

季節ごとに待受画面の表示が自動で切り替わります。
• 日付・時刻を設定していないときは設定できません。

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「待受画面設定」▶「1.待受画像設定」▶「4.季節」を選択する**

2 **必要に応じて時計の表示形式、位置を変更する**

- 操作方法：「カメラ画像などの画像を表示する」操作5 [☛P146]
- 時計のサイズは変更できません（小サイズ固定）。

3 **（選択）を押す**

待受画面が設定されます。

カレンダーを表示する

• 日付・時刻を設定していないときは設定できません。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「待受画面設定」▶「1.待受画像設定」▶「5.カレンダー」を選択する

2 必要に応じてデジタル時計の表示形式を変更する

• 操作方法：「カメラ画像などの画像を表示する」操作5 [☛P146]
• 時計のサイズは変更できません（小サイズ固定）。
• 時計と日付の表示位置は変更できません。

3 ◉（選択）を押す

待受画面が設定されます。

おしらせ

● 土曜は青色、日曜・祝日は赤色で表示されます。ただし、祝日が変更、新設されても、画面表示は変わりません。祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいています（2004年5月現在）。

フォトコール設定　　お買い上げ時 両画面表示

着信時に電話帳に設定した画像を表示する

電話帳に登録されている相手から電話がかかってきたときに、電話帳に設定されている画像をメインディスプレイとインスピレーションウィンドウに表示できます。

1 待受中に、メニュー「でんわ」▶「フォトコール設定」を選択する

着信時に画像をどこに表示するかの選択画面が表示されます。
• 待受中にメニュー「設定」▶「画面・表示」▶「フォトコール設定」を選択しても操作できます。

2 「1.両画面表示」、「2.メインディスプレイ」、「3.インスピレーションウィンドウ」のいずれかを選び ◉（選択）を押す

フォトコールが設定されます。
• 解除するときは「4.表示しない」を選びます。

おしらせ

● 画像を表示するに設定していても、以下の場合には画像は表示されません。
  • 発信者番号を通知せずに電話をかけてきた場合
  • 着信音を着モーションに設定しているとき
  • 相手がシークレットメモリ登録されている場合
  • PIMロック中
● 画像を表示しないように設定すると、メインディスプレイにはパートナー設定の「電話着信アニメ」に設定されているアニメーションが表示されます。
● メールを受信したときは、電話帳に設定されている画像は表示されません。
● FOMA端末を開いているときは、インスピレーションウィンドウに画像は表示されません。

インスピレーションウィンドウを設定する

インスピレーションウィンドウの表示を変更できます。

- カメラで撮影した静止画、ｉモードで取り込んだ画像などを表示する（背面画面設定）
- 折りたたんでいるときのインスピレーションウィンドウの表示を消す（省電力設定）[☛P150]
- 電話着信時やメール受信時に、相手の名前や電話番号、メールの題名などを表示する（相手表示設定）[☛P151]

［背面画面設定］　　お買い上げ時 デジタル時計（大）

インスピレーションウィンドウの表示を変える

- PIMロック中は設定できません。
- 時計の表示形式は変更できません（24時間制固定）。

カメラ画像などを表示する

以下の画像は設定できません。

- Flash画像
- 動画／ｉモーション
- アニメーション
- 待受画面専用の画像
- ビジュアルパートナー専用の画像
- シークレット設定されているフォルダ内の画像
- サイズが240×320ドットより大きい画像

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「インスピレーションウィンドウ」▶「1.背面画面設定」▶「1.イメージ」を選択する

2 画像の種類を選び ◉（選択）を押す

画像が表示されます。

3 ◎で画像を選ぶ

■ **フォルダ一覧から画像を選ぶには**

①**サブメニュー「1.一覧表示」を選択する**

- 以降の操作：「カメラ画像などの画像を表示する」操作3 [☛P145]

■ **画像を確認するには**

①**サブメニュー「2.情報表示」を選択する**

- ◎で画像のファイル名や画像サイズを表示できます。

②**◉（OK）を押す**

4 ◎で時計を選ぶ

- ◎を押すと、デジタル時計（大）→デジタル時計（小）→時計なしの順に切り替わります。

5 ◉（選択）を押す

インスピレーションウィンドウの画面が設定されます。

おしらせ

- **画像がインスピレーションウィンドウの表示領域より大きいときは、表示領域のサイズに合うまで、縮小して表示されます。**
- **設定している画像が削除されたり、シークレット設定された場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。**

デジタル時計を表示する

お買い上げ時には以下の画像が登録されています。

お買い上げ時

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「インスピレーションウィンドウ」▶「1.背面画面設定」▶「2.デジタル時計」を選択する

2 ◎でデザインを選ぶ

- ◎で時計のサイズを選べます。

3 ◉（選択）を押す

インスピレーションウィンドウの画面が設定されます。

［省電力設定］　　お買い上げ時 非表示モード

電池の消耗を少なくする

インスピレーションウインドウが非表示モードになって電池の消耗が少なくなります。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「インスピレーションウィンドウ」▶「2.省電力設定」を選択する

モードの選択画面が表示されます。

2 「1.非表示モード」を選び◉（選択）を押す

省電力が設定されます。

- 画面の表示が消えないようにするときは「2.常時表示モード」を選びます。

電池の消耗を少なくする設定にすると

- 待受中に、FOMA端末を折りたたんだ状態で何も操作せずに約1分が経過すると非表示モードになり、画面の表示が消えます。電源を入れた状態で充電している場合も、約1分が経過すると非表示モードになります。
- 非表示モードは、以下の場合に解除されます。
  - 電話がかかってきたとき
  - ○(リアボタン)や(ZOOM)、⦿(サイドC)を押したとき
  - アラーム時刻、スケジュールの設定日時になったとき
  - スイッチ付イヤホンマイク接続時に、スイッチを使って電話をかけたとき など
  - メールやメッセージR/Fを受信したとき
  - FOMA端末を開いたとき

［相手表示設定］　お買い上げ時 音声/TV電話発着信：名前＋電話番号 メール着信：アドレス＋件名

発着信時に相手の名前やメールの題名などを表示する

電話がかかってきたときや電話をかけたとき、メールを受信したときに、相手の名前や電話番号、メールの題名などを、インスピレーションウィンドウに表示するかどうかを設定できます。

- **電話がかかってきたときや電話をかけたとき、電話帳に設定されている相手の画像を表示するには［☛P148］**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「インスピレーションウィンドウ」▶「3.相手表示設定」を選択する

2 音声／TV電話発着信を設定する

①音声／TV電話発着信欄を選び ◎（選択）を押す

②項目を選び ◎（選択）を押す

- 「名前＋電話番号」「名前のみ」「電話番号のみ」「表示しない」のいずれかを選びます。

3 メール着信を設定する

①メール着信欄を選び ◎（選択）を押す

②項目を選び ◎（選択）を押す

- 「アドレス＋件名」「アドレスのみ」「表示しない」のいずれかを選びます。

4 ◯（登録）を押す

相手表示が設定されます。

名前や電話番号、題名などを表示する設定にすると

- 電話がかかってきたときや電話をかけたとき、メールを受信したときは、FOMA端末を折りたたんでいると、設定に従ってインスピレーションウィンドウに相手の電話番号やアドレスなどが表示されます。相手の電話番号やアドレスが電話帳に登録されている場合、名前が表示されます。
  - 発信者番号が通知されずに電話がかかってきた場合は、電話番号や名前は表示されません。
- 電話番号に「186（＊31＃）」「184（＃31＃）」を付けて電話帳に登録した場合でも、発信者番号が通知されて電話がかかってきたときは、名前が表示されます。ただし、リダイヤルには、「186（＊31＃）」「184（＃31＃）」も含めて電話帳に登録されている番号と完全に一致した場合に名前が表示されます。
- 以下の場合は、電話番号やアドレスが一致しても名前は表示されません。
  - 相手がシークレットメモリ登録されている場合
  - PIMロック中
  - メールセキュリティ設定中(注)
  - シークレット設定されているフォルダにメールが振り分けられた場合(注)

（注）電話番号やメールアドレス・題名も表示されません。

電源を入れたときの画面を設定する

電源を入れてから待受画面を表示するまでの間に、カメラで撮影した動画や、ｉモードで取得したｉモーションなど、FOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを設定できます。

- **Flash画像、静止画、アニメーション、シークレット設定されているフォルダ内の画像は設定できません。**

例 FOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを設定するとき

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「ウェイクアップ表示」を選択する

2 「2.ｉモーション」を選び ◉（選択）を押す

- お買い上げ時の設定に戻すには「1.ウェイクアップアニメーション」を選びます。操作5に進みます。
- 解除するときは「3.設定なし」を選びます。

3 画像の種類を選び ◉（選択）を押す

動画／ｉモーションが表示されます。

4 画像を選ぶ

■ **動画／ｉモーションを再生するには**

①**サブメニュー「1.再生」を選択する**

- 以降の操作：「カメラ画像などの画像を表示する」操作3 [☛P145]

■ **フォルダ一覧から画像を選ぶには**

①**サブメニュー「2.一覧表示」を選択する**

- 以降の操作：「カメラ画像などの画像を表示する」操作3 [☛P145]

5 ◉（選択）を押す

ウェイクアップ表示が設定されます。

おしらせ

- **動画／ｉモーションを設定したときは音付きで再生されます。音量は音量調節やビデオプレーヤーなどで設定した動画再生音量に従います。マナーモード中、ドライブモード中は、音は再生されません。**

ビジュアルパートナーを設定する

電話がかかってきたときや電話をかけるとき、メールを送受信するときなどに、メインディスプレイにアニメーションを表示できます（ビジュアルパートナー）。
- お買い上げ時に登録されているキャラクタ以外に、カメラで撮影した静止画やサイトからダウンロードしたデータ（ｉアニメや画像）なども表示できます。
- PIMロック中は設定できません。

ビジュアルパートナーを設定する

ビジュアルパートナーを設定すると、以下の画面にアニメーションが表示されます。

種　類	アニメーションが表示される画面
確認画面（OK）	機能を正しく実行できたときの確認画面
確認画面（NG）	機能を正しく実行できなかったときの確認画面
電話発信アニメ	電話をかけるときの発信中の画面
電話着信アニメ	電話がかかってきたときの画面
メール送信アニメ	メール送信中の画面
メール着信アニメ	メールやメッセージR/Fを受信中の画面
はい／いいえアニメ	「はい」／「いいえ」の問合せ画面

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「パートナー設定」を選択する**

お買い上げ時のキャラクタ

2 **ビジュアルパートナーを選ぶ**

- カメラで撮影した静止画やダウンロードしたｉアニメ・画像などを設定するときは「ユーザデータ」を選びます。画像などが「ユーザデータ」に設定されていないときは、設定できません。
- 解除するときは「設定なし」を選びます。

■ビジュアルパートナーのアニメーションを確認するには

① ◯（一覧）を押す

② ◎ で画面を選び ◉（再生）を押す

アニメーションが2回再生されます。
- 再生を止めるには ◉（停止）を押します。

③ ◯（戻る）を押す

3 **◉（選択）を押す**

ビジュアルパートナーが設定されます。

おしらせ

- 「ユーザデータ」に設定した場合、アニメーションが設定されていない画面には、「設定なし」のアニメーションが表示されます。設定されているアニメーションを確認し、設定・変更できます。
- 「ユーザデータ」の「はい／いいえアニメ」画面のアニメーション表示領域のサイズは、横240×縦132ドットです。その他の画面は、横240×縦144ドットです。
  画像の横幅が表示領域より大きいときは、画像が縮小されて表示されます。また、画像の縦が表示領域より大きいときは上下を切り捨てて表示されます。
- 連続撮影された静止画を設定しても、再生されません。
- ｉアプリ実行中の一部の画面では、パートナー設定で設定されているキャラクタは表示されません。（「設定なし」の画像が表示されます。）また、「ユーザデータ」に設定していても、メモリ不足により「設定なし」のアニメーションが表示されることがあります。

ユーザデータを変更する

パートナー設定の「ユーザデータ」に登録されている画像を確認できます。画像未登録の画面に新たに画像を登録したり、画像を差し替えたりできます。

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「パートナー設定」を選択する**

2 **「ユーザデータ」を選び ◯（一覧）を押す**

現在登録されている画像が表示されます。
- ◎ で各画面に設定されている画像を確認できます。
- 画像が登録されていない画面には「ユーザデータ未登録」と表示されます。

3 **◎ で画面を選び、サブメニュー「1.変更」を選択する**

4 **画像の種類を選び ◉（選択）を押す**

- 以下の画像は設定できません。
  ・待受画面専用の画像など、使用画面が決められている画像
  ・Flash画像　　・動画／ｉモーション
  ・サイズが240×320ドットより大きい画像

5 **画像を選ぶ**

■フォルダ一覧から画像を選ぶには

① ◯（一覧）を押す
- 以降の操作：「カメラ画像などの画像を表示する」操作3 [☛P145]

6 **◉（選択）を押す**

画像が変更されます。

ユーザデータを解除する

パートナー設定の「ユーザデータ」に登録されている画像を解除できます。画面ごとに解除することも、すべて解除することもできます。

- **解除しても、FOMA端末に保存されている画像は削除されません。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「パートナー設定」を選択する

2 「ユーザデータ」を選び ◎（一覧）を押す

3 ◎ で画面を選び、サブメニュー「2.解除」を選択する

画像が解除されます。

■全件解除するには

①サブメニュー「3.全件解除」を選択する

②「はい」を選び ◎（選択）を押す

全件解除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

- **パートナー設定を「ユーザデータ」に設定している場合、画像を解除した画面には「設定なし」のアニメーションが表示されます。また、画像をすべて解除すると、パートナー設定はお買い上げ時の設定に戻ります。**
- **「ユーザデータ」に画像が登録されていない状態で、パートナー設定を「ユーザデータ」に設定することはできません。**

ディスプレイの濃淡を調節する

周囲の明るさや、見る角度によって画面が見えにくいときは、コントラストを調節すると画面が見やすくなります。メインディスプレイ、インスピレーションウィンドウは、それぞれレベル1～20の20段階で調節できます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「コントラスト調節」を選択する

調節対象の選択画面が表示されます。

2 「1.メインディスプレイ」または「2.インスピレーションウィンドウ」を選び ◎（選択）を押す

現在設定されているコントラストのレベルが表示されます。

メインディスプレイ

インスピレーションウィンドウ

- インスピレーションウィンドウのコントラストは、メインディスプレイでは確認できません。インスピレーションウィンドウを見ながら調節してください。

3 ◎ でレベルを選び ◎（設定）を押す

コントラストが設定されます。

- ◎ を押すとコントラストが1レベル上がり、◎ を押すとコントラストが1レベル下がります。

ディスプレイとボタンの照明を設定する

FOMA端末のメインディスプレイやインスピレーションウィンドウ、ボタン部分などについて、照明のしかたを設定します。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「照明設定」を選択する

2 各項目ごとに照明を設定する

①各項目の設定欄を選び ◉（選択）を押す
②照明のしかたを選び ◉（選択）を押す

3 ◯（登録）を押す

照明が設定されます。

おしらせ

● 携帯時設定、背面輝度設定にかかわらず、以下のときはメインディスプレイやインスピレーションウィンドウが点灯します。（テレビ電話の場合、応答保留、応答メッセージ再生中、電話がかかってきたときの照明のしかたは「TV電話通話中」の設定に従って動作します。）
- PWRを押したとき（メインディスプレイだけ）
- ◯(ﾘｱﾎﾞﾀﾝ)を押したとき（インスピレーションウィンドウだけ）
- ◀ZOOM▶、⦿(ｻｲﾄﾞC)を押したとき（折りたたみ時、インスピレーションウィンドウだけ）
- 電源を入れたとき
- アラーム時刻やスケジュールの設定時刻になったとき
- 応答保留中（約75秒間点灯）
- 伝言メモ起動時（応答メッセージ再生開始から約75秒間点灯）
- 自動電源ON時
- 電話がかかってきたとき（電話に出てから約75秒間点灯）
- メール、メッセージR/Fを受信して、メッセージ受信画面を表示したとき
- スイッチ付イヤホンマイク接続時に、スイッチを使って電話をかけたとき

● AC/DCアダプタ接続時を「常時照明」に設定していても、ACアダプタ・DCアダプタなどを接続していないときや、接続していても電源がきていないときは、常時点灯になりません。

● FOMA端末を折りたたむと以下のように動作します。
- メインディスプレイとボタンの照明は設定にかかわらず消灯します。
- インスピレーションウィンドウは、設定に従って動作します。

● 照明の点灯が続くと電池を消耗します。ｉアプリのソフトなどで長時間ボタン操作をするときは携帯時設定を「通常照明（低輝度）」に、データ通信などをするときは「節約照明」に設定すると、電池を節約できます。

設定できる項目と照明のしかた

項目（お買い上げ時）	説　明
携帯時設定 （通常照明(中輝度)）	AC／DCアダプタで充電していないときのメインディスプレイの照明のしかたが選べます。 • 通常照明(高輝度)： FOMA端末を開いたときやボタンを押したときに、高輝度で約15秒点灯したあと、低輝度で約60秒点灯します。 • 通常照明(中輝度)： FOMA端末を開いたときやボタンを押したときに、中輝度で約15秒点灯したあと、低輝度で約60秒点灯します。 • 通常照明(低輝度)： FOMA端末を開いたときやボタンを押したときに、低輝度で約75秒点灯します。 • 節約照明：点灯しません。
AC/DCアダプタ接続時（通常照明）	外部電源接続時の照明のしかたとして、通常照明または常時照明が選べます。[注1]
背面輝度設定 （高輝度）	インスピレーションウィンドウの照明のしかたとして、高輝度または低輝度が選べます。インスピレーションウィンドウは、FOMA端末を閉じたときや○(リアボタン)・[◀ZOOM▶]・⊙(サイドC)を押したときに、約15秒点灯します。[注2]
TV電話通話中 （常時照明）	テレビ電話通話中の照明のしかたとして、通常照明または常時照明が選べます。[注1]
カメラ撮影 （常時照明）	カメラ撮影の照明のしかたとして、通常照明または常時照明が選べます。[注1][注3]
コード認識中 （常時照明）	バーコードリーダーでコード認識中のインスピレーションウィンドウの照明のしかたとして、通常照明または常時照明が選べます。[注4]
静止画スライドショー （常時照明）	静止画スライドショー表示中の照明のしかたとして、通常照明または常時照明が選べます。[注1]
ブラウザ（通常照明）	サイト表示中の照明のしかたとして、通常照明または常時照明が選べます。[注1]
動画再生中（常時照明）	動画再生中の照明のしかたとして、通常照明または常時照明が選べます。[注1]
キーバックライト （ON）	ボタン照明のしかたとして、ONまたはOFFが選べます。 • ON：FOMA端末を開いたときやボタンを押したときに約15秒点灯します。[注5] • OFF：点灯しません。

（注1）通常照明は携帯時設定で設定した輝度で約15秒点灯したあと、低輝度で約60秒点灯します（ただし、携帯時設定を「節約照明」に設定している場合は点灯しません）。
常時照明はテレビ電話通話中などに常時点灯します。輝度は携帯時設定に従います。

（注2）FOMA端末を開いているときに[◀ZOOM▶]・⊙(サイドC)を押しても点灯しません。また、FOMA端末を閉じている場合、外部ボタン操作無効設定中は、○(リアボタン)・[◀ZOOM▶]・⊙(サイドC)を押しても点灯しません。

（注3）常時照明に設定すると、撮影待機中も常時点灯します。

（注4）通常照明は背面輝度設定で設定した輝度で約15秒点灯します。常時照明は、読取り待機中も常時点灯します。

（注5）携帯時設定を「節約照明」にしているときはボタン照明も点灯しません。

ナチュラルカラーマトリックス

お買い上げ時 ON

自然な色で表示する

メインディスプレイの表示をより自然な美しい色に自動調整する「ナチュラルカラーマトリックス」が搭載されています。お好みに応じて設定してください。
- **インスピレーションウィンドウの表示は変わりません。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「ナチュラルカラーマトリックス」を選択する

2 「1.ON」を選び ◉（選択）を押す

ナチュラルカラーマトリックスが「ON」に設定されます。
- 解除するときは「2.OFF」を選びます。

表示サイズ設定

お買い上げ時 拡大表示OFF

表示する画像のサイズを設定する

静止画や動画を表示する際に、拡大表示するかどうかを設定します。
- **表示サイズ設定の拡大表示ONは以下の機能で有効です。**
  - **“ メモリースティック Duo ”**
  - **マルチメディア**
  - **メール（メール添付ファイル選択時）**
  - **イメージビューアー（詳細表示時）**
  - **ウェイクアップ表示**
- **サイズが240×240ドット以下の静止画、動画が拡大表示されます。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「表示サイズ設定」を選択する

2 「1.拡大表示ON」を選び ◉（選択）を押す

表示サイズ設定が「拡大表示ON」に設定されます。
- 等倍表示に戻すときは「2.拡大表示OFF」を選びます。

操作終了後に問合せ画面を表示する

パートナーアシストを設定すると、以下の場合に問合せ画面が表示され、続けて登録などの操作を行うかどうかを選択できます。

設定した項目	問合せ画面が表示されるとき	説　明
電話帳	通話終了時	電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、通話終了時に続けて電話帳へ登録できます。[☛P57]
ネットワーク画像	画像保存時	サイトやメールから画像保存を行ったとき、続けて待受画面などに設定できます。[☛アプリP42]
着信音	メロディ保存時	サイトからｉメロディを取り込んだときや、メールやメッセージR/Fのメロディ保存を行ったとき、続けて着信音に設定できます。[☛アプリP44、147]

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「パートナーアシスト設定」を選択する

2 問合せ画面を表示する項目を☑にする

設定を変更する項目の☑または□を選び◉（選択）を押します。☑と□が切り替わります。

3 ◯（登録）を押す

パートナーアシストが設定されます。

パートナーアシストを設定すると

例えば、電話帳未登録の相手との通話終了時は、相手を電話帳に登録するかどうかの問合せ画面が表示されます。

- 問合せ画面は、約15秒間操作しないと自動的に消え、待受画面に戻ります。
- 着信前に登録や設定をしていた場合は、登録後や設定後、待受画面に戻ったときに問合せ画面が表示されます。
- ビジュアルパートナーを設定しているときは、設定したキャラクタが問合せ画面に表示されます。
- 登録するときは「はい」を選び◉（選択）を押すと、電話帳の登録画面が表示されます。登録しないときは「いいえ」を選びます。

暗証番号について

FOMA端末の各種機能用の端末暗証番号のほかに、お申込みいただく各オプションサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなど用途ごとに暗証番号やパスワードがあります。

- **お客様が設定した端末暗証番号、およびオプションサービス用のネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードは、メモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。万一、暗証番号やパスワードをお忘れになった場合は、FOMA端末を当社窓口へご持参のうえ、変更の手続きをしていただく必要があります。その際、他人による不正な変更を防止するために、ご契約者本人であることを確認できる書類（運転免許証など）のご提示が必要となります。**

端末暗証番号

FOMA端末の各種機能の中には、設定や解除の操作で暗証番号の入力が必要なものがあります。この暗証番号を端末暗証番号といいます。端末暗証番号をお好みの番号に設定しておくと、お客様自身でないと各種機能の設定や解除ができなくなります。

ネットワーク暗証番号

発信者番号通知サービスやデュアルネットワークサービスなどのオプションサービスを利用するときに使う暗証番号です。ネットワーク暗証番号は、各オプションサービスのご契約時にお決めいただきます。FOMA端末や他の電話機から自分で変更することはできません。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。ご契約時はどちらも「0000」に設定されています。お客様独自の番号に変更してください。[☛P163]

ｉモードパスワード

ｉモードのマイメニュー登録／解除、メッセージサービスの申込み／解約、メール設定を行うときに使うパスワードです。ご契約時は「0000」に設定されています。お客様独自の番号に変更してください。[☛アプリP32]

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時 0000

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「暗証番号の変更」を選択する**

2 **現在の端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す**

- お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」です。
- 入力した数字は「_」で表示されます。
- 押し間違えたときは クリア を押して「_」を消し、入力し直します。
- 正しくないときは「暗証番号が違います」と表示され、待受画面に戻ります。
- 端末暗証番号を入力せずに約15秒たつと、自動的に待受画面に戻ります。最初から操作し直してください。

3 **新しい端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す**

- 4～8桁の範囲で設定できます。「#」「※」は使えません。
- 押し間違えたときは クリア を押して数字を消し、入力し直します。

4 **「はい」を選び ◉（選択）を押す**

端末暗証番号が変更されます。

- 変更しないときは「いいえ」を選びます。

PINコードを設定する

PINコードには、PIN1コードとPIN2コードがあります。

- **PIN1入力ON/OFF設定で、電源を入れたときにPIN1コードの入力をするかしないかを設定できます。**
- **PIN1コード、PIN2コードはお好みの番号に変更できます。**
- **PIN1コード、PIN2コードについては [☛P35]**

[PIN1入力ON/OFF設定]

お買い上げ時 OFF

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「PIN1入力ON/OFF設定」を選択する**

2 **「1.ON」を選び ◉（選択）を押す**

- 「ON」に設定しているときに「ON」を選択した場合、または「OFF」に設定しているときに「OFF」を選択した場合は、操作3は不要です。
- PIN1コード入力なしにするには「2.OFF」を選びます。

3 **PIN1コードを入力し、◉（選択）を押す**

PIN1コード入力ありに設定されます。

- お買い上げ時は「0000」です。

[PIN1コード変更]　　お買い上げ時 0000

PIN1コードを変更する

• PIN1コードの変更は、PIN1入力ON/OFF設定を「ON」に設定してから行ってください。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「PIN1の変更」を選択する

2 端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

3 現在のPIN1コードと新しいPIN1コードを入力する

①現在のPIN1コードを入力し ◉（選択）を押す
②新しいPIN1コードを入力し ◉（選択）を押す

- お買い上げ時は「0000」です。
- 入力した数字は「_」で表示されます。
- 新しいPIN1コードには4〜8桁の数字を入力します。
- 押し間違えたときは クリア を押して「_」を消し、入力し直します。

4 新しいPIN1コードをもう一度入力し ◉（選択）を押す

PIN1コードが変更されます。

- 現在のPIN1コードが正しく入力できなかったときは、操作3からやり直します。現在のPIN1コードの入力に3回失敗すると、PINロック解除コード入力の画面が表示されます。[☛P165]
- 新しいPIN1コードの一度めの入力と二度めの入力が一致していないときは、操作3からやり直します。

[PIN2コード変更]　　お買い上げ時 0000

PIN2コードを変更する

1 待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「PIN2の変更」を選択する

2 端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

3 現在のPIN2コードと新しいPIN2コードを入力する

①現在のPIN2コードを入力し ◉（選択）を押す
②新しいPIN2コードを入力し ◉（選択）を押す

「新しいPIN2コードを再度入力して下さい」と表示されます。

- お買い上げ時は「0000」です。
- 入力した数字は「_」で表示されます。
- 新しいPIN2コードには4〜8桁の数字を入力します。
- 押し間違えたときは クリア を押して「_」を消し、入力し直します。

4 新しいPIN2コードをもう一度入力し◎（選択）を押す

PIN2コードが変更されます。

- 現在のPIN2コードが正しく入力できなかったときは、操作3からやり直します。現在のPIN2コードの入力に3回失敗すると、PINロック解除コード入力の画面が表示されます。[☛P165]
- 新しいPIN2コードの一度めの入力と二度めの入力が一致していないときは、操作3からやり直します。

PIN1コードを入力する

PIN1入力ON/OFF設定を「ON」に設定している場合は、電源を入れたときにPIN1コード入力の画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、通話や通信ができません。

1 [PWR]を1秒以上押し電源を入れる

- ご契約の内容により、サービスプロバイダ選択画面が表示されることがあります。この場合は、サービスプロバイダを選び◎（選択）を押します。

2 PIN1コードを入力し◎（選択）を押す

待受画面が表示されます。

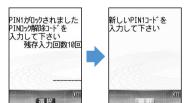
- お買い上げ時は「0000」です。別の番号に変更できます。[☛P163]
- 入力した数字は「_」で表示されます。
- 押し間違えたときは[クリア]を押して「_」を消し、入力し直します。
- 正しいPIN1コードを入力できなかったときは再入力できます。入力に3回失敗すると、PINロック解除コード入力の画面が表示されます。[☛P165]

PINロックを解除する

PINコード入力に3回失敗したときは、次の手順で新しいPINコードを設定してください。以降は変更後のPINコードが有効になります。

- **入力に3回失敗するとPINがロックされます。画面にはPINコードが認証できなかった旨が表示されたあと、PINロック解除コード入力の画面が表示されます。**
- **PIN1コード、PIN2コードとも操作方法は同じです。**
- **PINロック解除コードは、ご契約の際にお客様にお知らせする8桁の数字です。メモをとるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。また、他人に知られないようにしてください。**
  なお、PINロック解除コードを忘れた場合やPINロックを解除できなくなった場合は当社窓口までお問い合わせください。

例 PIN1コードのロックを解除するとき

1 PINロック解除コードを入力し ◉（選択）を押す

- 入力した数字は「_」で表示されます。
- 押し間違えたときは クリア を押して「_」を消し、入力し直します。

2 新しいPIN1コードを入力し ◉（選択）を押す

「新しいPIN1コードを再度入力して下さい」と表示されます。

3 新しいPIN1コードをもう一度入力し ◉（選択）を押す

PIN1コードが変更されます。

- 新しいPIN1コードの一度めの入力と二度めの入力が一致していないときは、操作2からやり直します。

PINがロックされると

PINロック解除コードは10回まで入力できます。10回めに正しく入力できなかったときは、PINロック解除コードがロックされ、待受画面に戻ります。この場合、電源を入れ直してもPINロック解除コードのロックは解除できません。

● PIN1がロックされると、次のような電波を送受信する操作は行えなくなります。
- 電話をかける、受ける
- ｉモードメールを送信・受信する
- ｉモードのサイトを表示する、メッセージR/Fを受信する
- FOMAカードに保存されているデータを表示する

● PIN2がロックされると、ユーザ証明書発行申請と利用ができなくなります。

ロック機能について

FOMA端末を他人が勝手に使用するのを防いだり、電話帳やスケジュールなどの個人情報を見られたり変更されないように、さまざまなロック機能があります。複数のロック機能を組み合わせて設定できます。

項　目	説　明	参照先
オールロック	メニュー機能の操作などFOMA端末からの操作ができなくなり、他人が勝手に使用するのを防ぎます。	P167
PIMロック	電話帳やスケジュールなどの表示や編集ができなくなり、個人情報の表示や改ざんを防ぎます。	P168 P169
ダイヤル発信制限	ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにします。	P169
履歴表示設定	リダイヤルや着信履歴の表示ができないようにします。	P170
セルフモード	電話の発着信やメールの送受信などの通信機能を利用できないようにします。	P171
外部ボタン操作無効設定	FOMA端末を折りたたんだときのサイドボタンとリアボタンの操作を無効にし、誤動作を防ぎます。	P172

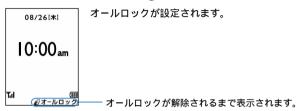
他の人が使用できないようにする

メニュー機能の操作などFOMA端末の操作ができないようにします。
- **電話をかけることや受けることなどもできなくなります。**
- **オールロック中は、110番、119番、118番にも電話をかけられません。**

1 待受中に、◎（メニュー）を押し、続けて［#］を1秒以上押す

- 待受中に◯（ジャンプ）を1秒以上押しても設定できます。

2 端末暗証番号を入力し◉（選択）を押す

オールロックが設定されます。

オールロックを設定すると

● 次の操作のみ行えます。（電話をかけることや受けることはできません。）
- オールロックを解除する
- 電源を入れる、切る

● オールロック中に電話がかかってきても着信音は鳴らず、振動もしません。着信履歴に記録されます。（オールロック解除後に不在着信アイコンは表示されます）。リアボタンは点滅しません。相手側では話中音が鳴り、電話が切れます。
● オールロック中にメールやメッセージR/Fを受信しても、メール着信音やメッセージR/Fの着信音は鳴りません。また、メッセージ受信画面は表示されません。
● スケジュール、アラームを設定していても、オールロック中はアラーム画面は表示されず、アラーム音や振動による通知は行われません。
● オールロック中は、自動電源ONまたは自動電源OFFが設定されていても、自動電源ON、自動電源OFFは行われません。自動電源ONまたは自動電源OFFの設定が「1回のみ」のときは、設定時刻になると設定が解除されます。
● オールロック中に電源を切っても、オールロックは解除されません。

オールロックを解除する

1 待受中に、端末暗証番号を入力し◎（解除）を押す

オールロックが解除されます。

おしらせ

● オールロックを解除するとき、間違った端末暗証番号を入力した場合、エラーメッセージは表示されません。［PWR］を押し、最初から操作し直してください。
● オールロックを解除するとき、端末暗証番号の入力を5回続けて失敗すると、自動的に電源が切れます。もう一度電源を入れ、正しい端末暗証番号を入力してオールロックを解除してください。端末暗証番号をお忘れになった場合は、当社窓口にお問い合わせください。

PIMロックを設定する

PIMロックを設定すると、電話帳、スケジュール、メールやメッセージR/Fなどの機能が利用できなくなり、個人情報の表示や改ざんを防ぎます。「PIM」とは、「個人情報管理プログラム(Personal Information Manager)」という意味です。
- **登録外電話番号拒否を設定しているときは、設定できません。**
- **PIMロック中でも、電話番号をダイヤルして電話をかけられます。**

1 待受中に、◎(メニュー)を押し、続けて[*]を1秒以上押す

- 待受中にメニュー「設定」▶「プライバシー」▶「禁止動作設定」を選択しても設定できます。[☛P169]

2 端末暗証番号を入力し◉(選択)を押す

PIMロックが設定されます。

PIMロックを設定すると

● PIMロック中は以下の操作はできません。
- FOMA端末(本体)電話帳やFOMAカード電話帳の検索、発信、登録、修正、削除
- カメラの全機能
- マルチメディアの全機能
- アクセサリの全機能
- メールの全機能
- iモードの全機能
- iアプリの全機能
- 音の設定
- 待受画面設定(待受画像設定(イメージ、iモーション)、iアプリ待受画面設定)
- パートナー設定
- インスピレーションウィンドウ(背面画面設定)
- ウェイクアップ表示
- 代替画像設定
- 応答保留画面選択
- 通話保留画面選択
- 伝言メモ画面選択
- グループ別設定
- 電話帳指定着信拒否(「1.する」を選択時)
- 電話帳指定着信許可(「1.する」を選択時)
- 登録外電話番号拒否
- ソフトウェア更新
- 設定状況確認
- 登録状況確認
- 基本機能リセット
- iモードリセット
- メールリセット
- SMSリセット
- iアプリリセット
- 自局番号
- 転送でんわサービスの転送先電話番号を電話帳から検索
- 伝言メモ、クイック伝言メモでの録音
- テレビ電話中の代替静止画切替、キャラ電切替、静止画メモ、動画メモ、自局番号
- ワンタッチダイヤル、ツータッチダイヤル、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチでの発信など(ただし、外部装置によっては電話帳の呼出しが行えます。特に他人に知られたくない相手は、シークレットメモリ登録してください。[☛P98])
- 赤外線通信やデータ転送

● 電話がかかってきたとき、着信画面、リダイヤル、着信履歴などに名前は表示されず、電話番号が表示されます。
● グループ別設定で着信音を設定していても、電話がかかってきたときは、音の設定の着信音が鳴ります。
● メールやメッセージR/Fを受信しても、メール着信音やメッセージR/Fの着信音は鳴りません。また、メッセージ受信画面は表示されません。
● スケジュール、アラームを設定していても、PIMロック中はアラーム画面は表示されず、アラーム音や振動による通知は行われません。
● 設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。設定後に発信したリダイヤルやかかってきた着信履歴への発信だけができます。
● お買い上げ時に登録されているメロディや画像以外を着信音や待受画面などに設定している場合、PIMロック中はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。PIMロックを解除すると、PIMロック設定前の設定内容に戻ります。
● ソフトウェア更新の予約更新を設定していても、ソフトウェア更新されません。
● PIMロック中に電源を切っても、PIMロックは解除されません。

PIMロックを解除する

1 待受中に、◯（メニュー）を押し、続けて［＊］を1秒以上押す

2 端末暗証番号を入力し◉（選択）を押す

PIMロックが解除されます。

禁止動作設定　　お買い上げ時 すべてしない

ダイヤル発信制限を設定する

電話番号をダイヤルして電話をかけること（ダイヤル発信）ができない状態に設定します。

- **ダイヤル発信制限またはPIMロックを設定すると、設定前のリダイヤルや着信履歴は削除されます。**
- **ダイヤル発信制限中でも、110番、119番、118番には電話をかけられます。ただし、「184」や「186」を付けないでください。**
- **PIMロックについては [☛P168]**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「禁止動作設定」を選択する

2 端末暗証番号を入力し◉（選択）を押す

3 ダイヤル発信制限を設定する

①ダイヤル発信制限欄を選び◉（選択）を押す

- PIMロックを設定するときは、PIMロック欄を選び◉（選択）を押します。

②「する」を選び ◉（選択）を押す

- 禁止しないときは「しない」を選びます。

4 ◯（登録）を押す

禁止動作が設定されます。

応用操作編　携帯電話の操作を制限する

禁止動作を設定すると

● 以下の操作が禁止されます。　○：実行可　×：実行不可

「する」に設定した項目	操作						
	電話帳検索・発信	電話帳新規登録	電話帳修正	電話帳削除	ダイヤル発信	リダイヤル発信	着信履歴発信
ダイヤル発信制限	○	×	×	×	×	○(注1)	×
PIMロック	×	×	×	×	○	○(注1)	○(注2)

（注1）禁止動作設定後に発信したリダイヤルへの発信だけが行えます。

（注2）禁止動作設定後に着信した着信履歴への発信だけが行えます。

● ダイヤル発信制限中に110番、119番、118番に電話をかけたとき、通話を終了しても設定は解除されません。

● ダイヤル発信制限中は、電話帳に登録された電話番号以外へのショートメッセージ（SMS）を送信、返信できません。

● ダイヤル発信制限中は、赤外線通信での電話帳の送受信操作が禁止されます。

履歴表示設定　　お買い上げ時 すべてON

リダイヤル／着信履歴を表示できないようにする

リダイヤルや着信履歴を表示しないように設定できます。

•「OFF」に設定していても、それぞれの履歴はFOMA端末に記憶されています。設定を「ON」に戻せば、記憶されている履歴を表示できます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「履歴表示設定」を選択する

2 端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

3 履歴を表示するかしないかを選択する

①項目を選び ◉（選択）を押す

②「ON」または「OFF」を選び ◉（選択）を押す

4 ◎（登録）を押す

履歴表示が設定されます。

おしらせ

● 着信履歴表示を「OFF」に設定すると、音声メモプレーヤーから伝言メモを再生できなくなります。[☛P70]

セルフモードを利用する

電源を切らずに電波の送受信を停止します。通信を行わない機能（電話帳登録、電話帳検索など）だけを利用できます。

- **通話終了直後などでFOMA端末が電波を送受信しているときは、セルフモードを設定できません。**
- **セルフモードを設定中に電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。**
- **セルフモード中でも110番、119番、118番に電話をかけられます。ただし、「184」や「186」を付けないでください。通話を終了するとセルフモードは解除されます。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話・通信」▶「セルフモード」を選択する

2 「1.ON」を選び ◉（選択）を押す

セルフモードが「ON」に設定されます。

- 解除するときは「2.OFF」を選びます。

セルフモードを設定すると

● セルフモードが設定されていることを示すアイコン（self）が表示されます。以下の操作は行えません。

- 電話をかける、受ける
- メールを送信する、受信する
- ｉモードに接続する
- インターネットに接続する
- メッセージR/Fを受信する
- ｉモード問合せをする
- SMS問合せをする
- Phone to（AV Phone to）(注1)・Mail to (注2)・Web to機能を利用する
- ｉアプリによる通信を行う
- ネットワークサービスの各種操作を行う
- 赤外線通信を行う、赤外線リモコンを使う
- ソフトウェア更新を使う
- パケット通信、64Kデータ通信、データ転送を行う

（注1）メッセージR/F、画面メモ内の110番、119番、118番には電話をかけられます。

（注2）メール作成はできますが、送信はできません。

● 電源を切っても設定は解除されません。

サイドボタンやリアボタンの誤操作を防止する

外部ボタン操作無効に設定すると、FOMA端末を折りたたんでいるときのサイドボタンとリアボタンの誤操作を防げます。

- **FOMA端末を開いているときはサイドボタンやリアボタンの操作は行えます。**

1 待受中に、◎（メニュー）を1秒以上押す

確認画面が約2秒間表示され、待受画面に戻ります。以後、FOMA端末を折りたたんでいるときはサイドボタンやリアボタンでの操作ができなくなります。

- FOMA端末を折りたたんでいるときに、インスピレーションウィンドウに外部ボタン操作無効アイコン が表示されます。（メインディスプレイにはアイコンは表示されません。）

外部ボタン操作を無効にすると

- FOMA端末を折りたたんでいても、以下の場合はサイドボタンやリアボタンで操作できます。[☛P26]
  - 応答保留
  - クイック伝言メモ
  - 通話中音声メモ
  - FOMA端末を開いた状態でカメラを起動し、折りたたんだあとに、静止画や動画を撮影、終了する（テレビ電話通話中を除く）
  - アラーム音やメール着信音などが鳴ったときに音を止める
- 電源を切っても、設定は解除されません。

外部ボタン操作無効の設定を解除する

1 待受中に、◎（メニュー）を1秒以上押す

外部ボタン操作無効の設定が解除されます。

自動的に電源をONする

指定した時刻に自動的に電源が入るように設定できます。設定時刻になると、通知音（パターン2）が約3秒間鳴り、自動的に電源が入ります。

- **日付・時刻を設定していないときは、自動電源ONは設定できません。**
- **病院・医療機関、航空機の中など使用を禁止された場所では、電源を切るだけでなく自動電源ONの設定も解除してください。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「時計・時刻」▶「自動電源ON」を選択する

自動電源ONを行うかどうかの選択画面が表示されます。

2 「1.毎日」または「2.1回のみ」を選び ◉（選択）を押す

- 解除するときは「3.しない」を選びます。

3 0わをん記号 〜 9らWXYZ で時刻を入力し ◉（確定）を押す

- 時刻の入力方法 [☛P45]

おしらせ

- 設定時刻にFOMA端末の電源が入っていた場合は、自動電源ONの設定時刻になっても電源ONは行われません。「1回のみ」に設定した場合、自動電源ONの設定は解除されます。
- 「1回のみ」に設定したあとに日付・時刻を設定し直すと、自動電源ONの設定は解除されます。
- 自動電源ONと自動電源OFFが同じ時刻に設定されているときは、自動電源ONの設定が優先されます。
- マナーモード中やドライブモード中は通知音は鳴りません。
- 通知音は着信音量で鳴ります。ただし、レベル0に設定しているときはレベル1で、Step Up・Step Downに設定しているときはレベル4で鳴ります。

自動電源OFF

お買い上げ時 しない

自動的に電源をOFFする

指定した時刻に自動的に電源が切れるように設定できます。
• 日付・時刻を設定していないときは、自動電源OFFは設定できません。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「時計・時刻」▶「自動電源OFF」を選択する

自動電源OFFを行うかどうかの選択画面が表示されます。

2 「1.毎日」または「2.1回のみ」を選び ◉（選択）を押す

• 解除するときは「3.しない」を選びます。

3 0わをん記号～9らWXYZで時刻を入力し ◉（確定）を押す

• 時刻の入力方法 [☛P45]

おしらせ

● 待受中以外の状態で設定時刻になった場合は、待受画面に戻った時点で電源が切れます。
● 設定時刻にFOMA端末の電源が入っていない場合は、自動電源OFFの設定時刻になっても電源OFFは行われません。「1回のみ」に設定した場合、自動電源OFFの設定は解除されます。
●「1回のみ」に設定したあとに日付・時刻を設定し直すと、自動電源OFFの設定は解除されます。
● 自動電源OFFと自動電源ONが同じ時刻に設定されているときは、自動電源ONの設定が優先されます。

アラーム時刻

お買い上げ時 なし

指定した時刻にアラームで知らせる

指定した時刻にアラーム音や振動で知らせます。
• 日付・時刻を設定していないときは、アラーム時刻は設定できません。
• PIMロック中は、アラーム時刻は設定できません。

1 待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「アラーム」を選択する

• 画面表示はお買い上げ時の設定です。

2 アラームを設定する日を選ぶ

①アラーム欄を選び ◎（選択）を押す
②「毎日」「1回のみ」「曜日指定」のいずれかを選び ◎（選択）を押す
- 解除するときは「なし」を選びます。「曜日指定」を選び、曜日指定を「未設定」に設定しても解除できます。

3 時刻を設定する

①時刻欄を選び ◎（選択）を押す
② 0 ～ 9 で時刻を入力し ◎（確定）を押す
- 時刻の入力方法 [☛P45]

4 アラーム・バイブレータを設定する

①アラーム・バイブ欄を選び ◎（選択）を押す
②「アラームのみ」「バイブのみ」「アラーム＋バイブ」のいずれかを選び ◎（選択）を押す

5 曜日を設定する

操作2で「曜日指定」を選んだときだけ設定できます。
①曜日指定欄を選び ◎（選択）を押す
② 1 ～ 7 で曜日を選ぶ
- 複数の曜日を選べます。
- 選択済みの曜日は「●」で示されます。
- 選択済みの曜日の番号を押すと「●」が消え、選択が解除されます。

③ ◎（設定）を押す

6 アラーム鳴動時間を設定する

①アラーム鳴動時間欄を選び ◎（選択）を押す
② 0 ～ 9 で時間を入力し ◎（確定）を押す
- お買い上げ時は20秒に設定されています。
- 1～60秒の間で設定できます。
- ◎で数字を増減できます。
- 押し間違えたときは クリア を押して数字を消し、入力し直します。
- 0を入力して ◎（確定）を押すと1秒に設定されます。

7 スヌーズを設定する

①スヌーズ欄を選び ◎（選択）を押す
②「する」を選び ◎（選択）を押す
- スヌーズを設定しないときは「しない」を選びます。

8 ◯（登録）を押す

アラーム時刻が設定されます。

アラーム時刻を設定すると

● 待受画面にが表示されます。
● 待受中または通話中に設定時刻になるとアラーム画面が表示され、アラーム音や振動でお知らせします。◉（OK）を押すか、設定した鳴動時間が経過するとアラームが終了します。（◯（リアボタン）や ZOOM 、⦿（サイドC）を押してもアラームを終了できます。）
● 以下の状態で設定時刻になったときは、アラーム音や振動による通知のあと、元の画面に戻ります。
  • 電話帳登録画面やメール作成画面などの編集画面表示中
  • サイト、画面メモ、メール表示中　• バーコードリーダー起動中　など
● 通話中に設定時刻になり、アラーム音や振動による通知が行われている間、相手の声が聞こえません。また、自分の声も相手に聞こえません。
● 設定時刻にFOMA端末の電源が入っていない場合や、PIMロック中、オールロック中はアラーム画面は表示されず、アラーム音や振動による通知は行われません。「1回のみ」の場合、アラーム時刻およびスヌーズの設定は解除されます。
● アラーム音を変えるには [☛P138]
● アラーム音の音量を変えるには [☛P136]

スヌーズを設定すると

スヌーズを設定すると、1回めのアラームを止めても、約5分後に2回めのアラームが動作し、以降、最大6回めまで約5分間隔で動作します。2回め以降のアラーム待機中（スヌーズ待機中）には、待受画面にが表示されます。
● 以下の場合にスヌーズが解除されます。
  • アラーム画面で ◯（解除）を押します。
  • スヌーズ待機中に、以下の操作を行い、そのままの状態でスヌーズの動作時刻が過ぎたとき
    ・PIMロックを設定したとき　・オールロックを設定したとき
  • スヌーズ待機中に電源を切り、そのままの状態でスヌーズ動作時刻より約1分以上経過したとき
  • スヌーズ待機中に以下の操作を行った場合
    ・待受画面で（PWR）を押したとき　・日付・時刻を設定し直したとき　・基本機能リセットを行ったとき
    ・新しくアラームを設定するとき（メニューやジャンプメニューから「アラーム」を選択したとき）
    現在待機中のスヌーズを解除するかどうかの問合せ画面が表示されます。スヌーズを解除するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。解除しないときは「いいえ」を選びます。（スヌーズを解除しないと新しくアラームを設定できません。）
● スヌーズ待機中に電話がかかってきたり、メールやメッセージを受信したりしても、スヌーズは解除されません。

おしらせ

● 「1回のみ」に設定したあと日付・時刻を設定し直すと、アラーム時刻の設定は解除されます。
● マナーモード中は、アラーム音は鳴らずに振動でお知らせします。（「アラームのみ」に設定していても振動します。）
● ドライブモード中はアラーム音は鳴りません（振動もしません）。
● バイブレーター機能を「ON」に設定していても、「アラームのみ」に設定したときは振動しません。
● アラーム時刻、スケジュールが同じ時刻に設定されているときは、アラーム時刻、スケジュールの順に動作します。
● 自動電源ON、アラーム時刻が同じ時刻に設定されているときは、ウェイクアップ表示のあとにアラームが動作します。

スケジュールを登録する

スケジュールを登録できます。

- **日付・時刻を設定していないときは、スケジュールを登録できません。**
- **最大登録件数：合計100件（1日の登録件数や登録日数に制限はありません。）**
- **PIMロック中は、スケジュールを登録できません。**
- **2004年1月1日～2023年12月31日まで登録できます。**

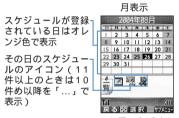
1 待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「スケジュール」を選択する

カレンダー画面が表示されます。

- カレンダー画面は、月表示と週表示の2つの形式で表示できます。月表示から週表示に切り替えるには、サブメニュー「1.週表示」を選択します。月表示に戻すには、サブメニュー「1.月表示」を選択します。
- [◄ZOOM►] を押すと、前後の月（月表示のとき）、または前後の週（週表示のとき）に切り替えられます。

月表示

お買い上げ時

週表示

その日のスケジュールのアイコン（7件以上のときは6件め以降を「…」で表示）

2 日付を選び ◉（選択）を押す

スケジュールが登録されていない日を選択したときは「スケジュールなし」と表示されます。

- 選択した日にスケジュールが登録されているときはスケジュールが表示されます。修正するには [☛P179]
- シークレット設定しているスケジュールを表示するときは、サブメニュー「3.シークレット表示」を選び ◉（選択）を押し、端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押します。
- ◈ で前日／翌日に切り替えられます。

3 サブメニュー「1.新規作成」を選択する

スケジュール登録画面が表示されます。

4 開始日付、開始時刻、終了日付、終了時刻を設定する

①それぞれの設定欄を選び ◎（選択）を押す

②0〜9で日付または時間を入力し ◎（確定）を押す

- 日付の入力方法 [☛P45]
- 時刻の入力方法 [☛P45]
- 終了日付、終了時刻を開始日付、開始時刻より前の日時に設定するとスケジュールの登録はできません。

5 分類を設定する

①分類設定欄を選び ◎（選択）を押す

②設定項目を選び ◎（選択）を押す

- 「なし」「プライベート」「休日」「旅行」「仕事」「会議」のいずれかを選びます。

6 アイコンを選択する

①アイコン欄を選び ◎（選択）を押す

②アイコンを選び ◎（選択）を押す

- アイコンは72種類から選択できます。

7 音・バイブレーターを設定する

①音・バイブレーター設定欄を選び ◎（選択）を押す

②設定項目を選び ◎（選択）を押す

- 「なし」「音のみ」「バイブのみ」「音＋バイブ」のいずれかを選びます。

8 繰り返しを設定する

①繰り返し設定欄を選び ◎（選択）を押す

②設定項目を選び ◎（選択）を押す

- 「なし」「毎年」「毎月」「毎週」「毎日」のいずれかを選びます。

9 シークレット設定をするときは☑にする

シークレット設定欄の□または☑を選び ◎（選択）を押します。
☑と□が切り替わります。

10 内容を入力する

①内容欄を選び ◎（選択）を押す

②内容を入力する

- 全角100文字（半角200文字）まで入力できます。文字が何も入力されていない場合は登録できません。

応用操作編　タイマー機能とスケジュール機能を利用する

11 ◯（登録）を押す

スケジュールが登録されます。

スケジュールを登録すると

● スケジュールを登録している日の待受画面には が表示されます。ただし、当日のスケジュールがすべてシークレット設定されている場合は表示されません。

● 待受中または通話中にスケジュールの設定時刻になるとスケジュール画面が表示されます。シークレット設定をしているスケジュールの場合は、設定時刻になると、スケジュールの内容は表示されず「予定の時間になりました」と表示されます。

画面を消すとアイコンも消えます。

● 音やバイブレーターを設定したときは、画面を表示している間、アラーム音や振動でお知らせします。◎（OK）を押すか、約20秒経過するとアラーム音や振動が止まり、元の画面に戻ります。（◯（リアボタン）や ZOOM 、⦿（サイドC）を押してもアラーム音や振動が止まります。）

● 以下の状態で設定時刻になると、アラーム音や振動による通知のあと、元の画面に戻ります。
- 電話帳登録画面やメール作成画面などの編集画面表示中
- サイト、画面メモ、メール表示中
- バーコードリーダー起動中　など

● 通話中に設定時刻になり、アラーム音や振動による通知が行われている間、相手の声が聞こえません。また、自分の声も相手に聞こえません。

● 設定時刻にFOMA端末の電源が入っていない場合や、PIMロック中、オールロック中はスケジュール画面は表示されず、アラーム音や振動による通知はされません。

● スケジュールの文字数が多いときは ◎、または ZOOM で表示範囲を切り替えられます。

● アラーム音を変えるには [☛P138]

● アラーム音の音量を変えるには [☛P136]

登録したスケジュールの内容を修正する

登録されているアイコン

登録した内容

① スケジュールを表示する
- 操作方法：「スケジュールを登録する」操作1～2 [☛P177]

② スケジュールを選び ◎（選択）を押す

スケジュール登録画面が表示されます。
- 繰り返し設定されたスケジュールの場合、開始日付欄には繰り返し設定を登録した日付が表示されます。

③ スケジュールを修正する
- 以降の操作：「スケジュールを登録する」操作4以降 [☛P178]

おしらせ

● 月表示では土曜は青色、日曜・祝日は赤色で表示されます。ただし、祝日が変更、新設されても、画面表示は変わりません。祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいています（2004年5月現在）。

● マナーモード中は、アラーム音は鳴らずに振動でお知らせします。（「音のみ」に設定していても振動します。）

● ドライブモード中はアラーム音は鳴りません（振動もしません）。

● バイブレーター機能を「ON」に設定していても、音・バイブレーター設定を「なし」または「音のみ」に設定したときは振動しません。

● アラーム時刻、スケジュールが同じ時刻に設定されているときは、アラーム時刻、スケジュールの順に動作します。

● 自動電源ON、スケジュールが同じ時刻に設定されているときは、ウェイクアップ表示のあとにスケジュール画面が表示されます。

スケジュールを削除する

スケジュールを1件削除する

1 **スケジュール表示画面でスケジュールを選び、サブメニュー「2.一件削除」を選択する**

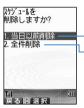
- （クリア）を1秒以上押しても削除できます。

2 **「はい」を選び ◎（選択）を押す**

スケジュールが削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

スケジュールをまとめて削除する

1 **カレンダー画面を表示する**

2 **日を選び、サブメニュー「2.削除」を選択する**

- （クリア）を1秒以上押しても削除できます。

1. 当日以前削除：選択した日以前のスケジュールをすべて削除します（選択した日も削除）。
2. 全件削除：すべてのスケジュールを削除します。

3 **「1.当日以前削除」「2.全件削除」のいずれかを選び ◎（選択）を押す**

4 **「はい」を選び ◎（選択）を押す**

スケジュールが削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

- 繰り返し設定したスケジュールを削除するには「一件削除」か「全件削除」を行ってください。
- シークレット設定しているスケジュールは、シークレット表示 [☛P177] してから削除してください。

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

- 登録した名前、メールアドレス、画像は電話番号表示の画面に表示されます。
- PIMロック中は、自局番号は表示できません。

1 待受中に、メニュー「でんわ」▶「自局番号」を選択する

- 「メールアドレス」には、登録してあるメールアドレスが1件表示されます。また、名前またはフリガナ、画像を登録しているときは ◎ で表示できます。（他の登録内容はこの画面には表示されません。編集画面で確認できます。）
- 待受中に、◯（メニュー）を押してから 0 を押しても表示できます。

2 サブメニュー「1.編集」を選択する

3 端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

4 自分の情報を登録・修正する

- 登録方法は電話帳の登録と同じです。[☛P94]
- 「姓」と「名」は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
- 「電話番号1」と「ダイヤル種別1」、「グループ名」、「メモリ番号」、「シークレットメモリ登録」は変更できません。
- ｉモードのメールアドレスを変更しても、電話番号表示画面に表示されるメールアドレスは自動的には変更されません。新しいメールアドレスを登録し直してください。

5 ◯（登録）を押す

情報が登録されます。

おしらせ

- 音声通話中に を押し、「でんわ」▶「自局番号」を選択した場合やテレビ電話通話中にサブメニュー「14.自局番号」を選択した場合は、電話番号表示画面が表示されるだけです。編集はできません。

よく使う機能を手早く実行する

ジャンプメニューによく使うメニュー項目を登録すると、手早く実行できます。
• 最大登録件数：9件

ジャンプメニューを登録する

1 待受中に、◯（ジャンプ）を押す

ジャンプメニューが表示されます。
- お買い上げ時は、以下のメニュー項目が登録されています。
  - ・音声メモプレーヤー　・音の設定　・Bookmark
  - ・スケジュール　・マルチメディア　・アラーム
  - ・ソフト一覧　・メモリースティック

2 メニュー項目を登録する位置を選び、サブメニュー「1.登録」を選択する

- お買い上げ時に登録されているメニュー項目に上書きできます。
- 新規に登録するときは、メニュー項目が表示されていない位置を選びます。
- メニュー項目を登録した位置には、1～9が割り当てられています。これらのボタンを押すと、ジャンプメニューが実行されます。

3 メニューを選び ◉（選択）を押す

選択したメニューに対応するメニュー項目が表示されます。

4 メニュー項目を選び ◉（選択）を押す

ジャンプメニューにメニュー項目が登録されます。
- さらにメニュー項目が表示されるときは操作4を繰り返します。

ジャンプメニューを実行する

1 待受中に、◯（ジャンプ）を押す

2 メニュー項目を選び ◉（選択）を押す

メニュー項目が実行されます。
- サービスの契約状況によって、実行できないメニュー項目があります。
- メニュー項目のダイヤルボタンを押しても実行できます。

ジャンプメニューから削除する

1 待受中に、◯（ジャンプ）を押す

2 メニュー項目を選び、サブメニュー「2.一件削除」を選択する

- （クリア）を１秒以上押しても削除できます。
- サブメニュー「3.全件削除」を選択するとジャンプメニューをすべて削除できます。

3 「はい」を選び ◉（選択）を押す

ジャンプメニューからメニュー項目が削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- お買い上げ時に登録されているメニュー項目に上書きして登録したメニュー項目を削除しても、お買い上げ時のメニューには戻りません。

通話中音声メモ／待受中音声メモ

相手の声や自分の声を録音する

待受中に自分の声をメモ代わりに録音したり、通話中の相手の声を録音できます。

- **最大録音件数：10件**
- **最大録音時間：合計2分**

待受中音声メモを録音する

1 待受中に、メニュー「アクセサリ」▶「音声メモレコーダー」を選択する

録音可能な残り時間

「ピー」という音のあとに録音が始まります。送話口に向かって話してください。

- 待受中、FOMA端末を開いているときに◯（リアボタン）を押しても録音できます。
- すでにメモ録音が10件録音されているとき、または残りの録音時間が10秒未満のときは、録音されている伝言メモ、音声メモを全件削除するかどうかの問合せ画面が表示されます。全件削除するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。操作をやり直してください。操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

2 ◉（停止）を押して、録音を終了する

「ピー」という音が鳴ります。

- ◯（リアボタン）または（クリア）を押しても録音を終了できます。

通話中音声メモを録音する

1 通話中に、○（リアボタン）を押す

「ピー」という音のあとに録音が始まります。相手の声が録音されます。

- 画面に「通話中音声メモ録音中」と表示されます。
- FOMA端末を折りたたんでいても使えます。
- すでにメモ録音が10件録音されているとき、または残りの録音時間が10秒未満のときは、録音されている伝言メモ、音声メモを全件削除するかどうかの問合せ画面が表示されます。全件削除するときは「はい」を選び◉（選択）を押します。操作をやり直してください。操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

2 ◉（停止）を押して、録音を終了する

「ピー」という音が鳴ります。

- ○（リアボタン）を押しても録音を終了できます。

番号変更案内などのガイダンスを録音するには（発信中録音機能）

発信中に 録音 が表示されているときに、◉（録音）を押して、番号変更案内などのガイダンスを録音できます。録音を終了するときは◉（停止）を押します。○（リアボタン）を押しても録音を開始／終了できます。

おしらせ

- 録音中に録音可能時間を超えたときや、録音中に電話がかかってきたときは、録音は自動的に終了します。
- 音声メモの再生・削除 [☛P70]
- 通話中音声メモ録音中、電波の状態により録音内容が途切れることがあります。
- 通話中音声メモでは、録音開始、終了時の「ピー」という音は、相手には聞こえません。
- 通話中音声メモはテレビ電話ではご利用になれません。テレビ電話通話中の相手の声や画像を録画するには [☛P80]

サイドボタンCを押したときに実行する機能を設定する

待受中に(サイドC)を1秒以上押した場合に実行する機能を設定できます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「サイドボタン機能切替」を選択する

2 「1.ｉモード問合せ」または「2.バーコードリーダー」を選び (選択)を押す

サイドボタン機能切替が設定されます。

設定状況確認

設定状況を確認する

基本機能の設定状況を確認できます。
- PIMロック中は利用できません。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話時間・状況確認」▶「設定状況確認」を選択する

2 で項目を表示する
- や でも項目を切り替えることができます。

3 内容を確認し、(OK)を押す

設定リセット

各種機能の設定をリセットする

各種機能の設定を、お買い上げいただいたときの状態（初期状態）に戻せます。
- PIMロック中は利用できません。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「設定リセット」▶「基本機能リセット」を選択する

2 端末暗証番号を入力し (選択)を押す

3 「はい」を選び (選択)を押す

各種設定が初期状態にリセットされます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

リセットされない項目

設定リセットを行っても次の項目などはリセットされません。

（例）
- 電話帳
- 着信履歴
- 日付・時刻
- 単語登録
- 推測変換の候補
- 通話時間・通信時間
- 暗証番号
- PIN1入力ON／OFF設定
- グループ別設定
- セルフモード
- 外部ボタン操作無効設定
- 定型文登録
- ｉモードの設定
- メールの設定（メール着信音を除く）
- ショートメッセージ（SMS）の設定
- ｉアプリの設定（ｉアプリ音量を除く）
- USBモード設定
- 録音した伝言メモ、音声メモ
- スケジュールの登録内容
- 電話番号表示の登録内容
- FOMA端末に保存されているデータ
- “メモリースティック Duo”に保存されているデータ

また、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのネットワークサービスの設定はリセットされません。リダイヤルデータはリセット（削除）されます。

- ｉモードの設定リセット方法［☛アプリP52］
- メールの設定リセット方法［☛アプリP196］
- ショートメッセージ（SMS）の設定リセット方法［☛アプリP172］
- ｉアプリの設定リセット方法［☛アプリP80］
- FOMA端末の「マルチメディア」に保存されているデータの削除方法［☛アプリP96、236、258、264］

設定リセット時に初期状態に戻る各種設定

■「カメラ」▶「カメラ設定」

機　能	初期状態
静止画	モード：メール添付（携帯） 撮影サイズ（オープン）：128X96 圧縮モード（オープン）：スタンダード 保存場所（オープン）：本体メモリ 撮影サイズ（クローズ）：128X96 圧縮モード（クローズ）：スタンダード 保存場所（クローズ）：本体メモリ コンパクトライト調節：強 シャッター音：シャッター音1 セルフタイマー音：セルフタイマー音1 セルフタイマー秒数：5秒
動画	モード：メール添付 品質モード（オープン）：スタンダード 保存場所（オープン）：本体メモリ 品質モード（クローズ）：スタンダード 保存場所（クローズ）：本体メモリ コンパクトライト調節：強 シャッター音：シャッター音1 セルフタイマー音：セルフタイマー音1 セルフタイマー秒数：5秒

■「設定」▶「音・バイブレーター」

機　能	初期状態
音の設定	着モーション／着信音：着信音 着信音:パターン1 TV電話着モーション／TV電話着信音：TV電話着信音 TV電話着信音：パターン2 メール着信音：パターン3 メール鳴動時間：10秒 メッセージR着信音：パターン4 メッセージR鳴動時間：10秒 メッセージF着信音：パターン4 メッセージF鳴動時間：10秒 アラーム音：パターン5 非通知着信音・通知不可着信音・公衆電話着信音：着モーション／着信音
音量調節	着信音量・受話音量・アラーム音量：レベル4 ｉアプリ音量・メロディ再生音量：レベル13 動画再生音量：レベル4
保留音設定	応答保留音：応答メッセージ1 通話中保留音:保留メッセージ
バイブレーター	OFF （着信音：バイブレーターパターン1 TV電話着信音：バイブレーターパターン2 メール着信音：バイブレーターパターン3 メッセージR着信音・メッセージF着信音：バイブレーターパターン4 アラーム音：バイブレーターパターン5 非通知着信音・通知不可着信音・公衆電話着信音：着信音に連動）(注1)
オリジナルマナーモード	しない （伝言メモ：しない バイブレーター：ON 着信音量：レベル0）(注1)
ボタン確認音	ON
充電確認音	ON

■「設定」▶「画面・表示」

機　能	初期状態
待受画面設定	デジタル時計（大） １２/２４h切替：１２時間 画面表示方法：中央表示
パートナー設定	チョコボ
パートナーアシスト設定	すべてON
フォトコール設定	両画面表示
インスピレーションウィンドウ	背面画面設定：デジタル時計（大） 省電力設定：非表示モード 相手表示設定の音声／TV電話発着信：名前＋電話番号 相手表示設定のメール着信：アドレス+件名
ウェイクアップ表示	ウェイクアップアニメーション
表示サイズ設定	拡大表示OFF
文字サイズ設定	通常
照明設定	携帯時設定：通常照明（中輝度） AC／DCアダプタ接続時：通常照明 背面輝度設定：高輝度 TV電話通話中：常時照明 カメラ撮影・コード認識中・静止画スライドショー：常時照明 ブラウザ：通常照明 動画再生中：常時照明 キーバックライト：ON
コントラスト調節	すべてレベル１０
ナチュラルカラーマトリックス	ON
アイコンメニュー説明ON/OFF	ON
サイドボタン機能切替	ｉモード問合せ

■「設定」▶「TV電話」

機　能	初期状態
発信時自画像送信	ON
代替画像設定	表示切替設定:キャラ電優先 キャラ電選択：ブンブン（Dimo）(注2) 画像選択：TV電話代替画像
音声自動再発信設定	OFF
応答保留画面選択	内蔵画像
通話保留画面選択	内蔵画像
伝言メモ画面選択	内蔵画像
画像表示設定	両方
TV電話画面切替	拡大
画像品質設定	標準

■「設定」▶「時計・時刻」

機　能	初期状態
自動電源ON	しない（００：００）(注1)
自動電源OFF	しない（００：００）(注1)

■「設定」▶「プライバシー」

機　能	初期状態
禁止動作設定	すべてしない
電話帳指定着信拒否	しない
電話帳指定着信許可	しない
非通知着信設定	すべて着信する
無音着信時間設定	0秒
登録外電話番号拒否	しない
履歴表示設定	すべてON
メールセキュリティ	しない
メモリースティックロック	しない

■「設定」▶「文字入力」

機　能	初期状態
定型文登録	一行表示
文字入力方式切替	モード１（かな方式）
推測変換設定	ON

■「設定」▶「伝言メモ」

機　能	初期状態
伝言メモ	しない（8秒）(注1)

■「設定」▶「通話・通信」

機　能	初期状態
オート着信機能設定	しない（2秒）(注1)
クローズ動作設定	切断
再接続アラーム	アラーム音なし
通話品質アラーム	高いアラーム音
ノイズキャンセラ	ON
イヤホン/スピーカ切替	イヤホン＋スピーカ
エニーキーアンサー設定	する
サブアドレス設定	ON
プレフィックス設定	００９１３００１０

■「でんわ」

機　能	初期状態
リダイヤル	履歴：クリア 一覧：三行表示
着信履歴	一覧：三行表示

■「アクセサリ」

機　能	初期状態
アラーム	アラーム…なし 時刻…００：００ アラーム・バイブ…アラームのみ アラーム鳴動時間…２０秒 スヌーズ…しない
メモリースティック（カメラ画像）	一覧：ピクチャー一覧 ソート順：撮影日時の新しい順
メモリースティック（イメージ）	一覧：ピクチャー一覧

■その他

機　能	初期状態
マナーモード	解除
ドライブモード	解除
ジャンプ登録	1. 音声メモプレーヤー 2. 音の設定 3. Bookmark 4. スケジュール 5. マルチメディア 6. アラーム 7. ソフト一覧 8. メモリースティック

(注1)「しない」「OFF」「なし」以外の項目に設定したときの初期状態です。
(注2) ブンブン（Dimo）が削除されているときは、初期状態に戻りません。また、表示切替設定は「画像優先」になります。

ＰＬＭＮ設定

お買い上げ時 ネットワーク自動検索

利用する通信事業者を設定する

ＦＯＭＡサービスを提供するＰＬＭＮ（通信事業者名）を設定します。
- **セルフモード中は設定できません。**

ドコモを利用するときは、本機能の設定は必要ありません。

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「PLMN設定」を選択する

2 「1.ネットワーク自動検索」または「2.ネットワーク手動選択」を選び ◉（選択）を押す

ＰＬＭＮが設定されます。
- 「2.ネットワーク手動選択」を選択したときは、ＮＷオペレータ選択画面で「1.ドコモ」を選び ◉（選択）を押します。

イヤホン／スピーカ切替

お買い上げ時 イヤホン+スピーカ

イヤホンからのみ着信音を鳴らす<オプション>

スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときは、イヤホンだけ、またはイヤホンとスピーカ両方から着信音を鳴らすことができます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話・通信」▶「イヤホン／スピーカ切替」を選択する

着信音をどこから鳴らすかの選択画面が表示されます。

2 「1.イヤホンのみ」を選び ◉（選択）を押す

「イヤホンのみ」に設定されます。
- スピーカからも着信音を鳴らすときは「2.イヤホン＋スピーカ」を選びます。

おしらせ

- イヤホンから鳴る着信音の音量は、音量調節の着信音量で調節します。[☛P61、136]
- 「イヤホンのみ」に設定していても、イヤホンマイク端子に何も接続していないときは、FOMA端末のスピーカから着信音が鳴ります。
- 以下の場合、「イヤホンのみ」に設定していても、約20秒たつと、イヤホンとスピーカーの両方から音が鳴ります。
  - 電話がかかってきたとき（着信音やTV電話着信音にメロディを設定している場合）
  - メールやメッセージR/Fを受信したとき
  - 音の設定で「着信音」「TV電話着信音」「メール着信音」「メッセージR着信音」「メッセージF着信音」のメロディを選択しているとき
- マナーモード中、または着信音量をレベル0に設定中でも、イヤホンから着信音が鳴ります。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた <オプション>

別売のイヤホンマイクを接続すると、スイッチを押すだけで簡単に電話をかけたり、受けたりできます。また、ステレオイヤホンセットを使うと、メロディなどをステレオで聞くことができます。

- イヤホンマイクは、次の単品または組合せでご使用になれます。なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。
  - ・平型スイッチ付イヤホンマイク　P01/P02
  - ・スイッチ付イヤホンマイク　P001/P002＋イヤホンジャック変換アダプタ　P001
  - ・平型ステレオイヤホンセット　P01
  - ・ステレオイヤホンセット　P001＋イヤホンジャック変換アダプタ　P001
  - ・イヤホンターミナル　P001＋イヤホンジャック変換アダプタ　P001

  （この組合せには、これらとは別にステレオイヤホンが必要です。）
- イヤホンマイク接続時でも、お買い上げ時の状態では、スピーカーからも着信音が聞こえます。スピーカーからの着信音を消すには [☛P188]
- 以下の場合は、イヤホンマイクのスイッチで電話をかけることはできません。それぞれの設定を解除または変更してから操作してください。
  - ・メモリ番号699を登録していないとき、またはメモリ番号699をシークレットメモリ登録しているとき
  - ・PIMロック中

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

FOMA端末側面のイヤホンマイク端子のキャップを外し、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

- 接続プラグはしっかり差し込んでください。きちんと差し込まないと、音が聞こえない場合があります。

スイッチを使って電話をかける

お買い上げ時は、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチで電話帳のメモリ番号699の電話番号1に電話をかけられます。

- FOMA端末を折りたたんだ状態でも利用できます。

1 イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

メモリ番号699の電話番号1に登録されている番号に電話がかかります。

2 お話しが終わったら、イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

通話が終了します。

おしらせ

- ●イヤホンマイクのコードは、FOMA端末に巻き付けたりせず、伸ばしてお使いください。
- ●FOMA端末の電源を入れた瞬間に、イヤホンから「パチッ」と音がすることがありますが、故障ではありません。
- ●イヤホンマイクのコードをFOMA端末のアンテナ部に近づけすぎるとノイズが入ることがあります。
- ●話中音が聞こえるときにイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すと、話中音は止まります。

スイッチを使って電話を受ける

1 電話がかかってきたら、イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

電話がつながります。

2 お話しが終わったら、イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

通話が終了します。

おしらせ

● スイッチ付イヤホンマイクなどを接続中にテレビ電話がかかってきたときは、イヤホンマイクのスイッチを押すと自動的に代替画像で応答できます。代替画像と自画像を切り替えるには [☛P85]

通話中にかかってきた別の電話を受ける

• キャッチホンサービスをご契約のお客様だけが利用できます。

1 通話中に通話中着信音（ププ…ププ…）が聞こえたら、イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

現在の通話が保留され、かかってきた電話に出られます。

• 音声通話中の音声着信だけが受けられます。

2 お話しが終わったら、イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

通話中の相手との通話が終了し、通話時間が表示されます。
保留中の通話があることを知らせる着信音が鳴り、着信画面が表示されます。

3 イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

保留されていた相手とお話しできます。

お買い上げ時 しない 呼出秒数：2秒

スイッチ付イヤホンマイクをつないで自動で電話を受ける〈オプション〉

スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているとき、かかってきた電話を自動的に受けることができます。

- **オート着信機能設定が設定されていても、イヤホンマイク端子に何も接続していないときや、通話中は、オート着信しません。**

1 待受中に、メニュー「設定」▶「通話・通信」▶「オート着信機能設定」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

- 解除するときは「2.しない」を選びます。

3 0わをん記号〜9らWXYZで、着信してから電話を受けるまでの秒数（呼出秒数）を入力し、◉（設定）を押す

オート着信機能設定が設定されます。

- 0〜120秒の間で設定できます。
- ◎で数字を増減できます。
- 押し間違えたときはクリアを押して数字を消し、入力し直します。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合は、それらの機能が動作するまでの時間よりも、呼出秒数を短く設定します。長く設定すると、電話がつながる前に伝言メモや各サービスが動作し、電話を受けることができません。

オート着信機能設定を設定すると

- スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているとき、音声電話またはテレビ電話がかかってくると呼出秒数が経過後に電話がつながります。
- 音声電話またはテレビ電話がかかってきて着信音が鳴っているときに、スイッチ付イヤホンマイクなどを接続すると、すぐに電話がつながります。
- テレビ電話をオート着信したときは、相手に代替画像が送信されます。代替画像と自画像を切り替えるには[☛P85]
- 呼出秒数を0秒に設定すると、着信音やバイブレーターは鳴動せずに着信します。ご注意ください。

おしらせ

- **オート着信機能設定と伝言メモの着信してから動作するまでの時間が同じ場合は、オート着信機能設定が優先されます。**

ヘルプ機能

ボタン操作を忘れてしまったとき

ボタン操作、イージーセレクタープラス操作で実行できる操作の説明を表示できます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「ヘルプ」を選択する

2 ◎で機能を選び ◉（選択）を押す

機能の説明が表示されます。

ヘルプの表記

● ヘルプでは、イージーセレクタープラス（◎、◉、◎）を次のように表記しています。また、イージーセレクタープラスに対応するガイド行の操作は、[　　] で囲んで示しています。

ヘルプの表記	説　明
（左）	左ボタン（◎）を押します。
（中央）	中央ボタン（◉）を押します。
（右）	右ボタン（◎）を押します。

（例）[メニュー]（左）の長押し…… ◎（メニュー）を1秒以上押します。

応用操作編

その他の機能を利用する

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス		電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）		（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内 （有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません）		（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）		（局番なし）117
天気予報（有料）		市外局番＋177
警察への緊急通報（無料）		（局番なし）110 (注)
警察総合相談（困りごとなど急を要さない相談）（有料）		#9110
消防・救急への緊急通報（無料）		（局番なし）119 (注)
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報（無料）		（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）		（局番なし）171

（注）携帯電話から110番・119番へ通報する場合は、①携帯電話からかけていること、②お客様の携帯電話の電話番号（警察・消防機関側が確認などの電話をかける場合があるため）、③現在地、の3つを明確にお伝えください。

おしらせ

- **コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2004年3月現在）**
- **番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。なお、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2004年3月現在）**
- **おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。**
- **116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ²、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用になれません（一般電話、公衆電話からドコモの携帯電話へおかけになる際のクレジット通話はご利用になれます）。**
- **携帯・PHS OK マーク以外のフリーダイヤルは、携帯電話、PHSからご利用になれない場合があります。**

マルチアクセスについて

FOMA端末では、音声電話とパケット通信の2つの通信が同時に行えます。
また、ショートメッセージサービス（SMS）も同時に利用できます。

次の最大3回線を同時に利用できます。

音声電話	1回線
パケット通信（ｉモードやｉモードメール、パソコンとFOMA端末をつないで行うパケット通信など）	1回線
ショートメッセージサービス（SMS）	1回線

おしらせ

- **マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。**
- **テレビ電話および64Kデータ通信はマルチアクセスに対応していないため、テレビ電話通話中や64Kデータ通信中に音声電話やｉモードを利用することはできません。ただし、ショートメッセージサービス（SMS）の受信は可能です（送信はできません）。**
- **マルチアクセスの詳細な組合せについては** **[☛P265]**

マルチアクセスで行える主な操作

音声電話通話中にｉモードに接続する

1 音声電話通話中に ⓔ を押す

起動一覧が表示されます。

2 サイトを表示する

①「ｉモード」を選び ◉（選択）を押す
ｉモードメニューが表示されます。
②「Menu」を選び ◉（選択）を押す
ｉMenuが表示されます。

音声電話通話中　**音声電話とｉモードに同時に接続中**

- ⓔ を押し、「音声通話」または「ｉモード」を選び ◉（選択）を押すと、通話中画面とサイト表示画面を切り替えられます。
- サイトの表示を終了すると、通話中画面に戻ります。
- サイト表示画面を残して通話を終了するには、通話中画面に切り替えて ☎ を押します。

音声電話通話中にｉモードメールを送る

1 音声電話通話中に を押す

起動一覧が表示されます。

2 ｉモードメールを作成する

①「メール」を選び （選択）を押す

メールメニューが表示されます。

②「新規メール作成」を選び （選択）を押す

ｉモードメール作成画面が表示され、ｉモードメールを作成、送信できます。

- を押し、「音声通話」または「メール」を選び （選択）を押すと、通話中画面とｉモードメール作成画面を切り替えられます。
- ｉモードメールを送信するとメールメニューに戻ります。（戻る）を押すと通話中画面に戻ります。
- ｉモードメール作成画面を残して通話を終了するには、通話中画面に切り替えて を押します。

音声電話通話中にｉモードメールを受信する

1 音声電話通話中にメールを受信すると、メールアイコンが表示される

2 受信メールを表示する

① を押し、「メール」を選び （選択）を押す

メールメニューが表示されます。

②「受信メールBOX」を選び （選択）を押す

受信メールBOXのフォルダ一覧が表示されます。フォルダ一覧から、受信メールを表示できます。

受信中は が点滅し、受信が完了すると が表示されます。

- メール受信中に を押し、起動一覧から「メール受信」を選択すると、受信中画面が表示されます。
- を押し、「音声通話」または「メール」を選び （選択）を押すと、通話中画面と受信メール表示画面を切り替えられます。
- 受信メール表示画面を残して通話を終了するには、通話中画面に切り替えて を押します。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話をかける

- ｉモード中、パケット通信中の音声電話発信は、電話帳やリダイヤル・着信履歴から行います。電話番号をダイヤルして電話をかけることはできません。
- この操作でテレビ電話はかけられません。
- ｉモード中は、ここで示す操作のほかに、Phone to (AV Phone to) で電話がかけられます。[☛アプリP46]

例 ｉモード中に電話帳から音声電話をかけるとき

1 ｉモード中に を押す

起動一覧が表示されます。

2 電話をかける

①「でんわ」を選び (選択) を押す
でんわのメニューが表示されます。

②「電話帳検索」を選び (選択) を押す
電話帳検索画面が表示されます。

③電話帳を検索して音声電話をかける
電話がつながると、通話中画面が表示されます。

- 通話を終了するとサイト表示画面に戻ります。
- を押し、「音声通話」または「ｉモード」を選び (選択) を押すと、通話中画面とサイト表示画面を切り替えられます。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

- テレビ電話は受けられません。（テレビ電話がかかってきても着信画面は表示されず、つながりません。着信履歴には記録されます。）

例 ｉモード中にかかってきた音声電話を受けるとき

1 ｉモード中に音声電話がかかってくると、着信画面が表示される

2 を押す

電話がつながると、通話中画面が表示されます。
- 通話を終了するとサイト表示画面に戻ります。
- を押し、「音声通話」または「ｉモード」を選び (選択) を押すと、通話中画面とサイト表示画面を切り替えられます。

音声電話通話中にパケット通信を行う

1 音声電話通話中にパソコンから発信操作を行う

パケット通信が始まります。

- (マルチ)を押し、「音声通話」または「データ通信」を選び (選択)を押すと、通話中画面とパケット通信の画面を切り替えられます。
- パケット通信を終了すると通話中画面に戻ります。
- パケット通信したまま音声通話を終了するには、通話中画面に切り替えて (PWR)を押します。

マルチタスクについて

FOMA端末では、複数の機能を同時に実行できます。例えば、電話帳を登録しながらメールを表示する、音声電話通話中に電話帳を表示・編集するなど、いろいろな操作ができます。

マルチタスクで機能を実行する

音声電話通話中やｉモード、ｉアプリ、メールの操作中、電話帳登録中などに、(マルチ)を押すと起動一覧が表示されます。起動一覧から選択して、別の機能を実行できます。

- **別の機能を実行しても、以下の機能は終了しません（マルチタスク対応機能）。**
  - **・音声電話　・ｉモード（サイト、画面メモの表示）　・パケット通信**
  - **・ｉアプリ　・受信メール、送信メール、メッセージR/Fの表示**
  - **・電話帳登録画面、メール作成画面など入力欄や選択項目欄がある画面　など**
- **リダイヤル、着信履歴など、終了してもデータが失われない機能には、別の機能を実行すると終了するものがあります。**
- **マルチタスク対応機能を1つ実行しているときは、2つ以上実行しているときはが画面に表示されます。**

例 電話帳登録中に受信メールを見るとき

1 電話帳登録画面表示中に、(マルチ)を押す

起動一覧が表示されます。

2 受信メールを表示する

①「メール」を選び (選択)を押す

メールメニューが表示されます。

②「受信メールBOX」を選び (選択)を押す

受信メールBOXのフォルダ一覧が表示されます。フォルダ一覧から、受信メールを表示できます。

応用操作編　マルチアクセス・マルチタスク

■実行中の機能を切り替えるには

① ⓜ を押し、起動一覧から「電話帳登録」を選び ◉（選択）を押す

電話帳登録画面に切り替わります。

- 受信メール表示画面に切り替えるには「メール」を選びます。
- 機能によっては、実行中の他の機能を終了しないと切り替えられない場合があります。例えばｉアプリ実行中に他の機能を実行した場合、実行中の機能を終了しないとｉアプリの画面には戻せません（サイトやメールからのｉアプリToでｉアプリを実行した場合や、受信メールBOX、送信メールBOXからメール連動型ｉアプリを起動した場合を除く）。

■実行中の機能を終了するには

終了する機能の画面に切り替えて、◎（戻る）を押すなどして終了します。◎（戻る）を1秒以上押したり、PWRを押しても終了できます。終了すると、実行中の他の機能の画面が表示されます。

■実行中の機能をすべて終了するには

- 音声電話、テレビ電話、ｉアプリ待受画面は終了しません。

① ⓜ を押し、◎（終了）を押す

問合せ画面が表示されます。

②「はい」を選び ◉（選択）を押す

実行中の機能がすべて終了します。

- 操作を中止するには「いいえ」を選びます。

おしらせ

- 同じ機能を二重に実行することはできません。
- 機能の組合せによっては、実行中の機能を終了しないと新しい機能を実行できない場合があります。マルチタスクの詳細な組合せについては [☛P266]
- 音声電話発信中／着信中、テレビ電話通話中、応答保留中、通話中保留中、伝言メモ録音中、画像編集中、動画／ｉモーションの録画／保存中、赤外線通信中、64Kデータ通信中、ソフトウェア更新中などはⓜを押しても起動一覧を表示できません。また、“メモリースティック Duo”の処理中などもⓜは使用できません。実行中の機能や処理の終了後に操作してください。
- 実行中の機能の数や組合せによっては、機能を実行するためのメモリが足りなくなることがあります。この場合、新しい機能を実行しようとすると、メモリ不足のため使用できない旨が表示されます。実行中の機能を終了してから操作し直してください。
- 通信中に他の機能を実行した場合、通信処理のため、FOMA端末の動作が一時的に遅くなることがあります。

起動一覧の見かた

：実行中の機能（切替え可能）　：実行中の機能（切替え不可）(注1)
：連携起動中（切替え不可）(注2)

（注1）その機能に切り替えるには、実行中の他の機能を終了する必要があります。
（注2）メールからWeb toでインターネットに接続したときのように、その機能から別の機能を実行中の場合に表示されます。

■表示項目について

次の項目は、対応する機能を実行していなくても、常に表示されます。機能を実行しているときと実行していないときでは、選択時の動作が異なる項目があります。

項　目	機能を実行していないとき	機能実行中
メール	メールメニューを表示します。	実行中のメール機能に切り替えます。
ｉモード	ｉモードメニューを表示します。	実行中のｉモード機能に切り替えます。
でんわ	でんわのメニューを表示します。	
スケジュール	スケジュールのカレンダー画面を表示します。	実行中のスケジュール機能に切り替えます。
マナーモード設定	マナーモードを設定または解除します。	
サービス	サービスのメニューを表示します。	実行中のサービス機能に切り替えます。

※実行できない機能はグレーで表示され、選択できません。

次の項目は、対応する機能を実行中のみ表示されます。また、選択するとその機能の画面に切り替えられます。（や　が表示されているときは切り替えできません。）

項　目	説　明
設定	メニュー「設定」の各機能を実行中に表示されます。
ｉアプリ	ｉアプリ実行中に表示されます。
マルチメディア	メニュー「マルチメディア」の各機能を実行中に表示されます。
カメラ	カメラのメニューから表示して、画像、動画／ｉモーションのタイトル変更、ファイル名変更、画像編集を行っているときに表示されます。
バーコードリーダー	バーコードリーダーの連結QRコード読取り中や読取り結果のタイトル編集中に表示されます。
アラーム	アラームの設定操作中に表示されます。
メモリースティック	“メモリースティック Duo”のフォルダ作成・編集中などに表示されます。
電話帳登録	電話帳登録中に表示されます。
電話帳検索	電話帳検索結果から“メモリースティック Duo”へのコピー中に、“メモリースティック Duo”のフォルダを作成・編集しているときに表示されます。
自局番号	自局番号の編集中に表示されます。
メール受信	メール受信中およびメッセージ受信画面表示中に表示されます。
データ通信	データ通信中に表示されます。
音声通話	音声通話中に表示されます。

ネットワークサービス編

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

サービス名	内　容	月額使用料	申し込み
留守番電話サービス	電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。[☛P203]	有料	必要
キャッチホンサービス	現在の通話を保留にしたまま、別の相手と通話できます。[☛P213]	有料	必要
転送でんわサービス	かかってきた電話を転送します。[☛P208]	無料	必要
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話を自動的に着信拒否します。[☛P216]	有料	必要
発信者番号通知サービス	自分の電話番号を相手に通知します。[☛P217]	無料	不要
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知せずにかかってきた電話に、電話に出られない旨のメッセージを流し、電話を切ります。[☛P219]	無料	不要
ドライブモード	電話がかかってきたときに、運転中のため電話に出られない旨のメッセージを流します。[☛P62]	無料	不要
デュアルネットワークサービス	ひとつの電話番号でFOMA端末とmovaを使い分けることができます。[☛P221]	有料	必要
英語ガイダンス	音声ガイダンスを英語で聞けます。[☛P222]	無料	不要
ショートメッセージサービス（SMS）	FOMA端末間で文字メッセージをやりとりできます。[☛アプリP116]	無料	不要
ｉモード	ｉモードメールの送受信やサイト、インターネットホームページへの接続が行えます。[☛アプリP110、16]	有料	必要

ネットワークサービスのご利用について

お申込みについては下記にお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。

「留守番電話サービス」、「キャッチホンサービス」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「英語ガイダンス」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」はドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

●ｉモードはこちら　iMenu ▶ ■料金＆お申込 ▶ ■ドコモeサイト パケット通信料無料

●パソコンなどはこちら　http://www.nttdocomo.co.jp/ ▶ オンライン手続き/照会サービス ▶ ドコモｅサイト

または　http://www.esite.nttdocomo.co.jp/

※ｉモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし一部パケット通信料がかかる場合があります。
※ パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は上記お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。
※ 一部ご利用できない料金プランがあります。

留守番電話サービスを利用する

電波が届かないとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、お客様に代わって電話をお受けします。電話をかけてきた方には、ガイダンスでお応えし、伝言メッセージをお預かりします。

- **日本全国どこからでも伝言メッセージを聞くことができます。**
- **留守番電話サービスは、お申込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。**
- **圏外では、留守番電話サービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。**
- **詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。**

留守番電話サービスについて

- 伝言メッセージは1件当たり3分、20件まで録音できます。
- 伝言メッセージは72時間保存されます。
- 電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。
- お客様のFOMA端末が通話できる状態のときは、電話がかかってくると着信音が鳴り、着信画面が表示されます。
- 着信音が鳴っている間は、電話に出られます。着信音が鳴る時間（呼出時間）は変更できます。[☛P205]
- 通話中に「ププ‥ププ‥」という音（通話中着信音）（パケット通信中は着信音）が鳴り別の電話がかかってきたことをお知らせします。
- 留守番電話サービスと転送でんわサービスの両方をお申込みになっても、2つのサービスを同時にはご利用になれません。留守番電話サービスは、転送でんわサービスを開始に設定すると、自動的に停止状態になります。（その後、転送でんわサービスを停止に設定しても、留守番電話サービスは自動的には再開しません。）
- 番号通知お願いサービスが開始に設定されているときに、「非通知設定」の電話（音声通話）がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます（メッセージはお預かりしません）。テレビ電話がかかってきたときは、動作しません。
- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも操作できます。
- 留守番電話サービスを開始していても、テレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続されません。テレビ電話の着信になります。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1 応答メッセージを登録します（初期設定 1 4 1 6 通話）。

ステップ2 サービスの開始を設定します。

ステップ3 電話をかけてきた相手が伝言メッセージを録音します。

ステップ4 伝言メッセージを再生します。

- 急いでいるときなど、応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに # を押します。
- 着信中の電話を留守番電話サービスで応対することもできます。[☛P207]

留守番電話サービスの料金

留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。詳しい内容については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービスを開始する

呼出時間も設定できます。

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「留守番電話」▶「4.サービス開始」を選択する

2 「2.開始する＋設定」を選び◉（選択）を押す

- 呼出時間が設定済みのときは「1.開始する」を選びます。留守番電話サービスが開始されます。
- 操作を中止するときは「3.しない」を選びます。

3 0～9で呼出時間を入力し◉（設定）を押す

留守番電話サービスが開始されます。

- 0～120秒の間で設定できます。
- ◎で数字を増減できます。
- 押し間違えたときは クリア を押して数字を消し、入力し直します。

おしらせ

●伝言メモを同時に設定しているときに、留守番電話サービスを優先させるには、伝言メモ移行時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。

留守番電話サービスを停止する

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「留守番電話」▶「5.サービス停止」を選択する

2 「1.する」を選び◉（選択）を押す

留守番電話サービスが停止します。

- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

呼出時間を設定する

留守番電話サービス開始しているとき、応答メッセージが再生されるまでの呼出時間を設定します。

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「留守番電話」▶「3.呼出時間設定」を選択する

2 0～9で呼出時間を入力し ◎（設定）を押す

呼出時間が設定されます。

- 0～120秒の間で設定できます。
- ◎で数字を増減できます。
- 押し間違えたときはクリアを押して数字を消し、入力し直します。

設定状況を確認する

留守番電話サービスの設定状況と呼出時間を確認します。確認後、各種設定もできます。

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「留守番電話」▶「6.設定確認」を選択する

2 「1.する」を選び ◎（選択）を押す

設定状況などが表示されます。

- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

■呼出時間を設定するには

①サブメニュー「1.呼出時間設定」を選択する

- 以降の操作：「呼出時間を設定する」操作2

■サービスを開始するには

①サブメニュー「2.サービス開始」を選択する

- 以降の操作：「留守番電話サービスを開始する」操作2以降 [☛P204]

■サービスを停止するには

①サブメニュー「3.サービス停止」を選択する

- 以降の操作：「留守番電話サービスを停止する」操作2 [☛P204]

3 内容を確認し、◎（OK）を押す

伝言メッセージを聞く

伝言メッセージが録音されているときは、待受画面に ルス2（数字は件数）が表示されます。
- **表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生する（1417）ときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は、含まれません。**

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「留守番電話」▶「1.メッセージ再生」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

3 ガイダンスに従って操作する

伝言メッセージが再生されます。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する

ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定できます。

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「留守番電話」▶「2.サービス設定」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

3 ガイダンスに従って操作する

新しいメッセージがあるか確認する

お客様のご都合のよいときに、伝言メッセージの有無を留守番電話サービスセンターに確認できます。

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「留守番電話」▶「7.メッセージ問合せ」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

新しい伝言メッセージが録音されていると、待受画面に ルス2（数字は件数）が表示されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。
- 件数増加鳴動設定を「ON」に設定しているときは、新しい伝言メッセージがあると通知音が鳴ります。
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生する（1417）時にガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は、含まれません。
- ルス2（数字は件数）は、留守番電話サービスセンターに電話をかけて伝言メッセージの保存または消去をすると消えます。メニューから消すこともできます。［☛P207］

おしらせ

- 着信音をレベル0に設定しているときは通知音は鳴りません。
- 電波状態によっては、問合せできないことがあります。
- メッセージ問合せ後にお預かりした伝言メッセージは、再度メッセージ問合せを行っても確認できない場合があります。

お買い上げ時 ON

伝言メッセージが増えたときに通知音が鳴るようにする

伝言メッセージの件数が増加していると通知音を鳴らすように設定できます。
• 通知音は、パターン１が１回だけ鳴ります。音量は着信音量に従います。

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「留守番電話」▶「8.件数増加鳴動設定」を選択する

2 「1.ON」を選び ◉（選択）を押す

件数増加鳴動設定が「ON」に設定されます。
• 解除するときは「2.OFF」を選びます。

留守番電話アイコンを消去する

待受画面に表示される ルス2（数字は件数）を消します。

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「留守番電話」▶「9.表示消去」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

ルス2（数字は件数）が消去されます。
• 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

おしらせ

- 留守番電話アイコンを消去しても、留守番電話サービスセンターに保存されているメッセージは消去されません。

着信中の電話を留守番電話サービスで応対する

留守番電話サービスを開始していなくても、一時的に留守番電話サービスを利用できます。

1 着信中に、サブメニュー「2.留守番電話」を選択する

かかってきた電話が留守番電話サービスセンターに接続されます。
• この操作で留守番電話サービスが開始されるわけではありません。

おしらせ

- 110番、119番、118番に電話をかけているときは、本機能はご利用になれません。

転送でんわサービスを利用する

電波が届かないとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、かかってきた電話をオフィスやご家庭などに自動的に転送できます。

- **全国のFOMAサービスエリア内ならどこでもご利用いただけます。**
- **転送でんわサービスは、お申込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料はかかりません。**
- **圏外では、転送でんわサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。**
- **詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。**

転送でんわサービスについて

- ●サービス中も、通常どおり電話をかけたり、受けたりできます。
- ●お客様のFOMA端末が通話できる状態のときは、電話がかかってくると着信音が鳴り、着信画面が表示されます。
- ●着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。着信音が鳴る時間（呼出時間）は変更できます。[☛P209]
- ●転送でんわサービスと留守番電話サービスの両方をお申込みになっても、2つのサービスを同時にはご利用になれません。転送でんわサービスは、留守番電話サービスを開始に設定すると、自動的に停止状態になります。（その後、留守番電話サービスを停止に設定しても、転送でんわサービスは自動的には再開しません。）
- ●番号通知お願いサービスが開始に設定されているときに、「非通知設定」の電話（音声通話）がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます（転送先には転送しません）。テレビ電話がかかってきたときは、動作しません。
- ●転送でんわサービスを「開始」（転送中）に設定している場合、コレクトコール（料金着信払通話）での着信はできません。
- ●プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも操作できます。
- ●転送先の登録は1件です。
- ●テレビ電話がかかってきた場合、転送でんわサービスを開始していても、転送先を3G-324M [☛P72]に準拠したテレビ電話に対応した機器に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上転送設定を行ってください。
- ●テレビ電話をかけた側には、転送中のガイダンスは流れません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1 転送先の電話番号を登録します。

ステップ2 転送でんわサービスの開始を設定します。

ステップ3 お客様のFOMA端末に電話がかかります。

ステップ4 電話に出ないと自動的に転送されます。

ステップ5 電話をかけた方が転送先とお話しします。

- 着信中の電話を転送できます。[☛P212]

転送でんわサービスの利用料金

月額使用料　無料 ＋ 通話料

●通話料

発信者 ◀—▶ 転送でんわサービスのご契約者 ◀—▶ 転送先

（発信者〜ご契約者）電話をかけた方のご負担です。

（ご契約者〜転送先）転送でんわサービスご契約者のご負担です。

※ 転送先までの通話料金は、転送でんわサービスを契約しているFOMA端末が位置登録されているエリアから、転送先までの距離で請求されます。
※ 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始、停止、呼出時間設定などの操作の通話料は無料です。

おしらせ

- **電波が届かないとき、電源を切っているときでも転送先までの通話料金は、転送でんわサービスの契約者のご負担となります。**
- **お出かけ先で転送でんわサービスを開始に設定し、FOMA端末の電源を切っていると、本機能の通話料が高くなることがありますのでご注意ください。お出かけ先から戻ってきたら、電源を入れ直してください。位置登録が自動的に行われます。**

転送でんわサービスを開始する

転送先の電話番号、呼出時間も設定できます。

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「転送でんわ」▶「1.サービス開始」を選択する

2 「2.開始する＋設定」を選び ◉（選択）を押す

- 転送先や呼出時間が設定済みのときは「1.開始する」を選びます。転送でんわサービスが開始されます。
- 操作を中止するときは「3.しない」を選びます。

3 設定項目を選ぶ

①設定項目欄を選び、◉（選択）を押す
②項目を選び ◉（選択）を押す

- 「呼出時間のみ」を選択したときは、操作5に進みます。

4 転送先電話番号を設定する

■直接入力するには

①転送先電話番号欄を選び ◎（選択）を押す

②電話番号を入力する

- 市外局番から入力します（26桁まで入力できます）。

■電話帳から検索するには

①転送先電話番号欄を選び、サブメニュー「2.アドレス帳」または「3.シークレットデータ」を選択する

- 転送先電話番号欄を選び ◎（選択）を押し、文字がない状態で ◎ を押しても検索できます。

②電話帳を検索する

- 検索方法 [☛P106]

③電話番号を選び ◎（選択）を押す

5 呼出時間を設定する

①呼出時間欄を選び ◎（選択）を押す

② 0 ～ 9 で時間を入力し ◎（確定）を押す

- 0～120秒の間で設定できます。
- ◎ で数字増減できます。
- 押し間違えたときは クリア を押して数字を消し、入力し直します。

6 サブメニュー「1.登録」を選択する

転送でんわサービスが開始されます。

おしらせ

- **フリーダイヤルおよび、110番などの3桁の電話番号は、転送先として指定できません。**
- **転送先からの申出により、必要な場合は転送を中止することがあります。**
- **PBX、ポケットベル※、FAXなどを転送先として指定すると、電話をかけてきた相手に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。**
- **伝言メモを同時に設定しているときに、転送でんわサービスを優先させるには、伝言メモ移行時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。**

※ 2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

転送でんわサービスを停止する

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「転送でんわ」▶「2.サービス停止」を選択する**

2 **「1.する」を選び ◎（選択）を押す**

転送でんわサービスが停止します。

• 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

設定状況を確認する

転送でんわサービスの設定状況や転送先の電話番号などを確認します。

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「転送でんわ」▶「4.設定確認」を選択する**

2 **「1.する」を選び ◎（選択）を押す**

設定状況などが表示されます。

• 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

3 **内容を確認し、◎（OK）を押す**

転送先を変更する

転送でんわサービス停止中に操作したときは、同時にサービスを開始することもできます。

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「転送でんわ」▶「3.転送先変更」を選択する**

2 **転送先電話番号を設定する**

• 操作方法：「転送でんわサービスを開始する」操作4 [☛P210]

3 サブメニュー「1.登録」を選択する

4 「1.転送先変更のみ」を選び ◉（選択）を押す

転送先電話番号が設定されます。
- サービス停止中に「2.転送先変更＋開始」を選ぶと、設定した転送先でサービスを開始できます。
- 操作を中止するときは「3.しない」を選びます。

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対する

- **留守番電話サービスで応対するには、あらかじめ留守番電話サービスのお申込みが必要です。留守番電話サービスを開始していても、テレビ電話は留守番電話サービスセンターに接続されません。テレビ電話の着信になります。**

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「転送でんわ」▶「5.転送先通話中時設定」を選択する

2 「1.接続する」を選び ◉（選択）を押す

転送先が通話中のときに留守番電話サービスで応対するように設定されます。
- 接続を解除するときは「2.接続解除する」を選びます。
- 操作を中止するときは「3.設定しない」を選びます。

着信中の電話を転送でんわサービスで応対する

転送でんわサービスを開始していなくても、一時的に転送でんわサービスを利用できます。

1 着信中に、サブメニュー「3.転送でんわ」を選択する

かかってきた電話が転送されます。
- この操作で転送でんわサービスが開始されるわけではありません。

おしらせ

- **110番、119番、118番に電話をかけているときは、本機能はご利用になれません。**

キャッチホンサービスを利用する

音声通話中に別の相手から音声電話がかかってきたことを「ププ…ププ…」という通話中着信音でお知らせします。現在の通話を保留にしたまま、別の相手と通話できます。

- **キャッチホンサービスを使用するときは、通話中着信設定を開始に設定し、着信動作選択を「通常着信」に設定してください。****[☛P224]** **他の設定になっているときは、キャッチホンサービスを開始しても電話に出られません。**
- **通話中の音声電話を保留にして、新たに別の相手に音声電話をかけられます。**
- **キャッチホンサービスは、お申込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。**
- **圏外では、キャッチホンサービスの操作はできません。電波のよい場所で操作してください。**
- **詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。**

キャッチホンサービスについて

● 次のような場合はキャッチホン機能は動作しません。
- 104（番号案内）、110番、119番、118番、117番などと通話しているとき
- ダイヤル中、または相手を呼び出している間
- 1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけている間
- 留守番電話サービスをご利用のお客様で、メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間
- テレビ電話通話中、または音声通話中にテレビ電話がかかってきたとき（着信履歴に記録されます。現在の通話を終了して、かかってきた電話に出られます。[☛P76] 電話に出なかったとき、不在着信アイコンは表示されます。）

● 保留中も通話料がかかり、電話をかけた方のご負担になります。

● 番号通知お願いサービスが開始に設定されているときに、「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが流れます。（キャッチホンサービスは利用できません。）

● 通話中にテレビ電話をかけることはできません。

キャッチホンサービスを開始する

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「キャッチホン」▶「1.キャッチホン開始」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

キャッチホンサービスが開始されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

キャッチホンサービスを停止する

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「キャッチホン」▶「2.キャッチホン停止」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

キャッチホンサービスが停止します。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

設定状況を確認する

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「キャッチホン」▶「3.設定確認」を選択する**

2 **「1.する」を選び ◉ (選択)を押す**

設定状況が表示されます。

- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

3 **内容を確認し、◉ (OK)を押す**

主な操作

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 **通話中に、[☎] を押す**

現在の通話が保留され、かかってきた電話につながります。

2 **通話する相手を切り替えるには、[☎] を押す**

現在の通話が保留され、保留されていた相手と電話がつながります。

3 **お話しが終わったら [PWR] を押す**

通話中の相手との通話が終了し、保留中の通話があることを知らせる着信音が鳴ります。

4 **[☎] を押す**

保留されていた相手とお話しできます。

通話を終わらせて、かかってきた電話に出る

1 **通話中に、[PWR] を押す**

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 **[☎] を押す**

かかってきた電話との通話になります。

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 通話中に別の相手の電話番号を入力し、[発信キー]を押す

電話がつながると、マルチ接続中画面が表示されます。
はじめに話していた相手との通話は保留されます。
- 電話帳、リダイヤル、着信履歴、ワンタッチダイヤル、ツータッチダイヤルも使用できます。

■通話相手を切り替えるには

① [発信キー]を押す

保留されていた相手と切り替わります。
- [発信キー]を押すごとに、通話の相手を切り替えることができます。

■通話中の相手との通話を終わらせるには

① [PWR]を押す

通話中の相手との通話が終了し、保留中の電話があることを知らせる着信音が鳴ります。

② [発信キー]を押す

保留されていた相手とお話しできます。

■保留中の相手との通話を終わらせるには

①サブメニュー「2.保留相手切断」を選択する

保留中の相手との通話が終了します。通話時間が約2秒間表示され、通話中画面に戻ります。

おしらせ

- マルチ接続中に別の電話がかかってきても、着信音は鳴らず、着信履歴に記録されます（不在着信アイコンは表示されます）。
- マルチ接続中に通話中の相手が切断したときは、[◎]（OK）かエニーキーアンサー機能のボタンを押すと保留中の電話があることを知らせる着信音が鳴ります。
- 通話中保留中でも電話をかけた方に料金は加算され続けます。
- キャッチホンを開始しているときだけ通話中に電話をかけることができます。

※ キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話を自動的に着信拒否できます。迷惑電話の通話直後に操作すると、以降、同じ電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否するガイダンスを流して通話を終了します。

- **最大で30件登録できます。**
- **迷惑電話ストップサービスは、お申込みが必要なオプションサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。**
- **圏外では、迷惑電話ストップサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。**
- **詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。**

最後に通話した電話番号を登録する

1 迷惑電話がかかってきたあと、待受中に、メニュー「サービス」▶「迷惑電話ストップ」▶「1.着信拒否登録」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

着信拒否登録されます。

- 発信者番号非通知でかけてきても、相手の電話番号を登録できます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。
- すでに30件登録されている場合は、最も古い電話番号を上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。上書きするときは「1.する」を選び ◉（選択）を押します。

おしらせ

- **最後に着信し、通話した電話の番号が登録されます。着信しても応答しなかった番号やお客様から発信した番号は登録できません。**
- **着信拒否先として登録した相手の電話番号は、確認や問合せをすることはできません。登録した電話番号はメモに控えるなどしておくことをおすすめします。**

電話番号を指定して登録する

1 待受中に 1 4 4 ☎ を押す

2 ガイダンスに従って操作する

おしらせ

- 国際電話は着信拒否に登録できません。着信履歴にも記録されません。
- 拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。
- 拒否登録した電話番号からの着信と、各サービスを開始に設定しているときの関係は以下のとおりです。ただし、拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合は着信拒否ガイダンスは流れずに電話が切れます。

サービス名	拒否登録した電話番号からの着信の取扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます（メッセージはお預かりしません）。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます（転送先には転送されません）。
キャッチホンサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます（発信者番号非通知でかけてきても拒否されます）。
ドライブモード	着信拒否ガイダンスが流れます（ドライブモードのガイダンスは流れません）。

登録した電話番号を解除する

最後に登録した番号から1件ずつ解除できます。すべての番号を解除することもできます。

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「迷惑電話ストップ」▶「3.一件登録削除」を選択する

- 電話番号をすべて解除するときは「2.全登録削除」を選びます。

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

最後に登録した電話番号が解除されます。（それ以前に登録された電話番号は残ります。）

- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

発信者番号通知サービス

相手の電話機に自分の電話番号を通知する

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号を表示してお知らせします。

- ご契約時は電話番号を知らせない設定になっています。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号通知の設定変更にあたっては十分ご注意ください。
- 発信者番号は、相手がデジタル携帯電話など、発信者番号表示が可能な場合に表示されます。
- 圏外では、発信者番号通知の操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- 発信者番号通知は、お申込み不要です。また、月額使用料もかかりません。
- 詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

発信者番号を通知する

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「発信者番号通知」▶「1.番号通知設定」を選択する

2 ネットワーク暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

- ネットワーク暗証番号は、ネットワークサービスを利用するときに使用する4桁の暗証番号です。[☛P161]

3 「1.通知する」を選び ◉（選択）を押す

発信者番号を通知するように設定されます。
- 発信者番号を通知しないときは「2.通知しない（非通知）」を選びます。
- 操作を中止するときは「3.設定しない」を選びます。

設定状況を確認する

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「発信者番号通知」▶「2.設定確認」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

設定状況が表示されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

3 内容を確認し、◉（OK）を押す

おしらせ

● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきたときは、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。（電話帳に登録されている場合は、名前も表示されます。）
発信者番号が通知されないときは、理由（非通知理由）が表示されます。

非通知理由	意　味
非通知設定	相手が発信者番号を通知しないでかけてきた場合
通知不可能	相手が発信者番号を通知できない場合（海外からの着信、一般電話から各種転送サービスを経由した着信など。ただし、経由した電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。）
公衆電話	相手が公衆電話からかけてきた場合

● 電話をかけたとき、発信者番号通知をお願いする内容のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号が通知されていません。発信者番号通知を「通知する」に設定してからかけ直してください。
● 発信者番号通知の設定にかかわらず、1回の通話ごとに、通知するかしないかを設定できます。[☛P52]
● 設定を確認時に通信を行いますが、通信料はかかりません。

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号が通知されない電話の場合、ガイダンスの案内により「番号通知のお願い」をし、自動的に電話を切るサービスです。相手がわからないことなどによるトラブルを防ぎ、安心できる携帯電話の活用が可能になります。

- **番号通知お願いサービスは、お申込み不要です。また、月額使用料もかかりません。**
- **圏外では、番号通知お願いサービスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。**
- **詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。**

番号通知お願いサービスについて

- 発信者番号の「非通知理由」が、発信者の意志により発信者番号を通知しない「非通知設定」の場合にはたらきます（「通知不可能」「公衆電話」は対象外です。ただし、「184」を付けて公衆電話から電話をかけた場合は、ガイダンスが流れます）。
- 発信者が「度数表示サービス」や「料金メータ」をご利用の場合は、ガイダンスは流れません。
- ガイダンスが流れている間は、発信者に通話料金がかかります。
- 本機能を開始に設定している場合に「非通知設定」の電話がかかってきたときは着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。
- FOMA端末の非通知着信設定と本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときの着信と、各サービスを開始に設定しているときの関係は以下のとおりです。

サービス名	発信者番号を通知しない方からの着信の取扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます（メッセージはお預かりしません）。
キャッチホンサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます（転送先には転送しません）。
迷惑電話ストップサービス	着信拒否に登録した電話番号からの着信の場合、着信拒否ガイダンスが流れます。
ドライブモード	番号通知お願いガイダンスが流れます（ドライブモードのガイダンスは流れません）。

- 64Kデータ通信ではガイダンスは流れず接続されます。
- テレビ電話では番号通知お願いサービスはご利用になれません。テレビ電話がかかってくると、発信者番号が通知されなくても着信します。

番号通知お願いサービスを開始する

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「番号通知お願い」▶「1.サービス開始」を選択する**

2 **「1.する」を選び ◉（選択）を押す**

番号通知お願いサービスが開始されます。

- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

番号通知お願いサービスを停止する

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「番号通知お願い」▶「2.サービス停止」を選択する**

2 **「1.する」を選び◉（選択）を押す**

番号通知お願いサービスが停止されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

設定状況を確認する

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「番号通知お願い」▶「3.設定確認」を選択する**

2 **「1.する」を選び◉（選択）を押す**

設定状況が表示されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

3 **内容を確認し、◉（OK）を押す**

おしらせ

● 本機能の開始／停止、確認の操作には通話料金はかかりません。

デュアルネットワークサービスを利用する

ご契約になったFOMA端末の電話番号で、movaも利用できるサービスです。FOMAのサービスエリア外でもmovaのサービスエリアで通信できます。
- デュアルネットワークサービスは、お申込みが必要なオプションサービスです。ご利用時には月額使用料がかかります。
- 圏外では、デュアルネットワークサービスの切替えはできません。
- 詳しい操作については『デュアルネットワークサービスガイド』をご覧ください。

movaを使えるようにする

1 **movaで「1540」とダイヤルする**

2 **ガイダンスに従って操作する**

FOMA端末を使えるようにする

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「デュアルネットワーク」▶「1. デュアルネットワーク切替」を選択する**

2 **ネットワーク暗証番号を入力し◎（選択）を押す**

- ネットワーク暗証番号は、ネットワークサービスを利用するときに使用する4桁の暗証番号です。[☛P161]

3 **「1.する」を選び◎（選択）を押す**

- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

設定状況を確認する

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「デュアルネットワーク」▶「2.状態確認」を選択する**

2 **「1.する」を選び◎（選択）を押す**

設定状況が表示されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

3 **◎（OK）を押す**

おしらせ

- movaの通信中に切替え操作を行うと、通信は強制的に切断されます。
- FOMA端末の通信中に切替え操作を行うと、通信は強制的に切断されます。
- FOMA端末では、従来どおりFOMAのｉモードがご利用になれます。movaでもｉモードを利用することができますが、一部利用できないサービスがあります。また、ｉモードや各ネットワークサービスを利用するときは、FOMA端末、movaそれぞれのネットワーク設備を利用するための制限事項や注意事項があります。詳しくは『デュアルネットワークサービスガイド』をご覧ください。

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

電波が届かない所にいるとき、電源を切っているときなどに流れるガイダンスを英語に変更できます。

- **英語ガイダンスは、お申込み不要です。また、月額使用料もかかりません。**
- **圏外では、英語ガイダンスの操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。**
- **詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。**

英語ガイダンスについて

- 自分が聞くガイダンスと相手に流れるガイダンスの両方を切り替えられます。
- 自分が聞くガイダンスは、日本語か英語に切り替えられます。相手には、日本語のガイダンスの前または後に英語のガイダンスを流せます。ただし、ドコモの携帯電話どうしの場合、流れるガイダンスは着信者側の着信時の設定よりも発信者側の発信時の設定が優先されます。

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「英語ガイダンス」▶「1.ガイダンス設定」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

- 操作を中止するときは「2.しない」を選択します。

3 各項目を設定する

①設定項目欄を選び ◉（選択）を押す

②「発信時＋着信時」、「発信時のみ」、「着信時のみ」のいずれかを選び ◉（選択）を押す

- 「発信時」は自分が聞くガイダンス、「着信時」は相手に流れるガイダンスです。
- 「着信時のみ」を選択したときは、操作⑤に進みます。

③発信言語種別欄を選び ◉（選択）を押す

④言語を選び ◉（選択）を押す

- 操作②で「発信時のみ」を選択したときは、操作4に進みます。

⑤着信言語種別欄を選び ◉（選択）を押す

⑥言語を選び ◉（選択）を押す

- 「日本語＋英語」に設定すると、日本語のガイダンスのあとに英語のガイダンスが流れます。
- 「英語＋日本語」に設定すると、英語のガイダンスのあとに日本語のガイダンスが流れます。

4 ◯（登録）を押す

ガイダンスの言語などが設定されます。

設定状況を確認する

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「英語ガイダンス」▶「2.設定確認」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

設定状況が表示されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選択します。

3 内容を確認し、◉（OK）を押す

おしらせ
- 本機能の設定、確認の操作には通話料金はかかりません。

サービスダイヤル

サービスダイヤルを利用する

ドコモ故障問合せやドコモ総合案内・受付に電話をかけることができます。

故障の問合せをする

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「サービスダイヤル」▶「1.ドコモ故障問合せ」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

ドコモ故障問合せに電話がかかります。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

総合案内・受付へ電話をかける

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「サービスダイヤル」▶「2.ドコモ総合案内・受付」を選択する

2 「1.する」を選び ◉（選択）を押す

ドコモ総合案内・受付に電話がかかります。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

おしらせ
- FOMAカードに「ドコモ故障問合せ」、「ドコモ総合案内・受付」が登録されていない場合は、本機能はご利用になれません。
- 表示される画面や発信する番号は、FOMAカードにより異なる場合があります。また、FOMAカードにより表示されない場合があります。

通話中にかかってきた電話の対処を選択する

留守番電話サービスや転送でんわサービス、キャッチホンサービスをご契約の場合、通話中にかかってきた別の電話への応対に利用するサービスをあらかじめ選択しておきます。

- **本設定を有効にするには、通話中着信設定を開始に設定してください。****[☛P225]**

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「着信動作選択」を選択する

2 機能を選び ◉（選択）を押す

着信動作が設定されます。

設定できる機能について

設定項目	通話中に電話がかかってきたときの動作
留守番電話（注1）	通話中にかかってきた電話は、留守番電話サービスセンターに自動的に接続されます。（注3）
転送でんわ（注2）	通話中にかかってきた電話は、あらかじめ登録されている電話番号に自動的に転送されます。（注3）
着信拒否	着信を拒否し、呼び出さないようにします。
通常着信	着信します。留守番電話サービス（注1）、転送でんわサービス（注2）、キャッチホンサービス（注4）を開始しているときはその設定に従います。

（注1）留守番電話サービスのご契約が必要です。
（注2）転送でんわサービスのご契約が必要です。
（注3）かかってきた電話は着信履歴に不在着信として記憶されます。（ただし、呼出時間を0秒に設定している場合は着信履歴に記憶されません。）
（注4）キャッチホンサービスのご契約が必要です。

通話中着信設定を設定する

着信動作設定で設定した応対方法を開始／停止に設定します。

- **圏外では、通話中着信設定の操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。**
- **詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。**

通話中着信設定を開始する

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「通話中着信設定」▶「1.通話中着信設定開始」を選択する**

2 **「1.する」を選び ◎（選択）を押す**

通話中着信が開始に設定されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

通話中着信設定を停止する

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「通話中着信設定」▶「2.通話中着信設定停止」を選択する**

2 **「1.する」を選び ◎（選択）を押す**

通話中着信が停止に設定されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

設定状況を確認する

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「通話中着信設定」▶「3.設定確認」を選択する**

2 **「1.する」を選び ◎（選択）を押す**

設定状況が表示されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

3 **内容を確認し、◎（OK）を押す**

おしらせ

- **本機能の開始／停止、確認の操作には通話料金はかかりません。**
- **留守番電話サービスや転送でんわサービスをご契約いただくと、本機能は開始に設定されます。**

遠隔操作を設定する

遠隔操作を開始に設定すると、留守番電話サービスと転送でんわサービスなどのサービスを、プッシュ式の一般電話や公衆電話などから操作できます。

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスのご契約時には、本機能は停止に設定されています。
- 圏外では、遠隔操作の設定はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- 詳しい操作については『FOMA各種ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

遠隔操作を開始する

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「遠隔操作設定」▶「1.遠隔操作開始」を選択する

2 「1.する」を選び ◎（選択）を押す

遠隔操作が開始に設定されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

遠隔操作を停止する

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「遠隔操作設定」▶「2.遠隔操作停止」を選択する

2 「1.する」を選び ◎（選択）を押す

遠隔操作が停止に設定されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

設定状況を確認する

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「遠隔操作設定」▶「3.設定確認」を選択する

2 「1.する」を選び ◎（選択）を押す

設定状況が表示されます。
- 操作を中止するときは「2.しない」を選びます。

3 内容を確認し、◎（OK）を押す

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用できます。

- **最大登録件数：40件**

サービスを登録／変更する

1 待受中に、メニュー「サービス」▶「追加サービス」を選択する

- すでにサービスが登録されているときは、追加サービスの一覧が表示されます。

2 サブメニュー「1.新規登録」を選択する

- サービスを変更するときは、追加サービスの一覧からサービスを選び、サブメニュー「2.編集」を選択します。

3 各項目を設定する

①サービスコードまたはレスポンスコードの○を選び◉（選択）を押す

○が◉になります。

- サービスコードには、サービスセンターに接続するための番号（特番）とサービスセンターに通知するためのコード（USSD）を登録できます。

②コード欄を選び◉（選択）を押す

③0～9、＊、＃でコードを入力する

- 半角30文字まで入力できます。

④サービス名（表示文字列）欄を選び◉（選択）を押す

⑤サービス名を入力する

- 全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

4 ◯（登録）を押す

追加サービスが登録されます。

- 同じサービスがすでに登録されているときは登録できません。
- サービスを変更するときは、上書きするかどうかの問合せ画面が表示されます。「はい」を選び◉（選択）を押します。上書きしないときは「いいえ」を選びます。

おしらせ

●コードやサービス名（表示文字列）を入力していないときは登録できません。
●追加サービスの登録件数が40件未満のときに、サービスコードまたはレスポンスコードのどちらかを30件以上登録することはできません。

登録したサービスを利用する

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「追加サービス」を選択する**

2 **サービスを選び◉（選択）を押す**

登録したコードがサービスセンターに発信されます。

登録したサービスを削除する

1 **待受中に、メニュー「サービス」▶「追加サービス」を選択する**

2 **サービスを選び、サブメニュー「3.一件削除」を選択する**

- サブメニュー「4.全件削除」を選択するとサービスをすべて削除できます。

3 **「はい」を選び◉（選択）を押す**

サービスが削除されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

文字入力のしかた

文字入力について

電話帳の登録、メールの作成など、FOMA端末には文字を入力して活用する多くの機能があります。また、定型文の入力や文字のコピー、貼付けなどの便利な機能もあります。

- **文字入力の方法は、入力方式によって異なります。**

入力方式	説　明
かな方式 (お買い上げ時の設定)	1つのボタンに複数の文字が割り当てられています。ボタンを押すごとに文字が切り替わります。例えば「う」を入力するには 1 を3回押します。
2タッチ方式[☛P251]	ポケットベル※へ文字を送信するときのように、2つの数字の組合せで文字を入力します。例えば「う」を入力するには 1 3 を押します。

※ 2001年1月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

入力モードの切替え（かな方式）

◯ (文字) を押すごとに、入力モードが切り替わります。

漢字モード（全角）[☛P232] → カナモード（半角）[☛P237] → 英字モード（半角／全角）[☛P238] → 数字モード（半角）[☛P238] →（漢字モードに戻る）

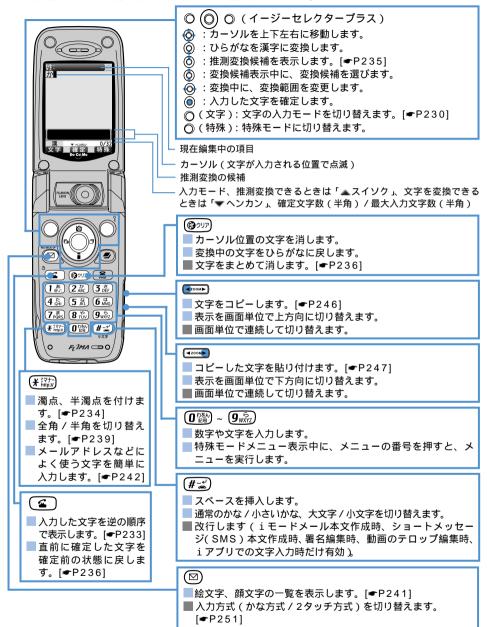
- 切替え可能な入力モードは機能や入力項目により異なります。

文字の種類と入力方法（かな方式）

文字の種類		例	主な入力方法	参照先
全角	ひらがな	あいうえお	• 漢字モードで入力	P232
	漢字	亜唖娃阿以	• 漢字モードで、ひらがなを入力してから変換	
	カタカナ	アイウエオ		
	英字	ａｂｃＡＢＣ	• 英字モードで、半角で英字・数字を入力してから全角文字に変換 • 英字モードで、「全角入力」に設定してから入力 • 漢字モードで「えいじ」または「すうじ」と入力して変換	P238
	数字	１２３４５		
	記号	＠／．，：；	• 英字モードで入力してから全角文字に変換 • 特殊モードで選択 • 漢字モードで「きごう」と入力して変換	P239 P234
	絵文字	(絵文字)	• 文字入力画面で (メール) を押す • 特殊モードで選択 • 漢字モードで「えもじ」または「えもじに」と入力して変換	P241 P234
半角	カタカナ	ｱｲｳｴｵ	• カナモードで入力	P237
	英字	abcABC	• 英字モードで入力 • 漢字モードで「えー」などの英字の読みを入力して変換	P238
	数字	12345	• 数字モードまたは英字モードで入力	
	記号	@/.,:;"?!&	• 英字モードで入力 • 特殊モードで選択	P238 P239
	顔文字	(^-^) m(__)m	• 文字入力画面で (メール) を2回押す • 漢字モードで「かおもじ」と入力して変換	P241 P234

※文字には全角と半角の2種類があります（スペースも同様）。文字数は、半角2文字で全角1文字分に数えます（ただし、ショートメッセージ（SMS）本文作成時は、全角半角にかかわらず文字数を数えます）。
※漢字は、JIS第一水準（2965文字）・第二水準（3390文字）を使用できます。

文字入力画面の見かたと各種ボタンの機能

● 短く押したときは■、1秒以上押したときは■で示しています。

おしらせ

● **メインディスプレイ、インスピレーションウィンドウの表示は実際の文字や記号と異なることがあります。**

かな方式で文字を入力する

漢字・ひらがな・カタカナ（全角）を入力する

漢字モードにすると、全角のひらがな、漢字、カタカナ、記号（「?」など）を入力できます。漢字、カタカナは、ひらがなで読みを入力して変換します。複数の文節からなる言葉や文章を入力して、一度に変換することができます。

例 電話帳登録画面のパーソナルメモ欄に「鈴木順子」と入力するとき

1 電話帳登録画面でパーソナルメモ欄を選び ◎（選択）を押す

パーソナルメモ欄の文字入力画面が表示されます。
- 最初は漢字モードになっています。
- 入力欄を選び、文字が割り当てられたボタンを押すだけでも入力できます。

2 ダイヤルボタンで「すずきじゅんこ」と入力する

「漢」と表示されます。

「す」→ 3 を3回押す
◎ を押してカーソルをひとつ右に移動する
「ず」→ 3 を3回押して ＊ を押す
「き」→ 2 を2回押す
「じ」→ 3 を2回押して ＊ を押す
「ゅ」→ 8 を5回押す（または 8 を2回押して # を押す）
「ん」→ 0 を3回押す
「こ」→ 2 を5回押す（または 2 を1回押して ☎ を押す）

- ダイヤルボタンの文字割当て一覧［☛P260］
- 一度に入力できる読みは16文字までです。
- 「▲スイソク」が表示されたときは、推測変換を使って入力できます。［☛P235］
- 文字を間違えて入力したときは クリア を押して文字を消し、入力し直します。
- 文字間にスペースを空けるときは、文字を変換、確定してから、# を押します。
- 次の場合は同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときでも、カーソル移動は必要ありません。
  - ・濁点、半濁点が付けられる文字の次に ＊ を押したとき
  - ・# で大文字／小文字変換を行ったとき
- 別のボタンで文字を入力するときは、そのボタンを押すとカーソルは自動的に移動します。
- ☎ を押すと、逆の順序で文字を表示できます。［☛P233］

3 ◎ を押す

「すずきじゅんこ」が「鈴木淳子」に変換されます。
- 他の文字を選ぶには ◎ を押します。
  変換候補の一覧が表示されます。
- 変換候補の表示順序は、辞書の学習状態によって異なります。

4 (確定)を押す

「鈴木」が確定します。

- (確定)を押さずに次の文字を入力すると、変換中の文字がすべて確定します。

5 を押してから、「順子」を選ぶ

「じゅんこ」の変換候補が表示されます。

- 各変換候補は全角8文字まで表示されます。
- クリアを押すと変換候補の一覧が消え、変換前の表示に戻ります。

6 (確定)を押す

「順子」が確定します。

- 確定直後に を押すと、確定前の状態に戻せます。[☛P236]

7 (確定)を押す

文字が確定します。

文字を逆の順序で表示するには

文字入力直後に を押すと、ダイヤルボタンを押したときとは逆の順序で文字が表示されていきます。漢字モード、カナモード、英字モードのときに有効です。

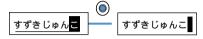
● カーソル移動などをすると、逆の順序で表示できなくなります。

漢字・カタカナ・記号への変換について

■ひらがなに戻すには

変換中または変換候補選択中にクリアを押します。

■ひらがなのまま確定するには

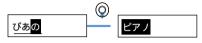
ひらがなの状態で（確定）を押します。

■うまく変換できない文字があるとき

漢字1文字分ずつ変換します。または、別の適当な熟語で入力、変換してから、不要な文字を削除します。

■変換範囲を変更するには

変換中に、を押して変換範囲を変更できます。

■全角カタカナに変換するには

ひらがなで読みを入力して変換します。

■送りがなのある漢字に変換したとき

助詞や助動詞、または送りがなが付く漢字に変換すると、異なる送りがなが付く候補も表示されます。

■全角記号や絵文字、顔文字に変換するには（記号・特殊文字一覧 [☛P262]）

- 全角記号 ………………漢字モードで「きごう」と入力して変換します。
- ギリシャ文字 …………漢字モードで「ぎりしあ」と入力して変換します。
- ロシア文字 ……………漢字モードで「ろしあ」と入力して変換します。
- 全角英字・全角数字 …漢字モードで「えいじ」または「すうじ」と入力して変換します。
- 顔文字 …………………漢字モードで「かおもじ」と入力して変換します。また、文字入力画面でを2回押すと、一覧から選べます。
- 絵文字 …………………漢字モードで「えもじ」または「えもじに」と入力して変換します。また、文字入力画面でを押すと、一覧から選べます。

濁点・半濁点を付けるには

濁点、半濁点を付ける文字を入力し、続けて を押します。

- 濁点、半濁点が付く文字の場合（は行）
  押すごとに濁点付き→半濁点付き→なしの順に切り替わります。
  例「ぱ」→ 6 を押して を2回押します。
- 濁点だけが付く文字の場合（う、か行、さ行、た行）
  押すごとに濁点付き→なしの順に切り替わります。
  例「が」→ 2 を押して を押します。
  - 「う」に濁点を付けると「う゛」（全角2文字分）と表示されます。

なお、未確定文字がないときに、0 を11回押すと濁点、12回押すと半濁点を1文字として入力できます。

以前入力した文字列を簡単に入力する（推測変換）

漢字モードで単語や文章などの文字列を入力すると、その文字列がFOMA端末に記憶されます。次に同じ文字列を入力するときは、すべての読みを入力しなくても簡単に変換できます。

● 記憶できる変換候補の数は、候補の文字数によって変わります。メモリが不足したときは、古いものから削除されます。

■推測変換を使って文字列を入力するには

例 以前に入力した文字列「待ち合わせ」を入力するとき

① [7] を押す

- 「まち」や「まちあ」と入力しても推測変換できます。ただし、「まちあわせ」と読みをすべて入力したときは、推測変換できません。◎で変換してください。

推測変換できるときは「▲スイソク」と変換候補の一部が表示されます。

② ◎ を押す

変換候補（以前に入力した文字列）が表示されます。

- 1候補は全角で32文字まで記憶されます。全角9文字以上の場合は先頭の7文字まで表示され、8文字めが「…」で表示されます。
- ◎を押す前に◎で変換すると推測変換できません。推測変換するときは[クリア]を押してから◎を押してください。

- 濁点・半濁点がない文字列を入力し、◎を押すと、濁点・半濁点が付く文字列も表示されます。ただし、濁点・半濁点が付く文字列を入力し◎を押しても、濁点・半濁点が付かない文字列は表示されません。

③「待ち合わせ」を選び ◎（確定）を押す

「待ち合わせ」が確定します。

- 確定する前に[クリア]を押すと変換候補の一覧が消え、変換前の表示に戻ります。

■推測変換のON/OFFを設定するには

メニューから設定することも、文字入力中に設定することもできます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

● メニューから設定するには

① 待受中に、メニュー「設定」▶「文字入力」▶「推測変換設定」を選択する

②「1.ON」を選び ◎（選択）を押す

- 推測変換を使わないときは「2.OFF」を選びます。

● 文字入力画面表示中に設定するには

① 文字入力画面で ○（特殊）を押す

②「12.推測変換設定」を選び ◎（選択）を押す

③「1.ON」を選び ◎（選択）を押す

● 推測変換を「OFF」に設定すると

漢字モードで読みを入力して◎を押しても、通常の変換になります。

■記憶されている推測変換候補を消去するには

① 待受中に、メニュー「設定」▶「文字入力」▶「推測変換辞書リセット」を選択する

② 端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押す

③「はい」を選び ◎（選択）を押す

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

確定した文字を元に戻すには

文字を入力、変換して ◉（確定）を押したあとでも、☎ を押すと確定する前の状態に戻せます。漢字モードのときに有効です。

● 推測変換で文字を確定したときや、確定後にカーソル移動や改行したときなどには無効です。

おしらせ

● 文字入力画面に文字を入力した状態で ◯（文字）を押すと入力モードが切り替わります。このとき、変換前または変換中の文字があると、すべての文字が確定します。

文字を修正する

文字の入力を間違えたら、間違えた文字を消し、正しい文字を入力し直します。文字はカーソル位置に挿入されます。

1文字ずつ消す

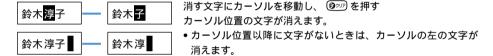
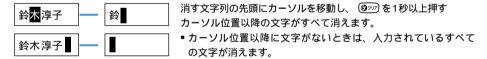
消す文字にカーソルを移動し、クリア を押す

カーソル位置の文字が消えます。

- カーソル位置以降に文字がないときは、カーソルの左の文字が消えます。

まとめて消す

消す文字列の先頭にカーソルを移動し、クリア を1秒以上押す

カーソル位置以降の文字がすべて消えます。

- カーソル位置以降に文字がないときは、入力されているすべての文字が消えます。

- 文字を未入力の状態にするときは、文字入力画面の文字をすべて消して ◉（確定）を押します。
- 文字入力画面で修正中に、修正前（確定済み）の文字に戻したいときは、入力した文字をすべて消してから クリア を押します。

カタカナ（半角）を入力する

カナモードにすると、半角のカタカナ、記号（「ｨ」など）を入力できます。
• 全角のカタカナは漢字モードで入力します。

1 文字入力画面で ◎（文字）を押して、カナモードにする

2 ダイヤルボタンで「ｽｽﾞｷ」と入力する

「半カナ」と表示されます。

「ｽ」→ 3 を3回押す
◎ を押してカーソルをひとつ右に移動する
「ｽ」→ 3 を3回押す
「ﾞ」→ ＊ を押す
「ｷ」→ 2 を2回押す

• ダイヤルボタンの文字割当て一覧 [☛P260]
• 入力直後に # を押すと大文字⟷小文字の変換ができます。
• 文字を間違えて入力したときは クリア を押して文字を消し、入力し直します。
• ＊ や # を押した場合は同じボタンに割り当てられている別の文字を入力するときでもカーソル移動は必要ありません。
• 別のボタンで文字を入力するときは、そのボタンを押すとカーソルは自動的に移動します。
• ☎ を押すと、逆の順序で文字を表示できます。[☛P233]

3 ◎（確定）を押す

文字が確定します。

おしらせ

● 半角カタカナをｉモード対応携帯電話以外の相手に送信すると、受信側で正しく表示されないことがあります。

英数字を入力する

英字モードにすると、半角または全角の英字、数字、記号（「@」など）を入力できます。数字モードにすると、半角の数字を入力できます。

1 文字入力画面で◯（文字）を押して英字モードにする

2 ダイヤルボタンで「Jun12」と入力する

英字モードのときは「英」と表示されます。

「J」→ 5 を4回押す（または 5 を1回押して # を押す）
「u」→ 8 を2回押す
「n」→ 6 を2回押す
◯（文字）を押して、数字モードにする
「1」→ 1 を1回押す
「2」→ 2 を1回押す

- ダイヤルボタンの文字割当て一覧 [☛P260]
- 入力直後に # を押すと小文字↔大文字の変換ができます。
- 文字を間違えて入力したときは クリア を押して文字を消し、入力し直します。
- * や # を押した場合は同じボタンに割り当てられている別の文字を入力するときでもカーソル移動は必要ありません。
- 別のボタンで文字を入力するときは、そのボタンを押すとカーソルが自動的に移動します。
- ☎ を押すと、逆の順序で文字を表示できます。[☛P233]

3 ◉（確定）を押す

文字が確定します。

大文字、小文字の表示順を切り替えるには

ダイヤルボタン（2 ～ 9）を押したときに英字の大文字・小文字のどちらを先に表示するかを切り替えることができます。すべて英大文字で入力するときは、英字（大文字）モードに切り替えると、ボタンを押す回数を減らすことができます。

① 文字入力画面で ◯（特殊）を押す
②「09.大/小文字切替」を選び ◉（選択）を押す
③「1.大文字入力」を選び ◉（選択）を押す

いろいろな入力方法

- 宛先など、英数字だけが入力可能な項目の文字入力画面では全角文字は入力できません。

■英字モードで全角の英字・数字・記号を入力するには

● 1文字ずつ変換する

入力直後に（＊ﾏﾅｰ http://）を押すと、全角文字に切り替わります。半角に戻すには、もう一度（＊ﾏﾅｰ http://）を押します。

● あらかじめ全角に切り替えてから入力する

①文字入力画面で（特殊）を押す
②「10.全角/半角切替」を選び（選択）を押す
③「1.全角入力」を選び（選択）を押す

■漢字モードで全角の英字・数字・記号を入力するには

- 全角英字…漢字モードで「えいじ」と入力して変換します。
- 全角数字…漢字モードで「いち」などの数字の読み、または「すうじ」と入力して変換します。
- 全角記号…漢字モードで「きごう」と入力して変換します。

■漢字モードで半角の英字を入力するには

- 漢字モードで「えー」や「びー」と入力して変換します。

定型文・記号を入力する

特殊モードにすると、定型文、記号、絵文字の入力や、区点コードによる文字の入力ができます。

1 文字入力画面で（特殊）を押す

2 定型文、記号を入力する

■定型文を入力する

①「01.定型文」を選び（選択）を押す

- 定型文一覧 [☛P264]

②定型文グループを選び ◎（選択）を押す

- 定型文一覧の表示を全画面表示（全文表示）に切り替えることもできます。[☛P244]

③定型文を選び ◎（選択）を押す

文字入力画面に定型文が表示されます。

- 間違えて選んだときは クリア を押して文字を消し、操作1からやり直します。
- 定型文を入力すると最大入力文字数を超える場合は、最大入力文字数を超えない分の文字だけが入力されます。

④必要に応じて定型文を変更する

「○○」を変更するときは、 クリア を押して「○○」を消し、文字を入力し直します。

⑤ ◎（確定）を押す

文字が確定します。

■記号を入力するには

①「02.記号」を選び ◎（選択）を押す

- 記号・特殊文字一覧 [☛P262]
- 記号は、半角記号、全角記号の順に表示されます。半角記号しか入力できない場合は、全角記号は表示されません。機能によっては、入力可能な記号だけが表示されることがあります。

② ◎で記号を選び ◎（選択）を押す

文字入力画面に記号が表示されます。

- 間違えて選んだときは クリア を押して記号を消し、操作1からやり直します。

③ ◎（確定）を押す

文字が確定します。

おしらせ

- **特殊モードから文字入力画面に戻すには、 ○（戻る）または クリア を押します。**

絵文字・顔文字を入力する

1 文字入力画面で ✉ を押す

絵文字一覧が表示されます。
✉ を押すごとに絵文字→顔文字の順に切り替わります。
- 文字入力画面で ◎（特殊）を押し、「03.絵文字」を選択しても、絵文字一覧に切り替わります。
- 絵文字は、文字入力画面で「えもじ」または「えもじに」と入力して変換しても入力できます。
- 顔文字は、文字入力画面で「かおもじ」と入力して変換しても入力できます。
- 絵文字の一覧［☛P262］、顔文字の一覧［☛P263］

2 文字を入力する

①文字を選び ◉（選択）を押す

◎ で絵文字、◎ で顔文字を選べます。
- 顔文字は番号をダイヤルボタンで押しても選べます。
- 顔文字を入力すると最大入力文字数を超える場合は、最大入力文字数を超えない分の文字だけが入力されます。
- 間違えて選んだときは クリア を押して文字を消し、操作1からやり直します。

② ◉（確定）を押す

文字が確定します。

おしらせ

- **ｉモード対応携帯電話以外にメールを送信するときは、題名や本文に絵文字を使用すると、受信側で正しく表示されないことがあります。**
- **絵文字2は、ｉモード対応携帯電話の対応機種以外に送信すると、正しく表示されません。**

電話番号やメールアドレスを入力する

電話帳に登録している内容（名前、電話番号、メールアドレス、パーソナルメモ）を文字入力画面に入力できます。
- **PIMロック中は電話帳やマイデータを検索できません。**
- **一部の入力モードだけ有効な文字入力画面では利用できません（フリガナ、電話番号、メールアドレスの入力欄など）。**

例 自分のFOMA端末の電話番号1を入力するとき

1 文字入力画面で ◯（特殊）を押し、「11.電話帳情報コピー」を選び ◉（選択）を押す

どのデータをコピーするかの選択画面が表示されます。

2 「1.マイデータ」を選び ◉（選択）を押す

選択されている項目に登録されている情報

- 登録されていない項目は選択できません。

■「2.電話帳」を選んだ場合
①電話帳を検索し、相手を選び ◉（選択）を押す

■「3.シークレットメモリ」を選んだ場合
①端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す
②電話帳を検索し、相手を選び ◉（選択）を押す

3 「電話番号1」を選び ◉（選択）を押す

カーソル位置に文字が入力されます。

メールアドレスなどを簡単に入力する

「http://www.」や「.co.jp」などが簡単に入力できます。

- **この機能は以下の画面で使えます。**
  - ・メールアドレス、URL入力　・ｉモードの接続先設定画面のHOST名入力

1 文字入力画面で ［＊ﾏﾅｰ http://］ を押す

- ［＊ﾏﾅｰ http://］ を押すごとに文字が切り替わります。［☎］を押すと、逆の順序で切り替わります。

押す回数	入力される文字	押す回数	入力される文字
1	http://	6	.ac.jp
2	http://www.	7	.net
3	.ne.jp	8	.com
4	.co.jp	9	.org
5	.or.jp	10	@docomo.ne.jp

- 2タッチ方式でも入力できます。

2 ◉（確定）を押す

文字が確定します。

特殊モードから利用できる機能

特殊モードでは、定型文、記号、絵文字のほかにもさまざまな機能が利用できます。

サブメニュー	応対方法	参照先
切り取り	文字入力画面内の文字を消してFOMA端末に記憶します。	P246
コピー	文字入力画面内の文字を消さずにFOMA端末に記憶します。	P246
貼付	「切り取り」または「コピー」でFOMA端末に記憶した文字を別の位置に貼り付けます。	P247
区点コード入力	区点コードを入力して文字を入力します。	P248
文字入力方式切替	文字の入力方式を切り替えます。	P251
大／小文字切替	英字モードについて、大文字／小文字の割当て順序を切り替えます。	P238
全角／半角切替	英字モードについて、全角／半角のどちらで入力するかを切り替えます。	P239
電話帳情報コピー	電話帳の登録内容を文字入力画面に入力します。	P241
推測変換設定	推測変換機能のON/OFFを切り替えます。	P235
バーコードリーダー	サイトや画面メモの入力欄に文字を入力するときに、バーコードリーダーを利用してQRコード、JANコードを読み取り、読み取り結果を入力します。	アプリ P219

文字入力のしかた

定型文を修正／登録する

お買い上げ時の定型文を修正、削除し、よく使用する文や言葉を新たに登録できます。登録したあとでもお買い上げ時の状態に戻せます。

お買い上げ時の定型文を修正／登録する

よく使用する文や言葉を登録するときは、お買い上げ時の定型文に上書きします。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「文字入力」▶「定型文登録」を選択する

定型文グループの一覧が表示されます。

2 定型文グループを選び ◉（選択）を押す

定型文の一覧が表示されます。

■定型文一覧の表示を全画面表示（全文表示）に切り替えるには

①サブメニュー「3.全画面表示」を選択する

- 一行表示に戻すには、サブメニュー「3.一行表示」を選択します。

3 定型文を選び ◉（編集）を押す

定型文が文字入力画面に表示されます。

4 定型文を修正し、 ◉（確定）を押す

- 全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

おしらせ

- **ｉモード対応携帯電話以外にメールを送信するときは、半角カタカナ、絵文字、「①」や「㈱」など一部の全角記号を使った定型文を使用すると、受信側で正しく表示されないことがあります。**
- **ショートメッセージ（SMS）を送信するときは、半角記号、絵文字、「①」や「㈱」など一部の全角記号などを使った定型文を使用すると、受信側で正しく表示されないことがあります。**

定型文グループ名を変更する

1 待受中に、メニュー「設定」▶「文字入力」▶「定型文登録」を選択する

2 定型文グループを選び、サブメニュー「1.編集」を選択する

グループ名が文字入力画面に表示されます。

3 新しい定型文グループ名を入力し、 ◉（確定）を押す

グループ名が変更されます。

- 全角7文字（半角14文字）まで入力できます。

定型文を1件ずつ削除する

1 定型文の一覧を表示する

- 定型文の一覧の表示方法：「お買い上げ時の定型文を修正／登録する」操作1～2 [☛P244]

2 定型文を選び、サブメニュー「2.一件削除」を選択する

- （クリア）を1秒以上押しても削除できます。

3 「はい」を選び ◉（選択）を押す

定型文が削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を押します。

定型文を初期状態（お買い上げ時の状態）に戻す

定型文をお買い上げ時の状態（初期状態）にします。1件ずつ戻すことも、グループ内の定型文をすべて戻すこともできます。

1件ずつ初期状態に戻す場合

1 定型文の一覧を表示する

2 定型文を選び、サブメニュー「1.定型文リセット」を選択する

3 「はい」を選び ◉（選択）を押す

初期状態に戻ります。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

グループ内のすべての定型文を初期状態に戻す場合

1 定型文グループの一覧を表示する

2 定型文グループを選び、サブメニュー「2.グループ内リセット」を選択する

3 「はい」を選び ◉（選択）を押す

グループ内の定型文が初期状態に戻ります。変更したグループ名も初期状態に戻ります。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

文字の切り取り・コピーと貼付け

文字入力画面内の文字の切り取り／コピーを行い、文字入力画面内の別の位置に貼付けできます。異なる機能の文字入力画面間でも行えます。

- **一度にコピー、切り取り、貼付けできる最大文字数：全角半角とも2000文字**
- **文字が記憶されているときに、文字の切り取りまたはコピーを行うと、以前に記憶されていた内容に上書きされます。**

文字をコピーする／切り取る

例 コピーするとき

1 文字入力画面で◯（特殊）を押す

- ZOOMを押してもコピーできます。操作3に進みます。

2 「05.コピー」を選び◉（選択）を押す

コピーできる状態になります。

- 切り取りをするときは「04.切り取り」を選びます。

3 コピーする範囲の始点と終点を指定する

①コピーする範囲の最初の文字にカーソルを移動し◉（選択）を押す

始点が確定します。

- 始点を指定し直すときは◯（戻る）を押します。クリアを押しても解除できます。

②コピーする範囲の終わりの文字にカーソルを移動し◉（選択）を押す

文字がコピーされます。

メールの文字をコピーする

受信メールや送信メールから、相手先アドレス、題名、本文の文字をコピーできます。
・画像やメロディはコピーできません。

例 受信メールからコピーするとき

1 受信メールを表示し、サブメニュー「12.コピー」を選択する

・受信メールの表示方法 [☛アプリP137、175]
・送信メールからコピーするときは、送信メールを表示し、サブメニュー「04.コピー」を選択します。

2 コピーする項目を選び ◉（選択）を押す

コピーできる状態になります。

3 コピーする範囲の始点と終点を指定する

文字がコピーされます。

おしらせ

●宛先に複数のメールアドレスが設定されているときは、メールアドレスごとに改行されて表示され、まとめてコピーできます。ただし、ｉモードメールの宛先欄に貼り付けられるのは最初の1件だけです。

文字を貼り付ける

コピーしたり切り取った文字はFOMA端末に記憶され、電源を切るまで何度でも貼付けできます。
・改行が含まれている文字をコピーして、改行できない入力項目の文字入力画面に貼り付けると、改行前までの文字が貼り付けられます。（改行できるのは、ｉモードメールの本文作成時、ショートメッセージ（SMS）本文作成時、署名編集時、動画のテロップ編集時、ｉアプリでの文字入力時だけです。）

1 文字入力画面で ◯（特殊）を押す

・ZOOM を押しても貼り付けることができます（ｉモードメール作成画面を除く）。操作3に進みます。

2 「06.貼付」を選び ◉（選択）を押す

貼付けできる状態になります。

3 文字を挿入する位置にカーソルを移動し ◉（選択）を押す

カーソル位置の直前に文字が挿入されます。
・貼り付けられない文字が含まれている場合（例えば英数字以外入力できない項目の文字入力画面に漢字を貼り付けようとしたときなど）は貼り付けられません。
・文字を貼り付けると最大入力文字数を超える場合は、最大入力文字数を超えない文字分だけが貼り付けられます。（ｉモードメール作成画面では、最大入力文字数を超える場合も貼り付けられます。超えた文字分は削除してください。）

区点コードで入力する

漢字の読みから目的の文字が変換候補に表示されないときなどに、4桁の区点コードを入力して文字を入力できます。

例「ゑ」(え)(区点コード0481)を入力するとき

1 文字入力画面で ◎(特殊)を押す

2 「07.区点コード入力」を選び ◉(選択)を押す

3 0わをん記号 ～ 9らWXYZ で0481(区点コード4桁)を入力する

- 区点コード(4桁)を入力している途中で ◎ を押すと、入力した数字に最も近い区点コードの文字が表示されます。
  (例) 4たGHI 8やTUV 0わをん記号 のあとに ◎
  0479の「わ」または0481の「ゑ」を表示
- 区点コードを入力せずに ◎ を押すと、文字が割り当てられている最後の区点コードまたは最初の区点コードの文字が表示されます。
- ◎ を押したままにすると、区点コードと文字が順に表示されます。
  文字が割り当てられていない区点コードはスキップします。
- 文字が割り当てられていない区点コードを入力した場合は「存在しません」と表示されます。
- 区点コードを間違えて入力したときは クリア を押して数字を消し、入力し直します。

4 ◉(確定)を押す

「ゑ」が入力されます。

おしらせ

- **漢字はJIS第一水準(2965文字)、第二水準(3390文字)を使用できます。**
- **電話帳の姓欄と名欄に区点コードで入力した場合、フリガナは自動的には入力されません。**

よく使う単語を登録する

一度で変換されない語句や、よく使う長い語句（会社名など）を、登録した読みですぐに呼び出せるように、語句と読みを対応させて登録できます。
- 最大登録件数：100件（全角16文字、半角32文字）

単語を新規登録する

1 待受中に、メニュー「設定」▶「文字入力」▶「単語登録」を選択する

- すでに単語が登録されているときは、登録単語の一覧が表示されます。

2 サブメニュー「1.新規登録」を選択する

3 単語を登録する

- 読みにスペースを含めることはできません。語句にスペースを含めることはできます。

■語句を入力するには

①語句欄を選び ◉（選択）を押す

②文章などを入力し ◉（確定）を押す
- 全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

■読みを入力するには

①読み欄を選び ◉（選択）を押す

②読みを入力し ◉（確定）を押す
- 全角ひらがなで、16文字まで入力できます。
- 読みの濁点、半濁点は1文字として数えます。
- 読みの先頭には、以下の文字は使えません。
  - ・長音記号（ー）、単独の濁点（゛）や半濁点（゜）・小さいかな（ぁ～ぉ、っ、ゃ～ょ、ゎ）
  - ・を、ん

4 ◯（登録）を押す

単語が登録されます。
- 同じ単語がすでに登録されているときは登録できません。

おしらせ

- 語句や読みを入力していないときは登録できません。
- すでに100件の単語が登録されている場合は登録できません。不要な単語を削除してください。[☛P250]
- 登録した単語を入力するには、読みを入力して変換します。

登録した単語を修正する

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「文字入力」▶「単語登録」を選択する**

- 単語は、読みのあいうえお順に一覧表示されます。

登録単語の番号／登録単語数

2 **単語を選び ◉（選択）を押す**

3 **単語を修正する**

「語句」や「読み」を修正します。

- 入力方法：「単語を新規登録する」操作3 [☛P249]

4 **◯（登録）を押す**

5 **「はい」を選び ◉（選択）を押す**

単語が登録されます。

- 同じ単語がすでに登録されているときは登録できません。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

登録した単語を削除する

1 **待受中に、メニュー「設定」▶「文字入力」▶「単語登録」を選択する**

- 単語は、読みのあいうえお順に一覧表示されます。

2 **単語を選び、サブメニュー「2.一件削除」を選択する**

- （クリア）を1秒以上押しても削除できます。
- サブメニュー「3.全件削除」を選択すると単語をすべて削除できます。

3 **「はい」を選び ◉（選択）を押す**

単語が削除されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

2タッチ方式で文字を入力する

2つのダイヤルボタンを押して、文字を入力できます。

［文字入力方式切替］　お買い上げ時 モード1（かな方式）

2タッチ方式に設定する

2タッチ方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「文字入力」▶「文字入力方式切替」を選択する

2 「2.モード2（2タッチ方式）」を選び ◉（選択）を押す

文字入力モードが2タッチ方式に設定されます。
- かな方式に戻すには「1.モード1（かな方式）」を選びます。
- 文字入力中に入力方式を切り替えるには ✉ を1秒以上押します。

■特殊モードから切り替える場合
①文字入力画面で ◯（特殊）を押す
②「08.文字入力方式切替」を選び ◉（選択）を押す
③「2.モード2（2タッチ方式）」を選び ◉（選択）を押す

入力モードを切り替える

◯（文字）を押すごとに、入力モードが切り替わります。

漢字モード（全角） ◀——▶ カナモード（半角）

漢字モードでは全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などが入力できます。
カナモードでは半角のカタカナ、英字、数字などが入力できます。ダイヤルボタンの文字の割当ては漢字モードと同じです。
- 特殊モードには ◯（特殊）を押して切り替えます。
- 切替え可能な入力モードは、機能や入力項目により異なります。

文字を入力する

カナモードでカタカナを入力する例を示します。
- **漢字モードでも同様に入力します。**
- **漢字の変換方法や特殊モードでの入力方法は、モード1（かな方式）と同じです。[☛P232]**
- **ダイヤルボタンの文字割当て一覧 [☛P261]**

例「ｽｽﾞｷ」と入力するとき

1 文字入力画面で ◯（文字）を押して、カナモードにする

- 大文字と小文字は、8 0 を押すと切り替わります。
- 入力モードは次のように表示されます。

	大文字モード	小文字モード
漢字モード	漢大	漢小
カナモード	半カナ大	半カナ小

2 ダイヤルボタンで「ｽｽﾞｷ」と入力する

「ｽ」→ 3 3 を押す
「ｽ」→ 3 3 を押す
「ﾞ」→ 0 4 を押す
「ｷ」→ 2 2 を押す
- 文字を間違えて入力したときは クリア を押して文字を消し、入力し直します。

「半カナ大」と表示されます。

3 ◎（確定）を押す

文字が確定します。

文字サイズ設定

お買い上げ時 通常

文字入力画面のフォントサイズを変える

文字入力画面で入力するときの文字の大きさを変更できます。

1 待受中に、メニュー「設定」▶「画面・表示」▶「文字サイズ設定」を選択する

◎ を押すごとにサンプル表示が切り替わります。

2 「1.大」または「3.小」を選び ◎（選択）を押す

文字サイズが変更されます。
- 通常のサイズに戻すときは「2.通常」を選びます。

文字のサイズを変更すると

- 文字入力画面で入力するときに、設定した大きさで文字を入力できます。
- 文字のフォントサイズは以下のとおりです。
  大：30ドット　通常：24ドット　小：16ドット
- 文字サイズを変更しても、文字入力画面内の以下の文字はサイズが変わりません。
  - 編集中の項目を表示する文字
  - 漢字変換／推測変換候補の表示
  - 各種メッセージ
- 電源を切っても設定は解除されません。

メニュー一覧

：アプリケーション編の参照先

	メニュー名称	参照先
カメラ	静止画撮影	P204
	動画撮影	P207
	カメラ画像	P224 P246
	カメラ設定	P214
ﾏﾙﾁﾒﾃﾞｨｱ	イメージ	P224
	ｉモーション	P246
	キャラ電	P88
	メロディ	P260
アクセサリ	スケジュール	P177
	アラーム	P174
	音声メモプレーヤー	P70
	音声メモレコーダー	P183
	赤外線受信	P274 P277 P278
	メモリースティック	P289
	バーコードリーダー	P217
設定	**音・バイブレーター**	
	音の設定	P138
	音量調節	P136
	保留音設定	P132
	バイブレーター	P121
	オリジナルマナーモード	P119
	ボタン確認音	P143
	充電確認音	P143
	画面・表示	
	待受画面設定	P144
	パートナー設定	P153
	パートナーアシスト設定	P160
	フォトコール設定	P148
	インスピレーションウィンドウ	P149
	ウェイクアップ表示	P152
	表示サイズ設定	P159
	文字サイズ設定	P252
	照明設定	P157
	コントラスト調節	P156
	ナチュラルカラーマトリックス	P159
	アイコンメニュー説明ON/OFF	P32
	サイドボタン機能切替	P185
	TV電話	
	発信時自画像送信	P86
	代替画像設定	P87
	音声自動再発信設定	P89
	応答保留画面選択	P89
	通話保留画面選択	P90
	伝言メモ画面選択	P90
	画像表示設定	P90
	TV電話画面切替	P91
	画像品質設定	P91

	メニュー名称	参照先
設定	**時計・時刻**	
	日付時刻設定	P45
	自動電源ON	P173
	自動電源OFF	P174
	プライバシー	
	グループ別設定	P101
	暗証番号の変更	P162
	禁止動作設定	P169
	電話帳指定着信拒否	P126
	電話帳指定着信許可	P125
	非通知着信設定	P128
	無音着信時間設定	P124
	登録外電話番号拒否	P127
	履歴表示設定	P170
	メールセキュリティ	P186
	メモリースティックロック	P301
	PIN1の変更	P163
	PIN2の変更	P163
	PIN1入力ON/OFF設定	P162
	USBモード設定	P301
	ソフトウェア更新	P272
	文字入力	
	単語登録	P249
	定型文登録	P244
	文字入力方式切替	P251
	推測変換設定	P235
	推測変換辞書リセット	P235
	通話時間・状況確認	
	通話時間表示	P135
	通話積算時間リセット	P135
	電池残量	P43
	設定状況確認	P185
	登録状況確認	P111
	伝言メモ	
	伝言メモ	P66
	通話・通信	
	オート着信機能設定	P191
	クローズ動作設定	P133
	再接続アラーム	P130
	通話品質アラーム	P131
	ノイズキャンセラ	P130
	イヤホン/スピーカ切替	P188
	エニーキーアンサー設定	P131
	セルフモード	P171
	サブアドレス設定	P129
	プレフィックス設定	P129

メニュー名称		参照先
設定	**ｉモード設定**	
	接続待ち時間設定	P49
	接続先設定	P50
	センター接続設定	P56
	自動表示設定	P103
	画像表示設定	P48
	スクロール設定	P48
	ｉモーション設定	P100
	ｉモード問合せ設定	P192
	CA証明書設定	P53
	ドコモCA証明書設定	P54
	ユーザ証明書設定	P54
	ｉモード設定確認	P51
	メール設定	
	メール振分設定	P187
	署名設定	P191
	署名編集	P191
	ｉモード問合せ設定	P192
	メール選択受信設定	P192
	メールグループ設定	P193
	添付ファイル受信設定	P195
	添付ファイル自動再生	P195
	メール設定確認	P196
	SMS設定	
	メッセージ送達通知設定	P170
	メッセージ有効期間設定	P170
	SMSセンター設定	P171
	SMS設定確認	P171
	ｉアプリ設定	
	ソフト情報設定	P62
	待受時計表示	P77
	シークレットデータ参照設定	P68
	ｉアプリ設定確認	P80
	設定リセット	
	基本機能リセット	P185
	ｉモードリセット	P52
	メールリセット	P196
	SMSリセット	P172
	ｉアプリリセット	P80
	ヘルプ	P192
でんわ	電話帳検索	P106
	電話帳登録	P94 P99
	リダイヤル	P50
	着信履歴	P58
	シークレット検索	P114
	グループ別設定	P101
	フォトコール設定	P148
	自局番号	P44

メニュー名称		参照先
サービス	留守番電話	P204
	キャッチホン	P213
	転送でんわ	P209
	迷惑電話ストップ	P216
	発信者番号通知	P217
	番号通知お願い	P219
	通話中着信設定	P225
	着信動作選択	P224
	遠隔操作設定	P226
	デュアルネットワーク	P221
	英語ガイダンス	P222
	サービスダイヤル	P223
	追加サービス	P227
	PLMN設定	P188
メール	ｉモード問合せ	P140
	SMS問合せ	P168
	受信メールBOX	P175
	送信メールBOX	P175
	新規メール作成	P118
	SMS作成	P164
	メール設定	—
	SMS設定	—
	メール選択受信	P138
ｉモード	ｉMenu	P23
	ｉモード問合せ	P140
	Bookmark	P36
	Internet	P33
	ラストページ	P26
	画面メモ	P39
	メッセージR	P104
	メッセージF	P104
	ユーザ証明書操作	P54
	ｉモード設定	—
ｉアプリ	ソフト一覧	P63
	ｉアプリ待受画面設定	P75
	ｉアプリ待受画面解除	P77
	ｉアプリ履歴	P64 P66 P76
	ｉアプリ設定	—

区点コード一覧

画面表示は区点コード一覧の文字や記号と異なることがあります。
各段の左の数字は区点コードの上1桁めから3桁めを表します。各段の一番上の数字は区点コードの上4桁めを表します。

例 「ゑ」（え）を入力するとき
区点コードの上1桁めから3桁め「048」を入力し、区点コードの上4桁め「1」を入力します。

区点 1～3桁め	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡		≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а

区点 1～3桁め	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138		≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥

区点 1～3桁め	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐

区点 1~3桁め	区点4桁め									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		

区点 1~3桁め	区点4桁め									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

区点 1~3桁め	区点4桁め									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ～の										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						

区点 1～3桁め	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
ゆ										
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ										
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら										
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り										
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る～れ										
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
ろ										
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
わ										
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆

区点 1～3桁め	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬

区点 1～3桁め	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					

区点 1〜3桁め	区点4桁め									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

ダイヤルボタンの文字割当て一覧（かな方式）

モード／ボタン	漢字モード、カナモード													英字モード(注4)									数字モード
	押す回数													押す回数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1 あ @./:	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ				@	.	/	:	~	-	_	1		1
2 か ABC	か	き	く	け	こ									a	b	c	A	B	C	2			2
3 さ DEF	さ	し	す	せ	そ									d	e	f	D	E	F	3			3
4 た GHI	た	ち	つ	て	と	っ								g	h	i	G	H	I	4			4
5 な JKL	な	に	ぬ	ね	の									j	k	l	J	K	L	5			5
6 は MNO	は	ひ	ふ	へ	ほ									m	n	o	M	N	O	6			6
7 ま PQRS	ま	み	む	め	も									p	q	r	s	P	Q	R	S	7	7
8 や TUV	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ								t	u	v	T	U	V	8			8
9 ら WXYZ	ら	り	る	れ	ろ									w	x	y	z	W	X	Y	Z	9	9
0 わをん 記号	わ	を	ん	ゎ	ー	、	。	?	!	&	゛	゜	↵(注2)	,	;	'	"	?	!	&	0	↵(注2)	0
* マナー http://	゛(注3)	゜(注3)												(注5)									*
#	(注1)													(注1)									#(注6)
✉																							(注7)

（注1） スペースが挿入されます。（ただし、未確定文字があるときは入力できません。）文字がない場所ではカーソルが1文字分右に移動します。
□ で示した文字の入力後に押すと、大文字→小文字、小文字→大文字に変換されます（カタカナの「ヮ」を除く）。句読点、濁点、半濁点は、「、」→「゛」、「。」→「゜」、「゛」→「、」、「゜」→「。」に変換されます。
また、1秒以上押すと、改行されます。（ｉモードメール本文作成時、ショートメッセージ（SMS）本文作成時、署名編集時、動画のテロップ編集時、ｉアプリの文字入力時だけ有効です。）

（注2） 改行されます。（ｉモードメール本文作成時、ショートメッセージ（SMS）本文作成時、署名編集時、動画のテロップ編集時、ｉアプリの文字入力時だけ有効です。ただし、漢字モードでは、未確定文字があるときは入力できません。）

（注3） 漢字モードでは、濁点、半濁点が付く文字を入力した場合だけ有効です。カナモードでは常に有効です。

（注4） 大文字→小文字の順に割り当てるように変更できます。[☛P238]

（注5） 文字入力後に押すと、全角→半角、半角→全角に変換されます。

（注6） 1秒以上押すと、改行されます。（ｉモードメール本文作成時、ショートメッセージ（SMS）本文作成時、署名編集時、動画のテロップ編集時、ｉアプリの文字入力時だけ有効です。）

（注7） ポーズ「P」が挿入されます。（電話帳の電話番号欄を登録するときだけ有効です。）

- カナモードでは、文字はカタカナ（半角）で入力されます。また、0わをん記号 の文字割当ては次のようになります。

押す回数／ボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
0 わをん 記号	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｰ	､	｡	?	!	&	ﾞ	ﾟ	↵(注)	

（注）改行されます。（ｉモードメール本文作成時、ショートメッセージ（SMS）本文作成時、署名編集時、動画のテロップ編集時、ｉアプリの文字入力時だけ有効です。）

ダイヤルボタンの文字割当て一覧（2タッチ方式）

文字とボタンの対応には、大文字モードと小文字モードがあり、8 0 を押すと切り替えられます。

- **入力モードを切り替えた直後は、大文字モードになっています。**

■大文字モード

通常のかな、英大文字、数字などを入力できます。

（例） 4 3 を押すと「つ」が入力されます。

1回めに押すボタン ＼ 2回めに押すボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー	／
7	ま	み	む	め	も	\	&		☎	
8	や	(	ゆ	)	よ	*	#	(注1)	♥	(注2)
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

■小文字モード

小さいかな（ぁ～ぉ、っ、ゃ～ょ、ゎ）、英小文字、句読点を入力できます。

（例） 4 3 を押すと「っ」が入力されます。

1回めに押すボタン ＼ 2回めに押すボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ゃ		ゅ		ょ					(注2)
9										
0	ゎ			、	。					

（注1） スペースが挿入されます。（ただし、未確定文字があるときは入力できません。）文字がない場所ではカーソルが1文字分右に移動します。

（注2） 大文字モード→小文字モード、小文字モード→大文字モードに切り替わります。

- 文字を入力し、続けて # を押すと、大文字→小文字、小文字→大文字に変換されます。
- 濁点、半濁点が付く文字を入力し、続けて * を押すと、濁点、半濁点を入力できます。
- 数字しか入力できない状態のとき（電話番号の入力など）は、0 ～ 9 を押すだけで数字が入力されます。また、* を押すと「*」が、# を押すと「#」が入力されます。
  ✉を押すとポーズ「P」が挿入されます。（電話帳の電話番号欄を登録するときだけ有効です。）
- 小さい「ゎ」（小文字モード 0 1 ）は、漢字モードだけで入力できます。
- # を1秒以上押すと改行されます。（ｉモードメール本文作成時、ショートメッセージ（SMS）本文作成時、署名編集時、動画のテロップ編集時、ｉアプリの文字入力時だけ有効です。）
- カナモードでは、文字はカタカナ（半角）で入力されます。

記号・特殊文字一覧

ダイヤルボタンの文字割当て一覧の記号のほかに、以下の記号などを入力できます。
- **画面表示は実際の文字や記号と異なることがあります。**

記号や絵文字をメールで送るときは

● i モードメールの場合
- □で示した全角記号や、絵文字を i モード対応携帯電話以外の相手に送った場合、受信側で正しく表示されないことがあります。
- 絵文字2は、 i モード対応機種以外に送信すると、正しく表示されません。

●ショートメッセージ（SMS）の場合
- 全角記号や半角記号、絵文字をショートメッセージ（SMS）で送信すると、受信側で正しく表示されないことがあります。

■**記号**　入力方法 [☛P234、239]

半角	@ / . , : ; ~ _ ! ? " # $ % & ' ( ) * + - < = > [¥] ^ ` { | }
全角	？ ！ → ← ↑ ↓ ～ ＃ ＆ ＄ ＊ ＠ ※ ♯ ♭ ♪ ♂ ♀ ￥ 〒 〆 ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼ ‘ ’ “ ” （ ） 〈 〉 「 」 『 』 【 】 … 、 。 ， ． ・ ： ； ゛ ゜ ＾ ％ ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ⇒ ⇔ ／ ＼ ｜ ￣ ＿ — ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗ ㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻ 〝 〟 № ㏍ ℡ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ≒ ≡ ∫ ∮ ∑ √ ⊥ ∠ ∟ ⊿ ∵ ∩ ∪ ´ ｀ ¨ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々 〇 ― ‐ ∥ ‥ 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝ 《 》 ≦ ≧ ∞ ∴ ° ′ ″ ℃ ¢ £ § ＝ ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∧ ∨ ¬ ∀ ∃ ⌒ ∂ ∇ ≪ ≫ ∽ ∝ ∬ Å ‰ † ‡ ¶ ◯ ─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼ ━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗ ┣ ┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂ ↵ (注)

（注）↵ は改行を示します（ i モードメール本文作成時、ショートメッセージ（SMS）本文作成時、署名編集時、動画のテロップ編集時、 i アプリの文字入力時だけ有効です）。

- 半角文字だけが入力可能な場合には、半角の記号だけが入力できます。
- 漢字モードで「きごう」と入力して変換する場合、半角記号は入力できません。

■**絵文字1**　入力方法 [☛P241]

■**絵文字2**　入力方法 [☛P241]

■顔文字　入力方法 [☛P241]

(^-^)	m(__)m	(^^;)	(^^)v	(;_;)
o(^o^)o	＼(^0^)／	(^o^)／	d=(^o^)=b	(*^_^*)
(^^ゞ	(^。^;)	σ(^_^;	(ToT)	(^^)/~~
(ToT)/~~	(>_<)	(*_*)	(+_+)	(@_@)
(?_?)	(=_=)	(^_-)	(^∧^)	(-_-;)
w(°o°)w	(^3^)/～☆	(☆o☆)	(-_-)zzz	☆彡
(^ワ^)	v(^o^)	(^◇^)	(^-^)ﾉ	o(^-^)o
(^ー°)b	(^_-)-☆	(。・_・。)ﾉ	(・_・ゞ-☆	～(m~-~)m
＼(~o~)／	(#￣3￣)	(￣(エ)￣)	(^-^)_旦~	ヽ(´▽`)/
＼(*^▽^*)/	～(￣▽￣～)	^ー^)人(^ー^	ε=┌(・_・)┘	(^▽^)σ)~0~)
(~▽~@)♪♪♪	ヾ(￣◇￣)ノ))	ε=ヾ(*~▽~)ノ	(^_^;	(._.)
(・_・、	(~∧~;)	(°～°)	(>_<")	(-。-)
(-_-#)	(-_-)	_(._.)_	(´□`)	(´ー`)
(´¬`)	(´ω`)	(・_・?)	(・。・)	o(T□T)o
Σ(￣□￣;)	・°・(>_<)・°・	_・)ｿｫｰｯ	('-'*)ｴﾍ	(-_☆)ｷﾗﾘ
(・_*)＼ﾍﾟﾁ	(^-^ゝ了解	[壁]_-) ﾁﾗｯ	(~ー~) ﾍｪ～	(;¬_¬)ｱﾔｼｲ
(-_ゞ ｺﾞｼｺﾞｼ	(; -_-)=3 ﾌｩ	{{(>_<)}}ｻﾑｲ	Σ(°ﾛ°;)ﾅﾆｰ!!	(°▽^)] ﾓｼﾓｼ
ヾ(*'-'*)ﾏﾀﾈｰ	(≧▽≦)/ ﾊﾊﾊ	φ(..)ﾒﾓﾒﾓ♪	(・_・)ノ~ ° ﾎﾟｲ	ﾁｶﾞｰｳ(-_-)ノノ
o(^-^)○☆ﾊﾟﾝﾁ	d(>◇<) ｱｳﾄ!	__(-_-)__ｾｰﾌ!	(>_<)(>_<)ｲﾔｰ	＼(o￣▽￣o)ﾊｰｲ
(~-~;)ヾ(-_-;)ｵｲ	(￣～￣) ﾓｸﾞﾓｸﾞ	<("0")> ﾅﾝﾃｺｯﾀ!	凸ヽ(^-^) ﾀｲｺﾊﾞﾝ	(・_・、ヾ(^-^)ﾖｼﾖｼ

■ギリシア文字　入力方法 [☛P234]

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω
α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω

■ロシア文字　入力方法 [☛P234]

А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч
Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п
р с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я

定型文一覧

番号	定型文
一般	
01	おはよう
02	おやすみ
03	おはよー！今日も一日がんばりましょう。
04	昨日は、とっても楽しかったです。どうもありがとう。
05	連絡下さい。
06	今から電話してもいいですか？
07	ごめんなさい、遅れます。
08	今日は○○の日です。早く帰って来てね。
09	○○まで迎えに来て！お願いします。
10	○○について知っている人は○○までに○○に教えて下さい。
11	○○の件、よろしくお願い致します。
12	今日、一杯どうですか？連絡下さい。
13	FAX確認願います。
14	次の指示を待て。
15	変更します。
16	延期します。
17	中止します。
18	○○での写真送ります。
19	今わかりません。
20	あとで連絡します。
応答	
01	Thank you!
02	Good!
03	OKです。
04	NGです。
05	いいよ。
06	行きます。
07	了解。
08	ダメ！
09	ごめんネ…
10	スミマセン、無理です。
11	もう少し待ってて！
12	いってらっしゃい。
13	留守電にメッセージをお願いします。
14	○○で待ってます。
15	ただいま電話にでることができません。メールでご用件をお知らせ下さい。
16	集合時間は○○、集合場所は○○です。
17	今日は外で食べて帰ります。ご飯はいりません。
18	メールありがとう。
19	○○の写真送ります。
20	最近の○○の写真です。
遊び	
01	今なにしてるの？電話かメールを下さい。
02	どこか、遊びに行こーよ！
03	電話ちょうだい！電話番号は○○です。
04	おくれちゃう、ゴメン！
05	どこにいるの？
06	集合！
07	時間だよーん！！
08	トラブル発生！！
09	会いたい！
10	大好き！
11	みんなで飲みませんか？○○に○○。
12	今日○○に、○○へ行きませんか？
13	○○の待ち合わせ時間と場所、決めようよ。
14	○○に行かない？
15	○○のメンバー募集！詳しくは○○まで連絡下さい。
16	今度みんなで○○へ行きましょう。○○までで、都合の良い日を教えて下さい。
17	今度みんなで○○へ行きましょう。いいところがありましたら、お知らせ下さい。
18	○○しませんか？日時：○○、場所：○○。出欠をご連絡下さい。
19	メッセージ下さい！！
20	○○の時の写真だよ。
ビジネス	
01	本日の○○会議は、○○となりました。
02	本日の○○訪問は、○○となりました。
03	○○へ直行します。
04	○○へ直帰します。
05	電車遅延のため、○○遅れます。
06	至急TEL下さい。
07	予定変更！TEL下さい。
08	待ち合わせ変更！場所：○○、時間：○○
09	○○頃まで、携帯電話の電源を切ります。
10	振込口座：○○銀行○○支店、口座番号○○、名義人名○○です。
11	本当？
12	おまかせっ！！
13	関係ないね！
14	うらやましー。
15	お疲れさま。
16	反対。
17	賛成。
18	待ってました！
19	それは残念。
20	写真届きました。
その他	
01	またねー！
02	今どこ？
03	お誕生日おめでとう。
04	おめでとう。
05	まじでー！？
06	まかせなさい！！
07	キャンセル。
08	いってきます。
09	頑張って！
10	ありがとう！
11	http://
12	http://www.
13	.ne.jp
14	.co.jp
15	.or.jp
16	.ac.jp
17	.net
18	.com
19	.org
20	@docomo.ne.jp

マルチアクセスの組合せについて

現在の状態＼発生・実行する処理	音声電話		テレビ電話		ｉモード	ｉモードメール		ショートメッセージ（SMS）	
	発信	着信	発信	着信		発信	受信	発信	受信
音声電話通話中	▲	▲	×	△	○	○	○	○	○
音声電話通話中＋音声電話保留中	×	×(注)	×	×(注)	○	○	○	○	○
テレビ電話通話中	×	△	×	△	×	×	×	×	○
ｉモード中	○	○	■	×(注)	□	○	○	○	○
パソコンとつないだパケット通信中（PPPパケット通信）	○	○	×	×(注)	×	×	×	○	○
64Kデータ通信中	×	×(注)	×	×(注)	×	×	×	×	○
音声電話通話中＋ｉモード中	▲	▲	×	×(注)	□	○	○	○	○
音声電話通話中＋PPPパケット通信中	▲	▲	×	×(注)	×	×	×	○	○
音声電話通話中＋音声電話保留中＋ｉモード中	×	×(注)	×	×(注)	□	○	○	○	○
音声電話通話中＋音声電話保留中＋PPPパケット通信中	×	×(注)	×	×(注)	×	×	×	○	○

現在の状態＼発生・実行する処理	PPPパケット通信		64Kデータ通信	
	発信	着信	発信	着信
音声電話通話中	○	○	×	×(注)
音声電話通話中＋音声電話保留中	○	○	×	×(注)
テレビ電話通話中	×	×	×	×(注)
ｉモード中	×	×	×	×(注)
パソコンとつないだパケット通信中（PPPパケット通信）	×	×	×	×(注)
64Kデータ通信中	×	×	×	×(注)
音声電話通話中＋ｉモード中	×	×	×	×(注)
音声電話通話中＋PPPパケット通信中	×	×	×	×(注)
音声電話通話中＋音声電話保留中＋ｉモード中	×	×	×	×(注)
音声電話通話中＋音声電話保留中＋PPPパケット通信中	×	×	×	×(注)

○：可能
△：現在の通信を終了し着信応答可能
▲：キャッチホンサービスをご契約の場合、現在の通信を保留後に発信または着信応答可能
×：不可
■：現在の通信を終了するかどうかの問合せ画面を表示（「はい」選択で現在の通信を終了して発信）
□：現在の通信を終了するかどうかの問合せ画面を表示（「はい」選択で現在の通信を終了して接続）

（注）着信は受け付けません。着信履歴には記録されます。

マルチタスクの組合せについて

現在実行中の機能＼あとから発生した機能	音声電話（発信）	音声電話（着信）	テレビ電話（発信）	テレビ電話（着信）	メール受信	メール受信画面に切替え	メール表示・編集	サイト・画面メモ・メッセージR／F表示	スケジュール設定	電話帳登録	電話帳検索	発信・着信履歴	iアプリ一覧	iアプリ実行	カメラ／静止画・動画加工	マルチメディア	設定メニューの操作	サービス	アラーム設定	ソフトウェア更新	“メモリースティックDuo”	赤外線通信	PPPパケット通信	64Kデータ通信
音声電話	（注）					○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	（注）	
テレビ電話						×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
メール受信	×	○	×	×	■	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
メール（表示・編集）	○	○	□	□	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	□
サイト接続（iモード中）	○	○	□	×	○	○	○	△	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
サイト・画面メモ・メッセージR/F表示	○	○	□	□	○	○	○	△	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	□
スケジュール設定	○	○	□	□	○	○	○	○	△	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	□
電話帳登録	○	○	□	□	○	○	○	○	○	△	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	□
電話帳検索	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	●	×	×	×	×	●	□
iアプリ（実行）	□	□	□	□	○	□	□	△	□	□	□	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	□	□
カメラ	●	□	●	□	○	□	□	□	□	□	□	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	□	□
マルチメディア（無効時）	×	□	×	□	○	□	□	□	□	□	□	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	□	□
マルチメディア（有効時）	○	□	○	□	○	□	□	□	□	□	□	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	□	□
設定メニューの操作	□	□	□	□	○	□	□	□	□	□	□	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	□	□
サービス	○	○	□	□	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	○	□
アラーム設定	□	□	□	□	○	□	□	□	□	□	□	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	□	□
ソフトウェア更新	×	□	×	−	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
“メモリースティック Duo”	●	□	●	□	□	□	□	□	□	□	□	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	□	□
赤外線通信	×	−	×	−	−	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
パソコンとつないだパケット通信（PPPパケット通信）	（注）					×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	（注）	
64Kデータ通信						×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

○：同時に、画面を切り替えながら実行可能です（マルチタスク）。
□：発生した機能を実行できます。ただし、発生した機能が終了するまで、現在実行中の機能は利用できません。
△：現在実行中の機能を継続するか、発生した機能を実行するかを選択します。
●：現在実行中の機能を終了して、発生した機能を実行します。
■：実行中の処理に続けて実行します。
×：実行できません。
−：機能的に実現しない組合せです。
（注）「マルチアクセスの組合せについて」をご覧ください。[☛P265]

※ 表は代表的なケースを示しており、○、□、△、●になっていても、実行中の操作によっては、機能を実行できない場合があります。また、○、□、△になっていても、一覧画面や表示画面など、終了してもデータが失われない画面を表示しているときは、別の機能を実行すると終了するものがあります。
※ ■は では実行できない機能を示しています。

故障かな？と思ったら、まずチェック

症　状	チェックする箇所
インスピレーションウィンドウに何も表示されていない	● インスピレーションウィンドウの省電力設定を非表示モードに設定していませんか。FOMA端末を折りたたんだ状態で何も操作せずに約1分が経過すると画面の表示が消えます。[☛P150]
「オールロック中のため使用できません」と表示される	● オールロック中はできない操作です。オールロックを解除してください。[☛P167]
「圏外」表示が出て、話中音（ツーツー）が鳴る	● サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。[☛P28]
「圏外」も「」も表示されず、電話がつながらない、またはすぐ切れる	● エリアの境目にいるとき、このような表示、症状になることがありますが、故障ではありません。「」が表示される場所へ移動してください。
カメラの画像がぼやけている	● 接写切替スイッチが正しく設定されているか確認してください。 通常撮影時は●（通常）に切り替えてください。 ● レンズが汚れていないか確認してください。
「このカードは認識できません」と表示される	● FOMAカードが正しく取り付けられていますか。または破損していませんか。[☛P34] ● 使用できないFOMAカードが取り付けられていませんか。
「しばらくお待ち下さい」と表示され、話中音（ツーツー）が鳴る	● 回線がたいへん混み合っています。しばらくたってからおかけ直しください。
充電できない	● 電池パックが正しく取り付けられていますか。[☛P38] ● ACアダプタなどのコネクタがしっかり接続されていますか。[☛P40、41] ● 充電中に が表示されている場合は充電異常です。[☛P43] 電池パックの取付け、ACアダプタなどの接続を確認してください。 ● 充電中に が表示されている場合は温度待機中です。適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所へ置いてください。[☛P43] ● 上記の操作を行っても または の表示が消えない場合は当社窓口までご連絡ください。[☛P270] ● 卓上ホルダに差し込んで充電するときに、外部接続端子キャップをきちんと閉じていますか。
「セルフモード設定中」と表示される	● セルフモード中は、電話をかけたり受けたりすることはできません。また、iモードの通信や赤外線通信、ネットワークサービスの各種設定も行えません。セルフモードを解除してください。[☛P171]
ダイヤルしたが話中音（ツーツー）が鳴ってつながらない	● 市外局番などを忘れていませんか。[☛P48] ●「圏外」表示が出ていませんか。[☛P28]
ダイヤルボタンを押しても発信できない	● ダイヤル発信制限中になっていませんか。[☛P169] ● オールロック中になっていませんか。[☛167]
着信音のメロディを設定したのに変わらない	● 通常の着信音より優先順位が高いものが設定されています。着信音は以下の優先順位で鳴ります。 1.非通知着信音、通知不可着信音、公衆電話着信音 [☛P138] 2.グループ別設定で設定したグループの着信音（発信者番号が通知されたとき）[☛P101] 3.着信音
着信音やアラーム音に設定したメロディが鳴らない	● 音の設定 [☛P138] で曲名の前に（壊れた音符マーク）が表示されているときは、メロディが壊れています。（パターン1で鳴ります。）

症　状	チェックする箇所
電話を受けられない	● 電源は入っていますか。 ●「圏外」表示が出ていませんか。 ● セルフモードを設定していませんか。[☛P171] ● ドライブモードを設定していませんか。[☛P62] ● 赤外線通信中ではありませんか。 ● 伝言メモ移行時間を0秒に設定していませんか。[☛P66] ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定して、サービスを「開始」に設定していませんか。[☛P204、210]
ドコモホームページやｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」にソフトウェア更新が必要との案内がある	● ソフトウェアの更新が必要です。ソフトウェアを更新してください。[☛P272]
「副画像を保存できませんでした」と表示される	●マルチメディアの空き領域が不足しています。不要なデータを削除してから操作し直してください。
編集内容が保存されない	● 電話帳やメールの編集中に電話がかかってきたとき、☎(PWR)を押して通話を終了すると編集画面に戻ります。そのまま編集を続けてください。 ● 編集画面で☎(PWR)を押すと「終了しますか？」と表示されます。ここで「はい」を選択すると編集内容は保存されません。「いいえ」を選択して編集画面に戻り、編集内容を登録または保存してください。
右のような画面が表示されている	温度上昇中のため しばらく お待ち下さい ● FOMA端末の温度が高くなっています。温度が下がるまでしばらくお待ちください。[☛P42]
メインディスプレイおよびインスピレーションウィンドウの表示が消え、白くなった	● カメラのストロボなど強い光がメインディスプレイに当たると、このような表示、症状になることがありますが、故障ではありません。この場合はFOMA端末を開閉すると元の画面が表示されます。
メール着信音のメロディを設定したのに変わらない	● グループ別設定でメール着信音を設定していませんか。[☛P101] （電話帳に登録している相手からのメールでは、着信音選択（音の設定）で設定したメール着信音より、グループ別設定で設定したメール着信音が優先されます。）
“メモリースティック Duo”にデータを保存できない	●“メモリースティック Duo”の内容が表示できますか。[☛アプリP289] 表示できない場合は、『“メモリースティック Duo”の内容が表示できない』の説明に従ってチェックしてください。 ●“メモリースティック Duo”に空きがありますか。[☛アプリP289] 空きが足りないときは、不要なデータを削除してください。[☛アプリP298] ● 市販品の“メモリースティック Duo”をご利用の場合、誤消去防止スイッチがロックされていませんか。 ● フォルダ内のデータ件数が最大件数に達していませんか。[☛アプリP282] 最大件数に達しているときは、不要なデータを削除してください。 [☛アプリP298] ● 上記を確認しても解決しないときは、当社窓口までお問い合わせください。[☛P270]

症　状	チェックする箇所
“メモリースティック Duo”の内容が表示できない	●“メモリースティック Duo”が正しく装着されていますか。[☛アプリP281] ● D900iで利用可能な容量の“メモリースティック Duo”ですか。[☛アプリP280] ● FOMA端末以外でフォーマットしていませんか。[☛アプリP280、300] ● パソコンなどで“メモリースティック Duo”のフォルダを誤って削除していませんか。[☛アプリP303] ● 上記を確認しても解決しないときは、当社窓口までお問い合わせください。[☛P270]
「メモリ不足のため現在この機能は使用できません」と表示される	● 機能を実行するためのメモリが不足しています。実行中の機能の終了後に操作し直してください。
メロディが鳴らない	● マナーモード[☛P118]やドライブモード[☛P62]を設定していませんか。 ● 音量をレベル0に設定していませんか。[☛P136] ● メールやメッセージR/Fに（壊れた音符マーク）が表示されているときは、メロディが壊れています。
「FOMAカードを挿入して下さい」と表示される	● FOMAカードが正しく取り付けられていますか。または破損していませんか。[☛P34]
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	● 電池パックが正しく取り付けられていますか。[☛P38] ● 電池切れになっていませんか。[☛P39] ● PWRを1秒以上押していますか。[☛P42]

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
  必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。
  無償保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
- FOMA端末の受話口部に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

■調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。[☛P267]
それでも調子が良くないときは、以下の連絡先にご連絡のうえ、ご相談ください。

- **ドコモグループ各社**

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
(局番なしの) 113 (無料)
※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようおかけください。
なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

※お問合せの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■次の場合は修理できないことがあります

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗等による腐食が発見された場合、及び内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、予めご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

■保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できるときは、ご要望により有償修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、上記連絡先へお問い合わせください。

■お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 携帯電話は、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさない携帯電話は使用できません。
  - 改造（部品の交換・改造・塗装等）が施された場合は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話料金などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理できないことがあります。

■メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- FOAM端末の故障・修理やその他取扱いによってメモリダイヤルなどに登録された内容が変化・消失する場合があります。万一に備え、メモリダイヤルなどの内容は手帳などに控えをお取りくださるようお願いいたします。
  また、FOMA端末の修理を行った場合、ｉモードにてダウンロードした情報は、著作権法により、新しい携帯電話などへの移行は行っておりません。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化・消失等する場合があります。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータ等は一部を除き交換後の製品に移し変えることができません。当社はこれらの責任を負うものではありません。

ソフトウェア更新について

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合にはｉモード※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
　ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」にてご案内させていただきます。

ソフトウェアの更新には、すぐに更新する方法と予約した日時に自動的に更新する方法があります。

- ｉモードの接続先設定をユーザ指定接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行えます。
- ソフトウェア更新をする前に、電池をフル充電してください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・日付・時刻を設定していないとき　・圏外にいるとき　・電池不足　・通話中
  - ・FOMAカードが入ってないとき　・FOMAカード読出失敗　・オールロック中
  - ・PIMロック中　・セルフモード設定中
  - ・メール、メッセージR/F受信中　・パソコンなどと接続してデータ通信中　など
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、他機能を利用することはできません（音声着信は可能です）。
- ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。CA証明書設定を「有効」にしておく必要があります（お買い上げ時は「有効」に設定されています。設定方法[☛アプリP53]）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、受信レベルが Yıll の状態で、移動せずに行うことをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止されたりした場合は、電波状態の良い場所で再度ソフトウェア更新を行ってください。

［即時更新］

すぐにソフトウェアを更新する

1　待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「ソフトウェア更新」を選択する

2　端末暗証番号を入力し ◉（選択）を押す

注意事項が表示されます。

3　「1.継続」を選び ◉（選択）を押す

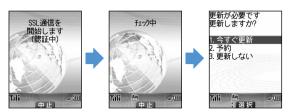
※注意事項※
電池は
フル充電して下さい
1. 継続
2. 中止
戻る　選択

問合せ画面が表示されます。
- 操作を中止するときは「2.中止」を選びます。
- 電池残量アイコンが ▮▮▮ 以外のときは「2.中止」を選択し、フル充電してから操作し直してください。

4　「はい」を選び ◉（選択）を押す

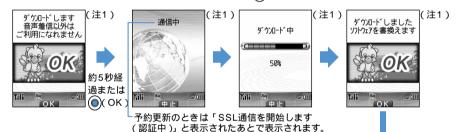
問合せ画面が表示されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

5 「はい」を選び ◎（選択）を押す

- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- 通常は、「更新は必要ありません このままご利用下さい」と表示されます。そのままご利用ください。更新が必要な場合には、「更新が必要です　更新しますか？」と表示されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

- 中止 が表示されているときに ◎（中止）を押すと操作を終了するかどうかの問合せ画面が表示されます。操作を終了するときは「はい」を選び ◎（選択）を押します。

6 「1.今すぐ更新」を選び ◎（選択）を押す

「ダウンロードします　音声着信以外はご利用になれません」と表示されます。ダウンロードを開始すると、あとは自動的にソフトウェア更新が実行されます。

- 操作を中止するときは「3.更新しない」を選びます。
- 中止 が表示されているときに ◎（中止）を押すと操作を終了するかどうかの問合せ画面が表示されます。操作を終了するときは「はい」を選び ◎（選択）を押します。

（注1）PWRを押すと中止できます。問合せ画面が表示されたら「はい」を選び ◎（選択）を押します。

（注2）すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。

付録　ソフトウェア更新

■「通信中」と表示されたあと、「サーバーが混みあっています 予約しますか？」と表示された場合

①「はい」を選び ◉（選択）を押す
- 以降の操作方法：「日時を予約してソフトウェアを更新する」操作3以降 [☛P275]
- 予約しないときは「いいえ」を選びます。操作を終了するかどうかの問合せ画面が表示されます。操作を終了するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。

7 ◉（OK）を押す

おしらせ

- 操作2〜7を行っているときに音声電話がかかってきたときは、「書換え準備中　しばらくお待ち下さい」、「書換え中」、「書換え完了しました　再起動します」画面以外の画面表示中は電話を受けることができます。着信中にサブメニューから応対方法を選択したり、伝言メモで応対したりできます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。書き換えた場合は、電話帳に登録されていない相手からの着信でも、電話帳へ登録するかどうかの確認画面は表示されません。なお、通話中は、電話帳検索、着信履歴、リダイヤルなど一部の機能が使用できません。
- ソフトウェア更新中はテレビ電話を受けることや、メールやメッセージR/Fを受信することはできません。メールやメッセージR/Fはｉモードセンターに蓄積されます。「ソフトウェア更新完了しました」などのソフトウェア更新機能が終了したときの画面が表示されているときはテレビ電話を受けることや、メールやメッセージR/Fを受信することができます。
- 書き換え完了後の再起動前に、メールアイコンやメッセージR/Fアイコンにｉモードセンターにメールやメッセージ R/F が蓄積されていることを示す ◢ ◢◢ が表示されていた場合、ソフトウェア更新の再起動時に消えますが、ｉモードセンターには蓄積されています。
- メール選択受信を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。更新に失敗すると「書換え失敗しました」と表示され、電源入／切以外の操作はできません。その場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れ等）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。

[予約更新]

日時を予約してソフトウェアを更新する

ダウンロードに時間がかかる場合、サーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておくことができます。

1 更新手段選択画面を表示する

- 表示方法：「すぐにソフトウェアを更新する」 操作1〜5 [☛P272]

2 「2.予約」を選び ◉（選択）を押す

更新日時を選択する画面が表示されます。
- 操作を中止するときは「3.更新しない」を選びます。
- 中止 が表示されているときに ◉（中止）を押すと操作を終了するかどうかの問合せ画面が表示されます。操作を終了するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します。

サーバの時刻が表示されます。待受画面設定で24h表示に設定しているときは24時間制で表示されます。

操作を中止するときに選びます。問合せ画面が表示されますので、操作を終了するときは「はい」を選び◉（選択）を押します。項目の番号は、表示される希望日時の数によって異なります。

3 更新する日時を選び ◉（選択）を押す

2004/09/02(木)
10:00amに
予約しますか?

戻る　選択

問合せ画面が表示されます。

■**表示されている日時以外の日時に更新するには**

①「その他の日時」を選び ◉（選択）を押す

希望日時の選択確認画面が表示されます。
- 項目の番号は、表示される希望日時の数によって異なります。

② ◉（OK）を押す

③更新する日を選び ◉（選択）を押す

④更新する時間帯を選び ◉（選択）を押す

更新する日時を選択する画面が再表示されます。操作③～④で選択した時間帯の予約候補が表示されます。
- 時間帯の一覧には、予約の空き状況が記号で表示されます。 ◯（説明）を押すと記号の説明を表示できます。
  ○：空きあり　△：空きわずか　×：空きなし
  内容を確認し ◉（OK）を押します。

⑤更新する日時を選び ◉（選択）を押す

問合せ画面が表示されます。
- 操作4へ進みます。

4 「はい」を選び ◉（選択）を押す

選択した日時に予約されます。

- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。
- 中止 が表示されているときに ◉（中止）を押すと操作を終了するかどうかの問合せ画面が表示されます。操作を終了するときは「はい」を選び ◉（選択）を押します（◉（選択）を押すタイミングにより中止できない場合もあります）。

5 ◎（OK）を押す

予約した更新日時を確認・変更・取消しする

1 待受中に、メニュー「設定」▶「プライバシー」▶「ソフトウェア更新」を選択する

2 端末暗証番号を入力し ◎（選択）を押す

予約した更新日時が表示されます。

■更新日時を変更するには

①「1.変更」を選び ◎（選択）を押す
携帯電話情報を送信するかどうかの問合せ画面が表示されます。

②「はい」を選び ◎（選択）を押す
希望日時の選択確認画面が表示されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

③ ◎（OK）を押す

④更新する日を選び ◎（選択）を押す

⑤更新する時間帯を選び ◎（選択）を押す
更新する日時を選択する画面が表示されます。操作④～⑤で選択した時間帯の予約候補が表示されます。
- 時間帯の一覧には、予約の空き状況が記号で表示されます。◯（説明）を押すと記号の説明を表示できます。
 ○：空きあり　△：空きわずか　×：空きなし
 内容を確認し ◎（OK）を押します。

⑥更新する日時を選び ◎（選択）を押す
問合せ画面が表示されます。
- 以降の操作方法：「日時を予約してソフトウェアを更新する」操作4以降 [☛P275]

■予約した更新日時を取り消すには

①「2.取消」を選び ◎（選択）を押す
問合せ画面が表示されます。

②「はい」を選び ◎（選択）を押す
携帯電話情報を送信するかどうかの問合せ画面が表示されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

③「はい」を選び ◎（選択）を押す
予約が取り消されます。
- 操作を中止するときは「いいえ」を選びます。

④ ◎（OK）を押す

■操作を終了するには

①「3.終了」を選び ◎（選択）を押す

予約したソフトウェア更新日時になると

ソフトウェア更新の予約日時前には、電池をフル充電し、電波の十分届く所で待受画面を表示させておいてください。予約日時になると左の画面が表示され、自動的にソフトウェアが更新されます。

以降の動作：「すぐにソフトウェアを更新する」操作6以降 [☛P273]

約5秒経過するか ◎（OK）を押すと、自動的にソフトウェアの更新が開始されます。

- 予約した日時に待受画面が表示されていないときは、待受画面に戻ってから上の画面が表示されます。
- 予約した日時を過ぎて待受画面に戻っても、ソフトウェア更新されないことがあります。
- 予約した日時と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合は、アラームが鳴り終わってからソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新の予約日時になったとき、FOMA端末の電源が切れている場合や予約日時を経過してFOMA端末の電源を切った場合は、予約は無効となります。
- 書換え完了後の再起動時、PIN1入力ON/OFF設定が「ON」に設定されている場合は、PIN1コード入力画面が表示されたままとなり、電話を受けることや、メールやメッセージR/Fを受信することなどはできません。ご注意ください。

おしらせ

- **予約更新の操作1～4、更新日時の確認・変更・取消の操作2を行っているときに音声電話がかかってきたときは電話を受けることができます。着信中にサブメニューから応対方法を選択したり、伝言メモで応対したりできます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。書き換えた場合、電話帳に登録されていない相手からの着信でも、電話帳へ登録するかどうかの確認画面は表示されません。なお、通話中は、電話帳検索、着信履歴、リダイヤルなど一部の機能が使用できません。またソフトウェア更新中はメールやメッセージR/Fを受信できません。メールやメッセージR/Fはｉモードセンターに蓄積されます。**
- **ソフトウェア更新中はテレビ電話を受けることや、メールやメッセージR/Fを受信することはできません。メールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに蓄積されます。「ソフトウェア更新完了しました」などのソフトウェア更新機能が終了したときの画面が表示されているときはテレビ電話を受けることや、メールやメッセージR/Fを受信することができます。**

索引

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
・航空機内　・病院内
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合
FOMA端末を使用しながら運転すると、事故の原因になります。
※運転中、電源を切りたくない場合は、ドライブモードを設定してください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

カメラはマナーを守って使いましょう

■著作物や人物を撮影した画像を無断で使用したり改変するなど、著作権や肖像権を侵害するような使いかたはおやめください。
■撮影が禁止されている場所ではカメラを使用しないでください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード／オリジナルマナーモード [☛P118、119]
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。ただし、静止画撮影時、動画撮影時のシャッター音、セルフタイマー音は鳴ります（マナーモード）。また、マナーモードに伝言メモ機能を追加したり、バイブレーター・着信音量を変更したりすることもできます（オリジナルマナーモード）。

●ドライブモード [☛P62]
電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。

●バイブレーター [☛P121]
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

●伝言メモ機能 [☛P65]
音声電話やテレビ電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音または録画します。

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◯公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ九州
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ四国

製造元　三菱電機株式会社

環境保全のため、不要になった電池は NTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています

'04.8（4版）